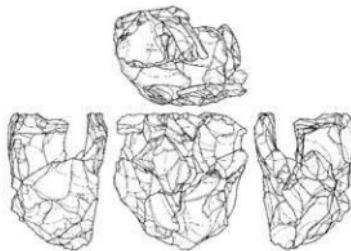


公益財団法人鹿児島県文化振興財団
埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書(2)

南九州西回り自動車道建設(川内限之城道路)に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

ほり の うち
堀 之 内 遺 跡

〈薩摩川内市〉



2014年3月

鹿児島県教育委員会
公益財団法人鹿児島県文化振興財団
埋蔵文化財調査センター







序 文

近年増加しております国事業に係る発掘調査に円滑に対応するため、平成25年4月1日、公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センターが発足しました。

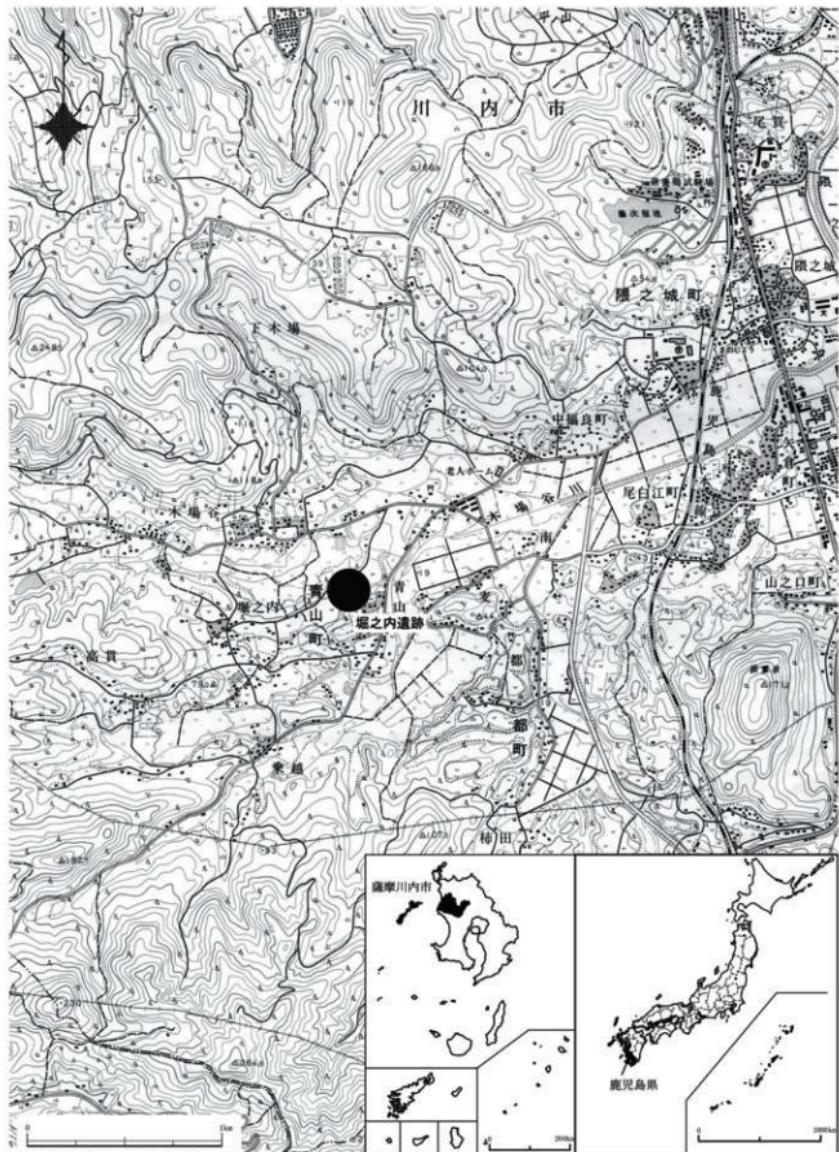
当センターの役割は、従来鹿児島県立埋蔵文化財センターが実施してきた発掘調査のうち、国事業に係るもの調査を引き継ぎ、また、新規の国事業に係る発掘調査を実施することあります。このため堀之内遺跡は、県立の埋蔵文化財センターが記録保存調査を行いましたが、報告書刊行は当センターが担当することとなりました。さらに、堀之内遺跡の整理作業・報告書刊行では、株式会社九州文化財研究所へ整理作業及び報告書作成作業の支援業務を委託し、業務の更なる効率化を果たしております。

この堀之内遺跡では、旧石器時代から近世までの遺構や遺物が見つかっており、古来連綿と人々の生活が営まれていたことを窺わせます。特に旧石器時代の調査成果では、小型ナイフ形石器文化期から細石刃文化期に至る石器製作の跡が見つかっております。旧石器時代の本県の状況を考える上で、非常に貴重な遺跡です。本報告書が今後の研究に資することを祈念いたしております。

最後になりましたが、本県の埋蔵文化財保護のために御協力いただきました国土交通省、鹿児島県教育庁文化財課、鹿児島県立埋蔵文化財センター、調査中にご指導いただいた先生方、株式会社九州文化財研究所、発掘作業員、整理作業員、その他関係者のみなさまに厚く御礼申し上げます。

平成26年2月
公益財団法人 鹿児島県文化振興財団
埋蔵文化財調査センター長 富田逸郎

報告書抄録



囂之内遺跡位置図 (1:25,000)

例　　言

- 1 本書は、南九州西回り自動車道建設(川内隈之城道路)に伴う堀之内遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 本遺跡は、鹿児島県薩摩川内市青山町5461番地ほかに所在する。
- 3 発掘調査は、国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所から鹿児島県教育委員会が受託し、鹿児島県立埋蔵文化財センターが実施した。
- 4 発掘調査事業は、平成21年度、平成22年度、平成23年度及び平成24年度に鹿児島県立埋蔵文化財センターが実施した。
- 5 整理・報告書作成事業は、平成23年度及び平成24年度は鹿児島県立埋蔵文化財センターが実施し、平成25年度は公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センターが実施した。
- 6 掲載遺物番号は通し番号であり、本文、挿図、表及び図版の遺物番号は一致する。
- 7 挿図の縮尺は、挿図ごとに示した。
- 8 本書で用いたレベル数値は、国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所の作成した現況計画図中の「センター杭No.415」に基づく標高である。
- 9 遺物注記等で用いた遺跡記号は「ホリノ」である。
- 10 本書で使用した方位は、全て磁北である。
- 11 発掘作業における実測図作成及び写真撮影は、調査担当者が行った。また、空中写真撮影は九州航空株式会社(平成22年度)及び株式会社ふじた(平成23年度)に委託した。
- 12 平成25年度は、整理作業及び報告書作成作業の支援業務を株式会社九州文化財研究所へ委託し、森幸一郎が指揮・監督のもと業務を実施した。
- 13 遺構図・遺物分布図の作成及びトレイスは、森がデータ処理班、デジタルトレイス班及び株式会社九州文化財研究所の協力を得て行った。
- 14 出土遺物の実測・拓本・トレイスは、森と長野真一が整理作業員及び株式会社九州文化財研究所の協力を得て行った。
- 15 出土遺物の写真撮影は、森及び株式会社九州文化財研究所が行い、一部鹿児島県立埋蔵文化財センターの協力を得た。
- 16 金属製品の保存処理は、鹿児島県立埋蔵文化財センターが実施した。
- 17 本報告に係る自然科学分析は、放射性炭素年代測定及び樹種同定を株式会社加速器分析研究所へ委託した。
- 18 本書の編集は、森が株式会社九州文化財研究所の協力を得て行った。執筆担当は以下のとおりである。

第1章 森

第2章 森

第3章 第1節～第3節 森

　　第4節 1 森

　　2 長野真一・川俣唱子・鯨島伸吾・森

　　3 稲富陽子・鯨島・森

　　4・5 森

第4章 株式会社加速器分析研究所

第5章 森・長野・川俣

- 19 出土遺物及び実測図・写真等の記録は、鹿児島県立埋蔵文化財センターで保管し、展示・活用を図る予定である。

凡 例

- 1 石器の器種及び石材については、以下の表のように分類した。
なお、石材分類及び产地は肉眼観察をもとに行った。

| 概 要 | |
|----------|--|
| 石 棒 | 剥片を削留した石塊 |
| 細石核 | 細石刃を削離した石塊 |
| 剥 片 | 石核から剝離されたもの。素材剥片、調整剥片、折断剥片などがある |
| 破 片 | 1cm以内の片面に工具痕を有するもの |
| ナイフ形石器 | 剥片を素材とし、刃部と対向する側縫部に刃差し加工を施したもの |
| 台形石器 | 平面形が台形で、石器の主軸に対して直交する刃部をもつもの |
| 三棱尖頭器 | 石核から剝離されたもの。素材剥片、調整剥片などがある |
| 剥片尖頭器 | 大型または中型の石刃を素材とし、基部に二次加工を施し、基部を作り出したもの |
| 細石刃 | 長・幅2cm未満、厚さ5mm未満の極小の石刃 |
| 石 鏃 | 剥片を素材とし、両側縫に押圧剝離を施し、平面形が三角形状のもの |
| 挫 器 | 素材剥片の端部に調整削離を施した部分を作り出したもの |
| 削 器 | 素材剥片の両側面または一側面に調整剝離を施し、刃部を作り出したもの |
| 石 刃 | スクレーパーごとに2つみ部を作り出したもの |
| 锐形石器 | 平面形が方形で、上縫端部及び下縫端部は直線的ではなく平行になり、刃部断面が内レンズ状に鋭角をなすもの |
| 二次加工剥片 | 剥片に二次加工を施してあるもの |
| 打製石斧 | 縫に剥離調整や敲打調整を加えて形を整えた斧型の石器 |
| 磨製石斧 | 縫に剥離調整や敲打調整を加えて形を整え、磨石で磨いた斧型の石器 |
| 石 破 | 縫を素材とし、磨面・磨打痕等を有するG器 |
| ハンマーストーン | 縫を素材とし、磨面・磨打を有するもの |
| 石 盆・台石 | 縫を素材とし、磨面・磨打を有するもの |
| 砾石 | 縫を素材とし、崩壊が確認されるもの |

| 概 要 | |
|---|--|
| 上牛鼻産 | 淡色のガラス質で、薄片でも光を通さないもの。鹿児島市植福町上牛鼻凹込を産地とするもの |
| 針尾産 | 青灰色のガラス質で、不純物を少ないと見られるものの、長崎県佐世保市針尾凹込を産地とするもの |
| 桑ノ木津留産 | 白色・黒色のガラス質で、透明感があり内部まで見える。不純物をほとんど含まない良質のもの。伊佐市から熊本縣吉市の桑ノ木津留産のもの |
| 日東産 | 黒色のガラス質で、光をあまり通さないもの。均一な細かい不純物を多く含むもの。伊佐市日東西切を産地とするもの |
| 三船産 | 黒色・茶色のガラス質で、不純物が多く含まれるもの。鹿児島市三船西切を産地とするもの |
| 霧島産 | オーリーブ色～黒色のガラス質で、不純物をほとんど含まないもの。霧島町西郷山を産地とするもの |
| 藤谷産 | 黒色のガラス質で、不純物をほとんど含まず。且つ光沢をもつていても。佐賀県伊万里市藤谷で産出されるもの |
| 不純物を含み、縫石や石英を多く含み、基質はざらついた質感のもの。下記以外の産地が想定されるもの | |
| 上牛鼻産 | 灰白色を呈し、基質に気泡がわずかに含まれるものの、鹿児島市植福町上牛鼻凹込を産地とするもの |
| ハイリヤ | 灰青色を呈し、石英質の不純物を含み、基質はやや滑らかで比較的ガラス質に富む質感をしているもの |
| 黒色 | 黒色を呈し、石英質の不純物をわずかに含むもの |
| サヌカイト | 青灰色を呈し、石英質の不純物を含み、基質はやや滑らかで比較的ガラス質に富む質感をしているもの。底面構造が明瞭なもの |
| 玉隕 | 比較的透明度が高く、色調は白系、赤色または色調の異なる部分が混在するもの。やや透明感があるもの |
| 鉄石英 | 色調が赤色～紅色で光を通さないもの |
| タンバク石 | 白色系の色調を呈するもの |
| 瑪瑙 | 白色系～紫色系の色調で底面構造があるもの |
| チャート | 珪質に富み、色調は緑色、白色、黒色などを呈し、底面は滑らかで底面光沢を呈するもの |
| 真岩 | 折損が多くあるもの |
| 砂岩 | 砂粒を集合して形成した堆積物。細粒、粗粒、硬質のものがある |
| ホルンフェルス | 層状或成岩、頁岩系。風化の変故が表面に点状が生じ、粉を吹いたようになるもの |
| 流紋岩 | 紫黒色で底面構造は明瞭ではないが、緻密なもの |
| 粘板岩 | 頁岩と比較し、更に折損が多い、弹性性が強いものの |
| 凝灰岩 | 火山灰が固結してできた堆積の火成岩。硬質で脆質のもの |

2 弥生時代・古墳時代の土器の分類及び編年は、以下の文献を参考にした。

中村直子1987『成川式土器再考』『鹿大考古 第6号』鹿児島大学法文学部考古学研究室
鹿児島県立埋蔵文化財センター編2013『志原遺跡4 弥生時代・古墳時代編』鹿児島県立埋蔵文化財センター
一発掘調査報告書(178) 鹿児島県立埋蔵文化財センター

3 古代・中世の土師器の分類及び編年は、以下の文献を参考にした。

岩元康成2009『鹿児島県における12~17世紀の土師器』『南の調査・地域文化論考』南九州調査研究会
鹿児島県立埋蔵文化財センター編2004『久賀岡遺跡・跡場遺跡・高塚遺跡』鹿児島県立埋蔵文化財センター
一発掘調査報告書(71) 鹿児島県立埋蔵文化財センター

4 陶磁器の分類及び編年は、以下の文献を参考にした。

上田秀夫1982『14~16世紀の青磁磯の分類と編年について』『貿易陶磁研究』N0.2
森田 啓1982『14~16世紀の白磁の分類と編年について』『貿易陶磁研究』N0.2
太宰府市教育委員会編2000『太宰府条坊XV-陶器類分類編-』太宰府市の文化財第49集

目 次

| | |
|----------------|-----|
| 巻頭カラー | |
| 序文 | |
| 報告書抄録 | |
| 例言・凡例 | |
| 第1章 発掘調査の経過 | 1 |
| 第1節 調査に至るまでの経緯 | 1 |
| 第2節 事前調査 | 1 |
| 第3節 本調査 | 1 |
| 第4節 整理・報告書作成業務 | 3 |
| 第2章 遺跡の位置と環境 | 5 |
| 第1節 地理的環境 | 5 |
| 第2節 歴史的環境 | 5 |
| 第3章 発掘調査の方法と成果 | 9 |
| 第1節 発掘調査の方法 | 9 |
| 第2節 層序 | 11 |
| 第3節 遺構の調査 | 16 |
| 第4節 遺物 | 32 |
| 1 遺物の調査成果 | 32 |
| 2 旧石器時代の遺物 | 32 |
| 3 繩文時代の遺物 | 101 |
| 4 弥生時代～古墳時代の遺物 | 119 |
| 5 古代・中世・近世の遺物 | 139 |
| 観察表 | 143 |
| 第4章 自然科学分析 | 163 |
| 第5章 総括 | 168 |
| 写真図版 | 175 |

挿 図 目 次

| | |
|------------------------|-------|
| 第1図 周辺遺跡位置図 | 7 |
| 第2図 周辺地形図・グリッド配置図 | 10 |
| 第3図 基本層序 | 11 |
| 第4図 土層堆積状況(1) | 11 |
| 第5図 土層堆積状況(2) | 12 |
| 第6図 土層堆積状況(3) | 13 |
| 第7図 土層堆積状況(4) | 14 |
| 第8図 地層横軸の分布状況 | 15 |
| 第9図 遺構配置図 | 17 |
| 第10図 土坑1号 | 18 |
| 第11図 土坑2号 | 18 |
| 第12図 土坑3号 | 19 |
| 第13図 集石1号 | 20 |
| 第14図 集石2号 | 20 |
| 第15図 集石3号 | 20 |
| 第16図 土坑4号・出土遺物 | 21 |
| 第17図 土坑5号 | 21 |
| 第18図 土坑6号 | 21 |
| 第19図 集石4号 | 22 |
| 第20図 集石5号 | 23 |
| 第21図 集石6号 | 23 |
| 第22図 土坑7号・出土遺物 | 24 |
| 第23図 土坑8号・出土遺物 | 25 |
| 第24図 土坑9号・出土遺物 | 25 |
| 第25図 土坑10号 | 25 |
| 第26図 土坑11号・出土遺物 | 26 |
| 第27図 土坑12号 | 26 |
| 第28図 土坑13号 | 27 |
| 第29図 土坑14号 | 27 |
| 第30図 土坑15号 | 28 |
| 第31図 土坑16号 | 28 |
| 第32図 土坑17号 | 28 |
| 第33図 炙跡を伴う大型土坑状遺構・出土遺物 | 29 |
| 第34図 潙状遺構1号 | 30 |
| 第35図 潙状遺構2～6号・出土遺物 | 31 |
| 第36図 旧石器時代の遺物出土状況図 | 33・34 |
| 第37図 接合資料1 | 36 |
| 第38図 接合資料2 | 37 |
| 第39図 接合資料3 | 38 |
| 第40図 接合資料4 | 39 |
| 第41図 接合資料5 | 40 |
| 第42図 接合資料6 | 42 |
| 第43図 接合資料7 | 43 |
| 第44図 接合資料8 | 44 |
| 第45図 接合資料9 | 45 |
| 第46図 上牛鼻産黒曜石 接合資料分布図 | 46 |
| 第47図 接合資料10 | 47 |
| 第48図 接合資料11 | 49 |
| 第49図 接合資料12 | 50 |
| 第50図 接合資料13 | 51 |

| | | | |
|-----------------------|----|-------------------------------|-----|
| 第 51 図 接合資料 14 | 52 | 第 96 図 旧石器時代の石器 (19) | 100 |
| 第 52 図 玉髓 接合資料分布図 | 53 | 第 97 図 裳文時代の土器 (1) | 101 |
| 第 53 図 接合資料 15 その 1 | 54 | 第 98 図 裳文時代の土器 (2) | 102 |
| 第 54 図 接合資料 15 その 2 | 55 | 第 99 図 裳文時代の土器 (3) | 103 |
| 第 55 図 接合資料 16 | 56 | 第 100 図 裳文時代の土器 (4) | 104 |
| 第 56 図 その他の石材 接合資料分布図 | 57 | 第 101 図 裳文時代の土器 (5) | 105 |
| 第 57 図 上牛鼻産黒曜石原核 | 58 | 第 102 図 裳文時代の土器 (6) | 106 |
| 第 58 図 A 類石核 | 59 | 第 103 図 裳文時代の土器 (7) | 107 |
| 第 59 図 B 類石核 (1) | 60 | 第 104 図 裳文時代の土器 (8) | 108 |
| 第 60 図 B 類石核 (2) | 61 | 第 105 図 裳文時代の土器 (9) | 109 |
| 第 61 図 B 類石核 (3) | 63 | 第 106 国 裳文時代の土器 (10) | 110 |
| 第 62 国 B 類石核 (4) | 64 | 第 107 国 裳文時代の石器 (1) | 112 |
| 第 63 国 B 類石核 (5) | 65 | 第 108 国 裳文時代の石器 (2) | 113 |
| 第 64 国 B 類石核 (6) | 66 | 第 109 国 裳文時代の石器 (3) | 114 |
| 第 65 国 B 類石核 (7) | 67 | 第 110 国 裳文時代の石器 (4) | 115 |
| 第 66 国 B 類石核 (8) | 68 | 第 111 国 裳文時代の石器 (5) | 116 |
| 第 67 国 C 類石核 (1) | 69 | 第 112 国 裳文時代の石器 (6) | 117 |
| 第 68 国 C 類石核 (2) | 70 | 第 113 国 裳文時代の石器 (7) | 118 |
| 第 69 国 C 類石核 (3) | 71 | 第 114 国 弥生時代・古墳時代の土器出土状況図 | 120 |
| 第 70 国 C 類石核 (4) | 73 | 第 115 国 弥生時代・古墳時代の土器 (1) | 121 |
| 第 71 国 C 類石核 (5) | 74 | 第 116 国 壱 1 類分布図 | 121 |
| 第 72 国 D 類石核 | 76 | 第 117 国 弥生時代・古墳時代の土器 (2) | 123 |
| 第 73 国 E 類石核 (1) | 77 | 第 118 国 弥生時代・古墳時代の土器 (3) | 124 |
| 第 74 国 E 類石核 (2) | 78 | 第 119 国 弥生時代・古墳時代の土器 (4) | 125 |
| 第 75 国 F 類石核 | 79 | 第 120 国 壱 2 類・3 類分布図 | 125 |
| 第 76 国 F 類スパール | 79 | 第 121 国 弥生時代・古墳時代の土器 (5) | 126 |
| 第 77 国 石核類及び剥片類出土状況図 | 80 | 第 122 国 弥生時代・古墳時代の土器 (6) | 127 |
| 第 78 国 旧石器時代の石器 (1) | 82 | 第 123 国 弥生時代・古墳時代の土器 (7) | 128 |
| 第 79 国 旧石器時代の石器 (2) | 83 | 第 124 国 壱 4 類分布図 | 128 |
| 第 80 国 旧石器時代の石器 (3) | 84 | 第 125 国 弥生時代・古墳時代の土器 (8) | 129 |
| 第 81 国 旧石器時代の石器 (4) | 85 | 第 126 国 弥生時代・古墳時代の土器 (9) | 130 |
| 第 82 国 旧石器時代の石器 (5) | 86 | 第 127 国 弥生時代・古墳時代の土器 (10) | 131 |
| 第 83 国 旧石器時代の石器 (6) | 87 | 第 128 国 弥生時代・古墳時代の土器 (11) | 132 |
| 第 84 国 旧石器時代の石器 (7) | 88 | 第 129 国 弥生時代・古墳時代の土器 (12) | 133 |
| 第 85 国 旧石器時代の石器 (8) | 89 | 第 130 国 弥生時代・古墳時代の土器 (13) | 134 |
| 第 86 国 旧石器時代の石器 (9) | 90 | 第 131 国 弥生時代・古墳時代の土器 (14) | 135 |
| 第 87 国 旧石器時代の石器 (10) | 91 | 第 132 国 弥生時代・古墳時代の土器 (15) | 137 |
| 第 88 国 旧石器時代の石器 (11) | 92 | 第 133 国 弥生時代・古墳時代の土器 (16) | 138 |
| 第 89 国 旧石器時代の石器 (12) | 93 | 第 134 国 古代・中世・近世の遺物 (1) | 140 |
| 第 90 国 旧石器時代の石器 (13) | 94 | 第 135 国 古代・中世・近世の遺物 (2) | 141 |
| 第 91 国 旧石器時代の石器 (14) | 95 | 第 136 国 古代・中世・近世の遺物 (3) | 142 |
| 第 92 国 旧石器時代の石器 (15) | 96 | 第 137 国 旧石器時代の石器出土状況 | 170 |
| 第 93 国 旧石器時代の石器 (16) | 97 | 第 138 国 F 類(福井型細石核)とその関連資料 | 171 |
| 第 94 国 旧石器時代の石器 (17) | 98 | 第 139 国 「福井方式」の分布 | 171 |
| 第 95 国 旧石器時代の石器 (18) | 99 | 第 140 国 旧石器時代～縄文時代の剥片石器類出土状況図 | 172 |

表 目 次

| | | |
|------|---------------------|-----|
| 第1表 | 周辺遺跡地名 | 6 |
| 第2表 | 遺構名称の変更 | 16 |
| 第3表 | 石核・細石核・ブランクの類型 | 35 |
| 第4表 | 弥生時代・古墳時代の甕の分類 | 119 |
| 第5表 | 弥生時代・古墳時代の高坏の分類 | 136 |
| 第6表 | 遺構内出土土器 観察表 | 143 |
| 第7表 | 遺構内出土土器 観察表(1) | 143 |
| 第8表 | 遺構内出土土器 観察表(2) | 143 |
| 第9表 | 遺構内出土土器 観察表(3) | 143 |
| 第10表 | 旧石器時代の石器 観察表(1) | 143 |
| 第11表 | 旧石器時代の石器 観察表(2) | 144 |
| 第12表 | 旧石器時代の石器 観察表(3) | 145 |
| 第13表 | 旧石器時代の石器 観察表(4) | 146 |
| 第14表 | 旧石器時代の石器 観察表(5) | 147 |
| 第15表 | 旧石器時代の石器 観察表(6) | 148 |
| 第16表 | 旧石器時代の石器 観察表(7) | 149 |
| 第17表 | 旧石器時代の石器 観察表(8) | 150 |
| 第18表 | 旧石器時代の石器 観察表(9) | 151 |
| 第19表 | 旧石器時代の石器 観察表(10) | 152 |
| 第20表 | 縄文時代の土器 観察表(1) | 152 |
| 第21表 | 縄文時代の土器 観察表(2) | 153 |
| 第22表 | 縄文時代の土器 観察表(3) | 154 |
| 第23表 | 縄文時代の石器 観察表(1) | 155 |
| 第24表 | 縄文時代の石器 観察表(2) | 156 |
| 第25表 | 弥生時代・古墳時代の土器 観察表(1) | 157 |
| 第26表 | 弥生時代・古墳時代の土器 観察表(2) | 158 |
| 第27表 | 弥生時代・古墳時代の土器 観察表(3) | 159 |
| 第28表 | 弥生時代・古墳時代の土器 観察表(4) | 160 |
| 第29表 | 古代の遺物 観察表(1) | 160 |
| 第30表 | 古代の遺物 観察表(2) | 161 |
| 第31表 | 古代の遺物 観察表(3) | 161 |
| 第32表 | 中世の遺物 観察表 | 161 |
| 第33表 | 陶磁器類 観察表 | 161 |
| 第34表 | 青花・染付 観察表 | 162 |
| 第35表 | 国産陶磁器類 観察表 | 162 |
| 第36表 | 土師器 観察表 | 162 |
| 第37表 | 須恵器 観察表 | 162 |
| 第38表 | その他 観察表(1) | 162 |
| 第39表 | その他 観察表(2) | 162 |
| 第40表 | その他 観察表(3) | 162 |
| 第41表 | 石核類の石材別個体数 | 168 |
| 第42表 | 剥片石器類の層位別石材数 | 169 |

図 版 目 次

| | | |
|--------|---------------------------------|-----|
| 卷頭図版 1 | 上空から見た羅之内遺跡（南から） | |
| 卷頭図版 2 | 旧石器時代の石器接合資料 | |
| 卷頭図版 3 | 旧石器時代の石器（牛上鼻産黒曜石） | |
| 卷頭図版 4 | 弥生時代・古墳時代の土器 | |
| 図版 1 | 羅之内遺跡近景（北から）、調査前状況 | 175 |
| 図版 2 | 土層堆積状況、地層の横断 | |
| | 旧石器時代の遺物出土状況 | 176 |
| 図版 3 | 旧石器時代の遺物出土状況、冬の調査状況 | 177 |
| 図版 4 | 土坑 1 号、土坑 3 号 | 178 |
| 図版 5 | 集石 2 号、土坑 4 号、土坑 6 号、集石 4 号 | |
| | 集石 5 号、集石 6 号、集石実測風景 | 179 |
| 図版 6 | 土坑 7 号、土坑 10 号、土坑 11 号 | 180 |
| 図版 7 | 土坑 12 号、土坑 13 号、土坑 14 号、土坑 16 号 | |
| | 土器(1202)出土状況、調査風景 | 181 |
| 図版 8 | 炉跡を伴う大型土坑状遺構 | 182 |
| 図版 9 | 遺物出土状況、溝状遺構 4 号・5 号 | |
| | 溝状遺構 6 号、溝状遺構 | 183 |
| 図版 10 | 旧石器時代の遺物(1) | 184 |
| 図版 11 | 旧石器時代の遺物(2) | 185 |
| 図版 12 | 旧石器時代の遺物(3) | 186 |
| 図版 13 | 旧石器時代の遺物(4) | 187 |
| 図版 14 | 旧石器時代の遺物(5) | 188 |
| 図版 15 | 旧石器時代の遺物(6) | 189 |
| 図版 16 | 旧石器時代の遺物(7) | 190 |
| 図版 17 | 旧石器時代の遺物(8) | 191 |
| 図版 18 | 縄文時代の遺物(1) | 192 |
| 図版 19 | 縄文時代の遺物(2) | 193 |
| 図版 20 | 縄文時代の遺物(3) | 194 |
| 図版 21 | 縄文時代の遺物(4) | 195 |
| 図版 22 | 弥生時代・古墳時代の遺物(1) | 196 |
| 図版 23 | 弥生時代・古墳時代の遺物(2) | 197 |
| 図版 24 | 古代・中世・近世の遺物(1) | 198 |
| 図版 25 | 古代・中世・近世の遺物(2) | 199 |

第1章 発掘調査の経過

第1節 調査に至るまでの経緯

国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所（以下「鹿児島国道事務所」という。）は、「南九州西回り自動車道川内隈之城道路建設」の施工計画に基づき、事業区内における埋蔵文化財の有無について、鹿児島県教育庁文化財課（以下「県文化財課」という。）に照会した。

これを受け、県文化財課は平成18年度に計画路線内の分布調査を実施し、堀之内遺跡等7遺跡の存在を確認した。

この分布調査の結果を受けて、鹿児島国道事務所、県文化財課、鹿児島県立埋蔵文化財センター（以下「埋文センター」という。）で協議を行い、設計変更等が不可能であり、埋蔵文化財の保護と事業推進を図るために、堀之内遺跡の本調査が開始されることとなった。

本遺跡の調査対象延面積は15,716m²であるが、用地取得等の関係から平成21年度に900m²、平成22年度に4,700m²、平成23年度に9,501m²及び平成24年度に615m²の発掘調査を実施した。

各年度の本調査は、平成21年11月16日～平成22年3月19日、平成22年10月5日～平成23年2月24日、平成23年5月9日～平成24年3月9日及び平成24年7月17日～8月10日の期間で実施した。

報告書作成作業は、平成23年度～平成25年度の3年間実施された。平成23年度と平成24年度の整理作業は、埋文センターが西回り整理作業所で実施した。

平成25年度の整理作業は、埋文センターの国事業に係る発掘調査業務が、公益財団法人鹿児島県文化振興財团埋蔵文化財調査センター（以下「埋文調査センター」という。）へ移管されたことに伴い、県文化財課からの委託を受けた埋文調査センターが実施した。

また、平成25年度の整理作業では、作業の効率化等を目的として、「公益財団法人鹿児島県文化振興財团埋蔵文化財調査センター埋蔵文化財整理作業及び報告書作成作業支援業務の委託実施要項」（以下「実施要項」という。）に基づき、株式会社九州文化財研究所へ整理作業及び報告書作成作業支援業務の委託を行った。

第2節 事前調査

分布調査 平成18年6月12日～13日

調査体制

調査主体 鹿児島県教育委員会

企画・調整 鹿児島県教育庁文化財課

課長 中尾 理

文化財主事兼

埋蔵文化財係長 青崎 和恵

調査担当 鹿児島県教育庁文化財課

文化財主事 堂込 秀人

鹿児島県立埋蔵文化財センター

主任文化財主事 宮田 栄二

立会者 九州地方整備局鹿児島国道事務所

調査課計画係 祝追 龍一

第3節 本調査

本調査は平成21年11月16日～平成22年3月19日、平成22年10月5日～平成23年2月24日、平成23年5月9日～平成24年3月9日及び平成24年7月17日～8月10日の期間実施した。調査組織については、以下のとおりである。

1 調査体制

平成21年度

事業主体 国土交通省九州地方整備局

鹿児島国道事務所

調査主体 鹿児島県教育委員会

調査責任者 鹿児島県立埋蔵文化財センター

所長 山下 言美

調査企画者 次長兼総務課長 斎藤 守重

次長兼南の麗文調査室長 青崎 和恵

調査第二課長 沢榮 久志

主任文化財主事兼

調査第二課第二調査係長 富田 逸郎

調査担当 文化財主事 沢木 茂樹

文化財主事 田畠 哲治

文化財主事 市村 哲二

調査事務 総務係長 紙屋 伸一

主査 烏越 寛晴

調査指導 鹿児島国際大学 教授 中國 聰

平成22年度

事業主体 国土交通省九州地方整備局

鹿児島国道事務所

調査主体 鹿児島県教育委員会

調査責任者 鹿児島県立埋蔵文化財センター

所長 山下 言美

調査企画者 次長兼総務課長 田中 明成

次長兼南の麗文調査室長 中村 耕治

調査第二課長 井ノ上秀文

主任文化財主事兼

調査第二課第二調査係長 鶴田 静彦

文化財主事 沢木 茂樹

文化財主事 光永 誠

| | | | |
|-----------------|----------------|---|--------------------------------------|
| | 文化財調査員 | 花田 寛典 | 平成 22 年 1 月 |
| 調査事務 | 総務係長 | 大園 祥子 | 先行トレンチ調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。 |
| | 専門員 | 鳥越 寛晴 | 平成 22 年 2 月 |
| 平成 23 年度 | | | |
| 事業主体 | 国土交通省九州地方整備局 | E～G-10～13区Ⅲ層・Ⅳ層の調査。G-8区Ⅲ層～V層の調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。空中写真撮影。中園聰氏調査指導。 | |
| | 鹿児島国道事務所 | | |
| 調査主体 | 鹿児島県教育委員会 | 平成 22 年 3 月 | |
| 調査責任者 | 鹿児島県立埋蔵文化財センター | E～G-9～12区Ⅱ層～IV層の調査。G-8区IV層・V層の調査。G-7区II層～V層の調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。調査終了。 | |
| | 所 長 | 寺田 仁志 | |
| 調査企画者 | 次長兼総務課長 | 田中 明成 | |
| | 次長兼南の纏文調査室長 | 井ノ上秀文 | |
| | 調査第二課長 | 富田 逸郎 | |
| | 主任文化財主事兼 | | |
| 調査担当 | 調査第二課第二調査係長 | 鶴田 静彦 | |
| | 文化財主事 | 抜木 茂樹 | |
| | 文化財主事 | 廣 栄二 | |
| | 文化財調査員 | 西坂 知穂 | |
| 調査事務 | 総務係長 | 大園 祥子 | |
| | 主 査 | 岡村 伸吾 | |
| 調査指導 | 鹿児島大学 | 教授 森脇 広 | |
| 平成 24 年度 | | | |
| 事業主体 | 国土交通省九州地方整備局 | E～G-14～17区II層～III層の調査。B～G-2～5区先行トレンチ調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。 | |
| | 鹿児島国道事務所 | 平成 22 年 10 月 | |
| 調査主体 | 鹿児島県教育委員会 | 調査開始。調査施設設営及び環境整備。重機による表土除去。F・G-12～16区II層及びA～D-14～16区II層・III層の調査。遺構検出。 | |
| 調査責任者 | 鹿児島県立埋蔵文化財センター | 平成 22 年 11 月 | |
| | 所 長 | 寺田 仁志 | |
| 調査企画者 | 次長兼総務課長 | A～E-14～17区III層～V層の調査。F・G-14～15区II層・III層の調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。地形測量。 | |
| | 次長兼南の纏文調査室長 | 井ノ上秀文 | |
| | 調査第二課長 | 富田 逸郎 | |
| | 主任文化財主事兼 | | |
| 調査担当 | 調査第二課第二調査係長 | 鶴田 静彦 | |
| | 文化財主事 | 抜木 茂樹 | |
| | 文化財調査員 | 西坂 知穂 | |
| 調査事務 | 総務係長 | 大園 祥子 | |
| | 主 事 | 池之上勝太 | |

2 調査の経過

調査の経過については、日誌抄を月ごとに集約して記載した。

平成 21 年度

平成 21 年 11 月

調査開始。調査施設設営及び環境整備。先行トレンチを設定、掘削。遺物取り上げ。遺構検出。

平成 21 年 12 月

先行トレンチ調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。

平成 22 年 1 月

先行トレンチ調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。

平成 22 年 2 月

E～G-10～13区Ⅲ層・Ⅳ層の調査。G-8区Ⅲ層～V層の調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。空中写真撮影。中園聰氏調査指導。

平成 22 年 3 月

E～G-9～12区Ⅱ層～IV層の調査。G-8区IV層・V層の調査。G-7区II層～V層の調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。調査終了。

平成 22 年度

平成 22 年 10 月

調査開始。調査施設設営及び環境整備。重機による表土除去。F・G-12～16区II層及びA～D-14～16区II層・III層の調査。遺構検出。

平成 22 年 11 月

A～E-14～17区III層～V層の調査。F・G-14～15区II層・III層の調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。地形測量。

平成 22 年 12 月

E～G-14～17区II層～III層の調査。B～G-2～5区先行トレンチ調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。

平成 23 年 1 月

B～D-14～15区II層～III層、F・G-14～17区III層、B～G-4～5区III層～VI層、B・C-7～13区II層・III層の調査。D～F-2～4区先行トレンチ調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。

平成 23 年 2 月

B・C-7～13区、II層・III層、F・G-12～17区III層の調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。空中写真撮影。調査終了。

平成 23 年度

平成 23 年 5 月

調査開始。調査施設設営及び環境整備。調査区の伐開及び重機による表土除去。C～F-6～9区II層・III層、D・E-15～17区IV層・V層、E～G-12～17区III層・IV層の調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。地形測量。

平成 23 年 6 月

E～G-6～9区III層・IV層、C～E-6～13区II層・III層、B～D-6・7区IV層～VI層の調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。

平成 23 年 7 月

暑さ対策のため遮光ネット設置。F・G-6～9区IV層

～VI層、C～E-6～13区Ⅲ層・IV層、D・E-13～15区Ⅱ層・Ⅲ層の調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。地形測量。

平成 23 年 8 月

E～G-13～17区Ⅳ層～VI層、G-6・7区V層・VI層、A～E-6～10区Ⅳ層・V層の調査。E～G-12～17区旧石器時代の調査開始。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。

平成 23 年 9 月

A・B-6～14区Ⅱ層・Ⅲ層、C～E-11～14区Ⅱ層・Ⅲ層の調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。

平成 23 年 10 月

A～E-6～8区V層・VI層、A～E-9・10区IV層・V層、A～E-11～14区Ⅲ層・IV層の調査。A～D-6～8区旧石器時代の調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。地形測量。空中写真撮影。

平成 23 年 11 月

A～E-9～10区IV層～VI層、A～E-11～14区Ⅲ層・IV層、E・F-14・15区V層・VI層の調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。森脇広氏調査指導。

平成 23 年 12 月

A～D-10・11区IV層～VI層、A～E-11～14区IV層・V層の調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。

平成 24 年 1 月

B・C-12～14区V層・VI層、D～F-12・13区V層・VI層、B～D-9・10区V層・VI層の調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。

平成 24 年 2 月

B・C-12～14区V層・VI層、B～D-10～14区V層・VI層の調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。地形測量。

平成 24 年 3 月

B～D-13・14区VI層の調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。地形測量。調査終了。

平成 24 年度

平成 24 年 7 月

調査開始。調査施設設営及び環境整備。重機による表土除去。D-14・15区Ⅱ層・Ⅲ層、E-14～16区Ⅱ層・Ⅲ層の調査。遺物取り上げ。遺構検出。

平成 24 年 8 月

D・E-14～16区Ⅲ層～VI層の調査。遺物取り上げ。遺構検出、掘り下げ、遺構実測、写真撮影。地形測量。

第4節 整理・報告書作成業務

1 整理・報告書作業の組織

本報告書作成に伴う整理・報告書作成作業は、平成23年度から平成25年度にかけて実施した。平成23年度及び平成24年度の整理作業は、埋文センターの西回り整理作業所で実施した。

平成25年度の整理作業は、県文化財課から委託を受けた埋文センターが実施した。その期間は、平成25年4月～平成26年3月まで、埋文センターの第二整理作業所で行った。

整理・報告書作成に係る組織は以下のとおりである。

平成 23 年度（平成 23 年 6 月～平成 24 年 3 月）

調査主体 鹿児島県教育委員会

作業統括 鹿児島県立埋蔵文化財センター

| | |
|------|-------------------|
| 所長 | 寺田 仁志 |
| 作成企画 | 次長兼総務課長 田中 明成 |
| | 次長兼南の綱文調査室長 井ノ上秀文 |
| | 調査第二課長 富田 逸郎 |
| | 主任文化財主事 兼 |
| | 調査第二課第二調査係長 鶴田 静彦 |
| 作成担当 | 文化財主事 富山 孝一 |
| 事務担当 | 総務係長 大園 桂子 |
| | 主査 岡村 信吾 |

平成 24 年度（平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月）

調査主体 鹿児島県教育委員会

作業統括 鹿児島県立埋蔵文化財センター

| | |
|------|-------------------|
| 所長 | 寺田 仁志 |
| 作成企画 | 次長兼総務課長 田中 明成 |
| | 次長兼南の綱文調査室長 井ノ上秀文 |
| | 調査第二課長 富田 逸郎 |
| | 主任文化財主事 兼 |
| | 調査第二課第二調査係長 鶴田 静彦 |
| 作成担当 | 文化財主事 拠水 茂樹 |
| | 文化財調査員 西坂 知穂 |
| 事務担当 | 総務係長 大園 桂子 |
| | 主事 池之上勝太 |
| 整理指導 | 鹿児島大学 教授 本田 道輝 |
| | 鹿児島大学 准教授 中村 直子 |

平成 25 年度（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）

調査主体 鹿児島県教育委員会

作業統括 公益財團法人鹿児島県文化振興財團

埋蔵文化財調査センター

| | |
|-------|-----------------|
| センター長 | 富田 逸郎 |
| 作成企画 | 総務課長兼総務係長 山方 直幸 |
| | 調査課長 鶴田 静彦 |
| | 調査第二係長 寺原 徹 |

| | | | |
|---|-----------------------------------|--------------------------|-------------------------|
| 作成担当 | 文化財専門員 | 森 幸一郎 | 8月 遺物洗浄、注記、石器実測 |
| 事務担当 | 総務課長兼総務係長 | 山方 直幸 | 9月 石器接合、土器接合、石器実測、データ入力 |
| 主査 | 岡村 信吾 | 10月 石器接合、石器実測 | |
| 事業推進員 | 川崎 麻衣 | 11月 石器接合、土器接合、石器実測、データ入力 | |
| 整理指導 | | 12月 石器接合、土器接合、石器実測 | |
| | 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 | 本田道輝氏整理指導、中村直子氏整理指導 | |
| | 研究員 芝 康次郎 | 1月 石器接合、土器接合、実測遺物選別 | |
| 報告書作成指導委員会 | | 2月 石器接合、土器接合、実測遺物選別 | |
| | 平成 26 年 1 月 23 日 調査課長ほか 5 名 | 3月 石器接合、土器接合、実測遺物選別 | |
| 報告書作成検討委員会 | | | |
| | 平成 26 年 1 月 24 日 センター長ほか 4 名 | | |
| 整理作業及び報告書作成作業支援業務の委託 | | | |
| 整理作業及び報告書作成作業の実施にあたり、埋文調査センターは「実施要項」に基づき、株式会社九州文化財研究所へ整理作業及び報告書作成作業支援業務の委託を行った。委託の内容は以下のとおりである。 | | | |
| 委託先 | 株式会社九州文化財研究所 | | |
| 契約期間 | 平成 25 年 4 月 23 日～平成 26 年 3 月 14 日 | | |
| 作業期間 | 平成 25 年 6 月 3 日～平成 26 年 2 月 21 日 | | |
| 委託内容 | 報告書作成作業支援業務 一式 | | |
| | 整理作業支援業務 一式 | | |
| | 印刷製本業務 一式 | | |
| 担当者 | 主任調査支援員 稲富 陽子 | | |
| | 調査支援員 鮫島 伸吾 | | |
| 検査 | 中間検査 平成 25 年 9 月 26 日 | | |
| | 完成検査 平成 26 年 3 月 12 日 | | |

2 整理作業の経過

整理作業の経過は以下のとおりである。

平成 23 年度

- 6月 遺物整理、図面整理
- 7月 遺物洗浄、遺物注記、図面整理
- 8月 遺物洗浄、遺物注記
- 9月 遺物分類、接合、復元
- 10月 土器接合、復元、遺物実測
- 11月 遺物実測
- 12月 遺物実測
- 1月 遺物実測
- 2月 遺物実測、図面整理
- 3月 遺物実測、図面整理

平成 24 年度

- 4月 石器選別、土器接合、データ入力
- 5月 石器接合、土器接合、データ入力
- 6月 石器接合、土器実測、データ入力
- 7月 石器接合、土器実測、データ入力

平成 25 年度

- 4月 支援業務委託準備、入札、図面整理
- 5月 支援業務委託準備、石器実測準備、図面整理
- 6月 支援業務委託開始、土器再分類、再選別、石器実測準備・実測、図面整理
- 7月 土器再分類、土器実測、石器実測、図面整理
- 8月 土器実測、石器実測・トレース、台帳作成、図面整理、原稿執筆
- 9月 土器実測、石器実測・トレース、台帳作成、図面整理、原稿執筆、石器実測・トレースに係る管理、中間検査
- 10月 土器実測・トレース、石器実測・トレース、観察表作成、図面整理、原稿執筆
- 11月 土器実測・トレース、石器実測・トレース、挿図作成（スキヤニング・トリミング）、写真撮影、観察表作成、原稿執筆
- 12月 石器実測・トレース、挿図作成（スキヤニング・トリミング）、写真撮影、観察表作成、原稿執筆、レイアウト
- 1月 石器トレース、挿図作成（スキヤニング・トリミング）、写真撮影、観察表作成、原稿執筆、レイアウト、入稿
- 2月 校正、成果物収納、支援業務委託作業終了
- 3月 成果物提出、支援業務委託終了、完成検査

第2章 遺跡の位置と環境

第1節 地理的環境

堀之内遺跡は、薩摩川内市青山町字堀之内、字焼居に所在する。堀之内遺跡が位置する地点は、標高約43mのほぼ東西方向に広がる舌状の丘陵である。丘陵は、川内川の支流である木場谷川中流右岸側に立地し、河床からの比高差は約10mである。調査区を含む丘陵部は畑地として利用されている。

堀之内遺跡が所在する薩摩川内市は、薩摩半島の北西部（北緯31°46'、東経130°18'）に位置する。西は東シナ海に面し、県内第一の河川である川内川を有する薩摩川内市は、古くから陸上・水上交通の要所であり、現在でも北薩地域の政治・経済の中心地となっている。

北から東北にかけては、紫尾山に続く出水山地で、阿久根市、出水市、さつま町と境をなす。東側は寺山（上床山地）を中心に標高300mの山々が連なり、さつま町、姶良市に至る。南側は、修験場として古くから有名な冠岳を主峰とする標高500mの山々や高江山地によっていちき串木野市と接している。

地形は、山岳地帯、台地、沖積平野、砂丘に大別される。山地の麓には、平野を取り巻くように権現原台地や国分寺台地など低いシラス台地が発達し、宅地や畠地として利用されている。シラス台地は、山地からの河川による浸食を受けたため台地の間には狭小な谷底平野が発達するとともに、台地の縁辺部にはシラス台地特有の浸食谷が複雑に発達し、急崖をなし、沖積平野へと移行する。これらの平野部（河岸段丘）では、薩摩国分寺跡など多くの重要な遺跡が発見されている。

市の中心地は、三方を山に囲まれた盆地状の地形をなし、これらの山々は東シナ海側に向かって開けている。中心地を流れる川内川は本県最大の河川である。川内川は熊本県白岳山に源を発し、広範囲に沖積平野を形成し東シナ海に注いでいる。

川内川下流域に広がる平野は川内平野と呼ばれ、山地が多く平野の少ない南九州において大口盆地、出水平野、肝属平野と肩を並べる穀倉地帯である。

川内川下流域の両岸には、長さ約8kmにわたって自然堤防が形成される。自然堤防が最も発達した大小路町、向田町周辺は現在の市街地の中心部であるが、近年実施された発掘調査により、自然堤防上で多くの遺構・遺物が発見され、古くから人々の活動の中心地であったことをうかがわせる。

沖積平野の周辺には、高城川、平佐川、隈之城川などの川内川の支流によって形成された狭小な谷底平野が発達している。

第2節 歴史的環境

薩摩川内市は肥沃な川内平野を有し、交通の要所でもあるために古代以来薩摩半島を中心とする本県において、政治、文化、経済の中心地であった。特に、奈良時代には薩摩国府及び国分寺が置かれ、薩摩国の中心であつた。

「川内」という地名は、薩摩国府がおかれた地域が川内川の内側にあることから「川内」と称され、対岸に属する地域を「川外」と呼んだことに由来するといわれる。

旧石器時代

馬立遺跡において県内で初めて旧石器時代の尖頭器が発見され、この地域は、本県における旧石器時代研究の発展点となった。1970年代後半以降、隈之城バイパス建設や九州新幹線建設等の開発に伴う大規模な発掘調査が実施され、成岡遺跡、上野城跡、大原野遺跡、前畠遺跡から剥片尖頭器、ナイフ形石器、細石刃などが発見された。

南九州西回り自動車道建設に伴う発掘調査においても、本遺跡や山口遺跡から旧石器時代の遺物が発見されており、川内平野における旧石器時代の様相が明らかになりつつある。

縄文時代

縄文時代になると、東シナ海を介した交流の活発化を示す遺物が多くの遺跡で発見されている。前畠遺跡では中九州で多く出土する中原式土器が出土するなど、縄文時代早期にかなり広範囲な交流があったことを示唆している。

縄文時代前期・中期では、遺跡数・資料数が減少するが、縄文時代後期になると遺跡数が増加する。代表的な遺跡として、土坑墓や骨角器が発見された爰之浦貝塚や楠元遺跡がある。両遺跡とも在地の市来式土器に伴って、北部九州・中九州系の鐘崎式土器や北久根山式土器等の磨削縄文土器が出土している。

縄文時代晩期になると再び遺跡数は減少するものの、計志加里遺跡では黒川式土器と縄文時代晩期の壺形土器が出土している。

弥生時代

弥生時代になると、川内川下流域の平野部や沼沢地が新たな生産拠点として利用された。

京田遺跡や楠元遺跡では、水田跡と木製鋤や鍬等の農具を中心とした木製品が出土した。弥生時代終末の集落跡と、それに隣接する低地で水田跡が発見されている。また、京田遺跡では、湿地で、地形に左右され不定形で小規模な水田跡が確認されている。これらの事例から、本地域では、水田稲作は中期後半以降に確実に定着して

第1表 周辺遺跡地名表

| 番号 | 遺跡名 | 所在地 | 地形 | 時代 | 備考 |
|----|--------|------------|-------|------------|------------|
| 1 | 尾賀台遺跡 | 薩摩川内市隈之城町 | 丘陵 | 縄文時代後期～中世 | |
| 2 | 桙城跡 | 薩摩川内市隈之城町 | 丘陵 | | |
| 3 | 池尻遺跡 | 薩摩川内市隈之城町 | 丘陵 | 古墳時代 | |
| 4 | 菱田遺跡 | 薩摩川内市隈之城町 | | 縄文時代晚期 | |
| 5 | 矢倉城跡 | 薩摩川内市矢倉町 | 低地 | | 消滅 |
| 6 | 西ノ口遺跡 | 薩摩川内市隈之城町 | 台地 | 古墳時代 | |
| 7 | 湯之谷遺跡 | 薩摩川内市隈之城町 | 山腹緩斜面 | 平安時代 | |
| 8 | 上ノ原遺跡 | 薩摩川内市中福良町 | 台地 | 縄文時代～中世 | |
| 9 | 西ノ平遺跡 | 薩摩川内市中福良町 | 台地 | 旧石器時代～近世 | |
| 10 | 成岡遺跡 | 薩摩川内市中福良町 | 台地 | 旧石器時代～近世 | |
| 11 | 立石A遺跡 | 薩摩川内市中福良町 | 段丘 | 縄文時代～中世 | |
| 12 | 立石B遺跡 | 薩摩川内市中福良町 | 段丘 | 縄文時代～中世 | |
| 13 | 集遺跡 | 薩摩川内市中福良町 | 台地 | 縄文時代～中世 | |
| 14 | 上新田遺跡 | 薩摩川内市青山町 | 丘陵 | 縄文時代～近世 | |
| 15 | 堀之内遺跡 | 薩摩川内市青山町 | 丘陵 | 旧石器時代～近世 | |
| 16 | 床並遺跡 | 薩摩川内市青山町 | 台地 | 古墳時代～中世 | |
| 17 | 山仁田遺跡 | 薩摩川内市青山町 | 台地 | 縄文時代、中世、近世 | |
| 18 | 瀬田遺跡 | 薩摩川内市青山町 | 丘陵 | 古墳時代～中世 | |
| 19 | 麦遺跡 | 薩摩川内市都町 | 低地 | 縄文時代～中世 | |
| 20 | 総徳城跡 | 薩摩川内市都町 | 丘陵 | | 別称「南城」「麦城」 |
| 21 | 都城跡 | 薩摩川内市都町 | 丘陵 | | |
| 22 | 山口遺跡 | 薩摩川内市都町 | 台地 | 旧石器時代～近世 | |
| 23 | 霜月田遺跡 | 薩摩川内市都町 | 台地 | 旧石器時代～近世 | |
| 24 | 四反田遺跡 | 薩摩川内市尾白江町 | 低地 | 古代・中世 | |
| 25 | 瀬戸山遺跡 | 薩摩川内市木場茶屋町 | 台地 | 古墳時代～近世 | |
| 26 | 木場原A遺跡 | 薩摩川内市木場茶屋町 | 台地 | 縄文時代～古代 | |
| 27 | 木場原B遺跡 | 薩摩川内市木場茶屋町 | 台地 | 縄文時代～中世 | |
| 28 | 藏迫遺跡 | 薩摩川内市木場茶屋町 | 台地 | 古墳時代～中世 | |
| 29 | 山口原遺跡 | 薩摩川内市山之口町 | 台地 | 古墳時代～近世 | |

いること、この時代の南九州の水田は、自然の沼沢地等を利用した湿田が一般的とされるが、それを証明することとなった。

川内川の自然堤防上に立地する大島遺跡では、水田跡は検出されていないが、石包丁が出土しており、水稻耕作を生業とする生活を営んでいたことが想定される。また、弥生時代前期～終末にかけて在地の土器に伴い、北部九州や中九州を由来とする須玖式系土器、黒髪式系土器などが出土しており、他地域との活発な交流や川内川流域の弥生土器の型式変化を知ることのできる重要な資料である。

外川江遺跡では弥生時代後期の内行花文鏡が、麦之浦遺跡では後漢鏡片が出土した。このことは、青銅器の少ない南九州弥生社会の中における川内地域の特異性を示している。

上新田遺跡では、入来II式土器を伴う堅穴住居跡が5

基検出された。住居跡からは黒髪式土器、須玖式土器も出土し、在地の駿土・技法を用いながら黒髪式、須玖式土器を模倣したと推測される土器も出土した。

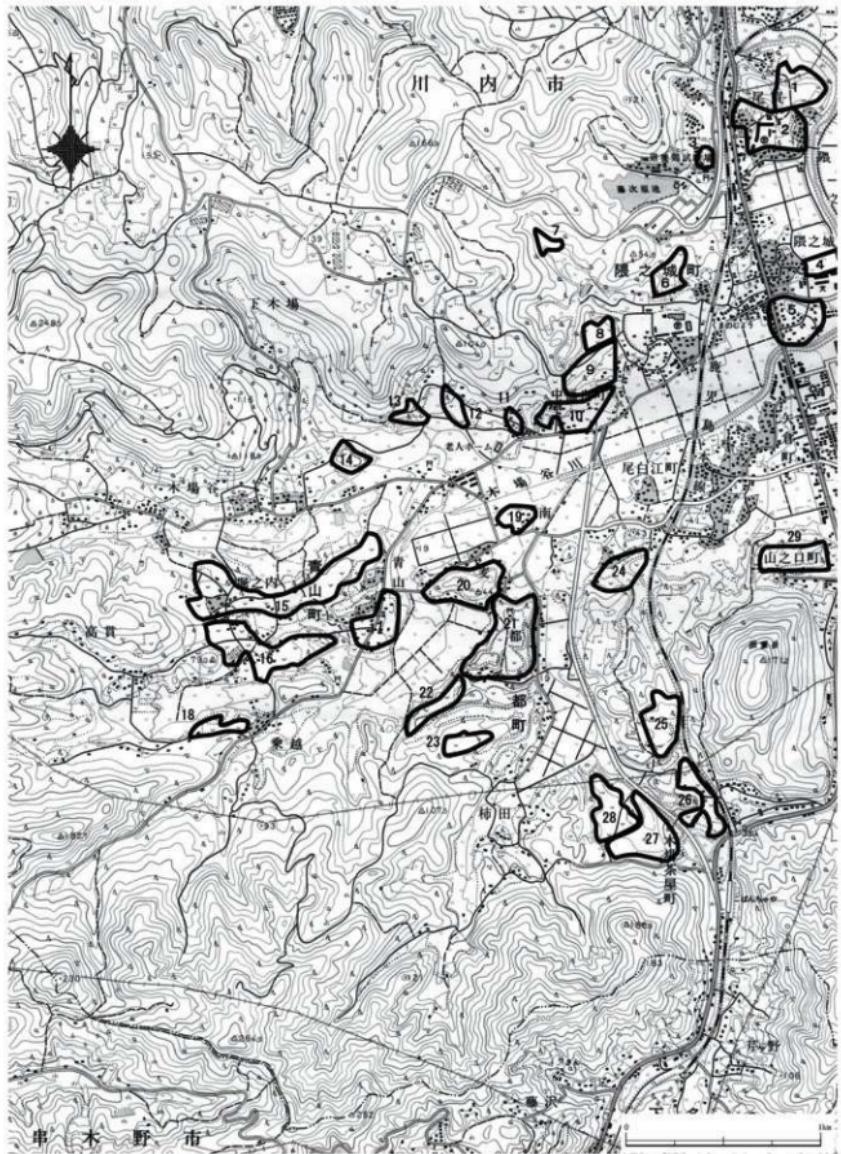
川骨遺跡では弥生終末期の土器集中遺構が13基発見された。この遺構からは、器台、免田式土器、「十」印が線刻されている意形土器などが出土し、他地域の影響をうけた水辺の祭祀遺構と考えられている。

これらの発掘調査は、当該地域における水田稼作の実態を明らかにするだけでなく、南九州における弥生文化の解明に繋がる重要な発見となった。

古墳時代

いわゆる「高塚古墳」の分布が希薄な本県の中で、川内平野と肝属平野一帯は、古墳文化が波及し定着する注目すべき地域である。

川内平野では、陵墓に指定されている可愛山稜をはじめ、前方後円墳の可能性が指摘される端陵、円墳の可能



第1図 周辺遺跡位置図(1:25,000)

性がある安養寺丘古墳や船間島古墳などが知られている。また、平成21年の天辰寺前古墳の調査では、竪穴式石室に埋葬された成人女性の入骨と、貝輪などの豊富な副葬品が出土した。

在地系の墓制としては、横岡古墳で5世紀から7世紀にかけて築造された7基の地下式板石積石室墓（板石積石棺墓）が発見されている。

このように、川内平野は畿内系の古墳と在地の墓制である地下式板石積石室墓（板石積石棺墓）の分布が重複し、古墳文化周辺部の様相をよく現している。

古代

大宝元年（701年）大宝律令が制定され、律令制度による政治の仕組みがほぼ整った。それを受け翌702年には薩摩国が日向国から分離され、御領町・国分寺町に広がる河岸段丘に薩摩国府が設置された。奈良時代末には、薩摩国府に隣接する形で薩摩郡分寺が建立され、薩摩国における政治・文化の中心地となった。

1968～1970年の発掘調査によって国分寺跡の寺域や、伽藍配置などが明らかとなり、国分寺創建時の瓦を焼いた鶴峯窯跡の発掘調査も行われた。1976年には史跡として国指定され、現在では「薩摩国分寺跡史跡公園」として保存されている。

また、川内平野では、条里制の地名が残っており、早くから条里地割の存在が指摘されていたが、京田遺跡からは、条里制の内容を示した告知札である木簡が県内で初めて出土した。木簡四面に「告知諸田刀称等 勘取口田 二段九条三里一曾□□ 右件田□□口子「息」□□□□□□□□□□ 嘉祥三年三月十四日 大領薩摩公擬小領」と記されている。この発見により、古代の川内地方に条里地割が存在していたことが決定的なものとなつた。

西ノ平遺跡では多数の掘立柱建物跡が検出され、土師器・須恵器のほかに硯、墨書き土器、刻書き土器、焼塙土器、帶金具などが出土しており、薩摩郡の郡衙であった可能性が指摘されている。

川舟遺跡では、「御前舎入口家〔 〕方神郡進出」の文字が確認できる人面墨書き土器が出土した。これらの文字は、「郡が四方あるいは未申・丑寅の方向の神に献げた」と解釈でき、当時の薩摩国府近傍における郡の機能を知ることのできる資料である。

このほか、九州新幹線建設に伴う発掘調査により、計志加里遺跡、大島遺跡、鍛冶屋馬場遺跡で古代に関する重要な発見が相次いだ。

中世

鎌倉時代から室町時代にかけては、島津氏、渋谷氏などの下向してきた鎌倉武士に、在地領主である武光氏、薩摩氏を加え川内は領地支配をめぐる争いが絶えることがなかつた。

これらの諸氏は南北朝の動乱を挟んで激しく争い、それに伴って多くの山城が築かれた。上野氏の居城である上野城跡の調査では、多くの堀立柱建物跡や方形堅穴建物跡、土坑墓、畠跡などが検出されており、中世山城の解明に繋がることが期待される。

北薩地方の争乱は戦国時代末期の元亀元年（1570年）に島津氏による三州統一と同時に終息を迎える。その後、天正15年（1587年）豊臣秀吉の島津征討に伴い、平佐城において激しい戦いが繰り広げられた。秀吉軍は薩摩攻めの際に、猫岳をはじめとして周辺の山などに砲を焼き数万の大軍を配置したと言われており、猫岳や猪子岳の頂上には現在も砲跡が残っている。この戦いは、豊臣側と島津側の和睦によって終わりを迎え、大小路町太平寺には和睦石が残されている。このような争乱の歴史も川内の地理的な重要性を示しているといえる。

近世

江戸時代には薩摩藩のもとで、北郷家がこの地域をおさめることとなり、商業が発達した。その中心地は向田町で、水陸交通の要衝として賑わった。川内川河口の久見崎には、船手奉行所が置かれ、藩の造船所があった。

当地は朝鮮の役の際、薩軍が船出した港として有名である。この役で夫を亡くした婦人によって始められたと伝えられる盆踊り「想夫恋」は、1971年に県の無形民俗文化財に指定されている。

天明年間（1781～1788年）には、北郷家の家臣、伊地知右衛門李甫が天辰町に磁器窯を開いた。焼かれた磁器は平佐焼と呼ばれ、県内各地に流通するなど隆盛を誇った。昭和初期に廃窯となるまで、川内の伝統工芸品を生み出していた窯跡は、1967年に市の文化財に指定されている。

近年、新窯の調査によって窯の形態や作業小屋、石垣の存在が明らかとなっている。また、近世から近代において鍛冶も盛んに行われており、吉原遺跡、鍛冶屋馬場遺跡では鍛冶に関連する遺構が検出されている。川内川の船運は平佐焼や鍛冶に関わる原料の搬入と製品の搬出にも積極的に利用され、商工業の発展に大きな役割を担っていたのである。

第3章 発掘調査の方法と成果

第1節 発掘調査の方法

1 発掘調査の方法（第2図）

堀之内遺跡は、川内川とその支流によって形成された川内平野の南岸に所在する。遺跡は、木場谷川の右岸の標高約43mの丘陵に位置する。丘陵は、入戸火砕流を由来とするいわゆるシラス台地である。周辺の丘陵には多くの遺跡が所在し、本遺跡と同じく南九州西回り自動車道建設によって発掘調査が実施された山口遺跡や上新田遺跡、山仁田遺跡が所在する。

調査区は、南九州西回り自動車道の道路建設用センター杭のNo.414とNo.415を基準として、10m間隔に測量杭を打設し、北から南へ1, 2, 3…18、東から西へA, B, C…Hと呼称する調査グリッドを設定した。調査に用いた座標値は、任意の基準点(X=0, Y=0)を設定し（第2図中の基準点）、H～A方向にX軸、1～18方向にY軸とした。なお、基準点の世界測地系座標値は不明である。

発掘調査は、平成21年11月16日～平成22年3月19日、平成22年10月5日～平成23年2月24日、平成23年5月9日～平成24年3月9日及び平成24年7月17日～8月10日の期間で実施した。調査対象延面積は15,716m²である。

発掘調査は、まず地形等に応じた先行トレンチを設定し、遺構の有無や包含層の残存状況・深度等の把握を行った。

先行トレンチによる調査の結果、調査区のA～H-6区を通る市道より南西側のA～G-7～18区では、旧石器時代から近世の遺物包含層（II層～VI層）及び遺構の残存が確認されたため、A～G-7～18区では全面調査を実施した。

調査方法は、重機（バックホウ）により表土の除去を行い、その後、人力による遺物包含層の掘削及び遺構検出を行った。第2節で詳しく述べるが、調査区内の堆積は全体的に不安定であり、特に調査区の至る所で地層の横転が見られた。遺物の取り上げは、平板又はトータルステーションを用い、出土地点の座標値及び標高を計測しながら行った。

また、旧石器時代の調査（V層～VI層）では、石器の分布及び出土層位等の確認をより精密に行うために、各グリッド内に更に2m×2mの小区画を設定し、いわゆる千鳥掘りによる調査を行った。

遺構の検出は、包含層掘削と並行して適宜行ったが、地層の横転、樹根や造成等による擾乱などにより、遺構の検出、認定及び調査は困難を極めた。また、地形測量は、遺構の検出を試みた面で適宜行った。

なお、先行トレンチによる調査の結果、市道よりも北

東側のA～H-1～5区では、遺構及び包含層の残存を確認することができなかつたため、全面調査は行わなかつた。

2 整理作業の方法

遺物の洗いは、発掘現場での大半を行い、一部を整理作業時に実施した。水洗作業の方法は、土器や陶磁器類、礫石器及び一部の剥片石器類についてはブラシを使用したが、剥片石器については必要に応じて超音波洗浄機を使用した。

注記は、注記「ホリノ」を頭に、包含層や表土等から出土した遺物には続けて「区」「層」記入した。さらに、点上げにより取り上げた遺物には「取り上げ番号」を、一括で取り上げた遺物には「一括」を併せて記入した。また、遺構内出土遺物については、「区」「層」に続けて「遺構名称」を記入した。なお、土器・陶磁器類で爪先の大な破片や、器面の摩滅が著しいものについては注記を省略した。

遺物の接合は、弥生時代・古墳時代の土器と剥片石器類を中心に行った。土器については、胎土や色調、型式等に基づき分類を行い、出土地点の近いものから接合作業を開始し、順次その範囲を広げていった。

剥片石器類については、まず石材で分け、石材ごとにコア・ブランク、石器製品、フレーク・チップ類に分類した。接合作業は、発掘作業時に“ブロック”と認識した石器が集中的に出土した範囲ごとから始め、順次、隣接する石器出土の集中範囲、離れた石器出土の集中範囲へとその対象を広げていった。

3 出土遺物の分類について

(1) 土器類・陶磁器類

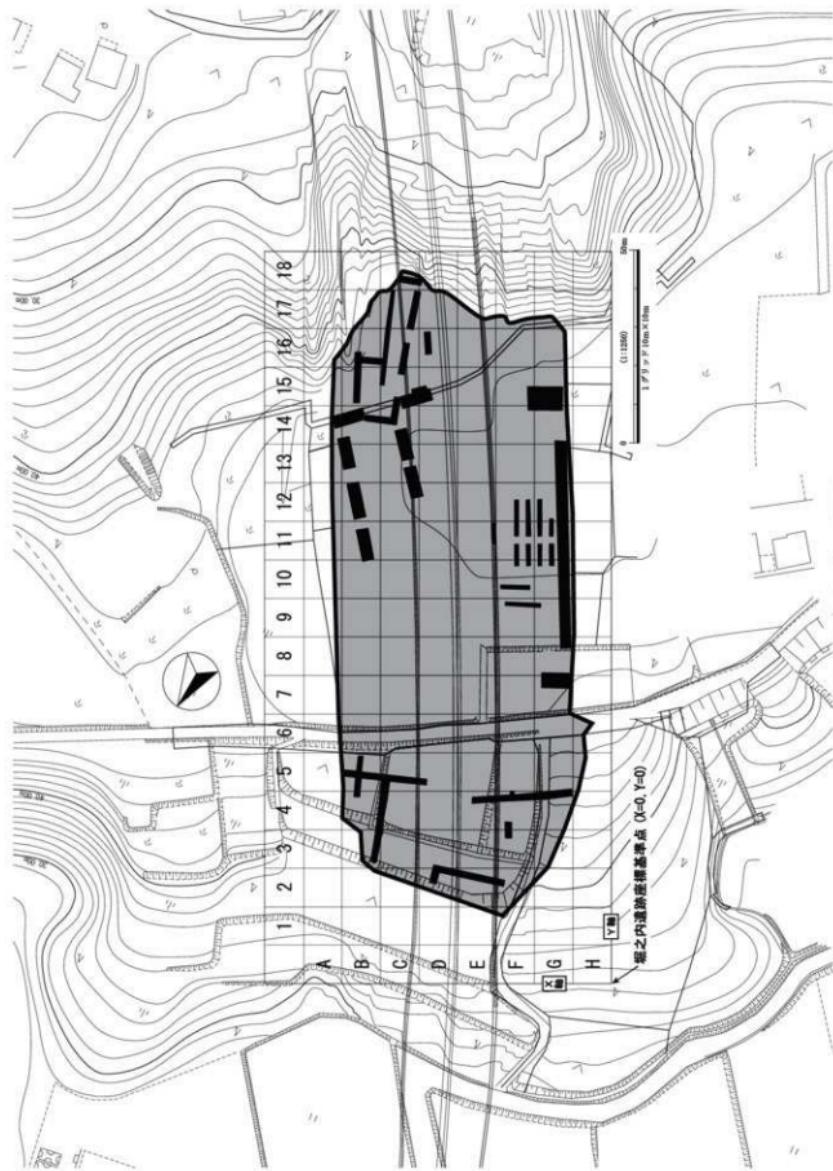
出土した土器類・陶磁器類の時代・時期等の判断は、発掘現場での出土層位を基本とした。さらに、整理作業の段階で、型式等をもとに細分し、時代・時期の確定を行った。なお、各遺物の分類の視点基準については、各節で述べることとする。

(2) 石器類

石器類については、器種と石材による分類を行った。器種については、各器種内で細分を行っており、詳細は各節で述べる。

石材の分類は肉眼観察を基本とし、質感や不純物の混入具合等をもとに分類した。

第2図 周辺地形図・グリッド配置図



第2節 層序

1 基本層序（第3図～第7図）

塙之内遺跡の基本層序は第3図のように整理した。塙之内遺跡の調査区内での層堆積は不安定であり、さらに、地点によっては造成や削平がみられた。また、地層の横転や樹痕、擾乱等が多く見られた。そのため、発掘調査時の層位の把握や遺構検出は困難を伴った。なお、分層、テフラの認定及び地層の横転について、森脇広氏の指導を受けた。

本遺跡ではシラス以外に、アカホヤテフラ及び薩摩テフラ（P14）が確認されたが、どのテフラも擾乱されやすい状況下にあり、かなりの擾乱を受けたと想定され、新旧の遺物が混在することがその証左となる（森脇氏の御教授による）。

II層は暗褐色～黒褐色土で、古代から近世の遺物包含層である。上層には1～2mm程度の輕石がわずかに含まれる。残存状況は悪く、一部の地点に薄く堆積するのみである。

III層は褐色土で、アカホヤ火山灰を由来とする腐植土層で、縄文時代前期から古墳時代の遺物が含まれる。調

査区のほぼ全域で堆積が認められる。III層の下層には、アカホヤ火山灰（スコリア）の一次堆積がブロック状に認められる地点もある。

IV層は黄褐色若しくはにぶい褐色を呈する縄文時代早期の遺物包含層である。

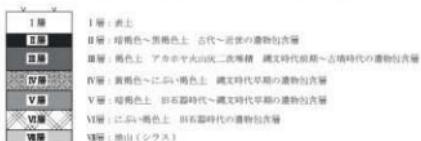
V層は暗褐色土で、やや粘性を帯びる。調査区のほぼ全域で堆積が認められる。旧石器時代から縄文時代早期の遺物包含層である。

VI層にはにぶい褐色を呈する粘質土である。旧石器時代の遺物を含む。

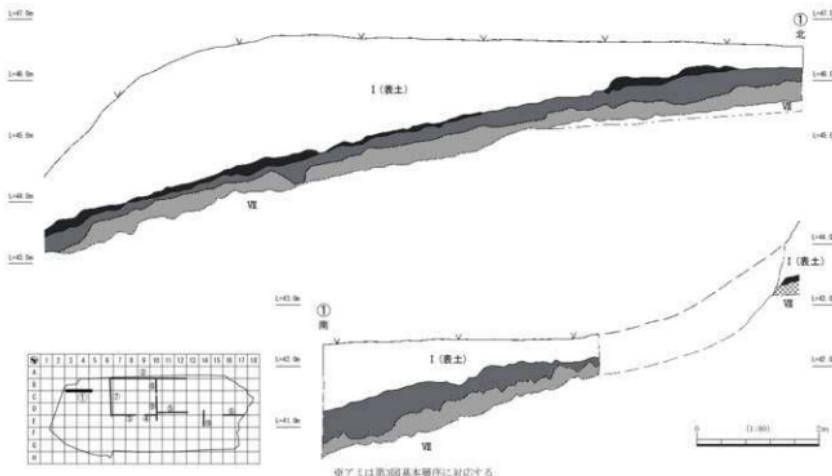
VII層は入戸火碎流堆積物からなるいわゆる“シラス”で、地山である。

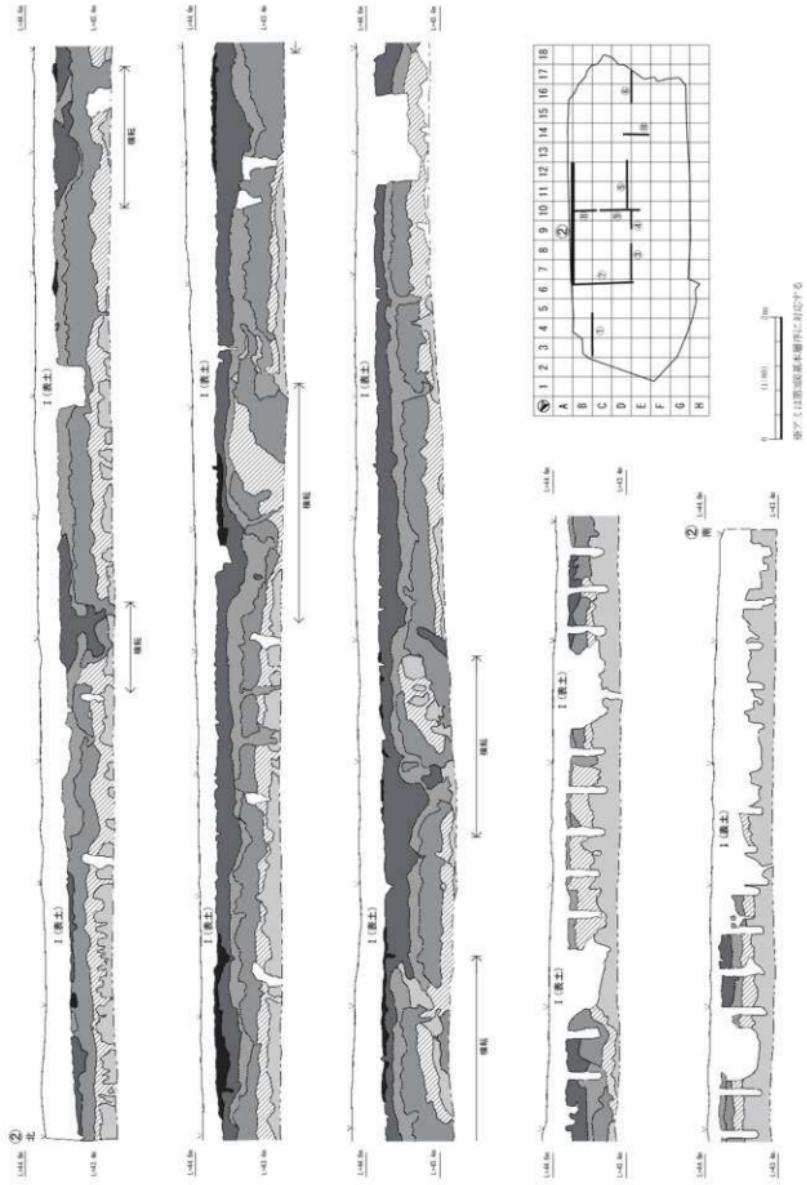
2 地層の横転について（第8図）

本遺跡では、調査区内の至る所で地層の横転が見られた。本遺跡での地層の横転は、台風等の強風による風倒木床であると考えられる（森脇氏の御教授による）。地層の横転には、III層（アカホヤ火山灰）を含むものと含まないものに大別される。後述するように、遺物の出土状況へ大きな影響を与えており、注意が必要である。



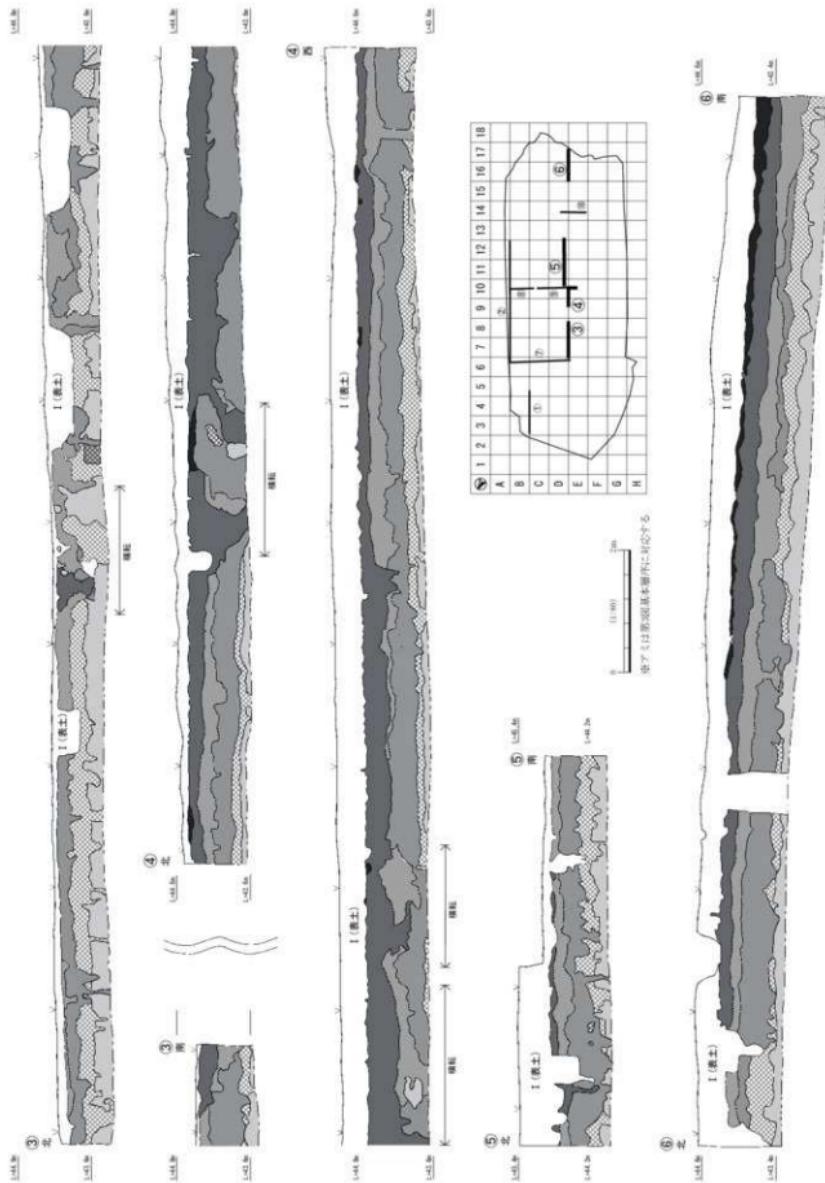
第3図 基本層序



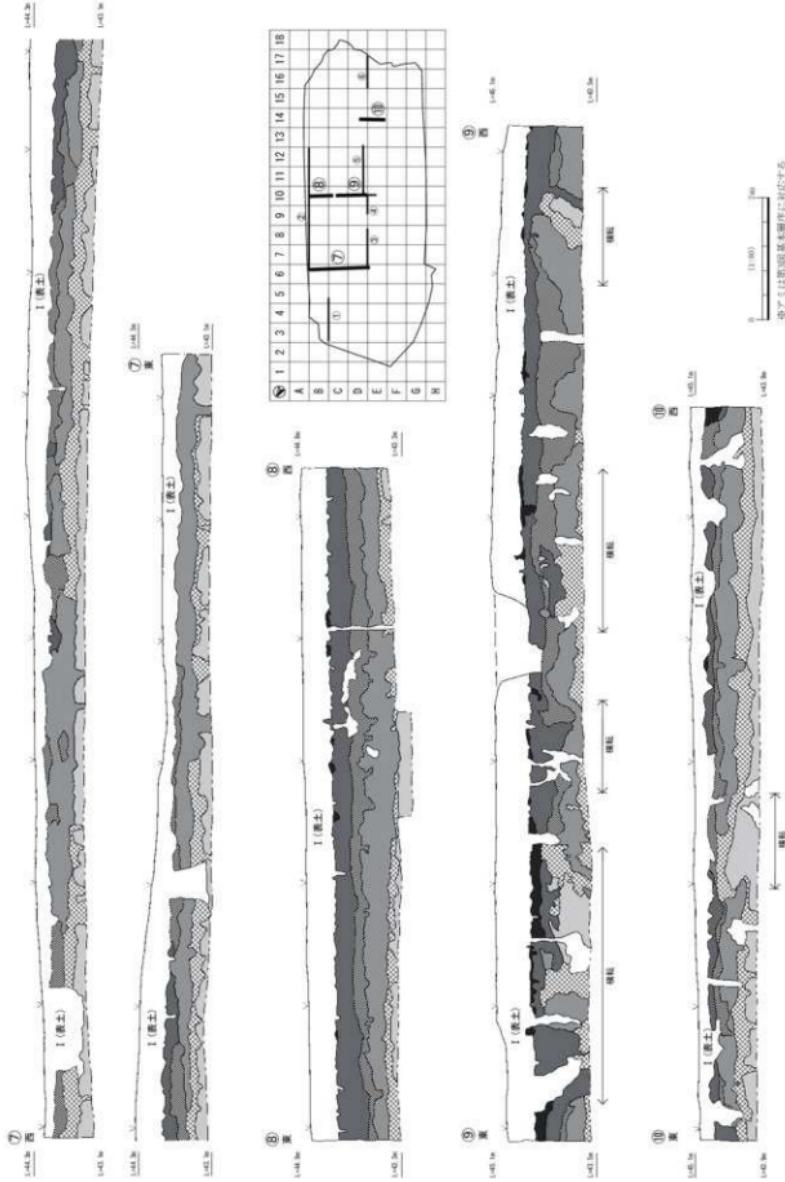


第5图 土带堆積状况(2)

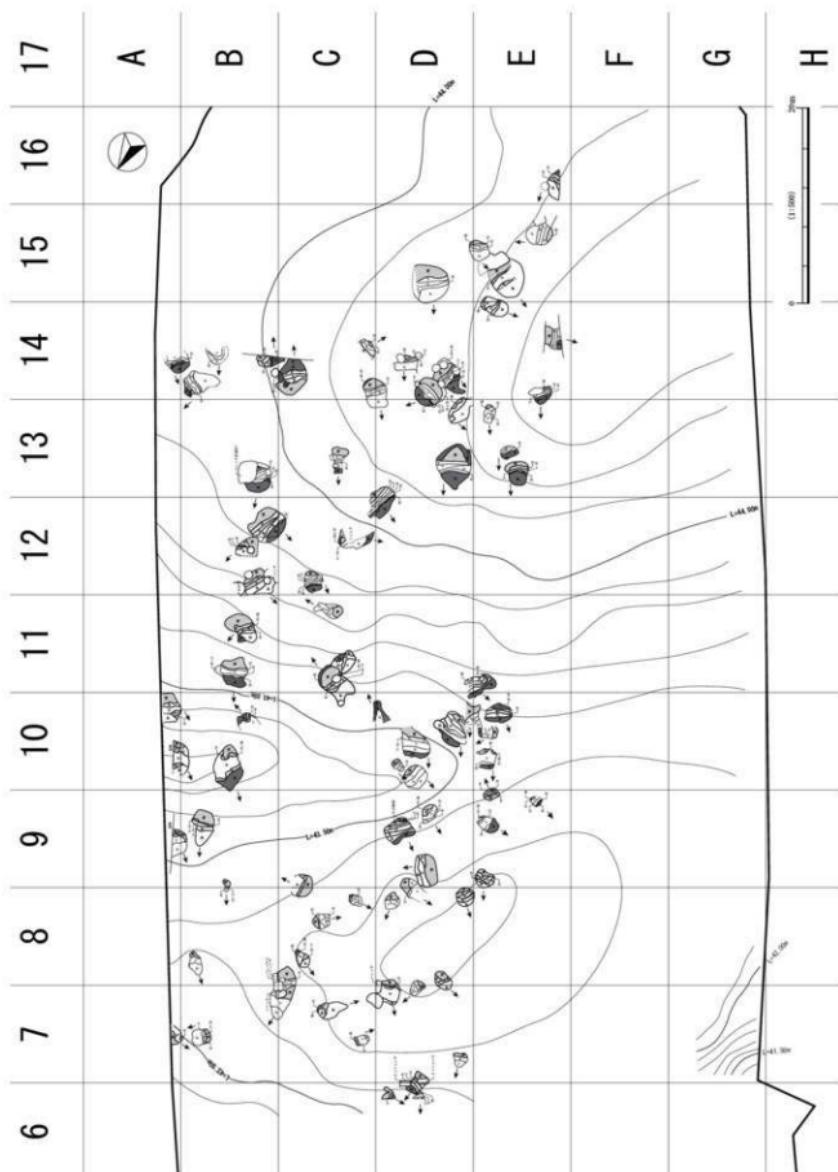
第6図 土層堆積状況(3)



第7圖 土層埋藏狀況(4)



第8図 地質構造の分布状況（矢印は想定される地質構造の方向）



第3節 遺構の調査

1 遺構の検出・認定について

発掘現場では、検出された遺構について、各遺構を検出した遺構検出面(検出層)と各面で検出された順番で付与した番号を組み合わせたものを遺構名とした(例えばIII-1, III-2, VII-1など)。

遺構の検出は、II層～VI層の包含層掘削と並行して行い、特に層と層の境界での検出作業に重点を置いた。また、地山であるVII層上面での遺構検出を試みた。しかし、堀之内遺跡は、第2節で述べたように、地層の堆積が不安定であることに加え、多数の地層横転や搅乱が見られたため、調査時・調査後に遺構でないと判断したものがあり、また、調査時に見落とした遺構も多数存在すると言わざるを得ない。

2 遺構の調査・記録作成について

遺構の調査は、まず、検出時に平面形を確定し、その後、半裁又は土層観察用ベルトを残して掘り下げ等を行った。埋土から出土した遺物については、埋土一括での取り上げを基本としたが、状況に応じて出土地点を記録しながら取り上げた。

遺構調査時の記録類については、調査の各工程で必要な情報を入れたものを作成するべきであった。しかし、検出状況、埋土堆積状況又は完掘状況等の必要最低限の写真が無い遺構や、実測図に不備が多く、詳細のわからぬ遺構が多数存在する。本遺跡の発掘調査において、大いに反省すべき点である。

3 遺構の整理・報告について(第2表)

整理作業において、調査時の所見及び記録類に基づき遺構の検証・認定を再度行い、報告する遺構の選別を行った。また、本報告書で掲載する遺構については、名称を第2表のように整理した。なお、実測図や写真類、遺物等への注記は、旧遺構名で行った。

また、本節で述べた理由により、遺構の時代・時期の判断が困難なものが多いため、本報告書での遺構の報告は時代・時期別ではなく、各遺構の検出面・層ごとにを行うこととした。時代・時期の判断又は想定が可能なものについては、報告文で記載することとする。

4 遺構の調査成果

遺構の分布状況(第9図)

第9図は本報告書で報告する遺構の配置図である。時代・時期が不明なものが多いため、検出面・層ごとに色を変え、全ての遺構を掲載している。

堀之内遺跡は、西から北東へ延びる細長い丘陵に立地するが、今回の調査区は、丘陵の北東側の、丘陵の幅が狭くなる地点に位置する。

調査区内地形は、層位・面ごとに多少の違いはあっても、大きくは南から北へ向かって傾斜する。遺構は、調査区の西側に多く分布し、東側は少ない。特に調査区の中央付近D～G-9～12区に密に分布する。ただし、調査区の東側には地層の横転が多く見られることから、消滅したもの、若しくは、未検出のものが存在した可能性もある。

土坑1号(第10図)

検出状況 C-10区、VII層上面で検出された。周囲には地層の横転があり、層位が乱れている。

形状・規模 平面形 pは、南側が歪んだ五角形様を呈し、断面形はすり鉢状となる。規模は、長軸80cm、短軸73cm、検出面からの深さ13cmである。

埋土 埋土は黒褐色土(埋土①)を主体とするが、埋土②や埋土③がブロック状に混じる。なお、埋土中から遺物は出土していない。

時代・時期 埋土から細石刃文化期～縄文時代早期のものと想定されるが、詳細は不明である。

土坑2号(第11図)

検出状況 G-8区、VII層上面で検出された。

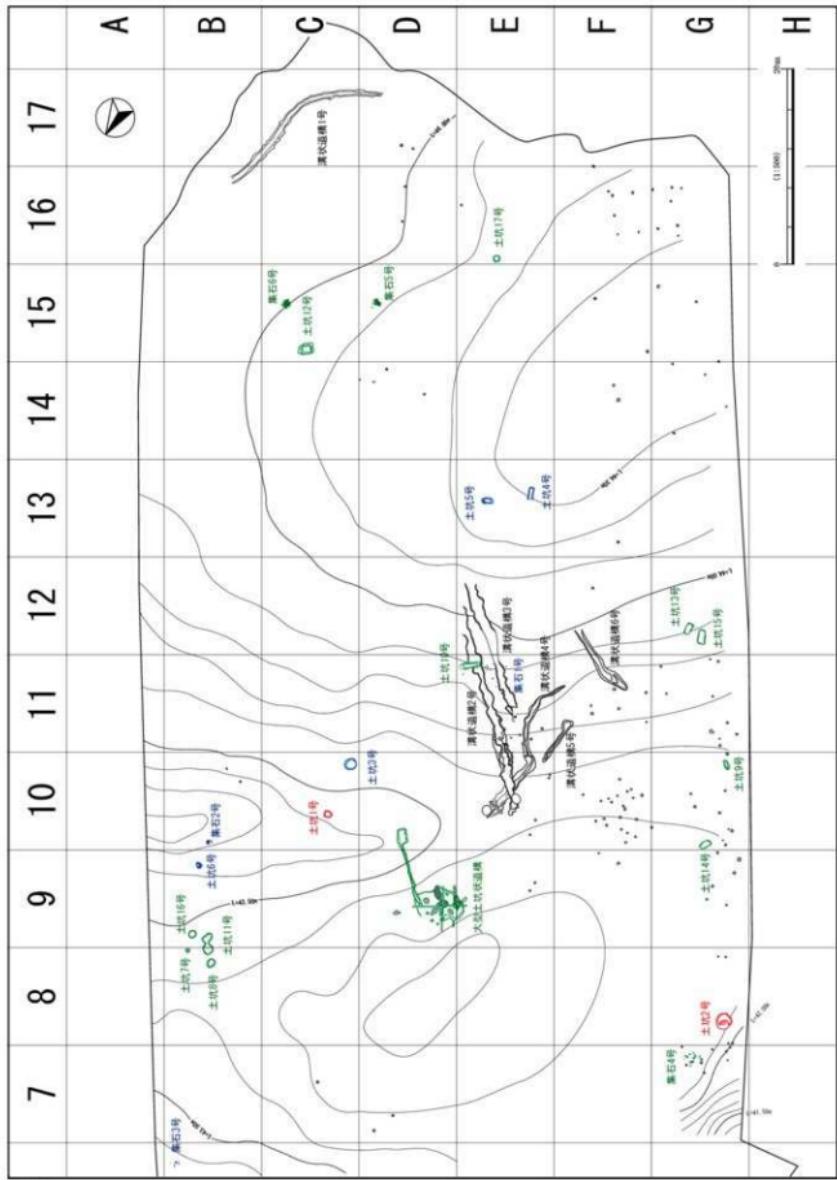
形状・規模 平面形は略円形で、断面形は、床面は平坦ではなく北側が一段深くなり、壁面は外傾する。規模は、長軸160cm、短軸約150cm、検出面からの深さは、深い地点で40cm程度、浅い地点で25cm程度である。

埋土 埋土は黄褐色土が主体であり、レンズ状に堆積している。また、埋土中に径2mm程度のバミス状の粒子を含む。

時代・時期 埋土から細石刃文化期～縄文時代早期のものと想定されるが、詳細は不明である。

第2表 遺構名称の変更

| 旧遺構名 | 新遺構名 | 伴因番号 | 旧遺構名 | 新遺構名 | 伴因番号 | 旧遺構名 | 新遺構名 | 伴因番号 | 旧遺構名 | 新遺構名 | 伴因番号 | 旧遺構名 | 新遺構名 | 伴因番号 |
|------------|------|----------|-------|------|----------|------------------|------|----------|------|------|----------|--------|------|------|
| VII-2 土坑1号 | 第10回 | III-a-10 | 土坑7号 | 第22回 | III-15 | 土坑13号 | 第28回 | V-11 | 集石1号 | 第12回 | III-a-12 | 溝状遺構1号 | 第34回 | |
| VII-1 土坑2号 | 第11回 | III-a-12 | 土坑8号 | 第23回 | III-16 | 土坑14号 | 第29回 | V-9 | 集石2号 | 第13回 | III-a-18 | 溝状遺構2号 | 第35回 | |
| V-4 土坑3号 | 第12回 | III-3 | 土坑9号 | 第24回 | III-14 | 土坑15号 | 第30回 | IV-a-1 | 集石3号 | 第14回 | III-a-17 | 溝状遺構3号 | 第35回 | |
| V-8 土坑4号 | 第16回 | III-a-32 | 土坑10号 | 第25回 | III-11 | 土坑16号 | 第31回 | III-1 | 集石4号 | 第19回 | III-a-9 | 溝状遺構4号 | 第35回 | |
| V-5 土坑5号 | 第17回 | III-a-13 | 土坑11号 | 第26回 | III-a-35 | 土坑17号 | 第32回 | III-a-24 | 集石5号 | 第29回 | III-7 | 溝状遺構5号 | 第35回 | |
| V-10 土坑6号 | 第18回 | III-a-3 | 土坑12号 | 第27回 | III-a-15 | 伊勢谷寺9号 天皇土坑遺構 | 第33回 | III-a-1 | 集石6号 | 第21回 | III-6 | 溝状遺構6号 | 第35回 | |



第9回 造機配管



①黒褐色土 粘性あり
②灰黃褐色土 粘性あり
③褐色土
④にぶい黄褐色土 粘性あり

第10図 土坑1号

土坑3号(第12図)

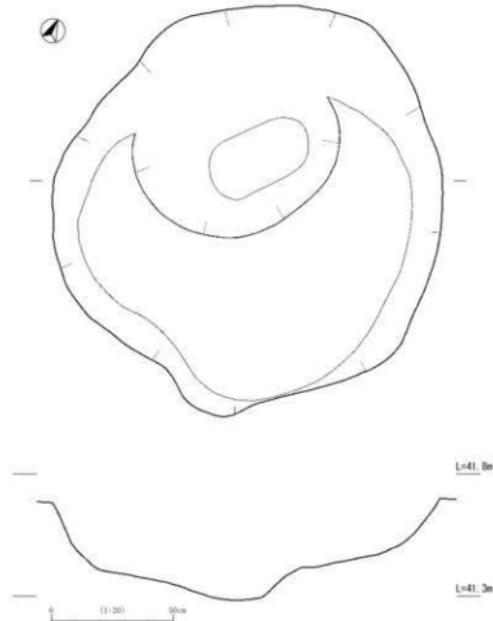
検出状況 C-10区、V層掘削中に検出された。遺構の南西部は、残存していない。

形狀・規模 平面形は円形を呈する。断面形は、床面に径5～22cm程度の小穴がみられるが、ほぼ平坦であり、壁面はわずかに外傾し立ち上がる。規模は、直径117～125cm程度で、小穴を除いた検出面からの深さは70cm程度である。

埋土 埋土は、床面から壁面付近には埋土③、若しくは、埋土④が堆積し、中央付近には黒褐色土(埋土①②)が堆積している。

小穴 土坑3号では、床面で小穴が8基検出された。8基全ての平面形は円形だが、規模はばらつきがあり、直径22cmの小穴bが最大で、小穴d～hは直径6cm程度となる。断面形は、小穴の上部は開口し、下部は幅2～5cm程度の棒状となる。深さは小穴bが45cm程度と最大で、小穴a・e・gが30cm程度、小穴c・d・fが20～25cm程度、小穴hが15cm程度である。

小穴は、規模や断面形状から逆茂木痕跡と想定されるものもあり、土坑3号は、落とし穴として機能していた



第11図 土坑2号

可能性がある。

時代・時期 埋土から細石刃文化期～縄文時代早期のもとの想定されるが、詳細は不明である。

集石1号(第13図)

検出状況 E-11区、IV層下層からV層上面にかけて疊17点が検出された。礫は、450cm×240cm程度の範囲に散布しており、垂直分布では30cm程度のレベル差がみられる。なお、掘り込みは確認されなかった。

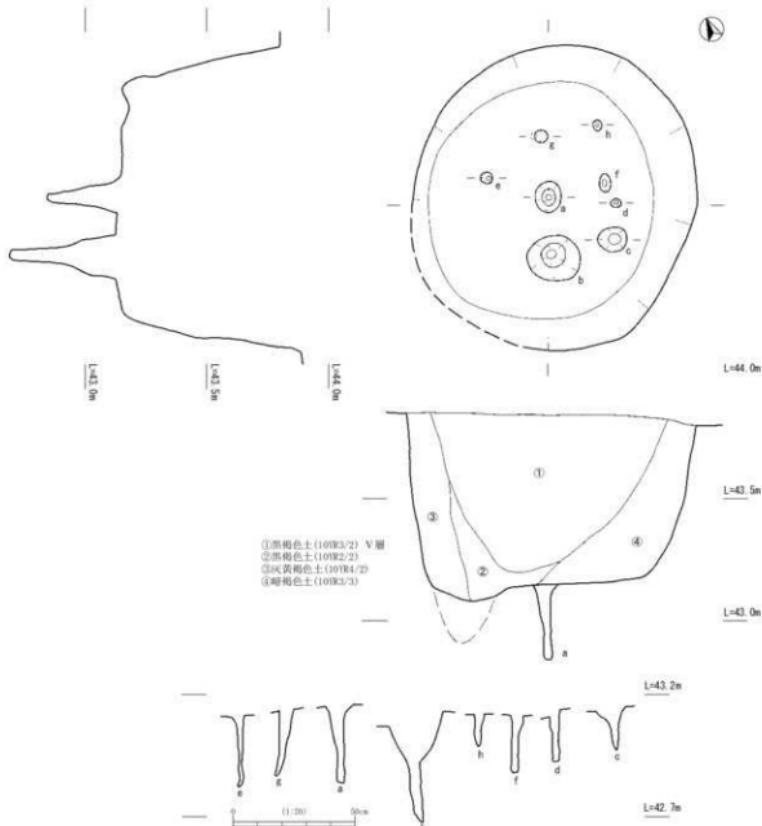
構成種 積のほとんどが安山岩で、赤色化するものや煤の付着するものが多く認められた。

時代・時期 検出状況から判断して、縄文時代早期に該当する。

集石2号(第14図)

検出状況 B-10区、V層で検出された。礫は、50cm×60cm程度の範囲に集中する。

掘り込み 集石2号では、掘り込みが検出された。掘り込みの一部は樹根による擾乱を受けており、平面形は不整形である。断面形は、床面は平坦では無く、北側が



一段深くなり、壁面は緩やかに外傾し立ち上がる。残存する掘り込みの規模は、長軸65cm、短軸52cm、検出面からの深さは、深い地点で12cmである。掘り込みの埋土は、にぶい褐色を呈し、IV層をベースとする。

構成礫 集石2号では、37点の礫が残存していた。安山岩が主体だが、凝灰岩が3点含まれる。礫は、大きさ10cm前後のものが多い。ほとんどの礫に赤色化、若しくは、煤の付着が認められた。

時代・時期 集石2号の床面付近から出土した炭化物の年代測定分析を行ったところ、測定年代 $9,390 \pm 30$ （補正年代 $9,350 \pm 30$ ）という値が得られた（詳細は第4章参照）。埋土がIV層をベースとすることから、縄文時代早期のものと判断される。

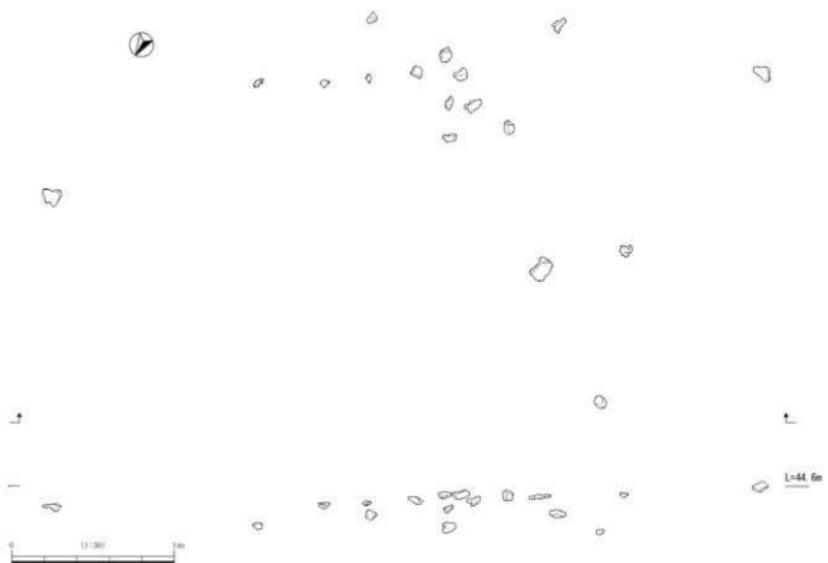
第12図 土坑3号（第15図）

検出状況 B-6区、IV層で検出された。上部は削平により消滅している。礫は $60\text{cm} \times 55\text{cm}$ 程度の範囲に散布する。なお、礫の散布範囲の地表面がわずかに凹むが、掘り込みか否かは不明である。

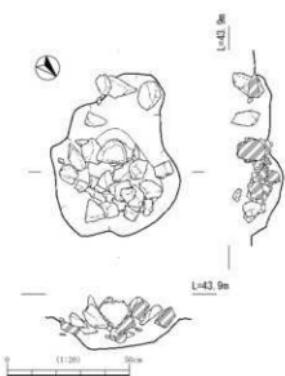
構成礫 残存する礫は12点で、安山岩と凝灰岩から構成される。

礫は大きさ10cm前後のものが主体である。ほとんどの礫に赤色化、若しくは、煤の付着が認められた。

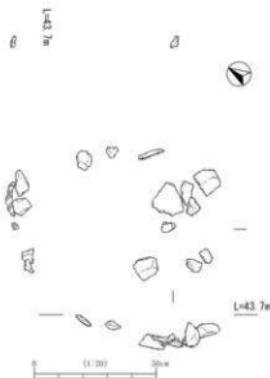
時代・時期 縄文時代の集石と想定されるが、上部が消滅しており、詳細は不明である。



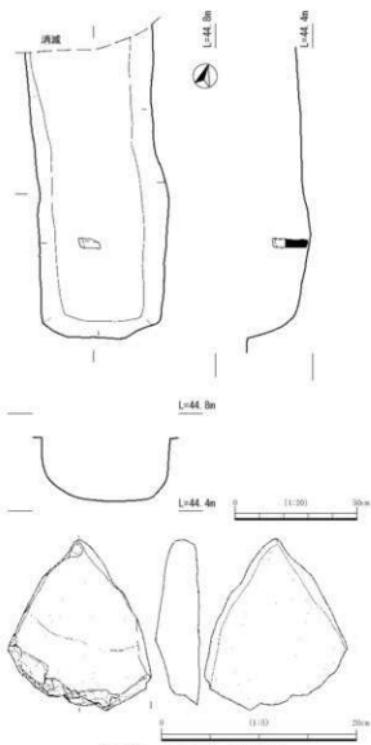
第13図 集石1号



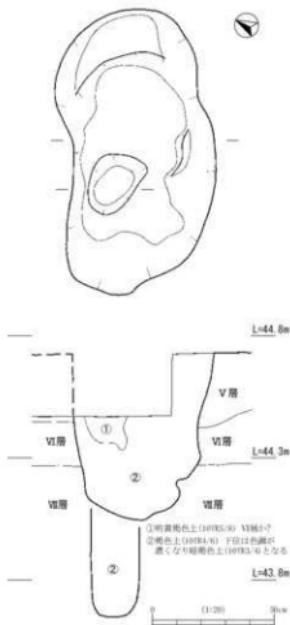
第14図 集石2号



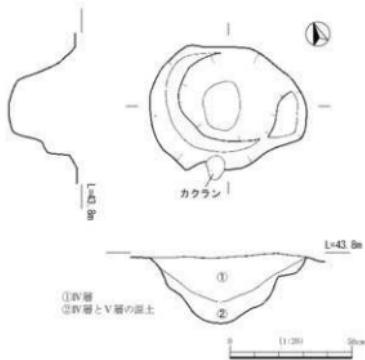
第15図 集石3号



第16図 土坑4号・出土遺物



第17図 土坑5号



第18図 土坑6号

土坑4号(第16図)

検出状況 E-13区, V層掘削時に検出された。遺構の南東部は削平により消滅している。

形状・規模 残存する範囲で、平面形は長方形である。断面は、床面はほぼ平坦で、壁面はわずかに外傾し立ち上がる。規模は、長軸115cm、短軸53cm、検出面からの深さ25cmである。

埋土 床面付近には褐色土が、その上にⅢ層を含んだ明褐色土がレンズ状に堆積する。

遺物 1は安山岩で、土坑の床面から立位で出土した。扁平な安山岩の一角に穀器様の剥離が加えられている。用途・意図は不明である。

土坑5号(第17図)

検出状況 E-13区、V層で検出された。北側の上部は調査により消滅した。



第19図 集石4号

形状・規模 残存する範囲で、平面形は略円形である。断面形は、床面・壁面ともに凹凸があり、床面の中央付近にはピット状の掘り込みがある。規模は、残存長で、長軸117cm、短軸約58cmである。検出面からの深さは、ピット状の掘り込みの床面まで110cm、それを除くと60cmである。

埋土 埋土は、ピット状の掘り込みを含めて褐色の砂質土（埋土②）が主体である。

土坑の性格について 上部が不整形であり、ピット状の掘り込みを伴うことから、調査時にはピット状の掘り込みまでを含めて、根茎類等の採掘の痕跡の可能性も想定した。しかし、根茎類等の採掘痕跡なのか、ピット状の掘り込みは樹根なのか、判断できなかった。なお、埋土から遺物は出土していない。

時代・時期 埋土から縄文時代のものと想定されるが、詳細は不明である。

土坑6号（第18図）

検出状況 B-9区、V層で検出された。

形状・規模 平面形は略円形で、一部に樹根による搅乱を受ける。断面形は、二段掘り状となる。規模は、長軸54cm、短軸50cm、検出面からの深さ27cmである。

埋土 埋土はIV層が主体であり、レンズ状に堆積してい

る。なお、埋土から遺物は出土していない。

時代・時期 埋土から縄文時代のものと想定される。

集石4号（第19図）

検出状況 G-7区、III層で検出された。礫23点、が180cm×155cm程度の範囲に散在する。なお、掘り込みは確認されなかった。

構成礫 他の集石と比較して、礫が大きい。

集石5号（第20図）

検出状況 D-15区、III層で検出された。礫は、110cm×120cm程度の範囲に

密集する。

掘り込み 集石5号では、掘り込みが確認された。平面形は、一部に擾乱を受けることもあり、礫の散布範囲に応じて歪である。断面形は、短軸方向では、掘り込みの床面に沿って礫が入るが、長軸方向では礫が床面から浮いた状態になる。調査時に掘り過ぎた可能性がある。掘り込みの規模は、長軸100cm程度、短軸40~70cm程度である。

構成礫 残存する礫は143点で、ほとんどの礫が掘り込み内に充填されている。安山岩が主体で、凝灰岩と砂岩をわずかに含む。礫は大きさ10cm前後のものが主体で、被熱により破碎しているものが多い。ほとんどの礫に赤色化、若しくは、煤の付着が認められた。

時代・時期 縄文時代の集石と判断され、III層掘り込んでいることから、アカホヤ火山灰降下以後のものであるのは確実だが、詳細は不明である。

集石6号（第21図）

検出状況 C-15区、III層で検出された。礫は95cm×95cm程度の範囲に密集する。

掘り込み 集石6号では、掘り込みが確認された。平面形は、左側がやや凹んだ梢円形様を呈し、規模は、長軸117cm、短軸100cmであり、礫の散布範囲よりも大きい。

礫は掘り込みの中央付近に密集する。断面形はすり鉢状で、短軸方向では、掘り込みの床面に沿って礫が入るが、礫が床面から浮いた状態になる。調査時に掘り過ぎた可能性がある。また、埋土に炭化物を含む。

構成礫 残存する礫は251点で、被熱痕跡の認められるものが多い。安山岩が主体である。

時代・時期 繩文時代の集石と判断され、Ⅲ層掘り込んでいることから、アカホヤ火山灰降下以後のものであるのは確実だが、詳細は不明である。

土坑7号（第22図）

検出状況 B-8区、Ⅲ層調査時に土器の一部が露出する状況で検出された。

形状・規模 掘り込みの平面形は円形で、断面形はやや壁面が立つが、すり鉢状を呈する。規模は直径40cm程度、検出面からの深さ12cmである。

埋土 埋土は、Ⅲ層をベースとする褐色土である。

遺物出土状況 2は完形品の甕で、土坑のほぼ中央付近から、横位の状況で検出された。床面からは3cmほど浮いている。人為的に配されたもので、底部が土坑の右側端に位置することから、元々横位で配置されたと判断される。破損は土圧による。

土器 2は脚付の甕で、甕2類である（第4節参照）。口径19.4cm、器高26.0cm、底径8.75cmである。底部厚は1.8cmと厚い。口径と肩部径がほぼ一致する。内面後縁は明瞭で、口縁部は短く、やや外傾し、口唇部は方形になる。口縁部内面から胴部内面の上面にはハケ目がよく残っている。頸部から口縁部外面にはハケ目のカキアゲがみられる。胴部外面の上半には斜位・縦位のハケ目が良く残る。また、胴部外面には煤が付着する。中津野式土器の新段階から東原式土器の古段階に該当する（中村直子氏の御教授による）。

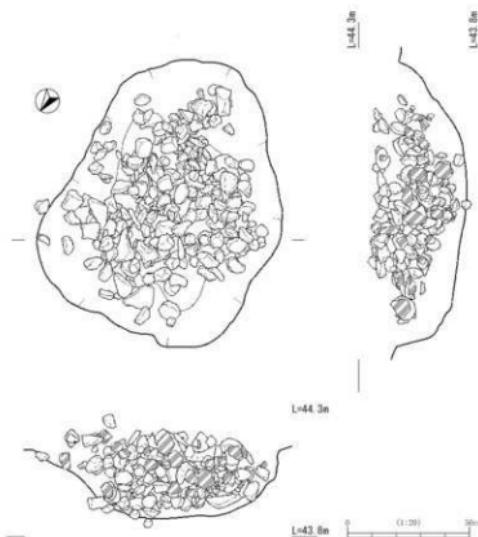
土坑8号（第23図）

検出状況 B-8区、Ⅲ層で検出された。

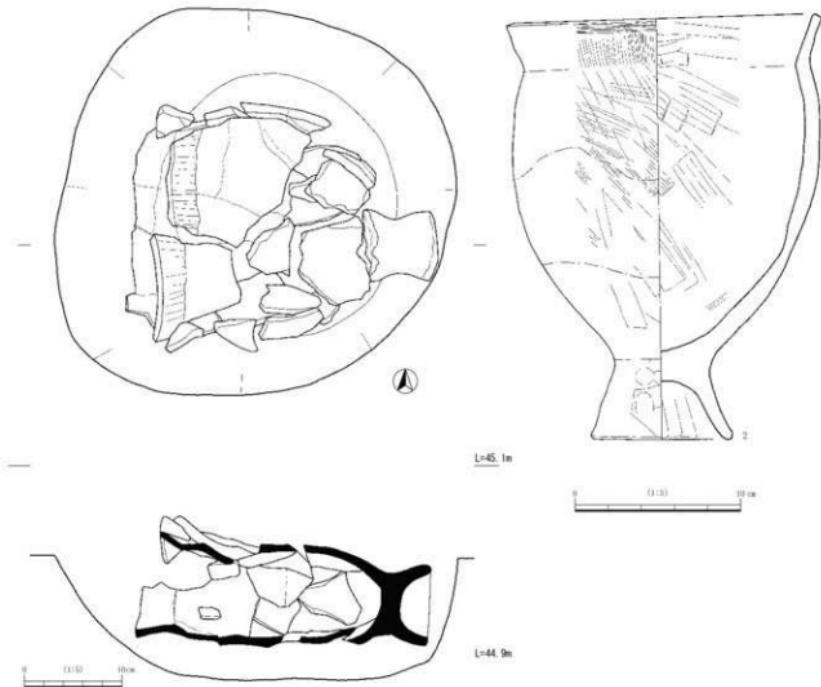
形状・規模 平面形は、北側が突き出た略円形である。断面形は、床面には凹凸があり、壁面は外傾する。規模は、長軸92cm、短軸約82cmである。検出面からの深さは、最大で18cmである。



第20図 集石5号



第21図 集石6号



第22図 土坑7号・出土遺物

埋土 埋土は褐色土で、炭化物と焼土を含む。また、床面の一部が硬化している。

遺物 埋土中から土器片が5点出土した。土器は全て小破片であり、流れ込みによるものである。1点を固化した。3は脚部付属の脚部である。

時代・時期 古墳時代以降のものである。

土坑9号（第24図）

検出状況 G-10区、III層で検出された。

形状・規模 平面形は、楕円形様を呈する。床面はほぼ平坦だが、北西の一部が凹む。規模は、長軸106cm、短軸47cmである。検出面からの深さは、北西側の凹みで28cm、それ以外の床面で20cm程度である。

埋土 埋土は黒色土で、III層を10%程度含んでいる。

遺物 4は鉢形土器の口縁部で、胎土に長石を多く含む。出土状況は不明である。

時代・時期 埋土から古代以降のものと想定される。

土坑10号（第25図）

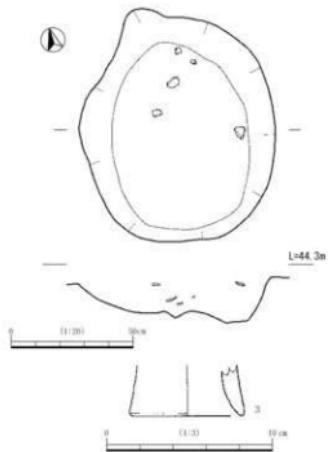
検出状況 E-11区、III層で検出された。一部北東角に搅乱を受けている。

形状・規模 平面形は、隅丸の長方形様を呈する。断面形は、床面はほぼ平坦で、壁面の立ち上がりは外傾するが、上部は垂直に近くなる。床面の中央には長軸に沿って4基の小ビットがみられる。

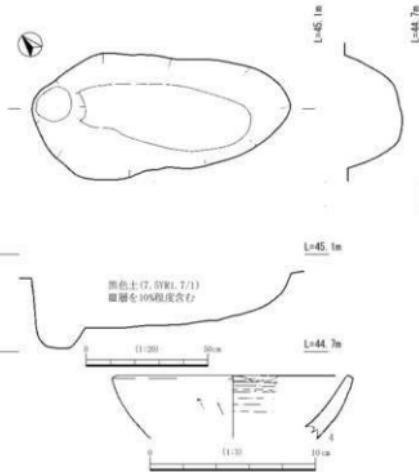
規模は、長軸215cm程度、短軸55cm程度である。検出面からの深さは、小ビットを除いて、65cmである。

埋土 にぶい黄褐色の砂質土（埋土③）が小ビットから床面付近に堆積し、その上にぶい暗褐色砂質土（埋土②）が堆積する。また、黒褐色土（埋土①）がブロック状に混じる。

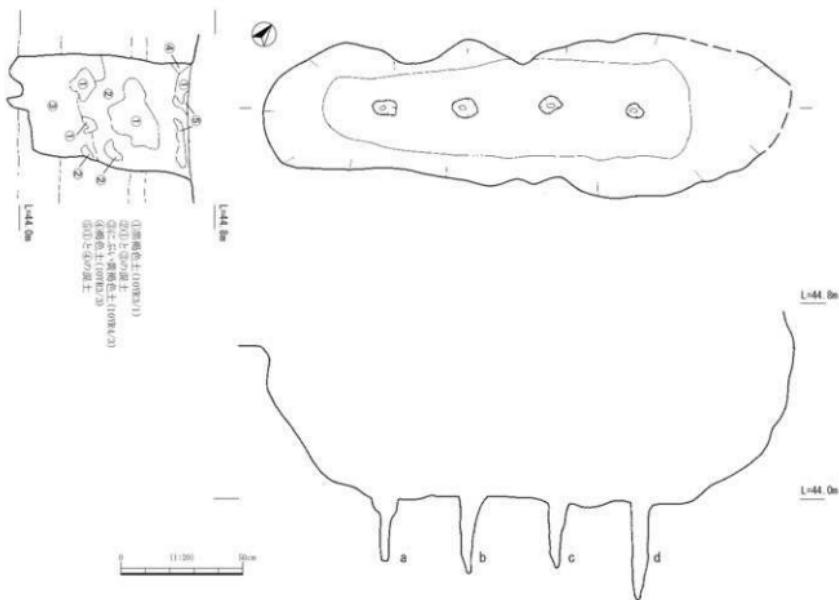
小ビット 小ビットは長軸のほぼ中心に沿って4基検出された。小ビット間の距離は、35cm程度では等間隔である。平面形は直径10cm程度の略円形である。床面からの深さは、aが26cm、bが31cm、cが28cm、dが40cmであり、ややばらつきがある。断面形は、底面付近がやや尖り、床面付近はやや開口する。小ビットに



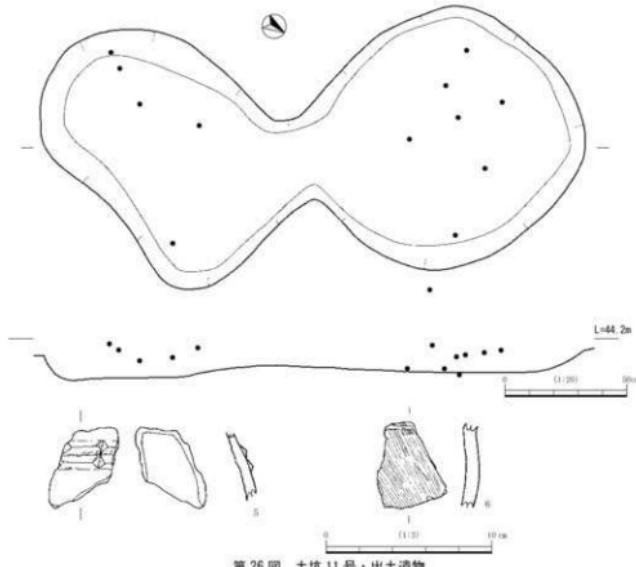
第23図 土坑8号・出土遺物



第24図 土坑9号・出土遺物



第25図 土坑10号



第26図 土坑11号・出土遺物

も埋土③が堆積するが、調査時に、壁面にⅢ層（アカホヤ火山灰）の付着が観察されたという。

時代・時期 時代・時期については不明である。

遺構の性格 小ピット4基はその形状から逆茂木の痕跡と判断されることから、土坑10号は落とし穴として機能していたと判断される。

土坑11号（第26図）

検出状況 B-8・9区、Ⅲ層で検出された。

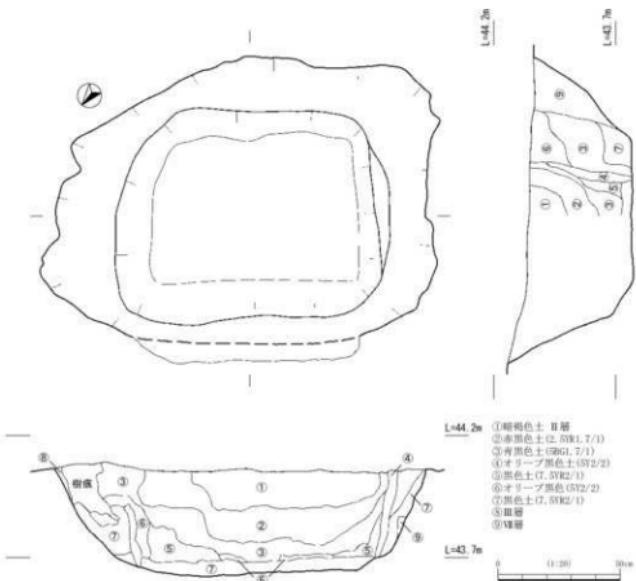
形状・規模 平面形は歪な形状をしている。東側の梢円形状の掘り込みと西側の円形の掘り込みが本来異なる土坑である可能性や、樹根・擾乱の可能性もある。断面形の床面は平坦で、壁面は外傾し立ち上がる。規模は、長軸225cm程度、検出面からの深さ10cm程度である。

埋土 埋土は暗褐色土で、炭化物や焼土を含む。

遺物 埋土中から13点の土器片が出土した。

2点を図化した。5・6は甕の脛部である。5は、二条の突帯が付く。6は、外面には縦位方向のハケ目が、内面には横位方向のハケ目が明瞭に残る。

図化には至らなかつたが、床直上で古代の土師器の小片が出土している。なお中世を下



第27図 土坑12号

る遺物は見られない。

時代・時期 古代のものと想定される。

土坑 12号（第27図）

検出状況 C-15区、III層で検出された。一部、樹根による擾乱を受ける。

形状・規模 平面形は、南側は隅丸方形となるが、北側は不整形である。床面付近は長方形となる。西側の壁面の一部は、調査時に掘削し過ぎている。断面形の床面は平坦で、壁面は外傾し立ち上がり、徐々に垂直に近くとなる。壁面の一部は二段掘り状になる。規模は、長軸151cm、短軸は想定で118cm程度、検出面からの深さ42cmである。

埋土 埋土は黒色土、黒褐色土である。調査時には、人為的に埋め戻された可能性も想定している。なお、埋土から遺物は出土していない。

時代・時期 埋土から古代以降のものと想定される。

土坑 13号（第28図）

検出状況 G-12区、III層で検出された。

形状・規模 平面形は隅丸長方形で、断面形は箱形となる。規模は、長軸117cm、短軸68cm、検出面からの深さ38cmである。床面に8基の小ピット状の掘り込みが検出されたが、樹根と判断した。

埋土 暗褐色土とIII層の混土である。なお、埋土から遺物は出土していない。

時代・時期 埋土から、古代以降のものと想定されるが、詳細は不明である。

土坑 14号（第29図）

検出状況 G-10区、III層で検出された。

形状・規模 平面形は隅丸長方形様を呈し、断面形は箱形となる。規模は、長軸124cm、短軸65cm、検出面からの深さ50cm程度である。

埋土 埋土は明褐色土で、遺物は出土していない。

時代・時期 埋土から、古代以降のものと想定されるが、詳細は不明である。

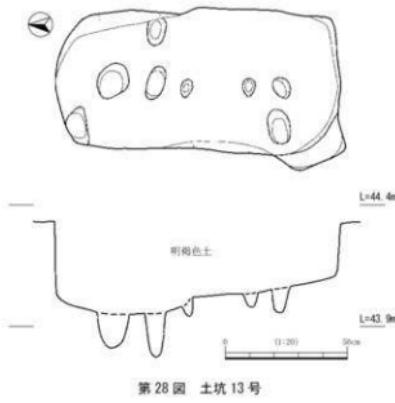
土坑 15号（第30図）

検出状況 G-12区、III層で検出された。

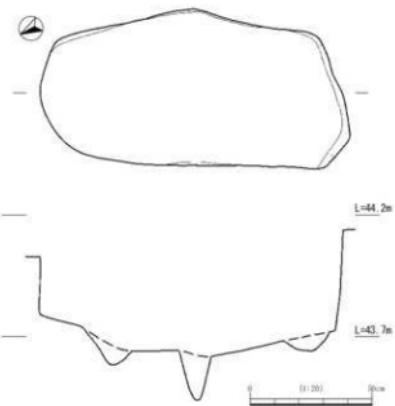
形状・規模 平面形はやや歪んだ隅丸長方形で、断面形は箱形となる。規模は、長軸147cm、短軸78cm、検出面からの深さ30cm程度である。

埋土 暗褐色土とIII層の混土である。なお、埋土から遺物は出土していない。

時代・時期 埋土から、古代以降のものと想定されるが、詳細は不明である。



第28図 土坑 13号



第29図 土坑 14号

土坑 16号（第31図）

検出状況 B-9区、III層で検出された。

形状・規模 平面形は梢円形で、断面形はすり鉢状となる。規模は、長軸88cm、短軸76cm、検出面からの深さ6cm程度である。

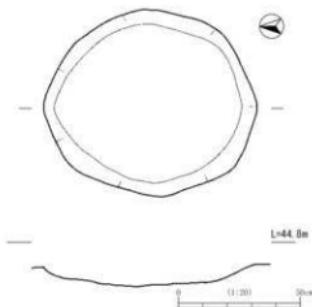
埋土 埋土は褐色土で、炭化物をわずかに含む。

遺物 埋土から土器片が2点出土したが、小片のため詳細不明である。

時代・時期 埋土から、古代以降のものと想定されるが、詳細は不明である。



第30図 土坑15号



第31図 土坑16号



第32図 土坑17号

土坑17号(第32図)

検出状況 E-16区、III層で検出された。

形状・規模 平面形は隅丸方形で、断面形はすり鉢状となる。規模は、長軸72cm、短軸63cm、検出面からの深度18cmである。

埋土 暗褐色土がレンズ状に堆積する。床面付近では炭化物を多量に含む。

時代・時期 埋土から、古代以降のものと想定されるが、詳細は不明である。

炉跡を伴う大型土坑状遺構(第33図)

検出状況 D・E-9区のIII層で、黒色～黒褐色土が4m×5m程度の範囲にシミ状に広がるような状況で検出された。後世の削平や搅乱により、残存状況は悪い。

調査方法 検出状況での平面形が不明瞭であったため、まず土層観察用ベルトを十字に設定し、サブトレーナーの掘削を行い、床面の検出を試みた。その後、全面の掘削を行ったが、炉跡や焼土が複数検出されたり、搅乱を受けたために、床面の把握は困難であった。

形状・規模 遺構主体部の平面形は、歪な指円形様を呈し、残存する範囲での規模は、長軸510cm程度、短軸320cm程度である。また、4条の溝跡(SD)を伴う。床面にはやや凹凸が見られ、残存する壁面は外傾する。

埋土 遺構主体部の埋土は黒褐色土を主体とし、一部は被熱により赤褐色化している。

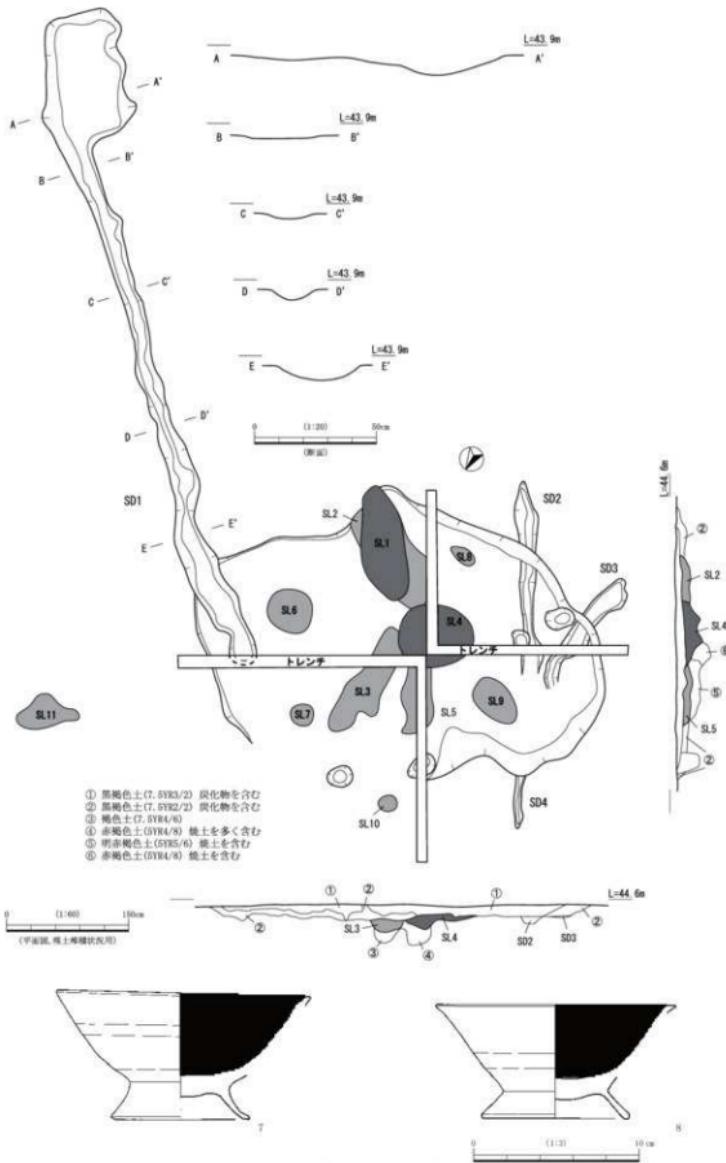
遺物 床着付近で内黒土師器(7・8)が出土している。また、埋土中からは土器・土器の小破片が出土しているが、古墳時代から古代に該当するものであり、中世を下るものは出土していない。

7・8を報告する。7・8ともに碗である。7は、開く高台を持ち、体部は丸みを持って立ち上がり、口縁部がわずかに外反し、口唇はやや先細りする。外面には丁寧な横ナデが施される。内面にはミガキが施されるが、底部付近は横方向、体部は縦方向、口縁部付近は縦方向である。

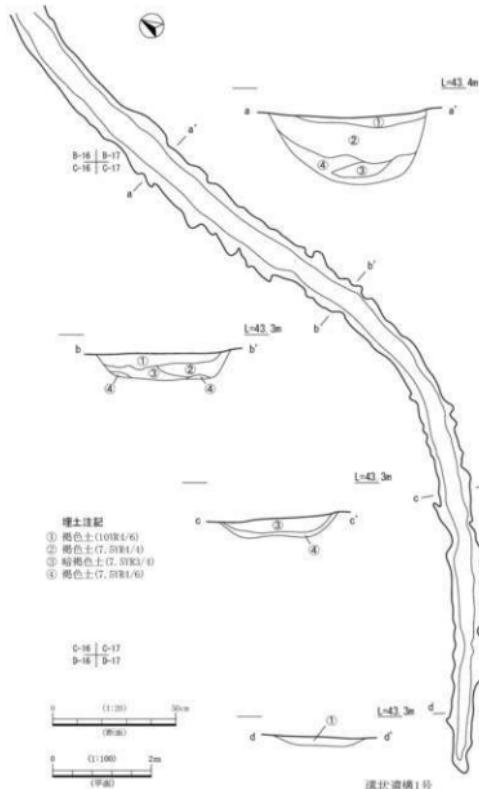
8は、高台が開き、体部は直線的に立ち上がる。体部の中程で内側にわずかに屈曲し、口縁部は外反する。外面には横ナデが施されるが、器面に凹凸が残る。内面にはミガキが施される。7・8ともに10世紀前半から中期の時期に該当する。

炉跡(SL) 焼土・炭化物が集中的に検出され、掘り込み・掘り込み状の凹みが認められたものを炉跡とした。炉跡は遺構主体部内から9基、主体部外から2基検出された。ただし、調査方法に問題があったため、柱穴に焼土・炭化物が入り込んだものや、断面形が不整形であり樹根の可能性があるものも存在する。

炉跡は簡易な構造であり、被熱した礫を伴うものもあ



第33図 炉跡を伴う大型土坑状遺構・出土遺物



第34図 溝状造構1号

る。SL1-SL2, SL2-SLA-SL5のよう切り合っているものも見られる。

溝跡(SD) 造構主体部に付随するようなかたちで溝跡が4条検出された。SD1は造構主体部から南東方向へ延びる。主体部の壁面を切っている。長さ約13.7mで、南東先端は土坑状になるが、造構に伴うものか否か判断できなかった。床面は、やや凹凸があるが、ほぼ同じ高さである。埋土はII層で、焼土や炭化物を含まない。

SD2・SD3・SD4は、造構主体部や柱穴に切られる。残存する掘り込みは浅い。SD2とSD4は直線状に並ぶため、本来は同一のものであった可能性もある。詳細は不明である。

柱穴跡 造構主体部からは、柱穴跡も検出されている。

詳細は不明である。

時代・時期 出土遺物及び出土炭化物の年代測定結果(第4章参照)より、古代に該当すると判断される。

溝状造構1号(第34図)

検出状況 B-16・17区・C-17区・D-17区の、III層上面で検出された。

形状・規模 B-16区からC-17区へ向かって北東から南西方向へ延び、C-17区中央付近で東西方向へとカーブする。検出された範囲で、長さ約19m、幅30~85cm程度である。検出面からの深さは1~28cm程度で、北東方向に向かって深くなり、床面が傾斜する。

埋土 埋土は褐色土を基本として、一部に暗褐色土が入る。床面の一部が硬化している。

時代・時期 埋土から、古代以降のものと想定されるが、詳細は不明である。

溝状造構2号(第35図)

検出状況 E-10~12区にかけて、III層で検出された。溝状造構4号を切っている。一部搅乱を受ける。

形状・規模 平面形はほぼ直線で、北西~南東に延びる。溝状造構3号と並行する。規模は、検出された範囲で20m程度である。断面形は床面に凹凸がみられ、検出面からの深さは3~10cm程度である。

埋土 II層を主体とする。なお、図化していないが、埋土からは近世の陶器片などが出土している。

時代・時期 埋土から、近世以降のものと想定される。

溝状造構3号(第35図)

検出状況 E-11~12区にかけて、III層で検出された。削平により一部消滅している。

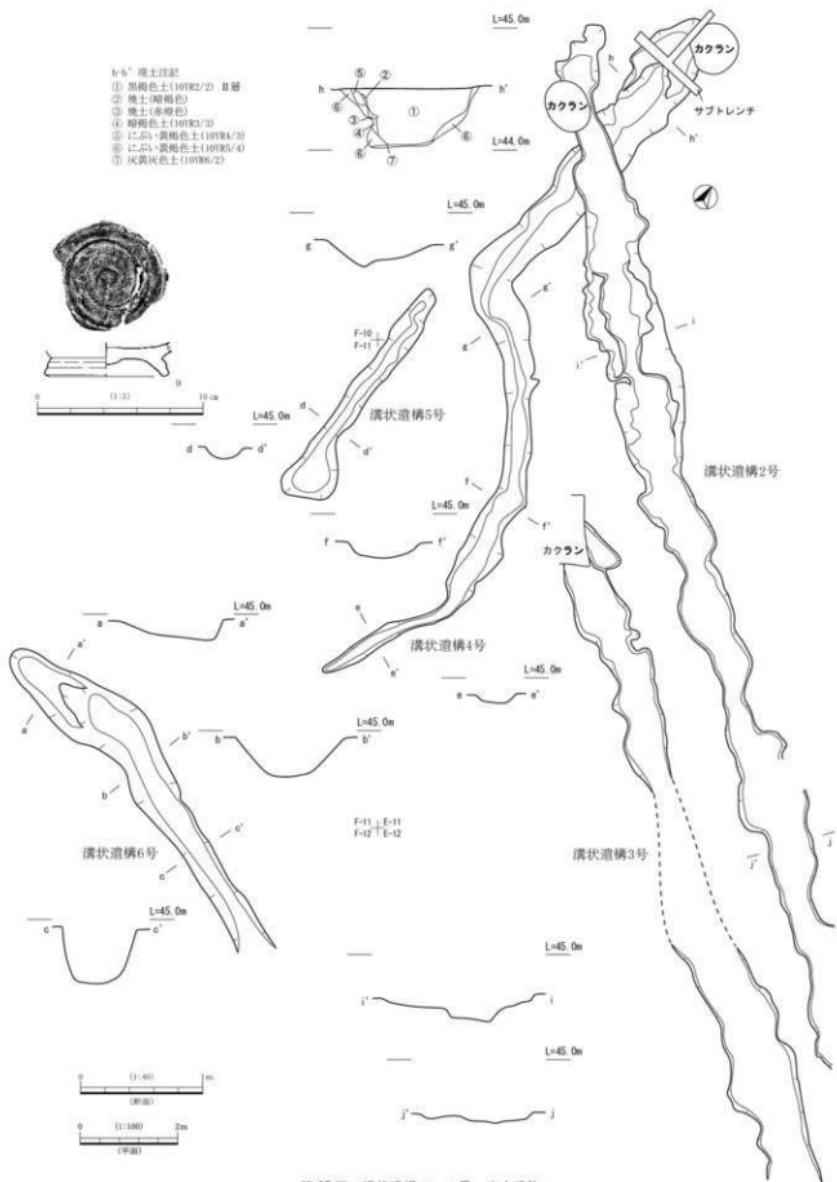
形状・規模 平面形はほぼ直線で、溝状造構2号と並行し、北西~南東方向に延びる。規模は、検出された範囲で13.3m程度である。実測図に不備があったため、断面形と深さは不明である。

埋土 II層を主体とし、一部III層が混入する。

時代・時期 埋土から、古代以降のものと想定されるが、詳細は不明である。

溝状造構4号(第35図)

検出状況 E-10区~F-11区にかけて、III層で検出され



第35図 溝状遺構2~6号・出土遺物

た。溝状遺構2号に切られる。一部に搅乱を受ける。

形状・規模 平面形は、E-10区では北東-南西方向に直線的だが、E-10・11区の境界付近で南東方向に折れ、東に湾曲する。規模は、検出された範囲で16.5m程度である。断面形は床面にやや凹凸がみられ、床面のはF-11区からE-10区に向かって傾斜する。

埋土 埋土はII層を主体とする。

時代・時期 埋土から、古代以降のものと想定されるが、詳細は不明である。

溝状遺構5号（第35図）

検出状況 E-10区～F-11区にかけて、III層で検出された。

形状・規模 平面形は、北東-南西方向へ直線的に延びる。規模は、検出された範囲で5.2m程度である。断面形はすり鉢状となる。

埋土 埋土はII層を主体とする。

遺物 9は土師器碗の底部である。底径7.5cm、高台高1.2cmである。外面及び高台には横ナデガ、内面には回転ナデガが施される。また、底部内面には布目压痕がみられる。

時代・時期 埋土から、古代以降のものと想定されるが、詳細は不明である。

溝状遺構6号（第35図）

検出状況 F-11～12区にかけて、III層で検出された。南東側は削平により消滅している。

形状・規模 平面形は、北西側でやや湾曲するが、直線的である。規模は、検出された範囲で8.1m程度である。断面形は床面に凹凸がみられ、検出面からの深さは5～23cm程度で、北西から南東方向に向かって傾斜する。

埋土 II層を主体とする。

時代・時期 埋土から、古代以降のものと想定されるが、詳細は不明である。

第4節 遺物

1 遺物の調査成果

遺物は、包含層であるII層～VI層から出土した。旧石器時代後期から縄文時代、弥生時代、古墳時代、古代、中世、近世に至るまで、時代ごとの数は少ないが、連続と出土している。

包含層出土遺物の取り上げ方法は、出土地点を記録する点上げを基本とした。しかし、第2節層序で述べた理由の通り、出土状況がプライマリーな状態を保っていると判断できるものは少ない。そのため、層位を違えて接合する遺物が多数みられた。

2 旧石器時代の遺物

(1) 石器出土状況（第36図）

旧石器時代の遺物は、発掘調査時の記録によるとII層～VI層から出土している。また、一部はVII層に沈み込むものも存在する。本来、当該期の遺物はV層下部からVI層上部に属するものであるが、上述の理由により、原位置を留めているものは少ないと判断される。

第36図は、旧石器時代（一部縄文時代早期の石器類を含む可能性がある）の遺物出土状況と地層の横軸箇所を示したものである。遺物出土地点と地層の横軸の範囲が重なっているものが多数みられる。また、層位を跨いでの接合資料も存在する。

発掘調査時には、石器が集中して出土するまとまりをいわゆるブロックと想定していたが、出土状況から判断すると、プライマリーな状態を保っているとは言い難い。

ただし、後述するように、接合資料の接合状況や石材ごとの分布状況から、遺跡内で石器製作が行われたことが看取され、石器出土状況は石器製作当時の状況をある程度反映しているものと判断される。

(2) 細石核・石核・プランクの分類（第3表）

本遺跡で出土した細石核、石核及びプランクについて、素材種の分割方法や形態等に基づき第3表のように分類した。

A類 86のような小円錐をそのまま用いるもの。すなわち、錐面を打面とするもの。

B類 円錐を二分割する一群である。形態によりB1類とB2類に細分する。

B1類 92や93のように分割面を打面とし、打面の周辺部に沿って剥離を行うもので、底面からの外観が円錐状や亀甲状を呈するもの。

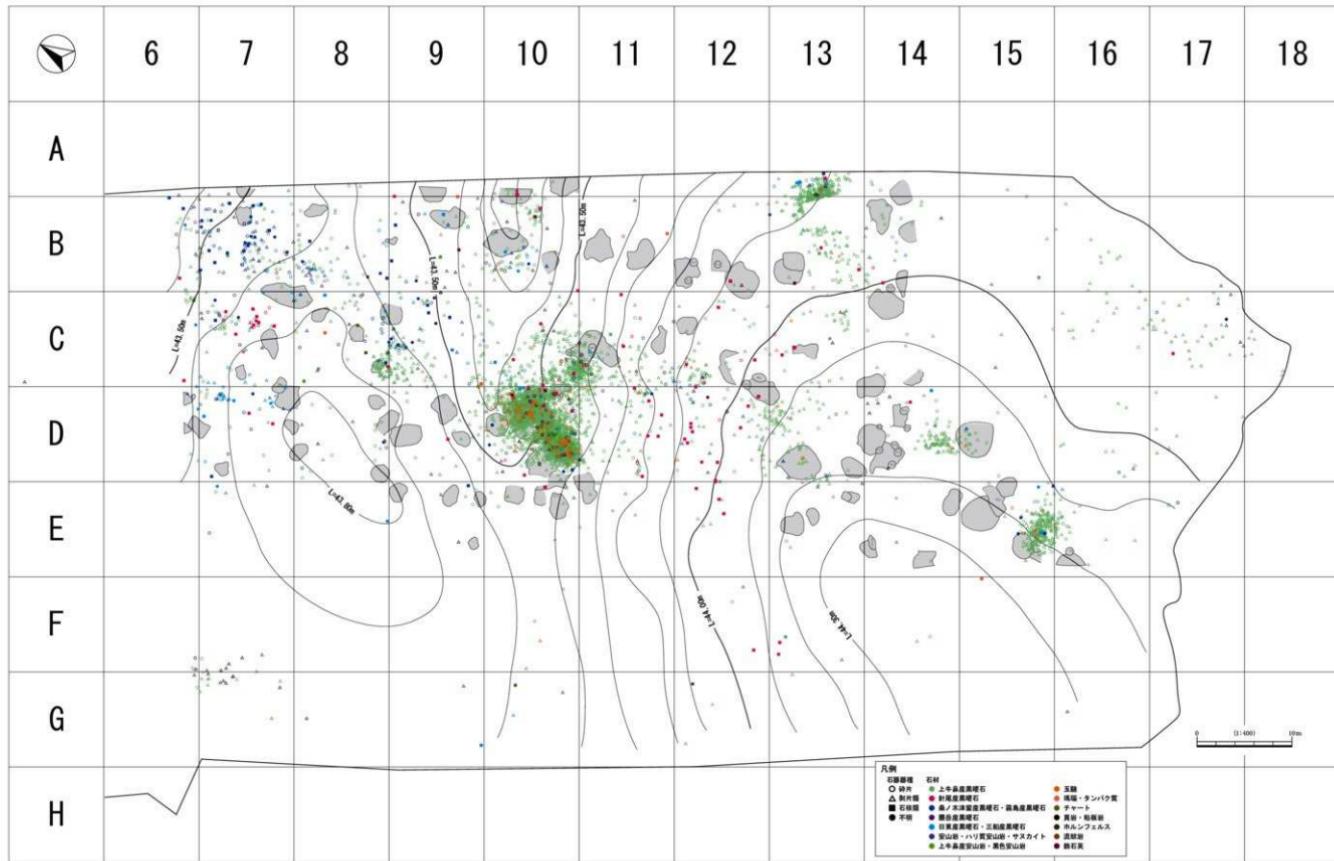
B2類 98や100のように、分割面と直行して（細石刃剥離の）作業面が設置されるもの。その結果、打面と作業面を除く外周部に錐面が広く残される。

C類 157や161のように、素材種を分割した後、一方の錐面を大きく除去し、その後側縁調整を行ったもの。なお、二分割したものを更に細分割して用いたものもあり、B類との厳密な区分が困難だが、これらもC類に編入している。

D類 178のように、板状の剥片を用いた作業面幅の狭いもの。

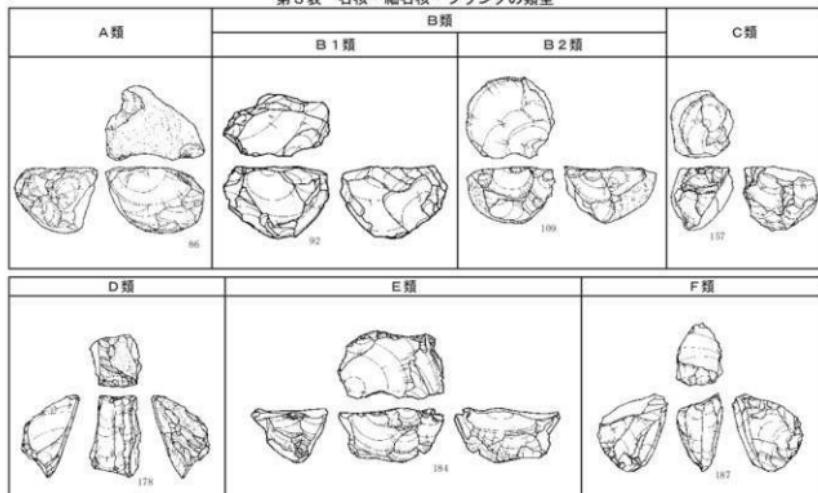
E類 184のように、打面から左右両側縁に石核調整を行い、舟形状を呈するもの。いわゆる船野型細石核に該当する。

F類 187のように楔形の形状を成すもので、いわゆる福井型細石核である。また、福井型細石核と近縁関係にあると見られるものも含めてF類とした。



第36図 旧石器時代の遺物出土状況図

第3表 石核・細石核・ブランクの類型



B～D類は、いずれも分割面を打面とするのが一般的である。なお、B 2類とC類については、明確な区分が困難な事例が存在するが、各資料の特徴がより当てはまる方に含めている。

(3) 接合資料

今回の調査で出土した石核類と剥片類の接合作業を行った結果、102組の接合を行うことができた。そのうち68点を抽出して図化した。石材ごとにまとめて報告する。なお、讃文時代早期以降の資料が混入している可能性もあるので留意されたい。

ア 上牛鼻産黒曜石（第37図～第46図）

上牛鼻産黒曜石の接合資料は、大きく分けて石核類を伴うものと、剥片類だけでの接合に分けることができる。種別ごとに報告する。

石核を伴う接合資料（第37図～第41図）

10(第37図) 総数12点の接合資料である。資料の出土地点はD-10区・V層が中心である。この地点を中心にして剥離作業が行われたと判断される。

本資料は、鶲卵状の礫を二分割し、二分割した礫面の一部を石核調整剥片（A1）として大きく除去することから、石核調整剥片と石核部とに二分される。剥片剥離について、部分的には打面調整や作業面調整剥離が行

われているが、基本的には礫分割面を打面として剥離作業を実施している。なお、石核の側縁調整は全て打面から行っている。石核はB 2類に該当する。

11(第38図) 総数4点の接合資料である。C-13区、V・VI層での接合であり、A1とイ1+イ2+イ3の2個体の接合である。

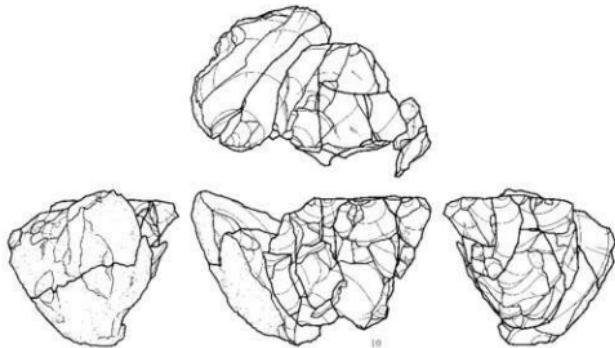
おそらく鶲卵状の礫を縦方向から二分割し、本資料はその二分割されたもののひとつである。本資料は、その中央部でさらに二分されていて、イ1+イ2+イ3は石核として生産が開始されている。一方のA1は分割礫としてそのまま放棄されている。

石核は、団正面が分割面を打面とする作業面である。右側縁では作業面から剥片剥離を実施し、その後、作業面再生剥離を実施している。

この11のような素材礫分割方法の場合、もともとの素材礫からは、4個体分の石核の生産が可能とみられる。B 2類に該当する。

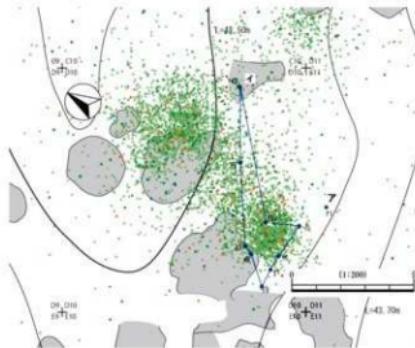
12(第39図) 総数2点の接合資料で、出土層位はIII・V層である。E類細石核の破損品である。使用石材は上牛鼻産黒曜石で、礫分割方法はB類又はC類の細石核を継承するが、打面からの調整剥離に加え、下端部からの剥離も特徴的で、船底型の形状を呈している。

13(第39図) 総数4点の接合資料である。D-10区内での接合である。礫分割面を打面としたもので、礫を二分割するパターンの典型例である。本資料は、二分割さ

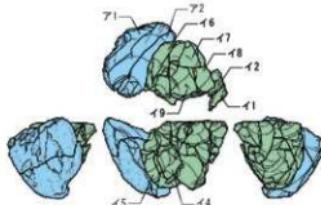
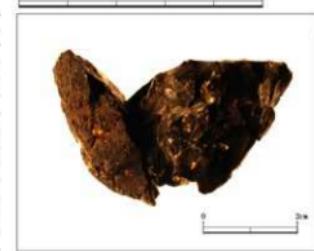


| 項目 番号 | 剥離※ 番号 | 分類 | 取上 番号 | 出土 位置 | 出土 層位 | 器種 | 座標 (m) | | |
|----------|-----------|-------|----------|----------|----------|--------|---------|--------|---|
| | | | | | | | X | Y | Z |
| 10 | 4 | 4925 | 0-10 | III | 剥片 | - | - | - | - |
| | 8 | 7077 | 0-10 | V | 剥片 | 42.377 | 97.753 | 44.206 | |
| | 10 | 7285 | 0-10 | V | 剥片 | 43.680 | 98.343 | 44.206 | |
| | 7 | 9827 | 0-10 | IV | 剥片 | 42.709 | 97.509 | 44.271 | |
| | 1 | 9942 | 0-11 | V | 剥片 | 44.291 | 100.835 | 44.042 | |
| | 6 | 10270 | 0-10 | V | 剥片 | 42.287 | 98.885 | 44.000 | |
| | 5 | 10457 | 0-10 | V | 剥片 | 43.526 | 99.721 | 44.008 | |
| | 9 | 10535 | 0-10 | V | 石核 | 41.046 | 98.192 | 43.840 | |
| | 2 | 11007 | 0-10 | V | 剥片 | 46.110 | 97.309 | 43.858 | |
| | 3 | 12425 | 0-10 | V | 剥片 | 49.220 | 97.290 | 43.707 | |
| | 1 | 11679 | 0-10 | V | 剥片 | 42.686 | 98.090 | 43.805 | |
| | 2 | - | - | - | 剥片 | - | - | - | - |

※ (7.1+7.2) → [(4.1→4.2) → [(4.3→(4→4.5→4.6→4.7→(4.8+4.9)…(10)]



第37図

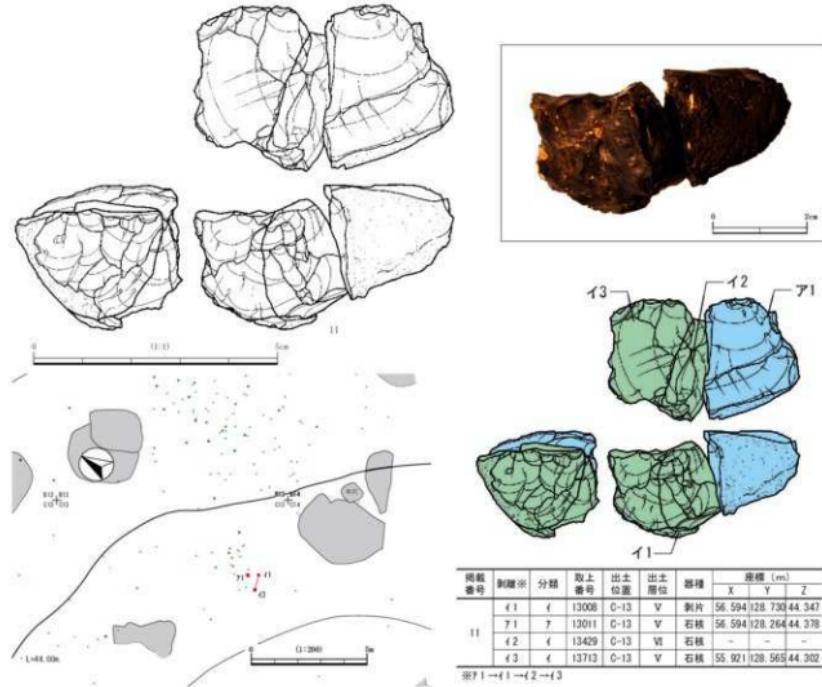


接合資料 1

れたものの片方に相当する。右側縁のア3は石核調整剥片として先行して剥離除去されている。なお、ア1・ア2も石核調整剥片で、石核として正面と対峙する後に不定形剥片剥離の作業面が設定されている。基本的にはC類に属する。

14(第40図) 総数3点の接合資料で、B-10区・V層

出土資料の接合である。後述の15と同様に、円礫の分割を行い、分割後の個体の大きい方が石核として利用されている。石核形態はB2類で、剥片剥離は打面調整が繰り返される。図示した正面の右下及び右側面下位の剥離面が先行する剥離面だが、その目的については検討課題である。



第38図 接合資料2

15(第40図) 総数3点の接合資料である。円錐を分割して石核を作り出す過程の接合資料で、ア1とイ1+イ2とに二分される。選択された石核素材は長さ6.0cm、幅3.5cm程度の鶴卵状のものと想定される。

まず、石核素材の顶部をスライスするように横方向に加圧され、狭い分割面が作り出されるが、この行為は、石材の品質の確認作業である可能性が想定される。その後、その分割面を打面として縦方向に加圧され、2点分の石核素材が生産されることとなる。

ア1が現存する石核で、イ1とイ2は現存しない石核の側縫部調整剥片に相当する。ア1は、後面に縫面をそのまま残し、分割面を打面とし、数回の剥片剥離が実施されている。C類に該当する。

16(第40図) 総数2点の接合資料である。D-10区のⅢ層とV層からの出土資料で構成される。小円錐の上部を分割除去し、分割面を打面に細石刀を剥離した後、右側縫部平坦面を新たに設置し、直行する剥片剥離を実施している。なお、イは後者の打面調整剥片に相当する。B2

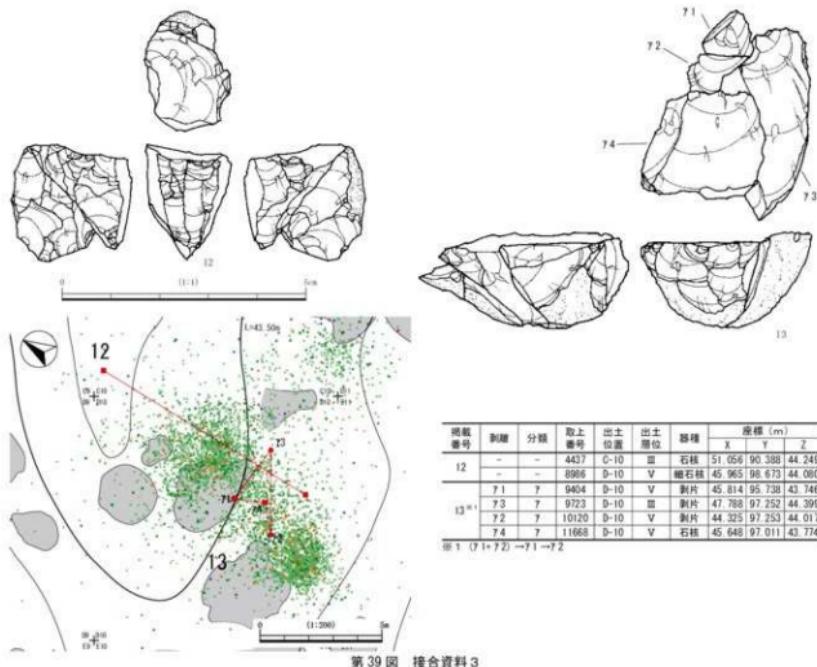
類に該当する。

17(第40図) 総数2点の接合資料である。分割面が更に二分割されたもので、それぞれ石核として剥離が試みられた可能性が想定される。B2類に該当する。

18(第40図) 総数2点の接合資料で、B-10区・V層出土である。打面調整剥片と石核の接合資料で、素材である小円錐の上位1/3程の位置で横方向に加圧し、打面作成を実施している。下位のアが石核素材に選択された。イは素材の上部を剥離した調整剥片の一片に該当する。石核はB2類で、剥片剥離が進行する。

19(第41図) 総数2点の接合資料で、C-9区とC-8区のV層から出土した細石核の接合資料である。両者ともに後面に縫面を残し、縫分割時の分割面が識別困難なことから、分割面をより細片化したC類石核と判断される。

20(第41図) 総数2点の接合資料で、D-12区のV層とVI層から出土している。底面は先行する分割面で、後面に縫面を残す。長さ1.5cm程の剥片を作り出しているが、最後の加圧で破損している。B2類石核の変容形態に該



接合資料3

当する。

21(第41図) 総数2点の接合資料で、C類石核と打面調整剥片の接合例である。

22(第41図) 総数2点の接合資料である。B-13区・V層内で出土しているもので、残核に近い石核が上下に破損したものである。図示した打面は、素材礫分割面の可能性が高く、左側縁には縫面が残される。正面と背面では打面転移を行い、不定形剥片を剥離したものと考えられる。C類に該当する。

23(第41図) 総数3点の接合資料である。B-10区から出土した資料だが、出土した層位はIV層1点、V層2点である。棒状礫の接合資料で、当初、上・中・下に三分割されたものと思われる。なお、石核として使用される中央部の底面の打点が確認できることから、下位の礫分割時に生じたアクシデントによる分割と判断される。中央部の石核は、周囲の縫面を残したまま分割面を打面として作業面の設置が試みられているが、ステップ・フラクチャーが生じている。B2類石核形態に該当する。

| 規範番号 | 剥離 | 分類 | 取上番号 | 出土位置 | 出土層位 | 器種 | 座標(m) | | |
|-----------------------|----|----|-------|------|------|-----|--------|--------|--------|
| | | | | | | | X | Y | Z |
| 12 | - | - | 4457 | C-10 | III | 石核 | 51.056 | 98.388 | 44.249 |
| | - | - | 8986 | D-10 | V | 細石核 | 45.965 | 98.673 | 44.080 |
| | 71 | 7 | 9404 | D-10 | V | 剥片 | 45.814 | 95.738 | 43.746 |
| 13#1 | 73 | 7 | 9723 | D-10 | III | 剥片 | 47.788 | 97.252 | 44.399 |
| | 72 | 7 | 10120 | D-10 | V | 剥片 | 44.325 | 97.253 | 44.017 |
| | 74 | 7 | 11668 | D-10 | V | 石核 | 45.648 | 97.011 | 43.774 |
| ※ 1 (71+72) → 7-71-72 | | | | | | | | | |

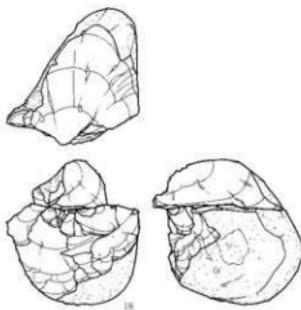
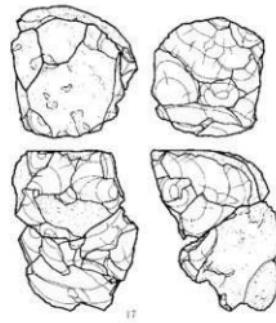
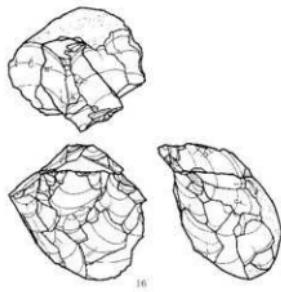
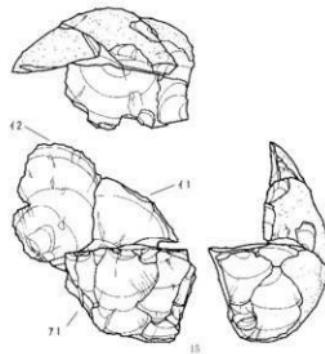
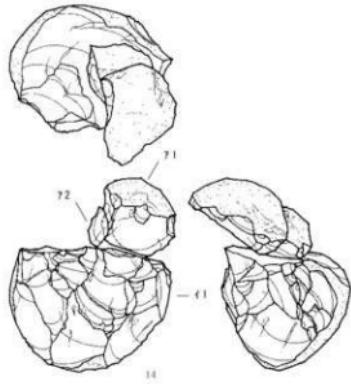
剥片類の接合資料(第41図～第45図)

24(第41図) 総数3点の接合資料である。背面全体が礫面で、韌片状を呈する調整剥片の三分割の接合資料である。この長さの剥片が他に見られないことや、この長さの剥片を採取した石核が出土していないことから、剥片の目的は判然としないが、頂部に先行する剥離面が残されることから、作業面調整剥片と見られる。なお、三分割は意図的な折断と判断される。

25(第42図) 総数2点の接合資料である。D-13区・V層出土資料同士で、礫面を持つ調整剥片2点の接合資料である。頭部と中間部の接合であるが、下端部は欠落する。円錐の打面調整剥片の可能性もある。

26(第42図) 総数2点の接合資料である。C-9区のIII層とVI層から出土している。調整剥片の接合資料で、わずかに残る左側縁の剥離面は、先行する礫分割面に相当する。なお、調整剥片の詳細については不明である。

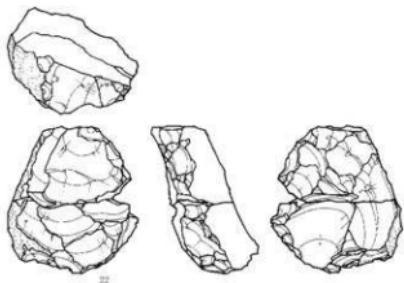
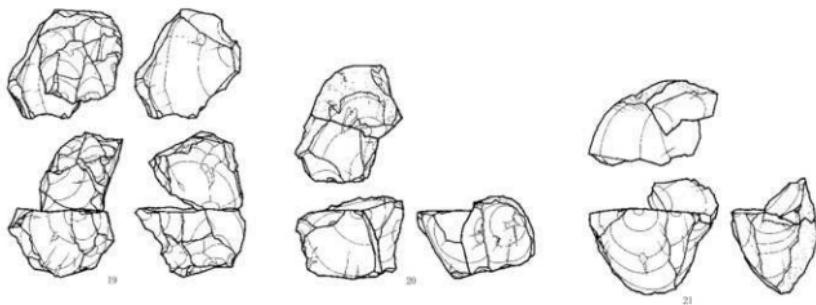
27(第42図) 総数2点の接合資料である。C-10区のIII層とV層から出土している。調整剥片のアクシデントによる破損品の接合である。本来は、素材円錐の第一次分割片の可能性が想定される。



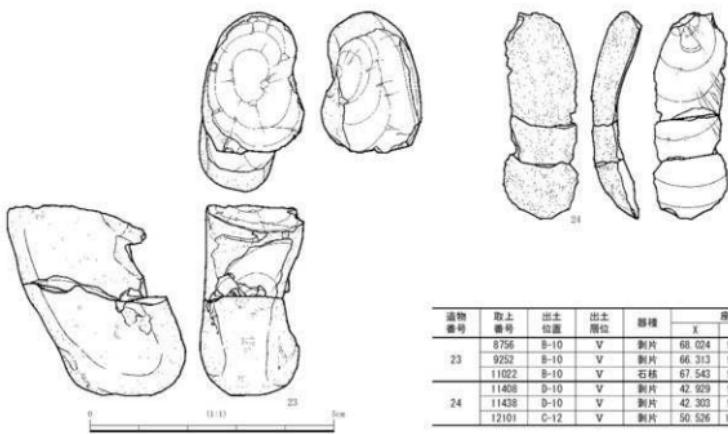
0 0.10 1cm

| 相載 番号 | 剥離 | 分類 | 取上 番号 | 出土 位置 | 出土 層位 | 器種 | 座標 (m) | | |
|--------------|-----|----|----------|----------|----------|-----|--------|--------|--------|
| | | | | | | | X | Y | Z |
| 14** | 71 | 7 | 8763 | B-10 | V | 剥片 | 69.127 | 93.315 | 43.733 |
| | 72 | 7 | 9136 | B-10 | V | 剥片 | 68.411 | 93.514 | 43.578 |
| | -e1 | 4 | - | - | - | 石核 | - | - | - |
| ※1 71+72→-e1 | | | | | | | | | |
| 15** | 71 | 7 | 4432 | C-9 | III | 石核 | 50.676 | 89.597 | 44.284 |
| | e2 | 4 | 9571 | C-10 | III | 剥片 | 51.433 | 96.702 | 44.376 |
| | -e1 | 4 | 10994 | C-10 | V | 剥片 | 53.150 | 98.087 | 43.767 |
| ※2 71+e1-e2 | | | | | | | | | |
| 16 | - | 4 | 4206 | D-10 | III | 剥片 | 44.999 | 95.567 | 44.536 |
| | - | 7 | 9916 | D-10 | V | 細石核 | 48.258 | 96.165 | 44.231 |
| 17 | - | - | 7021 | D-10 | IV | 石核 | 48.030 | 92.111 | 43.863 |
| | - | - | 7766 | C-10 | V | 石核 | 52.328 | 93.359 | 43.798 |
| 18 | - | 4 | 8758 | B-10 | V | 剥片 | 68.190 | 93.915 | 43.660 |
| | - | 7 | 9145 | B-10 | V | 石核 | 68.142 | 94.973 | 43.631 |

第40図 接合資料4



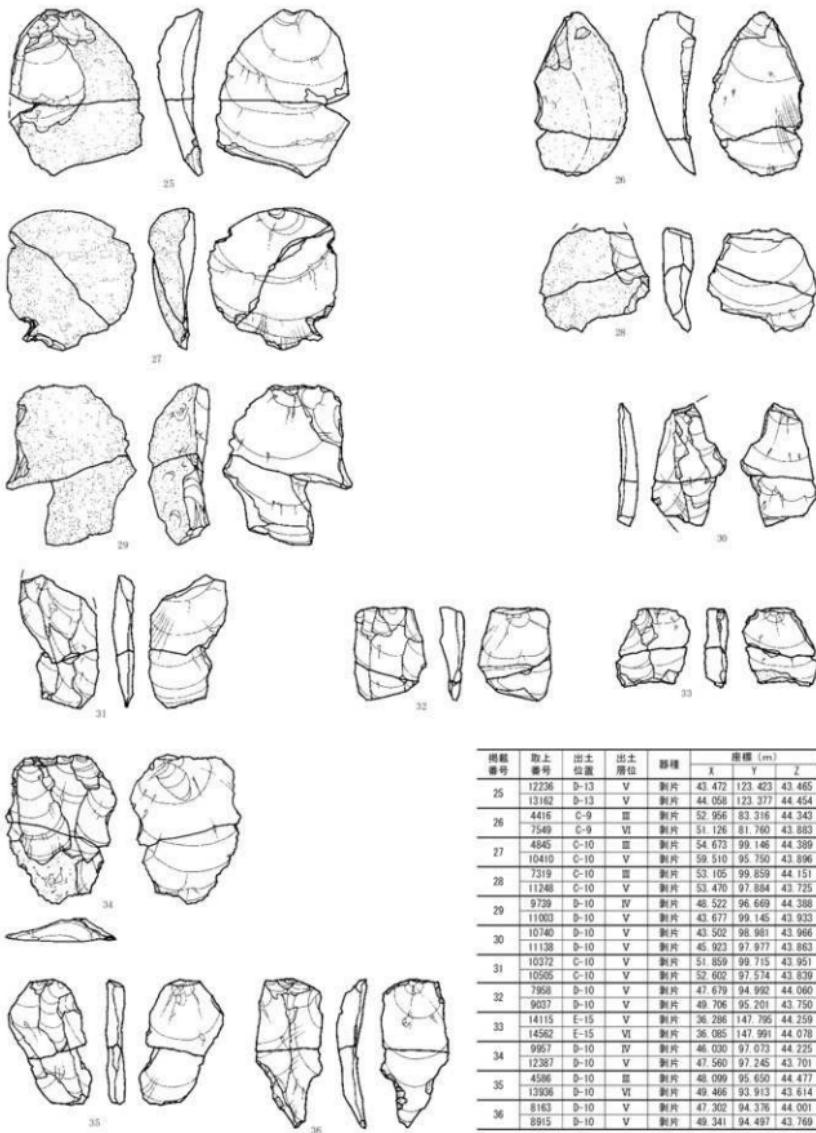
| 編號 番号 | 取上 番号 | 出土 位置 | 出土 層位 | 器種 | 座標 (m) | | |
|----------|----------|----------|----------|-----|--------|---------|--------|
| | | | | | X | Y | Z |
| 19 | 7508 | C-9 | V | 石核 | 50.943 | 80.380 | 44.041 |
| | 7526 | C-8 | V | 砸石核 | 53.046 | 76.968 | 43.388 |
| 20 | 12216 | D-12 | V | 石核 | 43.353 | 110.817 | 43.409 |
| | 13156 | D-12 | V | 石核 | 43.368 | 110.862 | 44.345 |
| 21 | 5035 | D-10 | V | 剥片 | 49.721 | 93.504 | 44.351 |
| | 7961 | D-10 | V | 石核 | 47.449 | 94.756 | 44.091 |
| 22 | 12952 | B-13 | V | 石核 | 65.917 | 125.522 | 44.222 |
| | 13120 | B-13 | V | 石核 | 65.455 | 125.253 | 44.187 |



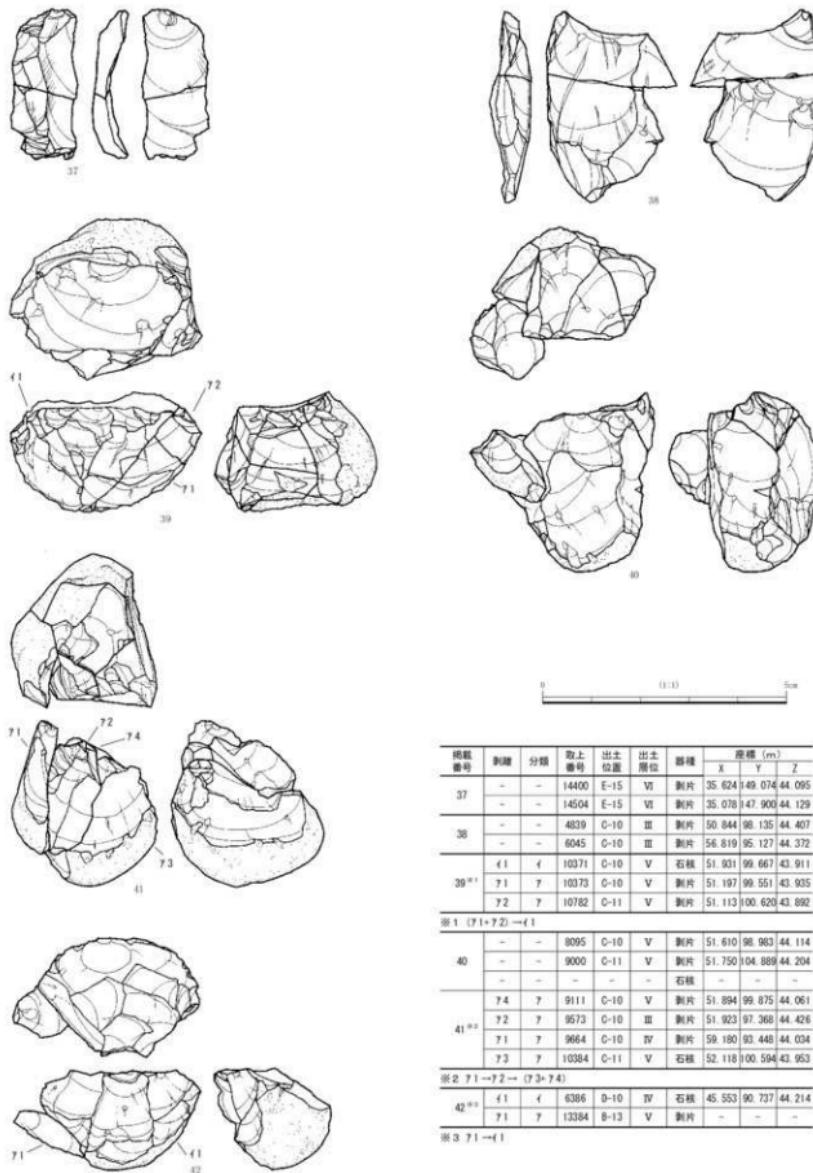
| 遺物 番号 | 取上 番号 | 出土 位置 | 出土 層位 | 器種 | 座標 (m) | | |
|----------|----------|----------|----------|----|--------|---------|--------|
| | | | | | X | Y | Z |
| 23 | 8756 | B-10 | V | 剥片 | 68.024 | 92.618 | 43.675 |
| | 9252 | B-10 | V | 剥片 | 66.313 | 96.731 | 44.010 |
| | 11022 | B-10 | V | 石核 | 67.543 | 95.926 | 43.586 |
| 24 | 11408 | D-10 | V | 剥片 | 42.929 | 99.513 | 43.903 |
| | 11438 | D-10 | V | 剥片 | 42.303 | 98.559 | 43.871 |
| | 12101 | C-12 | V | 剥片 | 50.526 | 115.169 | 43.468 |

第 41 図 接合資料 5

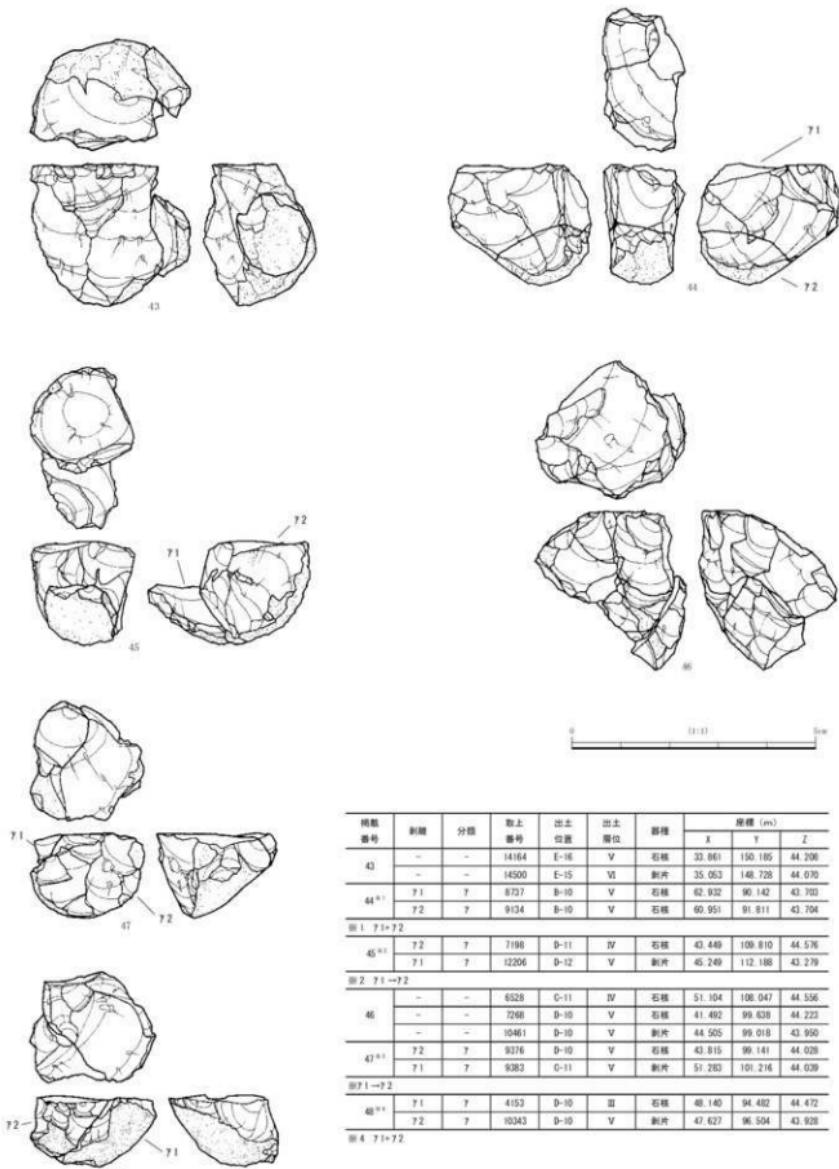
- 28(第42図) 総数2点の接合資料である。C-10区のIII層とV層からの出土品である。頭部の先行する剥離面から、石核調整剥片がアクシデントにより破損したものとみられる。
- 29(第42図) 総数2点の接合資料である。調整剥片のアクシデント破損による接合例である。打面と下端部、右側縁部に先行する剥離面が確認される。
- 30(第42図) 折断剥片2点の接合資料で、D-10区・V層出土資料である。資料の右側縁部は破損により失われている。
- 31(第42図) 折断剥片2点の接合資料で、C-10区・V層出土資料である。頭部が欠損する。
- 32(第42図) 折断剥片2点の接合資料で、D-10区のV層からの出土である。長さ2.0cm程の剥片の接合例で、打面は平坦で、先行する剥離も同一方向である。
- 33(第42図) 折断剥片2点の接合資料で、E-15区のV層とVI層からの出土である。
- 34(第42図) 調整剥片2点の接合資料である。上下に分割されるが、二次加工痕等は観察されない。D-10区のIV層とV層からの出土である。
- 35(第42図) 平坦打面を持つ調整剥片を二分割したもので、人為的分割による折断剥片とみられる。D-10区のIII層とVI層の出土資料である。
- 36(第42図) 約3.0cmの縦長剥片の接合資料で、上部資料の右側縁腹面側と下部資料の両側縁部に微細剥離痕が確認できる。D-10区・V層出土である。
- 37(第43図) 縦長剥片二分割の接合資料である。長さ3.0cm、幅1.4cm、厚さ0.8cmで、底面に縫面を残す。二次加工は施されていない。E-15区・VI層出土資料である。
- 38(第43図) 総数2点の接合資料である。舌状の剥片の打面が腹面方向から除去された後、二分割されている。出土地点がC-10区・III層と近接する。
- 39(第43図) 総数3点の接合資料である。B2類石核のイと調整剥片のアの接合である。調整剥片を含め剥片は、全て不定形剥片とみられる。なお、打面は縦分割時の分割面がそのまま使用される。
- 40(第43図) 総数3点の接合資料である。アトイの2点は石核の調整剥片である。素材縫が四分割されたと想定されることから、石核形態はC類に該当する。
- 41(第43図) 総数4点の接合資料である。C-10区のIII・IV・V層から出土した資料各1点とC-11区・V層出土資料1点で構成される。上述の18と同様に、素材縫上部の分割面を打面として、一部で打面転移も行われているが、定型的な剥片の生産には至っていない。石核形態はA類に該当する。
- 42(第43図) 総数2点の接合資料である。B2類石核と調整剥片の接合である。
- 43(第44図) 総数2点の接合資料で、E-15・16区のV層とVI層からの出土資料である。石核と調整剥片からなる。石核はC類に該当し、打面と作業面中央部の下端に分割面が残る。
- 44(第44図) 総数2点の接合資料で、資料は全てB-10区・V層出土である。E類石核のプランクで、側縁調整は全て打面から実施されている。なお、分離はアクシデントによるもので、調整意図は認められない。
- 45(第44図) 総数2点の接合資料で、C類プランクと作業面調整剥片の接合資料である。D-11区・IV層とD-12区・V層からの出土資料である。本資料の打面を成す素材縫の分割が先行する。プランクの右側縁を形成する剥離面は、分割面から再分割した面がそのまま利用されている。その後、作業面を形成しているが、剥片の生産には至っていない。
- 46(第44図) 総数3点の接合資料である。石核と先行するやや厚手の剥片下部と、アクシデントにより破損した石核下端部の接合資料である。石核はB1類に該当する。先行するやや厚手の剥片が、作業面調整剥片の可能性が高い。打面には素材縫の分割面が使用される。
- 47(第44図) 総数2点の接合資料である。D-10区・V層とC-11区・V層から出土した資料である。B2類石核の接合で、ア2に作業面が残される。
- 48(第44図) 総数2点の接合資料で、素材縫分割時の早い段階の石核調整剥片の可能性が考えられる。石核はB2類に該当する。
- 49(第45図) 総数2点の縫面を残す調整剥片の接合資料である。D-10区・V層とC-12区・V層から出土した資料である。
- 50(第45図) 総数4点の調整剥片の接合資料である。C-10区出土資料3点とC-11区出土資料1点からなる。ア1の打面は円縫の頭部を分割した面とみられる。この分割面を打面として、ア1が第一調整剥片で、順次石核調整ないしは作業面調整剥片として剥離されたものとみられる。B類石核に該当する。
- 51(第45図) 総数2点の剥片の接合資料である。アには細石刃剥離底らしき痕跡が残ることから、作業面再生剥片の可能性も残される。また、後続の背面に対向する剥離痕がみられる。
- 52(第45図) 総数2点の接合資料である。底面に観察される先行する剥離面の性格が不明であるが、素材縫分割剥片の可能性が高い。
- 53(第45図) 総数2点の接合資料で、ともにD-10区・V層出土である。打面に対して斜め方向に分割することから、アクシデント原因による分割とみられる。
- 54(第45図) 総数2点の接合資料である。やや厚手の作業面調整剥片だが、下半分が斜めに割れていることから、分離はアクシデントによる剥落とみられる。
- 55(第45図) 小刀器状の剥片5点の接合資料である。



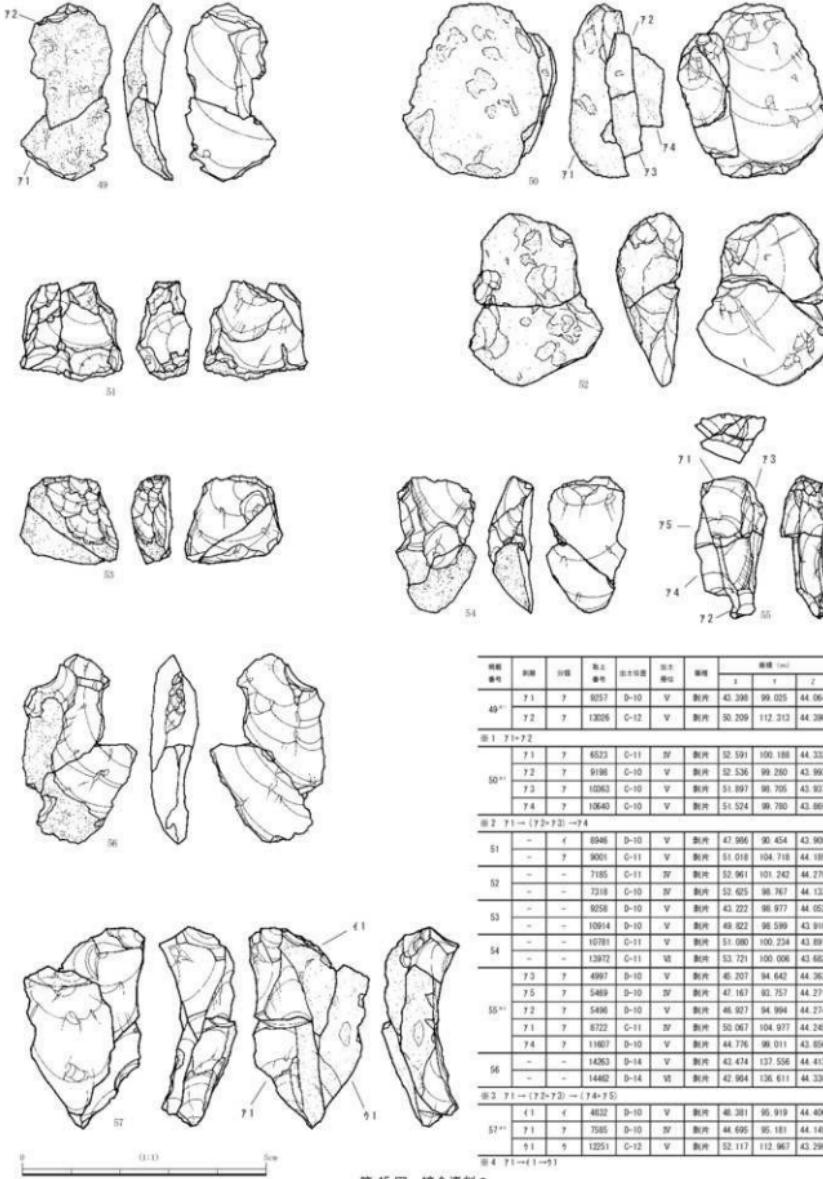
第 42 図 接合資料 6



第43図 接合資料7

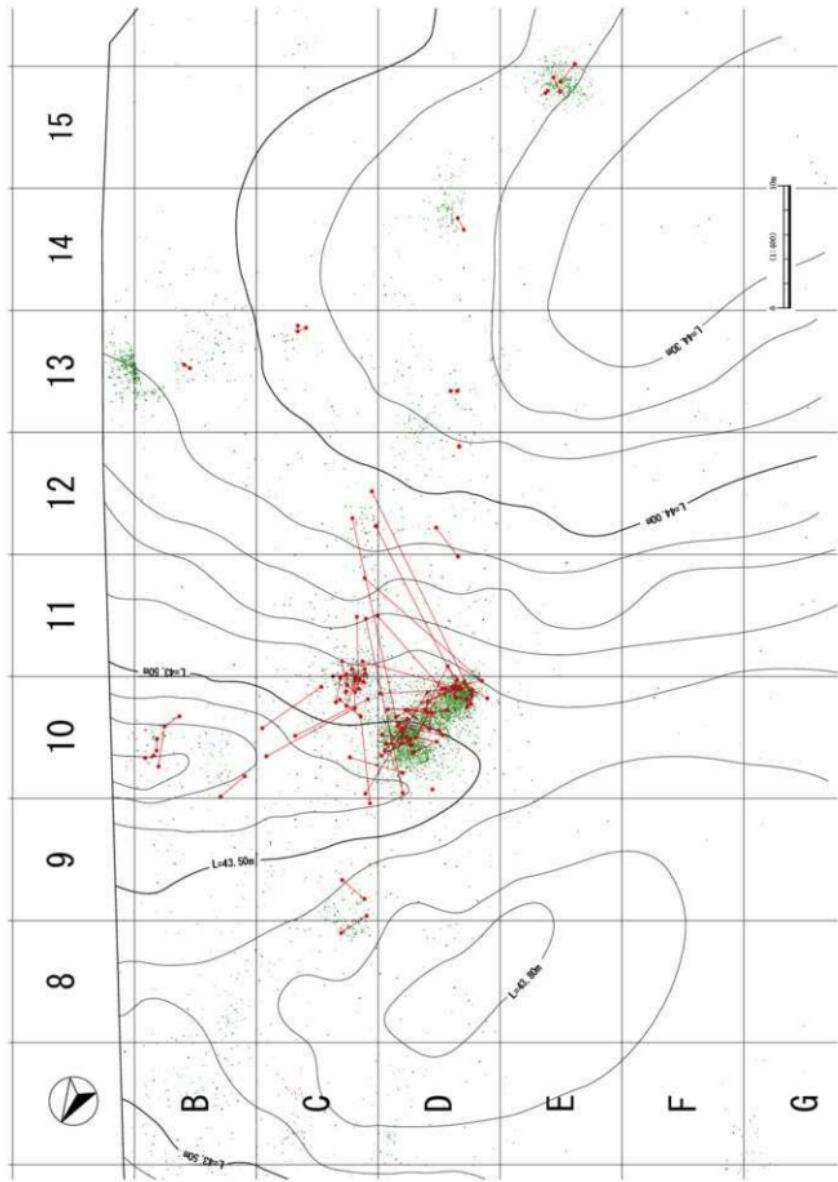


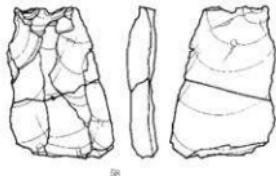
第44図 接合資料8



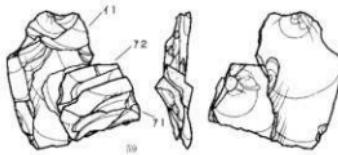
第45図 接合資料9

第46図 上牛鼻崖黒岩石 接合資料分布図

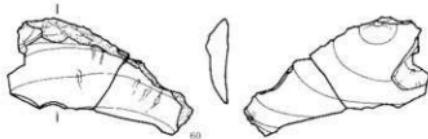




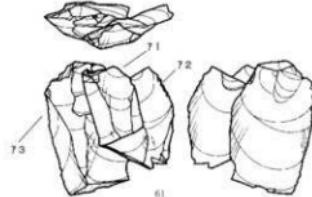
58



59



60



61

| 標識番号 | 剥離 | 分類 | 取上番号 | 出土位置 | 出土層位 | 器種 | 座標 (m) | | |
|-------------------|----|-------|------|------|------|--------|--------|---------|--------|
| | | | | | | | X | Y | Z |
| 58 | - | - | 8318 | C-11 | V | 剥片 | 55.345 | 104.668 | 44.273 |
| | - | - | 9357 | C-11 | V | 剥片 | 52.690 | 110.027 | 44.060 |
| 59 ⁽¹⁾ | 4 | 4896 | | C-12 | III | 剥片 | 51.066 | 111.815 | 44.703 |
| 59 ⁽²⁾ | 7 | 5250 | D-10 | III | 剥片 | 41.483 | 99.027 | 44.577 | |
| 59 ⁽³⁾ | 7 | 13951 | E-10 | V | 剥片 | 38.233 | 96.850 | 44.011 | |

第 1 71 → 72 → 61

| 標識番号 | 剥離 | 分類 | 取上番号 | 出土位置 | 出土層位 | 器種 | 座標 (m) | | |
|-------------------|----|----|-------|------|------|----|--------|---------|--------|
| | | | | | | | X | Y | Z |
| 61 ⁽¹⁾ | 7 | 7 | 4284 | B-7 | IV | 剥片 | 62.562 | 68.694 | 44.220 |
| | 73 | 7 | 13314 | D-12 | III | 剥片 | 40.274 | 112.518 | 44.802 |
| | 72 | 7 | - | G-12 | VI | 剥片 | - | - | - |
| ※ 2, 71 → 72 → 73 | | | | | | | | | |
| 60 | - | - | 13795 | D-9 | V | 剥片 | 44.943 | 86.584 | 43.937 |
| | - | - | 13974 | C-10 | VI | 剥片 | 56.628 | 91.996 | 43.377 |

第 47 図 接合資料 10

平坦な同一打面から連続して 3 枚の剥片が剥ぎ取られている。また、それぞれの中央部で分割されている。織石刃の可能性もある。

56(第 45 図) 総数 2 点の接合資料である。二次加工により剥片の上部のイと下部のアに分離した資料の接合である。イの左側縁には、腹面からの二次加工痕が残される。

57(第 45 図) 総数 3 点の剥片からなる接合資料である。先行する 2 点と最終の 1 点では、打面の 180° の転移が認められる。また、先行する 2 点では打面位置が異なることから、打面調整が考えられる。

イ 針尾産黒曜石(第 47 図)

58 ~ 61 は針尾産黒曜石の接合資料である。針尾産黒曜石では、4 組の接合資料を図化した。

58(第 47 図) 総数 2 点の折断剥片の接合資料で、剥片頭部と中間部に該当する。下端部も存在したと想定され、三分割された可能性が高い。なお、二次加工等の痕跡は観察されないが、本遺跡の残された縦長剥片としては良質なものである。

59(第 47 図) 総数 3 点の剥片から構成される接合資料である。ア 1 → ア 2 → イ 1 の順で剥離される。先行する 2 点は平坦打面で、最終のイ 1 で打点が 90° 転移する。出土地点は、ア 1 は E-10 区 V 層、ア 2 は D-10 区 III 層、イ 1 は

C-12 区 III 層であり、広範囲である。

60(第 47 図) 総数 2 点の接合資料で、横長不定形剥片の接合資料である。出土区・出土層とともに異なる。分割は、意図的なものとは認められない。

61(第 47 図) 総数 3 点の接合資料である。ア 1 → ア 2 → ア 3 の順で剥離されるが、ア 3 の底面は縦面であることから、石核の丈が復元できる。また、ア 2 の頸部は分割されており、折断剥片の可能性も想定される。

ア 1 は B-7 区・IV 层、ア 2 は G-12 区、VI 层出土であり、広範な出土位置が記録される。石材及び剥離技術から、59 と同一個体と判断される。

ウ 玉髓(第 48 図～第 51 図)

玉髓は、石材が特徴的であり、接合状況の復元を最も進めることができた。10 組の接合資料を図化した。

62(第 48 図) 総数 17 点から構成される。出土地点は D-10 区を中心とするが、B-8 区、C-11 区まで広がる。出土層位は III 层 2 点、IV 层 2 点、V 层 10 点、VI 层 1 点、不明 2 点である。17 点中 13 点が D-10 区出土で、そのうち 9 点が V 层からの出土である。

出土状況下から、D-10 区・V 层が剥片剥離作業の中心であり、ア・イ群石核はその集中区から出土している。一方、ウ群石核は B-8 区から出土していて、集中区とは約 30m 以上離れている。

石核 2 点を中心に剥片剥離が進行するが、それらは節理面を持つ亜角縫を分割することから開始され、石核の接合面が分割面に該当する。

ア群の剥片接合は、節理面に接する調整剥片の 1 点のみであるが、節理面とそれに対応する分割面を打面として剥片剥離が行われている。なお、石核（ア 2）の節理面からの剥片は長さ 2.0cm 程で、それに対して、分割面からの剥片は、長さ 1.5cm を超えるものは無かったようである。

イ・ウ群の剥片剥離は、正面最下位の剥片から開始し、下位から上位方向に左回りに進行し、石核（ウ 7）をほぼ一周して正面右側の剥片剥離に至っている。その間、獲得された剥片の大部分が長さ 2.0cm 前後で、終盤の 1 ~ 2 点が長さ 2.5cm 程を超える剥片となる状況を読み取れる。そして、二周目に入った時点で長さ 3.0cm 程の最長の剥片を取り出し、それと並行して、石核の打面調整を頻繁に実施している。

63(第49図) 総数 16 点で構成される。16 点中 15 点が D-10 区出土である。出土層位は、Ⅲ 層 3 点、Ⅳ 層 4 点、V 層が 9 点である。出土状況から、D-10 区・V 層を中心剥片剥離作業が行われたと判断される。

円錐を二分割した分割縫を使用したと思われる、内核部の結晶密度の濃い部分を使用するため、外皮側は除去した可能性が高く、本資料は、その外皮側の除去部との接合例と推定される。従って、図示していないが、後面を構成する大剥離面が、研削時の先行する分割面である可能性が高い。

ア石核群とイ石核群で剥片剥離が進行するが、具体的に剥片剥離が実施されるのはイ石核群が中心となる。ア群の底面が外皮面であることが、剥片剥離が進行しなかつた一因と考えられる。

石核（イ 13）では 3 面の打面が存在し、打面転移を伴う剥片剥離を実施している。なお、作業進行に応じて部分的に打面調整した痕跡が認められる。剥離された剥片はいずれも小型の不定形剥片で、正面の剥離痕からは、長さ 1.5cm、幅 2.5cm 程の剥片が復元できる。作成された剥片が調査区内に残存していないことから、遺跡外へ持ち出された可能性が想定される。イ 7 とイ 8 は石核（イ 13）の打面再生剥片である。

64(第50図) 総数 27 点から構成される。ア～エの 4 群の剥片剥離が確認できる。なお、出土地点は、D-10 区・Ⅲ 層 3 点、Ⅳ 層 2 点、V 層 20 点、D-11 区・Ⅳ 層 1 点、V 層 1 点が存在する。出土状況から D-10 区・V 層が剥片剥離作業の中心であったと判断できる。

ウ群は長さ 1.5cm 程の板状剥片であり、他の 3 群よりも早い段階で分離している。ウ群以外のものの中で剥離の先行するものはア群・イ群で、剥片は、長さ 2.5cm 程度のものが最長である。エ群と先述のウ群の剥離において

は、長さ 1.5cm を超える剥片は無かったとみられる。

ア・イ・ウ群では、同一打面から剥片剥離が実施されている。エ群では、他の 3 群と同一方向から剥離した後、一時打面をア群方向に転移し、さらに、打面再生剥離を行い、再度他の 3 群と同一方向からの剥片剥離が行われている。

65(第51図) 総数 5 点の接合資料である。使用石材は 67 に酷似する。加壓によるアクシデント剥落が多数認められるが、打面調整を行った痕跡は認められず、平坦打面からの剥片剥離が実施されている。ア 1・ア 2 は調整剥片、ア 3 はアクシデントによる剥落片、ア 4 は剥片であるが、ア 5 は折断剥片の可能性が高い。

66(第51図) 玉髓の剥片 5 点で構成される接合資料である。全て D-10 区・V 層からの出土資料である。

剥離順は、ア 1 → イ 1 → (ウ 1 + ウ 2) → ウ 3 であり、先行する 2 点と後者とでは、後者の打面が低くなる。(ウ 1 + ウ 2) は長さ 2.5cm × 幅 1.2cm、ウ 3 は長さ 3.0cm × 幅 1.8cm で、これらの剥片が目的剥片であったと思われる。

67(第51図) 玉髓の残核 1 点、調整剥片 2 点及び剥 3 点で構成される接合資料である。全て D-10 区出土だが、残核 1 点がⅢ 層、他はⅣ 層 2 点、V 層 3 点と層位的には安定しない。使用石材は玉髓であるが、濃い茶色で、部分的に乳白色の斑紋が含まれる。

接合状況から、打面転移の剥片剥離が行われたことが示されており、64 と同様に小型の不定形剥片が作出されるが、長さ 3cm を超すものはみられない。

68(第51図) 玉髓 2 点で構成される接合資料で、剥片がアクシデントにより剥落したものである。使用石材は 67 に酷似する。

69(第51図) 調整剥片 2 点で構成される接合資料である。使用石材は玉髓で、64 に酷似する。

70(第51図) 玉髓の剥片 2 点からなる接合資料である。打点は左から右に移動する。

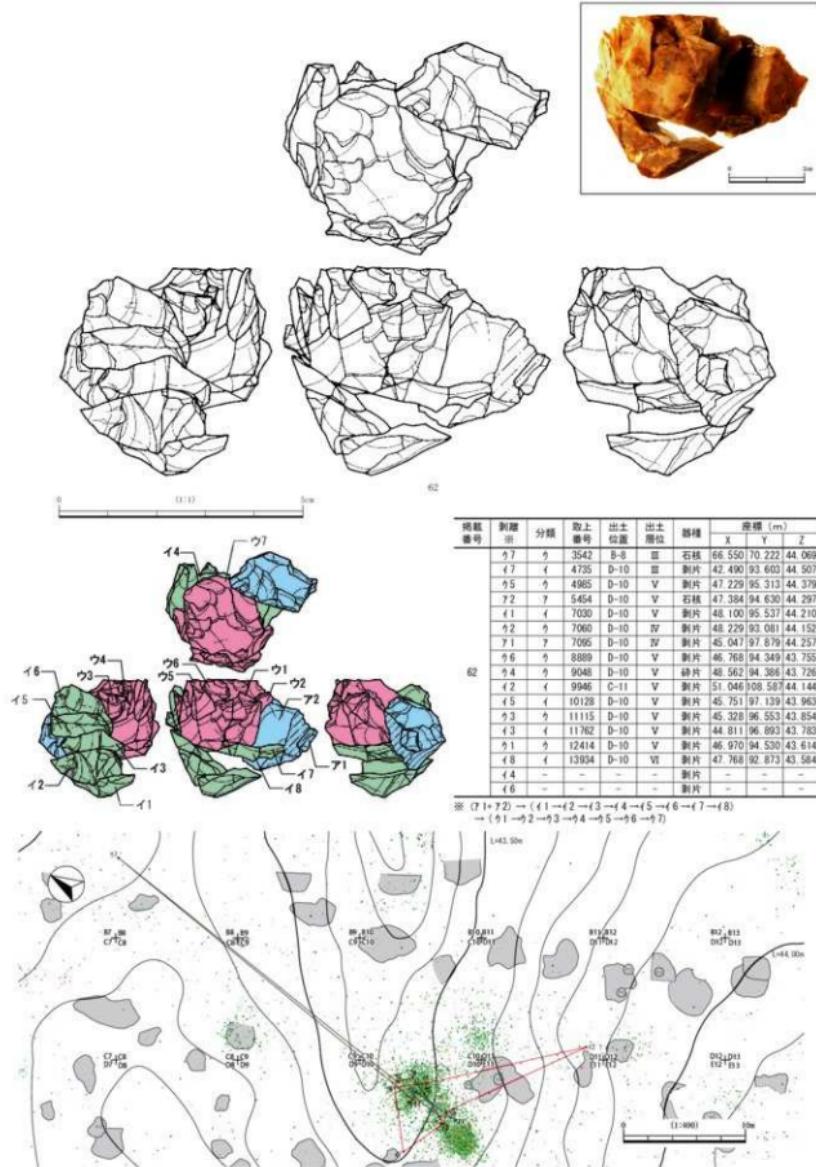
71(第51図) 玉髓の調整剥片 3 点で構成される接合資料である。全て D-10 区・V 層の出土の資料である。剥離順はア 1 → ア 2 → ア 3 で、同一の平坦打面から作業が行われている。使用石材は 64 に酷似する。

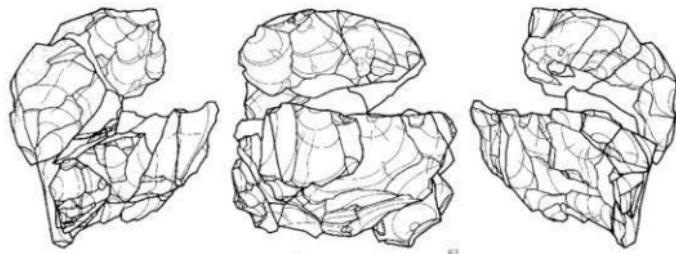
72(第51図) 玉髓の剥片 2 点から構成される接合資料で、打点は右から左に移動する。使用石材は玉髓で、63 に酷似する。

エ その他の石材 (第 53 図～第 55 図)

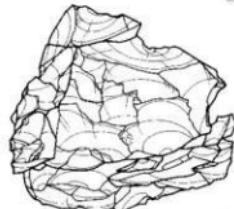
上牛鼻産安山岩 1 組、頁岩 1 組、流紋岩 2 組及びホルンフェルス 1 組の接合資料が得られた。

73(第53図、第54図) 総数 18 点の接合資料である。使用石材は上牛鼻産安山岩で、挙大より一回り小さい三角形様の円錐を素材とする。この原石は角の取れた円錐であ

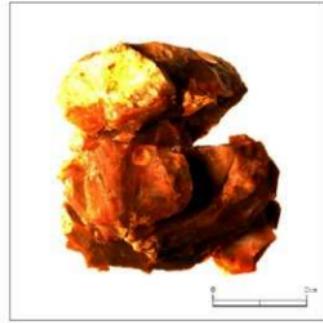
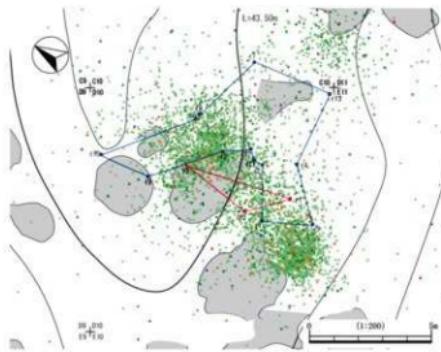




63



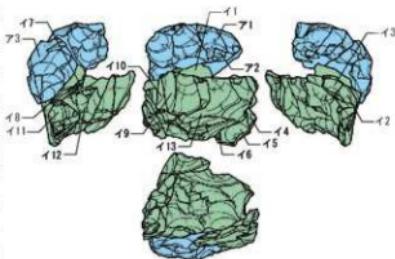
0 (1:1) 5cm



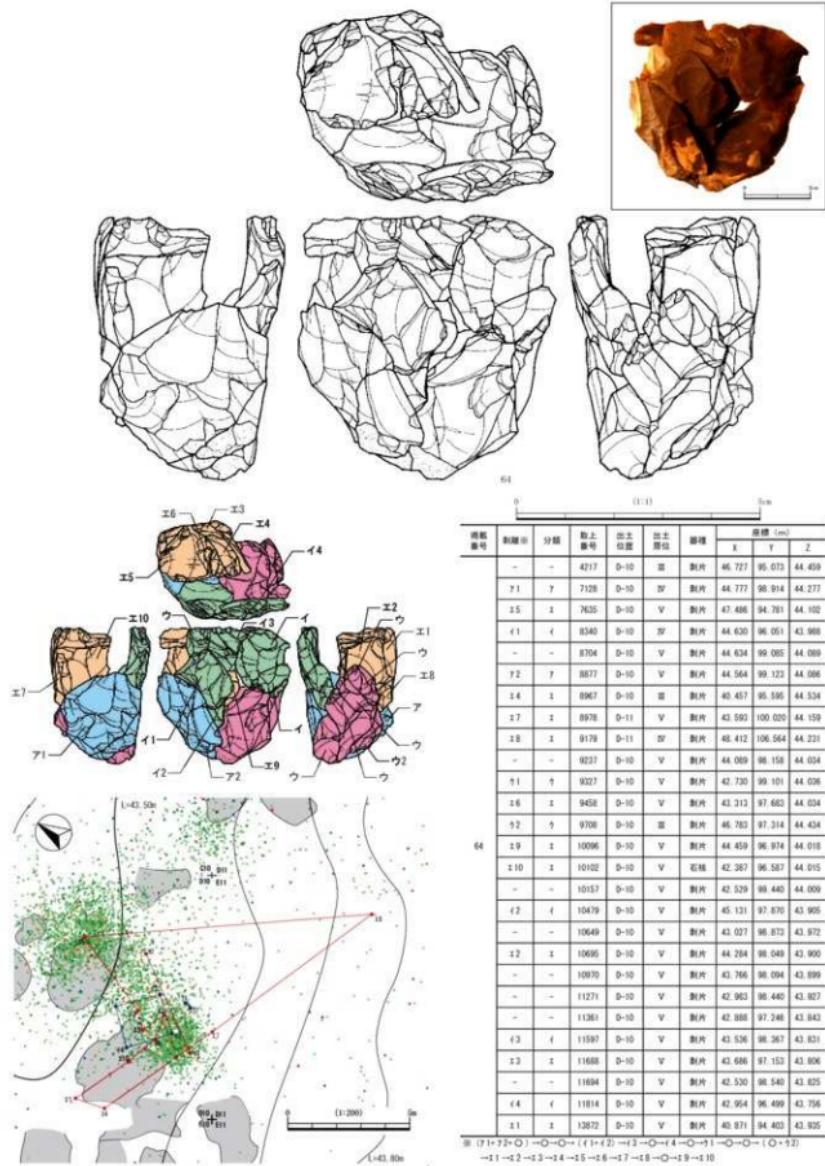
| 編號 | 剖面番号 | 分類 | 取土層位 | 出土層位 | 器種 | 座標 (m) | | | |
|------|------|----|-------|------|-----|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | | X | Y | Z | |
| 7.2 | 7 | | 5054 | D-10 | IV | 碎片 | 46.783 | 93.969 | 44.382 |
| 4.9 | 4 | | 5100 | D-10 | IV | 碎片 | 46.358 | 92.370 | 44.330 |
| 4.6 | 4 | | 6959 | D-10 | IV | 碎片 | 48.728 | 94.335 | 43.853 |
| 4.8 | 4 | | 6960 | D-10 | IV | 碎片 | 48.918 | 94.502 | 43.826 |
| 4.3 | 4 | | 9410 | D-10 | V | 碎片 | 47.381 | 95.449 | 43.690 |
| 4.10 | 4 | | 9453 | D-10 | V | 碎片 | 47.263 | 90.459 | 43.798 |
| 4.12 | 4 | | 9509 | D-10 | III | 碎片 | 47.491 | 96.604 | 44.458 |
| 4.7 | 4 | | 9665 | C-10 | III | 碎片 | 51.047 | 96.737 | 44.477 |
| 4.2 | 4 | | 9805 | D-10 | III | 碎片 | 46.837 | 97.057 | 44.382 |
| 4.11 | 4 | | 10013 | D-10 | V | 碎片 | 44.550 | 97.051 | 44.108 |
| 7.3 | 7 | | 10125 | D-10 | V | 石核 | 44.948 | 96.331 | 43.977 |
| 4.11 | 4 | | 10223 | D-10 | V | 碎片 | 47.044 | 96.720 | 43.961 |
| 4.4 | 4 | | 10491 | D-10 | V | 碎片 | 46.861 | 98.483 | 43.908 |
| 7.1 | 7 | | 10883 | D-10 | V | 石核 | 45.436 | 98.199 | 43.853 |
| 4.5 | 4 | | 11610 | D-10 | V | 碎片 | 44.395 | 99.129 | 43.844 |
| 4.13 | 4 | | 12066 | D-10 | V | 石核 | 49.746 | 99.819 | 42.906 |

(7.1+7.2+7.3) → 4.1 → (4.2+4.3) → 4.4 → (5+4.6) → (7.1+4.8) → 4.9 → 4.10 → 4.11

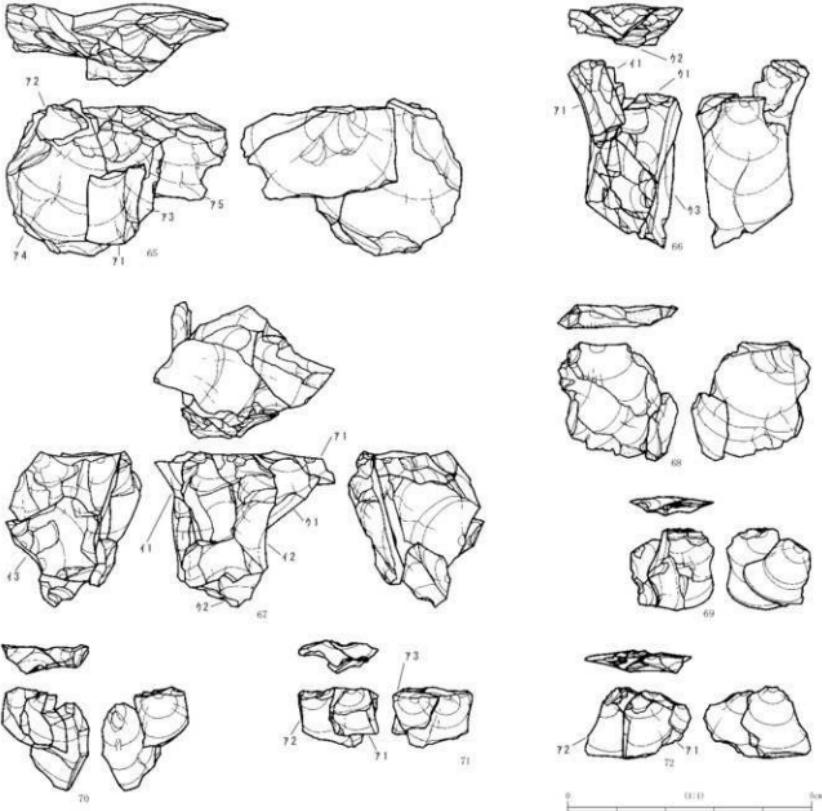
→ 4.12 → 4.13



第49図 接合資料12



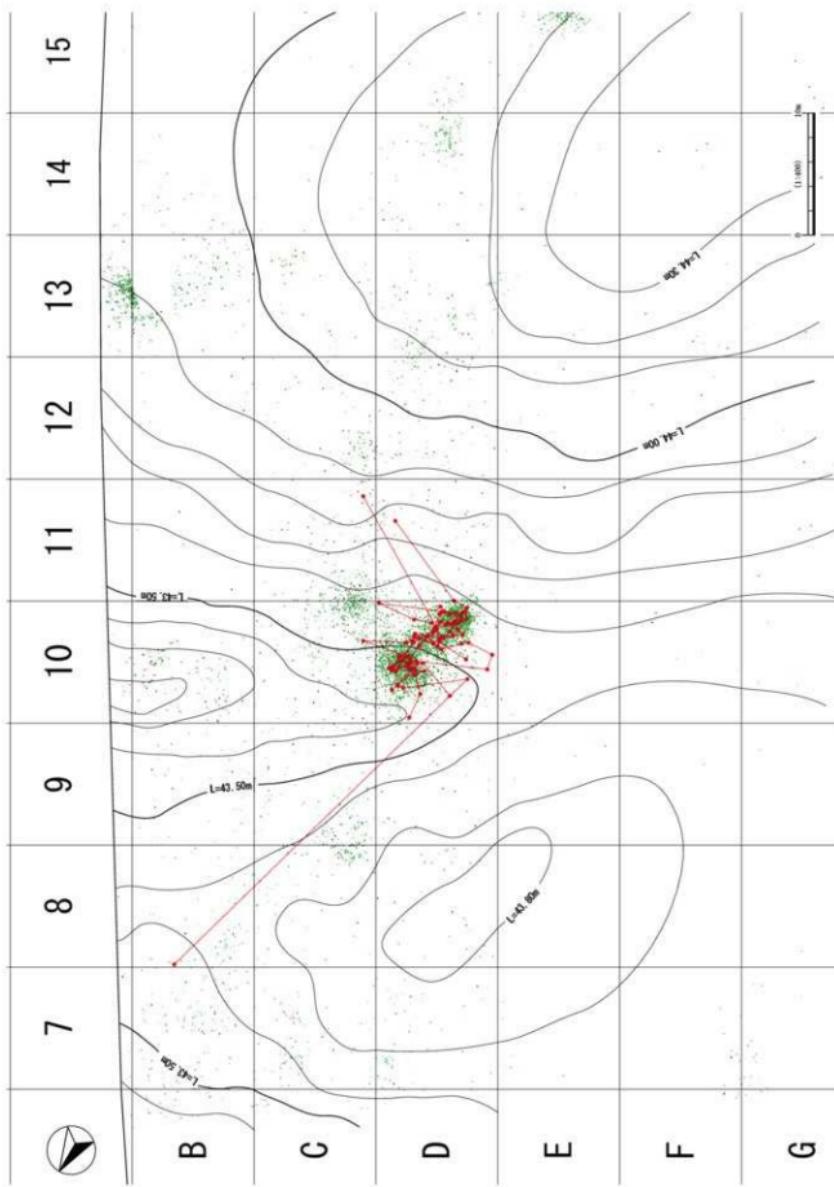
第50図 接合資料13



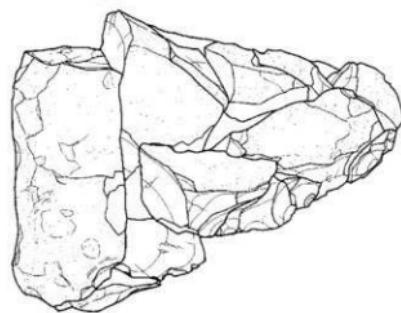
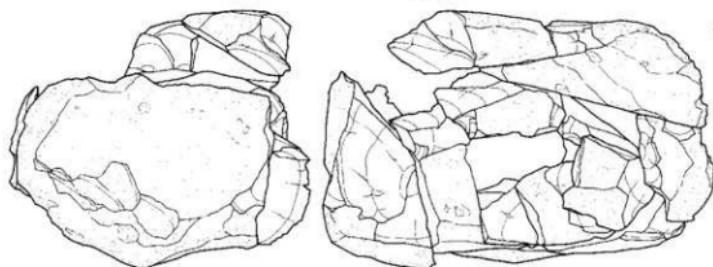
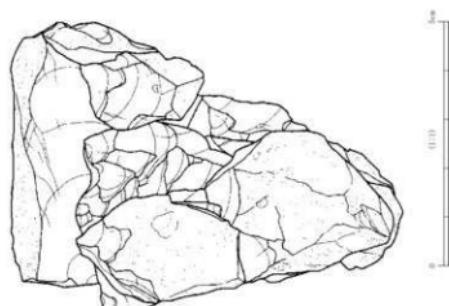
| 編號 番号 | 剝離 分類 | 取上 番号 | 出土 位置 | 出土 層位 | 器種 | 座標 (m) | | | |
|-------------------------------------|----------|----------|----------|----------|----|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | | X | Y | Z | |
| 7.3 | 7 | 10045 | D-10 | V | 剥片 | 46.485 | 96.319 | 44.061 | |
| 7.5 | 7 | 10884 | D-10 | V | 石核 | 45.338 | 97.382 | 43.857 | |
| 65 ^① | 7 | 11557 | D-10 | V | 剥片 | 44.709 | 98.307 | 43.831 | |
| 7.1 | 7 | - | - | - | 剥片 | - | - | - | |
| 7.2 | 7 | - | - | - | 剥片 | - | - | - | |
| ※ 1. 7.1 → 7.2 → (7.3+7.4) → 7.5 | | | | | | | | | |
| 9.1 | 7 | 10437 | D-10 | V | 剥片 | 43.209 | 96.244 | 43.966 | |
| 41 | 4 | 10690 | D-10 | V | 剥片 | 43.965 | 97.485 | 43.919 | |
| 66 ^② | 9.2 | 10442 | D-10 | V | 剥片 | 43.516 | 99.029 | 43.968 | |
| 7.1 | 7 | 11824 | D-10 | V | 剥片 | 44.823 | 96.050 | 43.775 | |
| 9.3 | 9 | 13806 | D-10 | V | 剥片 | 42.614 | 95.221 | 43.813 | |
| ※ 2. 7.1 → 41 → (9.1+9.2) → 7.3 | | | | | | | | | |
| 9.1 | 7 | 4220 | D-10 | III | 石核 | 46.172 | 94.928 | 44.492 | |
| 41 | 4 | 4921 | D-10 | IV | 剥片 | - | - | - | |
| 67 ^③ | 7.1 | 7 | 6957 | D-10 | IV | 剥片 | 48.768 | 94.581 | 43.881 |
| 43 | 4 | 10036 | D-10 | V | 剥片 | 46.467 | 96.958 | 44.019 | |
| 9.2 | 9 | 11140 | D-10 | V | 剥片 | 45.261 | 97.520 | 43.838 | |
| 42 | 4 | 13768 | D-10 | V | 剥片 | 43.924 | 92.237 | 43.677 | |
| ※ 3. 7.1 → 41 → 67 → (43+9.2) → 9.1 | | | | | | | | | |

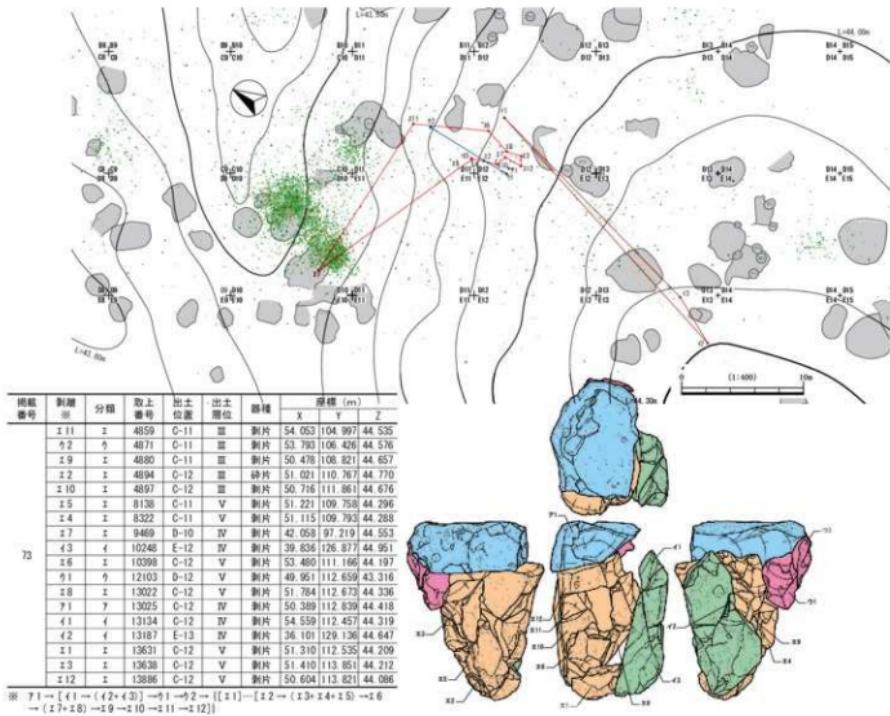
第 51 図 接合資料 14

第52圖 玉龍 接合資料分布圖



第53圖 混合資料15 その1





第54図 接合資料15 その2

り、原産地周辺の河川から採取したものと思われる。出土地点は、C-11・12区に集中し、D-10区とE-13区からそれぞれ1点ずつ出土している。

4群に区分して解析を進めた。上位1/4程の位置で横方向に分割したのがア群の分割片で、この種分割により下位3/4の分割継が母核、すなわち、石核対象となる。また、この分割面は、エ群の最終工程における石核の打面にも相当する。

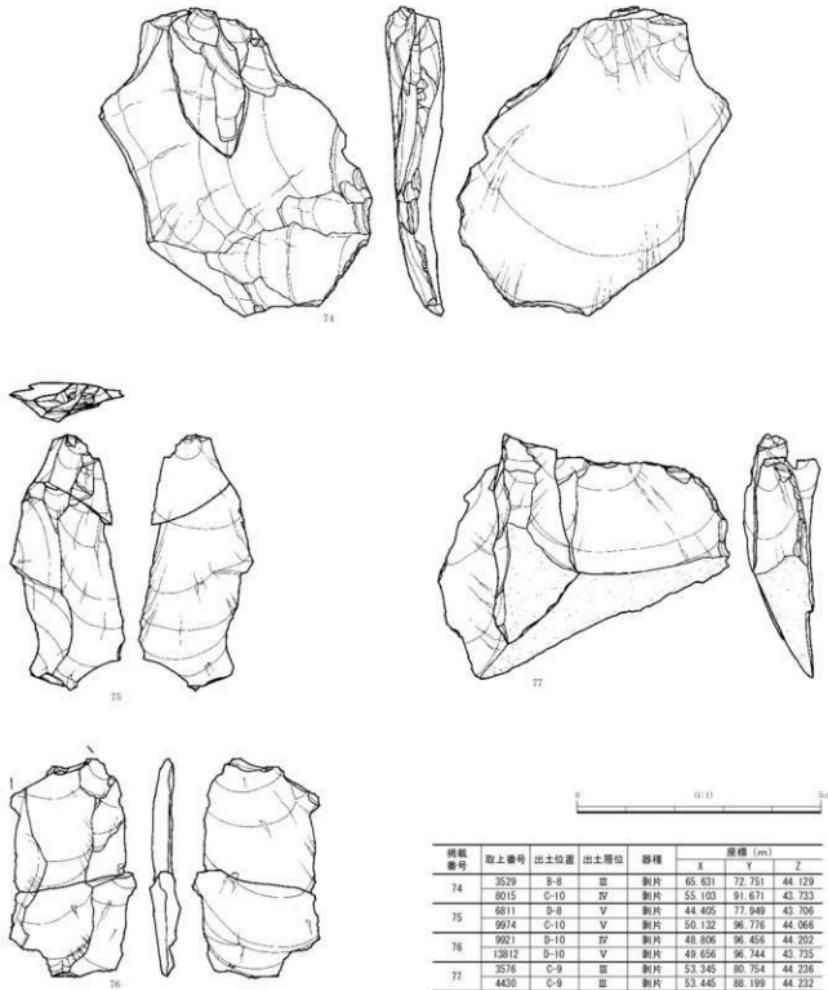
ア群分割面からウ群の2点を、次いでイ群のイ1・イ2等が分割面から縦方向に取り出される。さらに、ウ群とイ群間に再度、分割面からの大剥離が加えられ、エ群が作出される。その後、大剥離面から、エ2・エ4・エ5等の4点が石核調整剥片として剥離される。したがって、エ群の中核の石核エ12の剥片剥離は、ア群分割面を打面として進行し、その証左として長さ5.0cm×幅

2. 2cmの剥片1点が接合している。

74(第55図) 頁岩製剥片2点の接合資料である。先行する1点であるアは調整剥片である。後続する不定形剥片のイは、打点移動が認められる。

75(第55図) 総数2点の剥片上下から構成される接合資料で、石材は暗紫色の良質な流紋岩である。剥片は長さ5.2cm、幅1.9cm程度であり、本遺跡出土資料としては、最長クラスの縱長剥片の一つである。出土位置は、D-8区とC-10区で、直線距離で22m程の距離である。

76(第55図) 総数2点の接合資料で、D-10区出土資料である。石材は流紋岩である。75と同一石材であると考えられる。縦長剥片の二分割された折断剥片だが、打面部の除去が行われた可能性がある。なお、縦長剥片は同一打面から連続して生産されている。また、二次加工等の痕跡は認められないが、本遺跡で生産された縦長剥片と



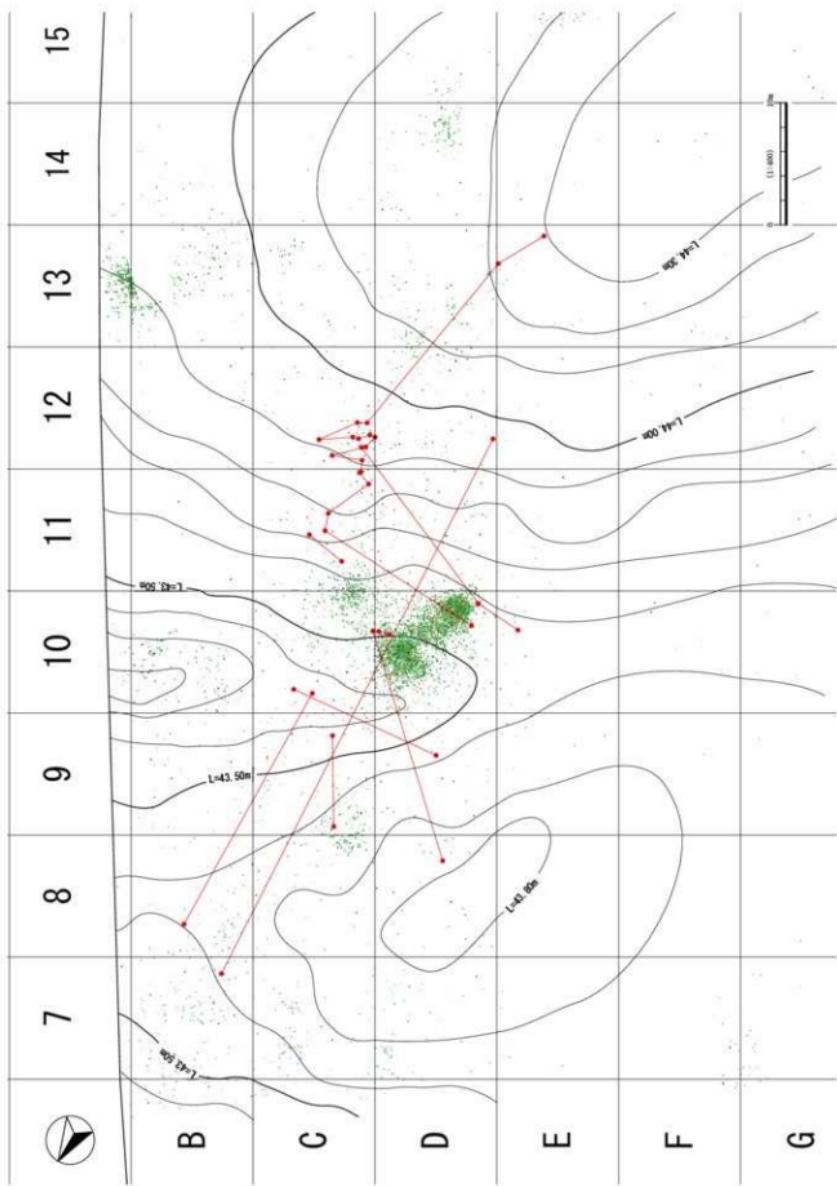
第55図 接合資料 16

しては良質なものである。

77(第55図) 総数2点のホルンフェルス製剥片の接合資料である。C-9区出土資料だが、III層出土であり、層位はプライマリーな状況を保っていない。先行する縦長剥片と横広不定形剥片が接合し、その中間の不定形剥片が欠落する。

| 査号 | 取上番号 | 出土位置 | 出土層位 | 器種 | 座標 (m) | | |
|----|-------|------|------|----|--------|--------|--------|
| | | | | | X | Y | Z |
| 74 | 3529 | B-8 | Ⅲ | 剥片 | 65.631 | 72.751 | 44.129 |
| | 8015 | C-10 | IV | 剥片 | 55.103 | 91.671 | 43.733 |
| 75 | 6811 | B-8 | V | 剥片 | 44.405 | 77.949 | 43.706 |
| | 9974 | C-10 | V | 剥片 | 50.132 | 96.776 | 44.066 |
| 76 | 9921 | B-10 | IV | 剥片 | 48.806 | 96.456 | 44.202 |
| | 13812 | B-10 | V | 剥片 | 49.656 | 96.744 | 43.735 |
| 77 | 3576 | C-9 | Ⅲ | 剥片 | 53.345 | 80.754 | 44.236 |
| | 4430 | C-9 | Ⅲ | 剥片 | 53.445 | 88.199 | 44.232 |

第56図 その他の石材 接合資料分布図



(4) 原礫 (第 57 図)

1329 ~ 1334 は上牛鼻産黒曜石の原礫である。大きさは 4cm ~ 6cm 程度で拳大よりやや小さめである。1329 は、ローリングにより角が取れて、外側は丸くなる。

全てが旧石器時代に該当するものと断定できないが、石器製作の原材料として、付近の河床等で採取したものと、遺跡内へ持ち込んだものである。

(5) 細石核・石核・ブランク (第 58 図~第 75 図)

細石核・石核・ブランクについては、第 5 表の分類ごとに報告するが、各分類において、明確に細石刃剥離の観察されるもの（細石核）と、それら以外の石核・ブランクに分けて報告する。

ア A 類 (第 58 図)

A 類石核・ブランクは 10 点を図化した。A 類の石材は全て上牛鼻産黒曜石製である。また、A 類では明確に細石刃剥離を意図したものは認められない。

78 B-8 区・V 層出土である。正面下位の左が先行する剥離で、後面及び正面下端部の剥離が続く。最終の剥離が正面上面からものとなることから、打面転移を行ったとみられる。なお、各面に残る縦面から、扁平な小角礫を用いたと思われる。

79 C-11 区・V 層出土の石核である。小円錐を縦長方向に使用し、打面は横方向からの一回の剥離で作出されたものである。他は全て不定形剥片の剥離面に相当する。

80 D-13 区・V 層出土の石核である。小円錐を素材とし、打面は一回の剥離で作出され、その他の面は縦面がそのまま残される。なお、作業面中央部で生じたアクシデントにより剥離作業は放棄される。

81 D-9 区・V 層出土の石核である。正面の打面は縦面で、右側縁下部の複数の剥離は先行する剥離面と想定される。定型的な剥片剥離には至っていないとみられる。

82 B-10 区・IV 層出土である。分割繊素材の不定形剥片石核で、打面は縦面の可能性もある。現状では、A 類石核の残核と判断される。

83 C-10 区・V 層出土の石核である。円錐を分割した面、若しくは、縦面を部分的に剥離した面を打面としたものである。最終剥離は平坦な縦面を打面とし、幅 0.7 ~ 1.0cm 程の剥片を作出しているが、それに先行する剥離面で底面が構成される。

84 D-13 区・V 層の出土の石核である。中央部が緩やかな鉢状を呈する。亜円錐を使用したもので、縦面を打面とし不定形剥片を作出している。

85 G-10 区・III 層出土で、出土地点は原位置を保っていない。A 類石核の残核である。打面転移を行いながら、



1329



1330



1331



1332

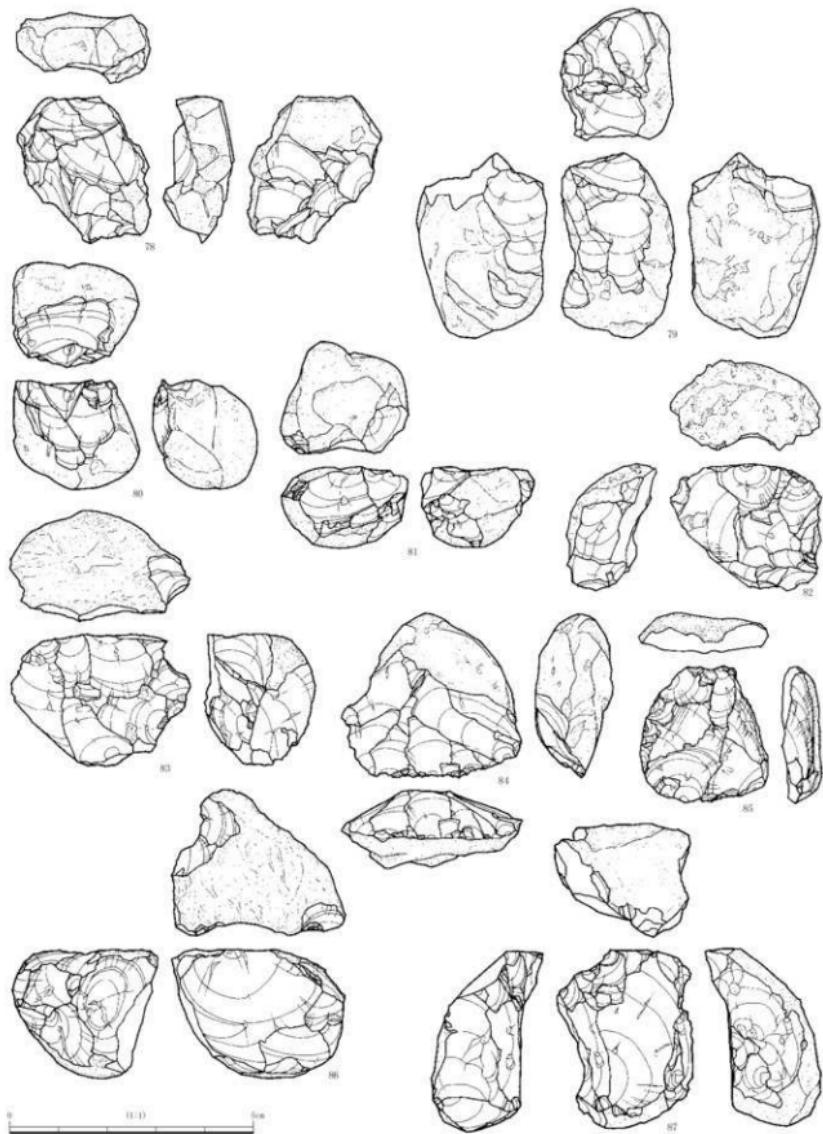


1333

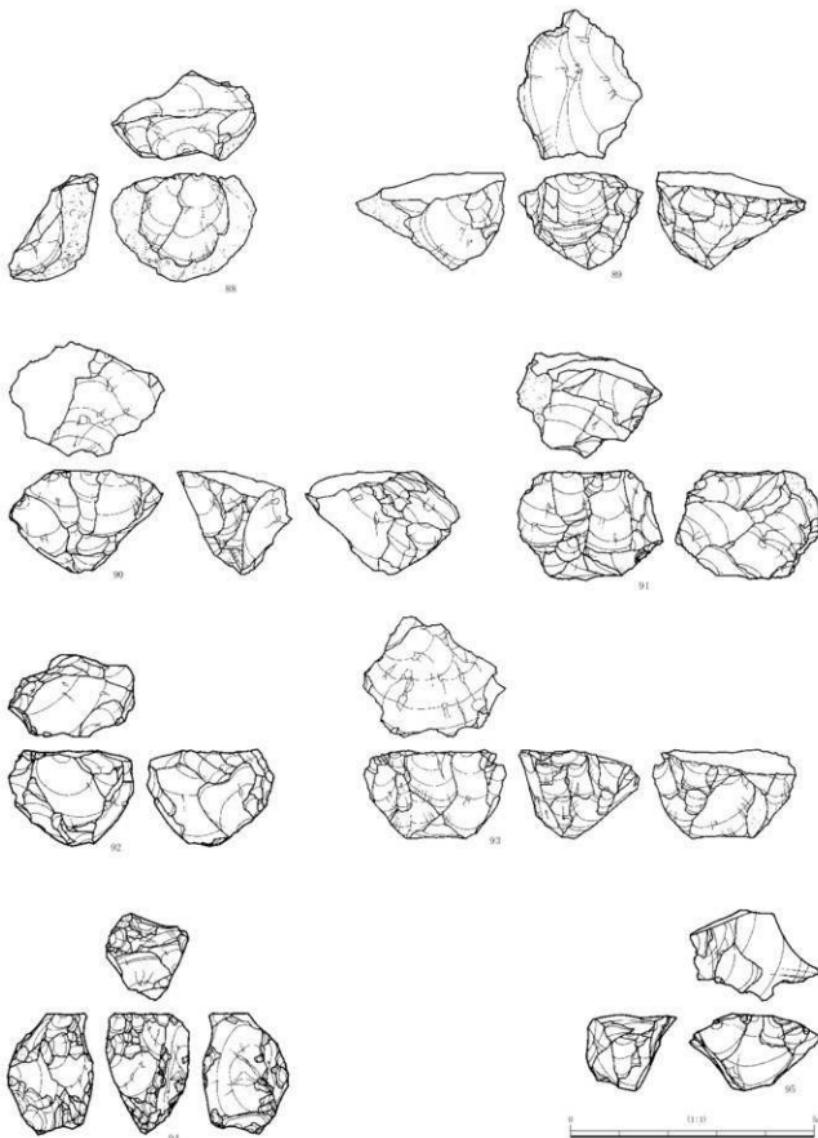


1334

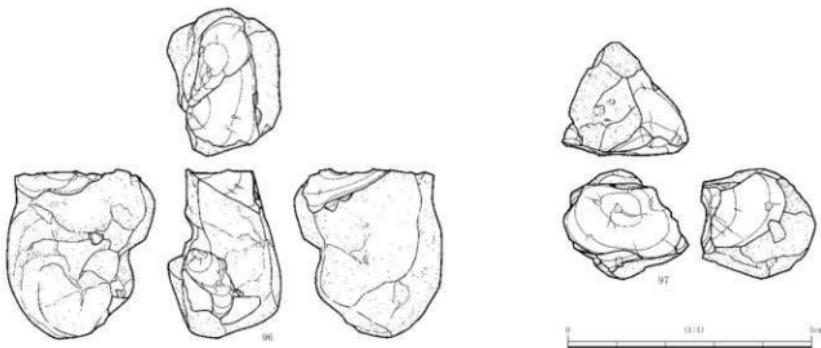
第 57 図 上牛鼻産黒曜石原礫



第58図 A類石核



第59図 B類石核(1)



第60図 B類石核(2)

現状に至っている。

86 C-12区・V層出土の石核である。打面右端の剥離面は、先行する剥離打面の可能性がある。最終剥離は平坦な裏面を打面としている。不定型な幅広剥片を作出している。なお、左側縁の球心状の剥離面はバティナが進行していないことから、アクシデントに起因すると判断できる。

87 出土地点不明の採取品である。分割礫素材の不定形剥片を目的とした石核である。

イ B類(第59図～第66図)

B類石核・プランク・繩石核は54点図化した。そのうちB1類石核・プランクが10点、繩石核が10点、B2類石核・プランクが28点、繩石核が6点である。

B1類石核・プランク(第59図、第60図)

88～97はB1類の石核又はプランクである。石材別でみると上牛鼻産黒曜石製8点、霧島産黒曜石製1点、針尾産黒曜石製は1点である。

88 C-17区・IV層出土である。上牛鼻産黒曜石製で、石核の残核と判断したが、石核調整剥片の可能性も考えられる。

89 D-10区・III層出土で、出土地点は原位置を保っていない。上牛鼻産黒曜石製である。剥離作業が全周に達していないが、B1類石核と判断した。なお、打面は一回の加撃でポジティブに分割されている。

90 B-13区・V層出土の、上牛鼻産黒曜石を使用したB1類石核である。底面からの外観が亀甲状を呈すもので、分割面の打面から周辺部に沿って剥離を行っている。

91 III層一括採取品で、上牛鼻産黒曜石製のB1類石核に該当する。

92 D-10区・V層出土である。上牛鼻産黒曜石製のB1類

石核である。

93 A-13区・V層出土である。上牛鼻産黒曜石製である。平坦打面の周辺部に沿って剥離を行ったもので、0.5cm～2.0cm幅の不定形剥片が取り出されている。なお、底面からの外観は、亀甲状を呈する。

94 出土地点不明の資料である。右側面に分割面を持つもので、プランクあるいは作業面再生剥片と判断している。石材は強い光沢を持つことから、霧島系黒曜石とみられる。

95 B-10区・V層出土である。針尾産黒曜石製である。打面右側の大剥離は先行する分割面であり、打面転移が繰り返されたとみられる。B1類の石核に該当する。

96 D-12区・IV層である。上牛鼻産黒曜石製のプランクである。頭部に左側縁方向からの2枚の剥離痕を残す分割縦で、正面中央部のアクシデント剥落により放棄したと考えられる。

97 出土地点不明である。上牛鼻産黒曜石製で、プランクに該当する。

B2類石核・プランク(第61図、第64図)

98～125はB2類の石核又はプランクである。石材は全て上牛鼻産黒曜石製である。

98 B-12区・V層出土である。B2類を代表する石核である。円錐の上部を横方向に分割し、打面に直行して作業面が設置され、長さ3～5cm、幅1～2cm程の縦長の不定形剥片が生産されている。

99 E-15区・VI層出土のB2類プランクである。打面調整は頻繁に行われているが、ステップ・フラクチャーより放棄される。

100 D-10区・IV層出土のB2類石核である。超小型であるが、縦の分割を打面として、順次剥離を実施している。

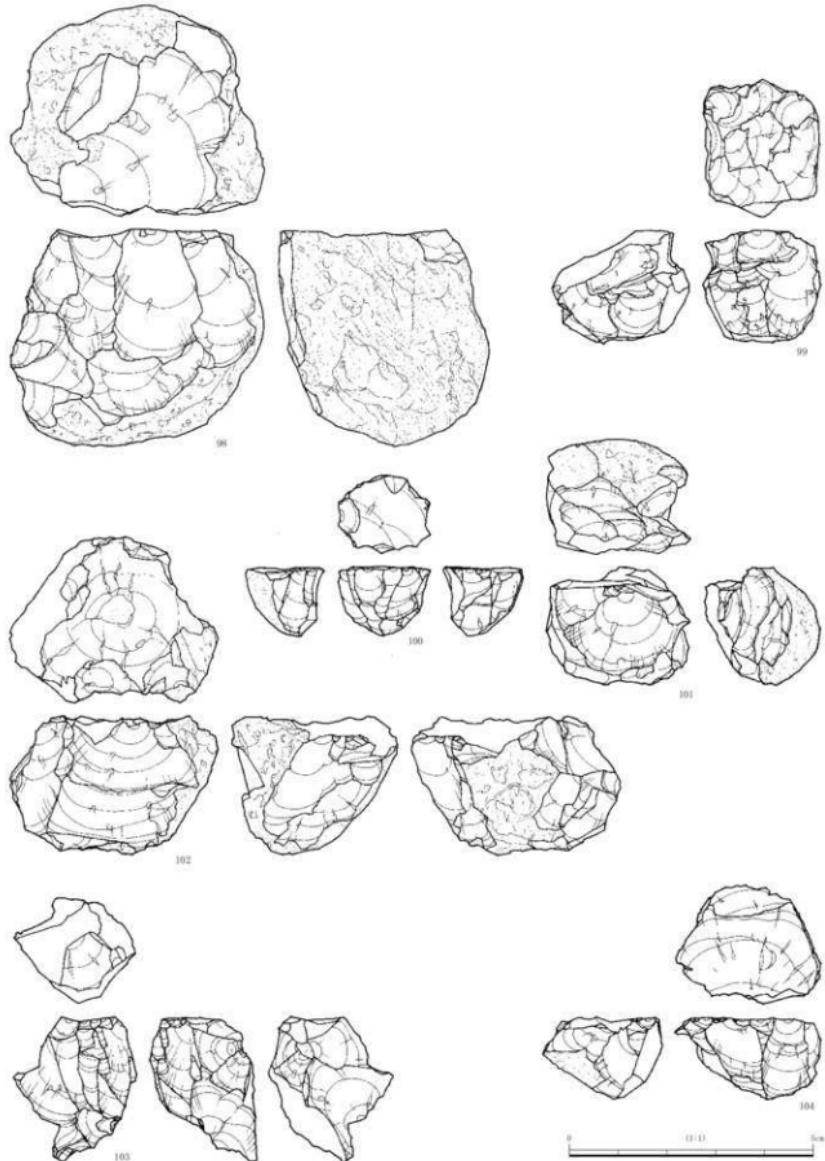
- 101 C-10区・VI層出土である。不定形剥片を剥離した石核で、打面調整が実施される。B2類石核である。
- 102 C-11区・V層出土である。B2類石核で、基本的には分割面を中心に剥片剥離を行うが、左側縁の一部に現作業面から剥離を行った痕跡が認められる。正面右端、後面及び底面に礫面が残される。作業工程が読み取れる資料である。
- 103 B-13区・VI層出土の石核である。打面は先行する分割面の可能性もあるが、詳細は不明である。
- 104 D-9区・III層出土のB2類の石核である。
- 105 A-13区・IV層出土で、出土地点は原位置を保っていない。打面の大剥離面が先行する分割面とみられるこれから、不定形剥片の剥離が終局まで進行したB2類の石核と判断した。
- 106 B-10区・IV層出土で、出土地点は動いている。分割礫素材の石核で、分割面を打面として、93と類似する不定型な剥片が生産される。右側縁と後面、底面に礫面が残される。
- 107 C-10区・IV層出土である。素材は分割した小円礫で、左側面に礫面が残る。打面は分割面に相当する。剥離方法が128と酷似する。
- 108 C-11区・V層出土である。
- 109 B-10区・V層出土である。小円礫を二分割し、その一方を使用したもので、分割面を打面として、打面に直行して作業面が設置される。B2類のプランクと判断した。
- 110 B-13区・V層出土である。剥離作業がかなり進行しているとみられ、打面と作業面が鋭角を成している。右側の欠損はアクシデントに起因する。基本的にはB2類の石核形態と判断される。
- 111 D-9区・III層出土であり、出土地点は原位置を保っていない。B2類石核である。分割礫素材の石核で、一方で不定形剥片を生産している。
- 112 E-15区・VI層出土のB2類石核である。打面はややボジティブに膨らむ。
- 113 D-10区・V層出土である。
- 114 B-13区・V層出土である。後に礫面を残す。
- 115 出土地点不明である。B2類石核である。作業面からは、長さ2.0cm、幅0.8cm程の剥離痕が観察できる。
- 116 D-10区・IV層出土である。B2類石核である。分割時の打点方向を残して、外周に沿って剥離作業が進行する。
- 117 C-9区・V層出土である。B2類石核で、分割面をそのまま打面とする。
- 118 C-18区・III層出土で、プライマリーな状態での出土ではない。礫面が後面から底面に残る。
- 119 E-15区・IV層出土である。B2類石核に該当し、打面として分割面をそのまま残す。
- 120 出土地点は不明である。B2類石核で、打面後方の剥離が分割面である。正面から右側縁にかけて不定形剥片が作出されている。
- 121 D-10区・IV層出土で、出土層位は動いている。B2類石核で、打面にはネガティブな分割面がそのまま利用される。
- 122 D-9区・V層出土である。B2類プランクと判断した。
- 123 C-11区・V層出土のB2類のプランクあるいは不定形剥片石核である。
- 124 B-7区・IV層出土のB2類プランクである。
- 125 B-13区・V層出土の石核である。

B1類細石核（第65図）

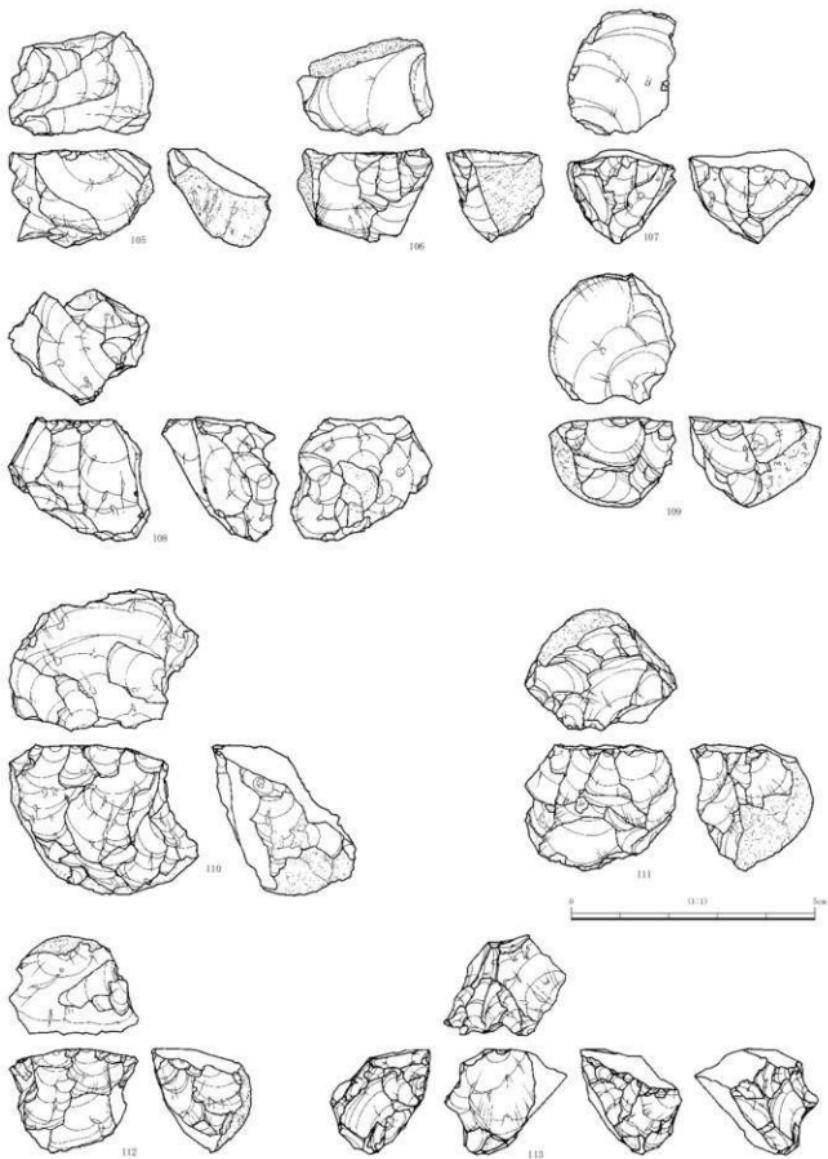
- 126 ~ 135はB1類細石核である。B1類細石核も10点全て上牛鼻産黒曜石製である。
- 126 B-13区・V層出土である。分割した小円礫を素材とし、打面と右側縁に分割面を残す。なお、左側縁は、作業面として使用されている。
- 127 C-17区・IV層出土である。分割面を打面として細石刃剥離が進められたとみられる。後面も分割面の可能性がある。
- 128 D-10区・V層出土である。素材は分割した小円礫で、左側面に礫面が残る。打面は分割面に相当する。右側縁は先行する剥離面で、打面方向から石核調整剥離が行われている。
- 129 C-9区・V層出土である。B1類細石核としたがC類の可能性もある。打面に残る複数の剥離痕は、打面調整によるもの可能性が高い。
- 130 C-8区・III層であり、出土地点は大きく動いている可能性が高い。打面と両側縁に残る礫面から判断して、板状の扁平な角礫が素材と想定される。右側縁及び後面の剥離は石核調整によるもので、狭小な作業面の楔形の形状に仕上げる。
- 131 D-14区・V層出土である。左側縁と右側縁の後面側に、平坦面な礫面が残されることから、板状の角礫を分割したものが素材と想定される。打面には、その際の分割面がそのまま使用される。
- 132 D-13区・V層出土である。B1類細石核としたがC類の可能性もある。
- 133 E-15区・V層出土である。分割面を打面に球心状に剥片剥離が進行する。
- 134 B-13区・V層出土資料である。
- 135 D-13区・V層出土である。打面の外周の一角を除いて、球心状に剥片剥離を実施する。

B2類細石核（第66図）

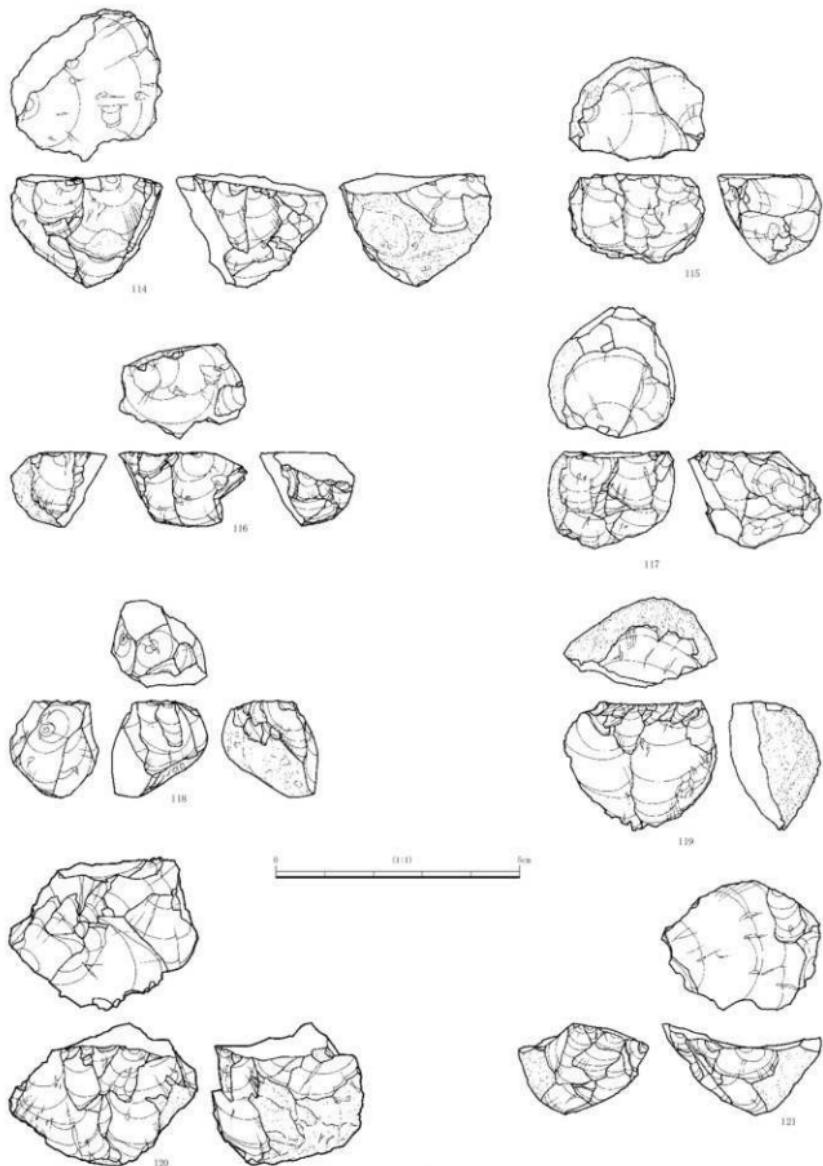
- 136 ~ 141はB2類細石核である。B2類細石核は6



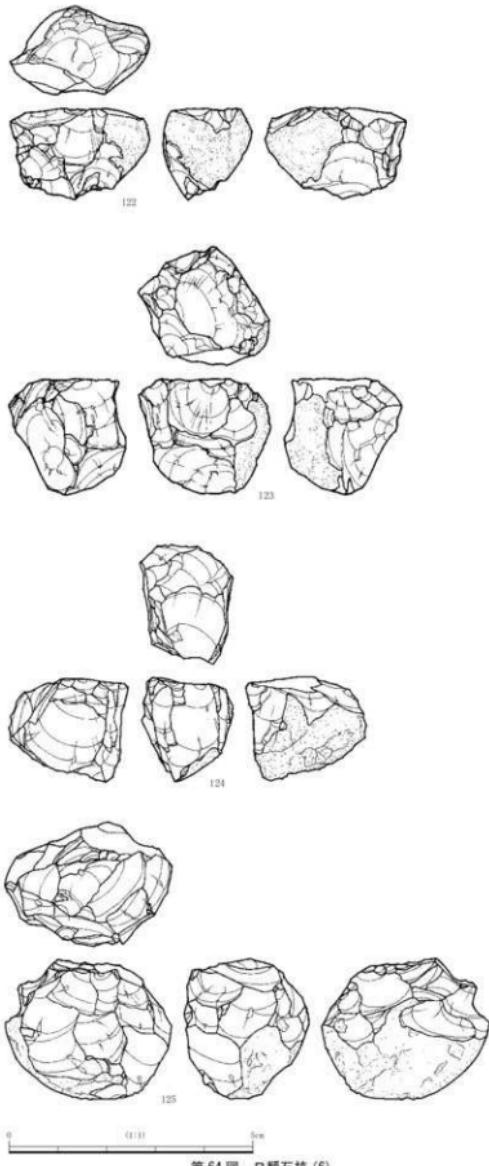
第61図 白類石核(3)



第 62 図 B類石核 (4)



第63図 白頬石核(5)



第64図 B類石核(6)

点中、5点は上牛鼻産黒曜石製、1点は針尾産黒曜石製である。

136 B-13区・IV層出土である。石材は上牛鼻産黒曜石である。小円錐を素材とする。左側縁の剥離面は石核調整によるもので、その他の面には縦面がそのまま残される。剥離面観察から、作業面→左側縁→打面の順に剥離したと考えられる。ただし、細石刃割離作業は、大きくは進行していない可能性が高い。

137 D-10区・V層出土である。石材は上牛鼻産黒曜石である。素材は分割した小円錐で、打面に分割面を一部残す。なお、打面左側の剥離は、作業面左側から後出して行われる。

138 D-14区・V層出土である。石材は上牛鼻産黒曜石である。左側縁上部の平坦面は、打面と同時に形成された分割面の可能性がある。また、打面に分割面の一部が残され、右側縁に最初期の作業面があったことを伝えている。すなわち、本石核では、右側縁に最初期の作業面があり、その後、打面再生剥離を加え最終剥離に至っていることとなる。

139 D-10区・III層出土資料である。石材は上牛鼻産黒曜石である。打面を中心として、扇状に作業面が展開する。

140 C-8区・IV層出土資料である。石材は上牛鼻産黒曜石である。

141 D-11区・V層出土資料である。針尾産黒曜石製である。分割した小円錐を素材としており、右側面に縦面が残る。打面は分割面に相当し、左側縁と後面の剥離は石核調整によるものとみられる。細石刃作出が目的とみられる。

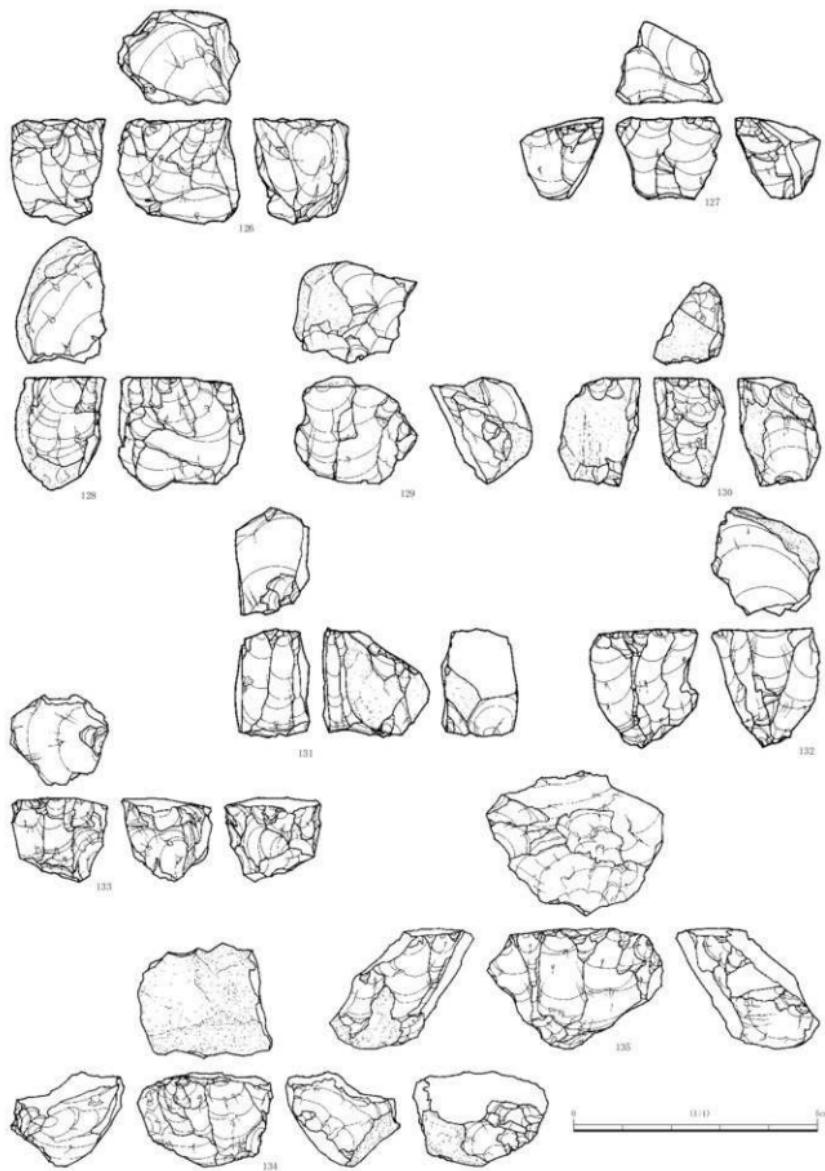
ウ C類(第67図～第71図)

C類は32点図化した。そのうち、C類石核・プランクは23点、細石核は9点である。

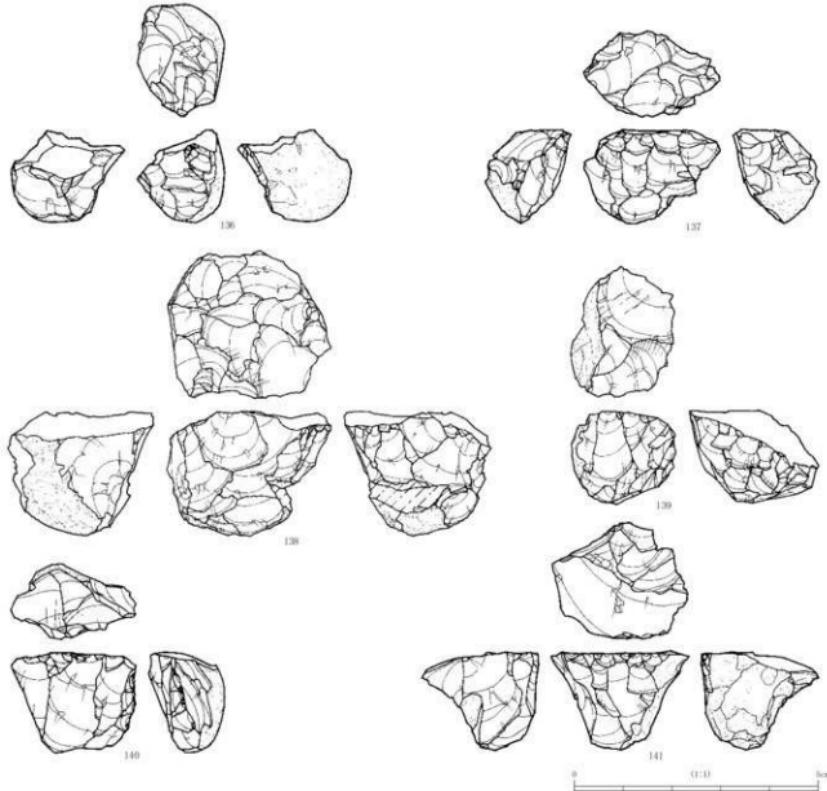
C類石核・プランク(第67図)

142～152が石核、153～164がプランクである。石材別では上牛鼻産黒曜石製が22点、鉄石英製が1点である。

142 C-10区・V層、上牛鼻産黒曜石製のC類プランクあるいは不定形剥片石核である。プランクの場合、右側縁部が作



第65図 白頬石核(7)



第66図 B類石核(8)

業面に想定される。

143 F-16区・V層出土である。上牛鼻産黒曜石製である。小円錐を四分割したものを素材としたC類石核で、打面は分割面に相当する。剥片作出は正面で行っているが、左側縁下位からの剥離が最終剥離となる。

144 D-17区・II層、出土地点は原位置を保っていない。上牛鼻産黒曜石製のC類石核で、打面転移が認められる。

145 B-10区・V層出土で、上牛鼻産黒曜石製のC類の不定形剥片石核で、打面転移が認められる。

146 B-8区・V層出土で、上牛鼻産黒曜石製である。C類の不定形剥片石核で、後面に裸面を多く残す。

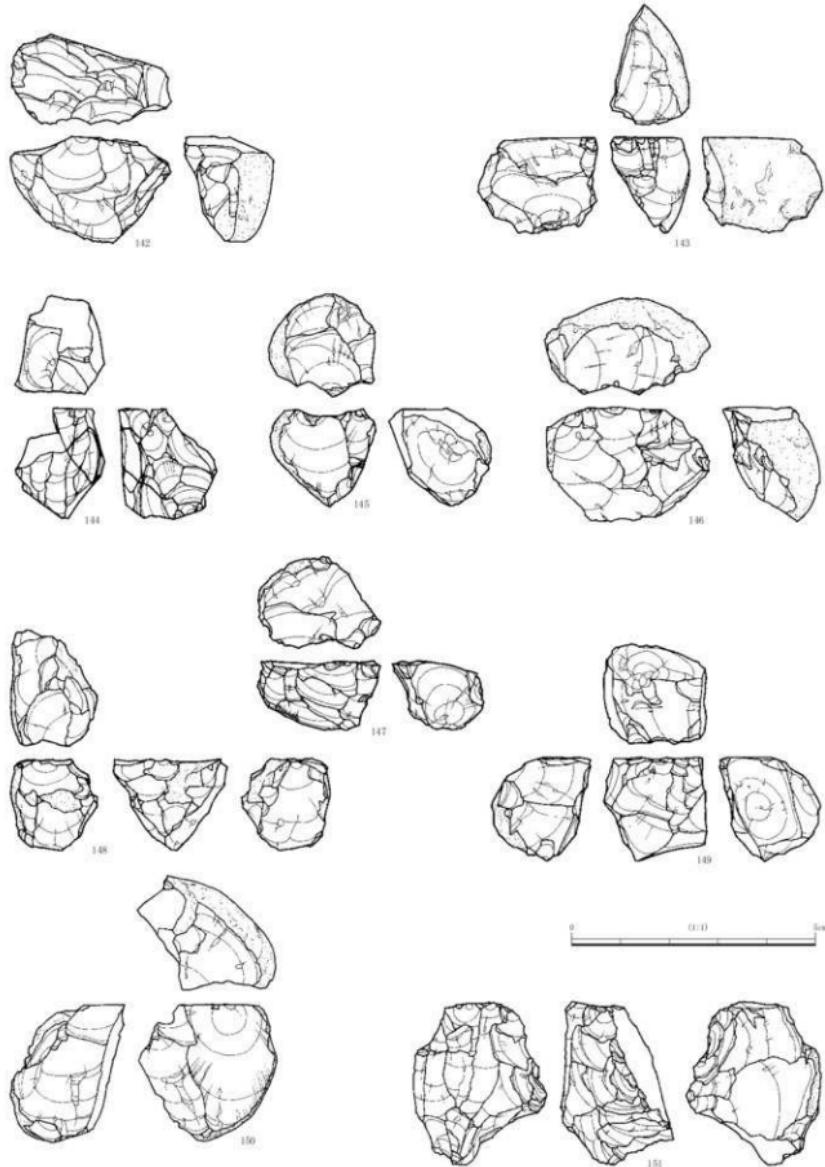
147 C-10区・III層出土であり、原位置を保っていない。

上牛鼻産黒曜石製のC類石核で、打面及び右側縁の平坦面は、先行する確分割面とみられる。

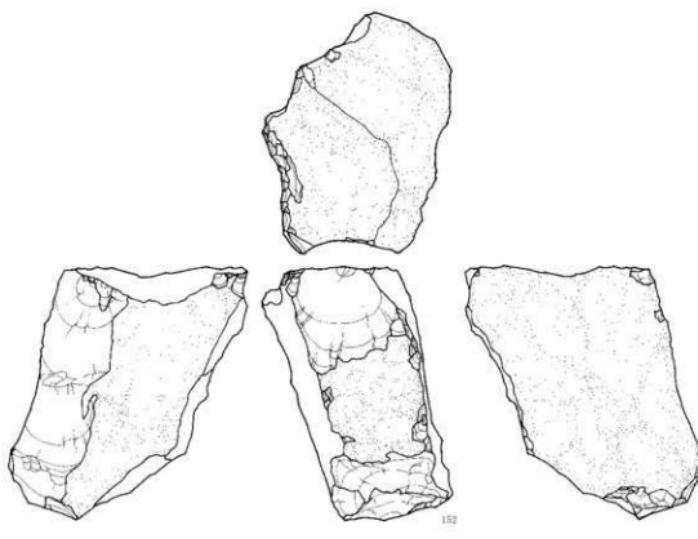
148 C-10区・V層出土である。上牛鼻産黒曜石製のC類石核である。確面を残す左側縁を軸に、他の三面で剥片(細石刃)剥離が行われている。なお、石材は、径0.8cm程度の白色不純物を含んでいる。

149 B-17区・III層出土で、出土地点は大きく動いている可能性が高い。上牛鼻産黒曜石製のC類石核である。打面は分割面に相当し、左側縁と後面に確面が残される。右側縁のアクシデントに起因する剥落のため、放棄された可能性が高い。

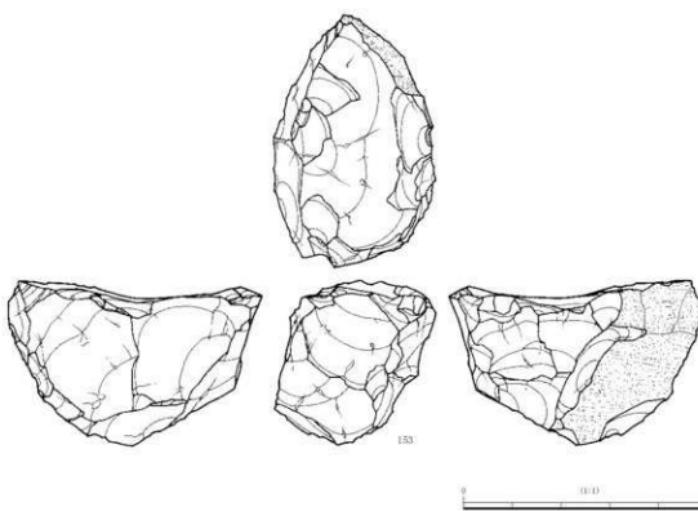
150 B-10区・V層出土である。上牛鼻産黒曜石製のC類石核である。図正面の、最終剥離の可能性の想定される大剥離面が、石核調整剥離と判断される。なお、右側縁部の作業面で階段状剥離が生じたため、放棄されたとみられる。



第67図 C類石核(1)



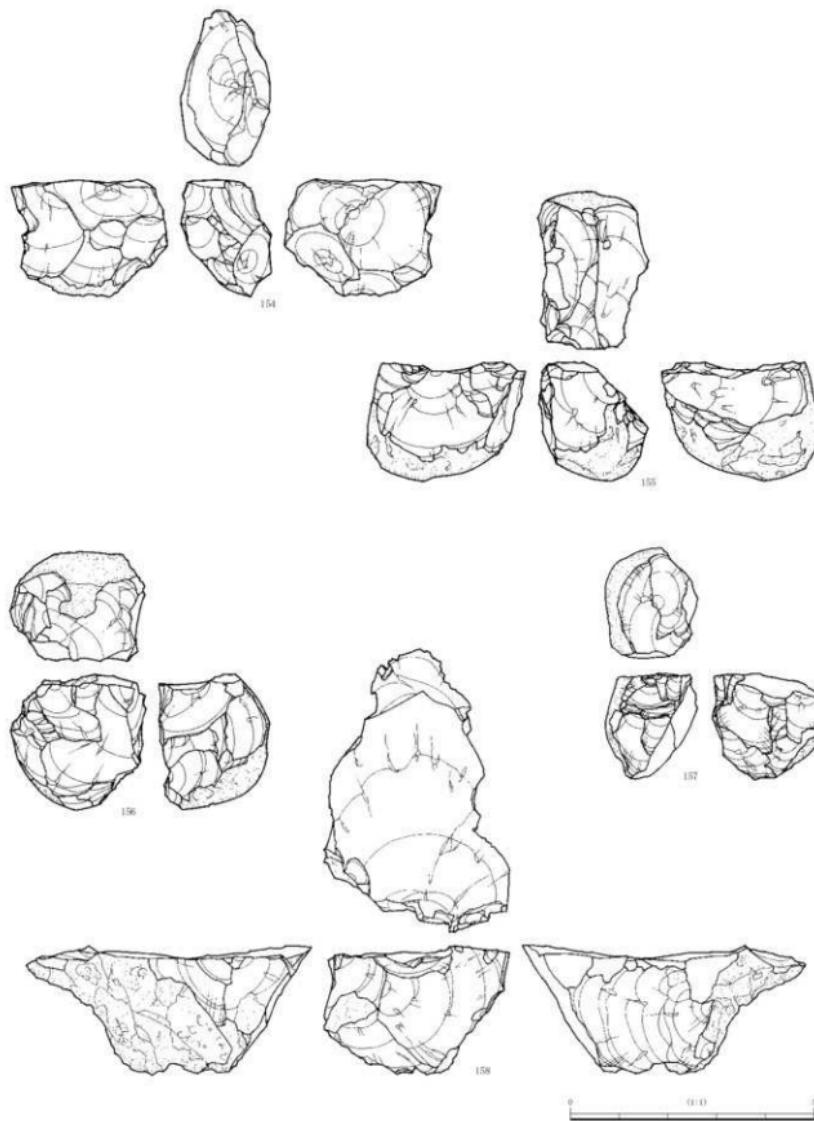
152



153



第 68 図 C類石核 (2)



第 69 図 C型石核 (3)

151 B-13区・V層出土資料である。石材は上牛鼻産黒曜石である。分割縫を用いた細石核であるが、先行する分割面が二面存在する。

152 C-10区・V層出土である。石材は鉄石英で、C類の石核である。角縫の両側縫を作業面としたもので、縦長の剥片を取り出している。

153 C-12区・IV層出土で、上牛鼻産黒曜石製である。C類のプランクと判断した。

154 C-11区・III層出土であり、原位置を保っていない。四分割した分割縫を使用し、分割面を打面としたC類プランクで、両側縫は調整剥離とみられる。石材は上牛鼻産黒曜石である。

155 B-13区・V層出土で、上牛鼻産黒曜石製である。C類のプランクで、底面から後方に縫面を残す。左側縫部の剥離面が最終剥離面であることから、不定形剥片石核の可能性もある。

156 B-13区・V層出土である。上牛鼻産黒曜石製のC類プランクで、後方に縫面を残す。円縫を四分割した資料と判断しているが、右側縫部は剥離痕の可能性もある。

157 B-10区・V層出土で、上牛鼻産黒曜石製である。C類のプランクあるいは不定形剥片石核で、左側縫部に縫面を残す。また、不定形剥片石核とした場合、後方に縫面を残すこととなる。

158 C-13区・V層出土である。上牛鼻産黒曜石製のC類プランクである。打面又は正面の作業面のいずれかが先行する分割面に相当する。右側縫部は石核調整による剥離に相当する。

159 C-15区・IV層出土である。上牛鼻産黒曜石製のプランクである。縫分割面が作業面と想定され、打面はアクシデントにより生じた面を利用したものと想定される。両側縫の剥離は石核調整によるもので、船底型に仕上げられている。

160 G-15区・IV層出土である。上牛鼻産黒曜石製で、C類細石核に対応するプランクである。左側縫から底面にかけて縫面が残る。右側縫には、打面からの調整剥離が加えられている。

161 D-10区・IV層出土のC類プランクで、出土地点はプライマリーなものではない。石材は上牛鼻産黒曜石である。打面には分割面がそのまま使用され、左側縫に縫面が残る。

162 C-9区・V層出土のC類プランクで、石材は牛鼻産黒曜石である。後方に縫面が残り、右側縫と底面は大剥離面で構成されることから、亜円縫の分割剥片を素材にしたと想定される。打面に残る正面方向からの小剥離は打面調整痕とみられる。なお、最終作業面に先行し、且つ、直行する右側縫を打面とする作業面の存在が確認できる。

163 C-13区・IV層出土のC類プランクで、上牛鼻産黒

曜石が使用される。正面の左側縫部に、先行する細石刃剥離面が観察される。

164 D-10区・VI層出土で、石材は上牛鼻産黒曜石である。C類のプランクと判断した。打面左端に残る狹小な剥離面が先行する分割面で、現打面はそれに後続する。

半月形状の不定形剥片が作出されるが、剥離面と他の面のバティナの進行に差がみられる。

C類細石核(第70図～第71図)

165～173はC類細石核である。石材別では、上牛鼻産黒曜石が8点、桑ノ木津留産黒曜石が1点である。

165 D-10区・V層出土で、石材は上牛鼻産黒曜石である。打面及び左側縫が分割面の可能性があり、そこから90°打面転移して細石刃剥離と不定形剥片剥離を行っている。

166 D-10区・III層出土で、出土地点は動いている。石材は上牛鼻産黒曜石である。正面と左側縫の硬面との境界及び打面が、分割面の可能性がある。

167 D-10区・V層出土である。石材は上牛鼻産黒曜石である。素材は分割した小円縫で、左側縫から底面に縫面が残る。打面は分割面で、右側縫は石核調整によるものとみられる。作業面の剥離痕にばらつきがみられるが、細石刃作出が目的とみられる。

168 C-9区・V層出土資料である。石材は上牛鼻産黒曜石である。硬面は後面の一部に残るのみで、打面、底面及び左側縫は分割面で構成される。なお、底面方向からの先行する剥離面がみられることから、打面転移が行われたと判断される。

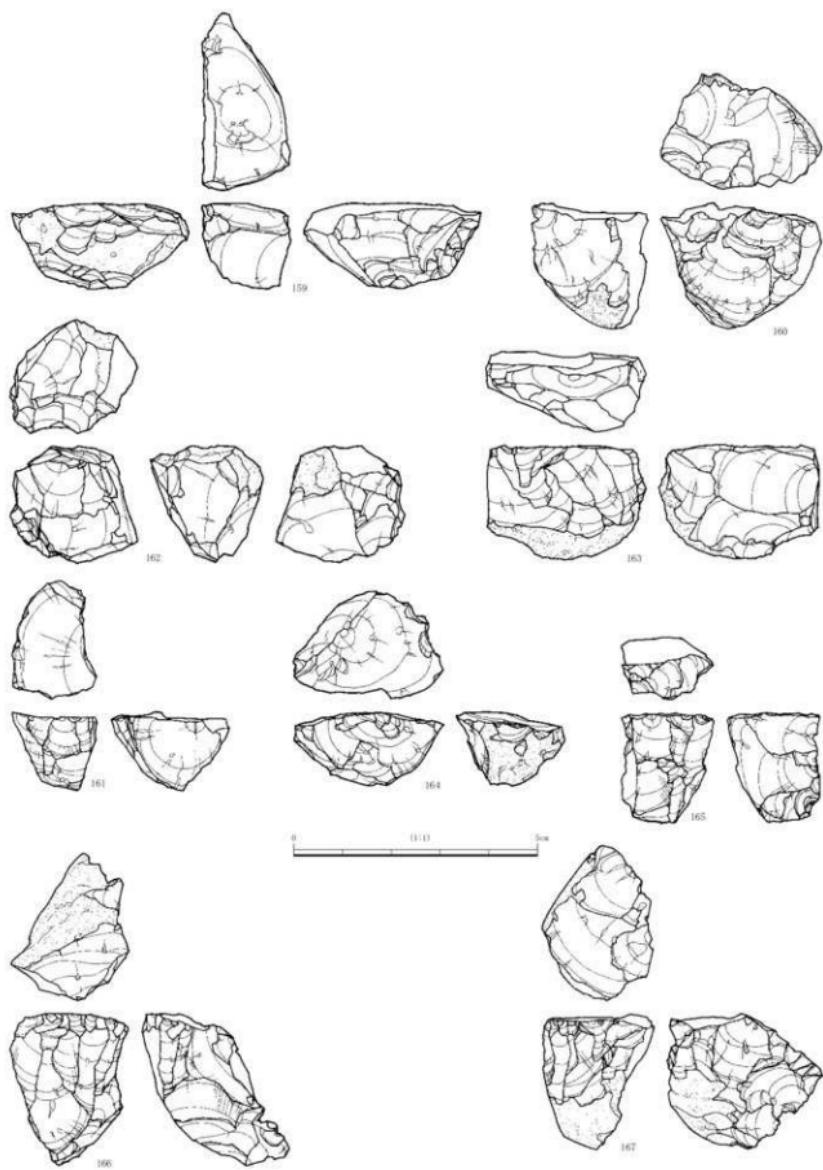
169 D-15区・IV層出土のC類細石核で、石材は上牛鼻産黒曜石である。左側縫に縫面を残す。石核の側縫調整は右側縫に限られた。打面方向から実施される。底面はアクシデントによる破碎面である。

170 D-10区・IV層出土である。上牛鼻産黒曜石製である。打面及び右側縫に分割面が残り、平坦な打面から剥片(細石刃)剥離を行っている。

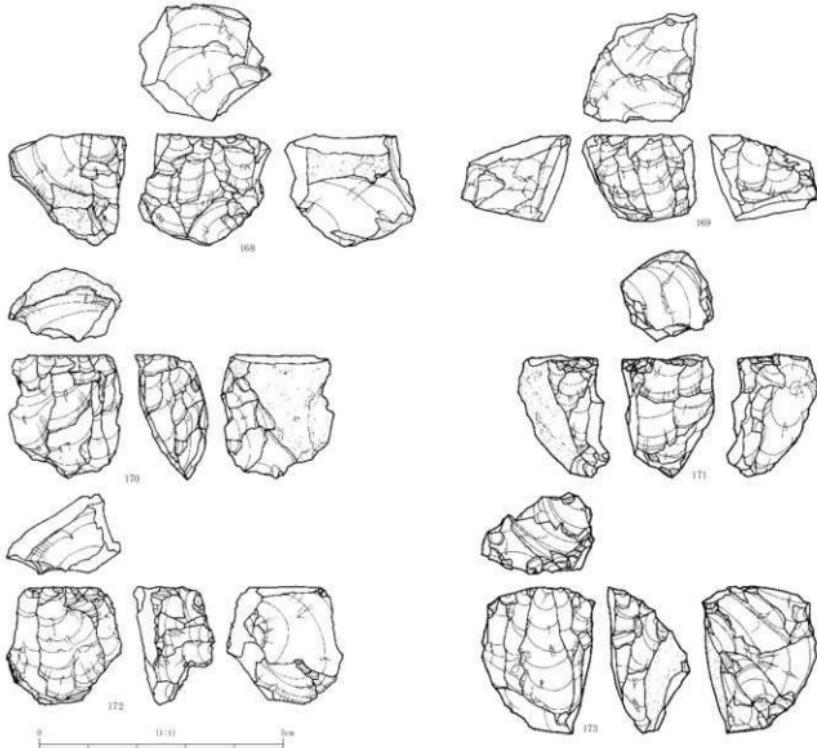
171 D-10区・V層出土で、石材は上牛鼻産黒曜石である。分割縫を素材としていて、打面及び右側縫の平坦面は、縫分割時の分割面に相当する。細石刃剥離作業を行う際には、正面を中心に行っている。後面及び底面に縫面がそのまま残される。

172 D-11区・V層出土で、上牛鼻産黒曜石が使用されている。正面の左側縫部に、先行する細石刃剥離面が観察される。

173 A-7区・IV層出土である。桑ノ木津留産黒曜石製である。右側縫には縫面が残される。打面と底面には、分割時の大剥離面が残される。作業面には、0.3cm程の細石刃剥離痕が観察される。



第70図 C類石核(4)



第71図 C類石核(5)

I D類(第72図)

D類は5点を図化した。そのうち石核・プランクは3点、細石核は3点である。石材別では上牛鼻産黒曜石製2点、針尾産黒曜石製1点、腰岳産黒曜石製1点、頁岩製1点である。

174 F-7区・VI層出土で、頁岩製の石核である。先行する剥離面を打面として、いわゆる不定形剥片を剥離している。本項で報告したが、所属時期については検討を要する。

175 D-12区・IV層出土資料である。石材は針尾産黒曜石であり、良質な搬入品である。D類のプランクと判断している。ただし、左側縁の整形状況から、F類細石核製作途上での破損品の可能性も想定できる。

176 C-10区・III層出土であり、出土地点はプライマリーな状態を保っていない。上牛鼻産黒曜石製である。

作業面が狭小な石核である。右側縁に残る打面からの

剥離面は、石核調整剥離による。左側縁の平坦面は先行する確分割面に相当する。

177 C-16区・III層からの出土であり、出土地点は原位置を保っていない。上牛鼻産黒曜石製で、D類のプランクである。正面を作業面と想定して図示したが、後面もその可能性がある。後面を作業想定面とすると、上述の176と製作方法が酷似することとなる。いずれにしても、横幅の狭い板状の石核が作り出される。

178 B-10区・V層出土資料である。腰岳産黒曜石製である。後面に裏面を残しており、左側縁が平坦面で構成されることから、板状の剥片素材が使用されたと思われる。なお、打面は傾斜面を成すが、丁寧な打面調整が認められ、狭い作業面に2.5cmを越す細石刃剥離痕が残される。

才 E類（第73図・第74図）

E類は8点を図化した。石核・プランクは5点、縞石核は3点である。石材別では上牛鼻産黒曜石製4点、針尾産黒曜石製2点、上牛鼻産安山岩製1点、瑪瑙製1点である。

179 B-10区・Ⅲ層出土であり、出土位置は原位置から動いている。上牛鼻産黒曜石製の石核で、礫面は認められないが、作業面と他の面との間には、バティナの進行差がみられる。

180 出土地点不明の資料である。上牛鼻産黒曜石製のE類細石核である。数回の細石刃剥離を実施した可能性がある。

181 D-11区・V層出土である。上牛鼻産黒曜石製である。舟形の形状を呈すことからE類プランクと判断したが、不定形剥片石核の可能性もある。

182 D-9区・IV層から出土したプランクで、石材は上牛鼻産安山岩である。作業面の一部と底面に礫面を残す。打面と後面の剥離面は礫分割面とみられる。正面の上下と右側縁に不定型な剥離痕が残るが、目的剥片か否かについては疑問である。

183 B-13区・Ⅲ層出土で、出土位置はプライマリーな状態を保っていない。両側縁部の石核調整剥離は全て打面から行われていて、E類細石核の典型的なプランクである。石材は上牛鼻産黒曜石である。
分割した円錐をさらに二分し、その二分した面に対して、先行する分割面方向からの石核調整剥離を加え左側縁部に当てる。また、右側縁部は、円錐の形状に沿って石核調整剥離が行われ、打面長5cmを超す舟形のプランクが作出されている。

184 B-13区・V層出土資料である。針尾産の良質な黒曜石を用いた細石核で、礫分割剥片を素材とする。打面には、礫分割時の平坦面がそのまま使用される。両側縁部の石核調整は、打面からの直接打撃で行われ、作業面正面観は舟形状を呈す。なお、後に礫面が残される。

185 D-12区・V層出土である。針尾産の良質な黒曜石を用いた細石核で、広角な範囲で縞石刃剥離が行われている。打面からの厳格な側縁調整が観察されないことから、良質な石材を有効利用したものと考えられる。

186 B-14区・V層出土である。瑪瑙製のE類プランクである。分割縫を素材とし、側面調整が施されている。

才 F類（第75図）

F類は5点を図化した。そのうち、縞石核は2点、プランクは3点である。石材別では上牛鼻産黒曜石製4点、針尾産黒曜石製1点である。

187 C-8区・IV層から出土した。針尾産の良質な黒曜石を用いたもので、いわゆる福音型縞石核であり、楔形をなす。打面の打点位置が遠く離れていることから、両面加工の母核を経て作出したとみられる。技術的な側面と石材の良質性の両者の獲得を意図した搬入品とみられる。

188 D-17区・V層出土である。上牛鼻産黒曜石製である。底面には作業面から後面方向に向かって稜が形成され、それに沿って石核調整が行われており、正面からの形状は楔形をなす。187に酷似する資料である。縞石刃作業面は打面再生剥離を実施しているが、ステップ・フラクチャーが生じたため、1回の実施で放棄している。

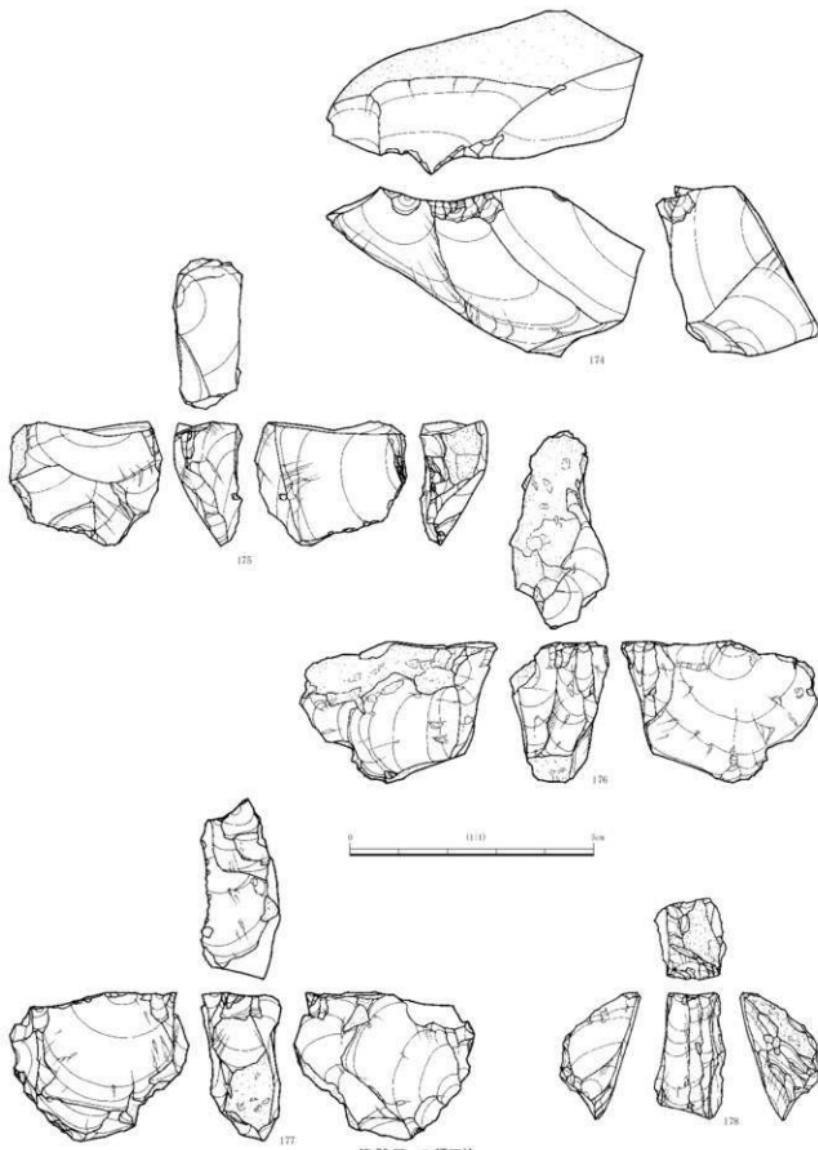
189 D-12区・V層出土である。上牛鼻産黒曜石製である。剥片状の分割縫を素材として、その両側縫を両面加工状に加工したものである。191と同一の調整が認められるが、その形状からプランクとした。

190 D-10区・V層出土である。上牛鼻産黒曜石製である。礫面を残さない、小型のプランクであるが、上述の188・191と同一の調整が認められる。

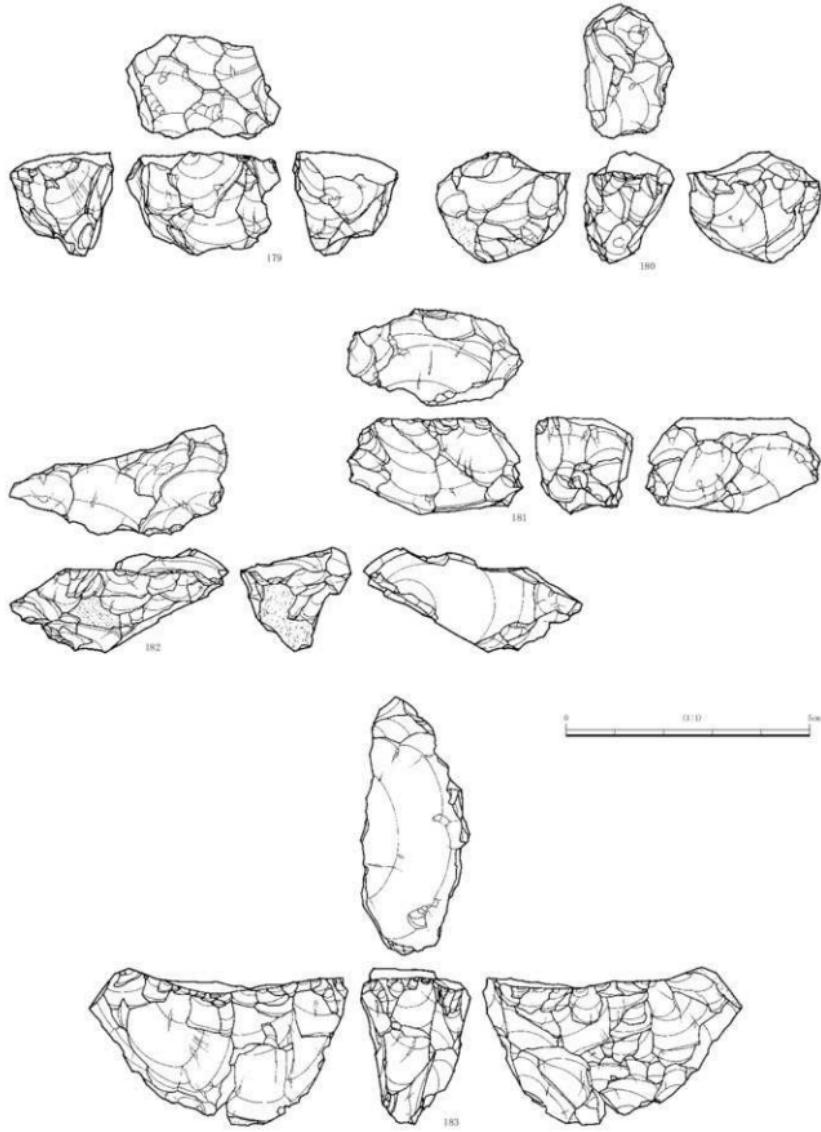
191 D-15区・Ⅲ層出土資料であり、出土地点はプライマリーなものではない。上牛鼻産黒曜石製で、分割面を打面とする楔形縞石核を目的としたプランクである。両側縫は、底面の稜線に沿って両面加工状剥離が実施されている。

キ F類スボール（第76図）

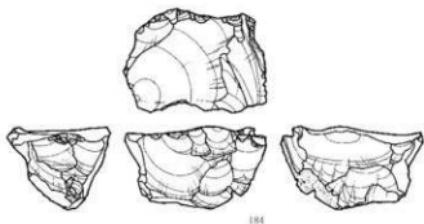
192 C-7区・V層出土のやや粗い両面加工のプランクから剥出した分厚い資料で、打面成形ファーストスボールと判断した。稜線を境に横断面は三角形を呈し、打点側の一部に礫面を残す。187と同じ針尾産黒曜石が使用されている。



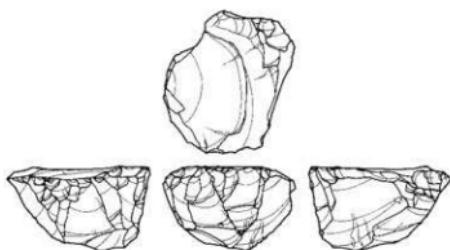
第 72 図 D 頸石核



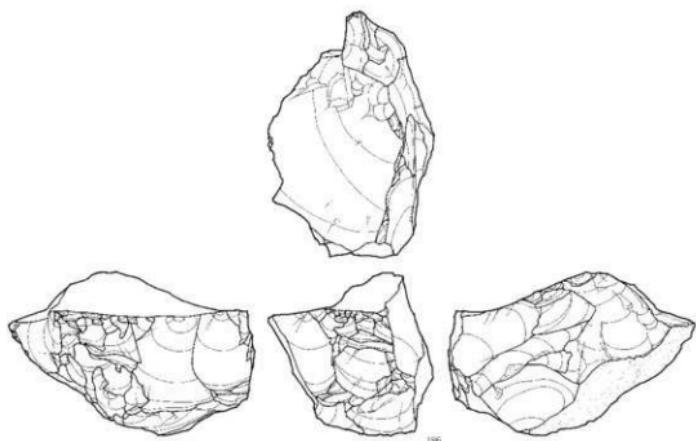
第73図 E類石核(I)



184



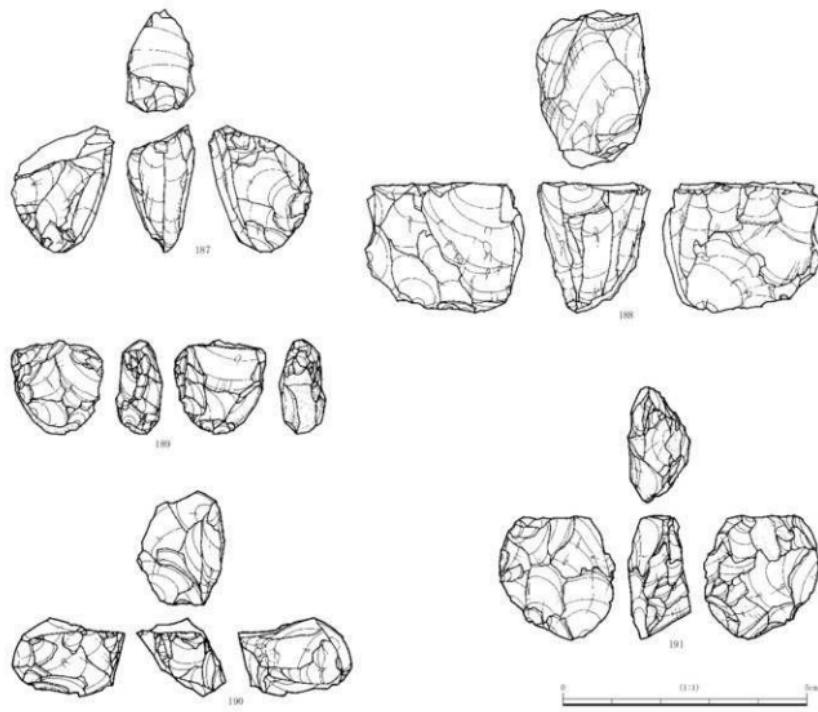
185



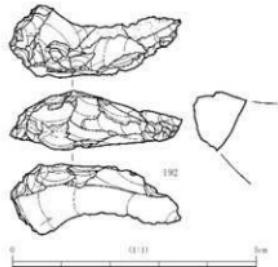
186



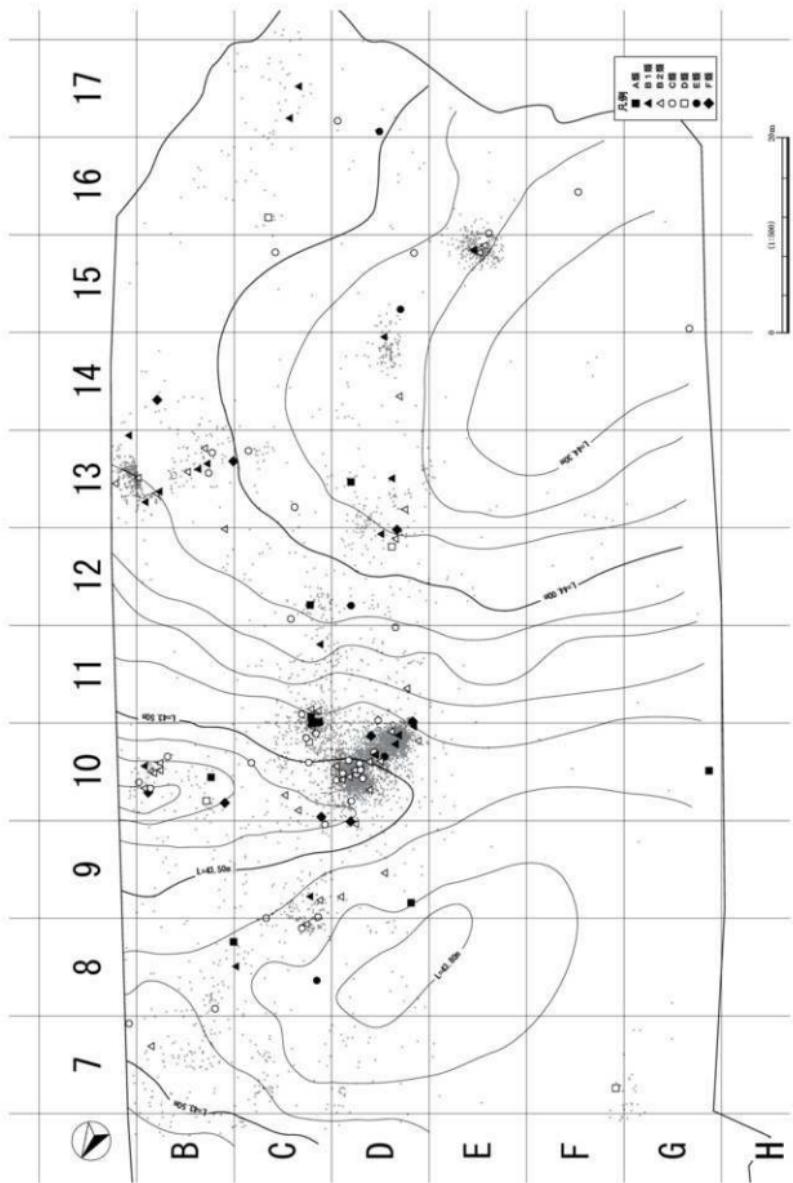
第74図 E類石核(2)



第75図 F類石核



第76図 F類スボール



第77圖 石核頭及刮削片頸出土狀況圖

縄石刃（第78図～第81図） 幅2cm未満、厚さ5mm未満の極小の石刃と判断し、他の剥片と区別した。それに該当する縄石刃261点を図化した。縄石刃の残存形態は、完形のもの（193～234）、頭部のみ残存するもの（235～355）、中間部のみ残存するもの（356～398）及び頭部が除去されているもの（399～453）がみられる。

使用石材は、上牛鼻産黒曜石製が全体の88%を占めて、次いで桑ノ木津留産黒曜石製6%、霧島産黒曜石製3%、玉鶴製2%、針尾産黒曜石製1%である。

228は霧島産黒曜石製で長さ2.35cmの縄石刃である。264・391は微細剥離痕をもつ。また、314は刃潰れしている。450は折断された縄石刃下端部で、穂面を残す。

折断剥片（第81図～第85図） 454～619は折断剥片である。素材剥片を人為的に二分割以上折断していると判断されたものを折断剥片とした。折断剥片は、全部で414点確認されたが、そのうち248点は切断面で接合したものであり、接合資料の項で報告した。ここでは、残りの166点を報告する。折断剥片としているが縄石刃の可能性も考えられるもの（605～619）もみられる。

折断剥片の残存形態には頭部のみ残存するもの（454～545）、中間部のみ残存するもの（546～575）、下部のみ残存するもの（576～604）がみられる。また、480・479・488・503・698は微細剥離痕をもつ。

石材では、上牛鼻産黒曜石製が大部分を占めており、次いで針尾産黒曜石製6点である。他に腰岳産黒曜石製、頁岩製及び玉鶴製の折断剥片が各1点出土している。

剥片（第85図～第93図） 620～775及び784・785は剥片である。728～775・784・785の素材剥片と、620～727の調整剥片に大別できた。

620～727は調整剥片である。素材剥片以外の剥片を調整剥片とし、調整剥片の中には作業面再生剥片や石核調整剥片がみられた。108点を図化した。

620～635は作業面再生剥片である。634は針尾産黒曜石製で、635は腰岳産黒曜石製であり、それらを除く全てのものは上牛鼻産黒曜石製である。625は縄石核の作業面再生剥片である。打面方向からの一回の打撃で剥離している。627は針尾産黒曜石製で、剥離工程を判断することはできなかったが、F類に関連する調整剥片である。

636～727は石核調整剥片である。636・642・714～717・719は針尾産黒曜石製、720・721・724・725は上牛鼻産安山岩製、722・723は頁岩製、726は桑ノ木津留産黒曜石製、727は黒色安山岩製である。その他の石材は上牛鼻産黒曜石製である。

644・645は打面調整剥片と考えられ、644右側縁に先行する剥離面は、穂の分削面とみられる。

726は調整剥片と判断したが、上面方向からの剥離痕が両面にみられることから残核の可能性もある。

728～775・784・785は素材剥片である。50点を図化した。728～745は上牛鼻産黒曜石製、747・748は腰岳産黒曜石製、749・750・752は針尾産黒曜石製、751・753・755・756・760～768は玉鶴製、769・784・785は鉄石英製、746・754・757～759はチャート製、770・771・773・775は頁岩製、772・774は流紋岩製である。

749は針尾産黒曜石製で、平坦打面から剥出した縱長剥片である。628・754には、打面転移の痕跡が確認できる。628は腹面下位に微細剥離痕をもつ。771は頁岩製で、背面右側縁を中心に使用痕とみられる摩滅痕が残される。削器の可能性も考えられる。773には打面調整が認められる。

削器（第92図・第93図・第95図） 776・780～783・804は削器である。776は背面右側縁に調整剥離を施されている。781～783は側縁に対して背面から刃部形成されている。804は右側縁上部に抉入状態を持つ。縄文時代の石匙の可能性もある。780はホルンフェルス製で、周縁に剥離痕があるため削器と判断した。

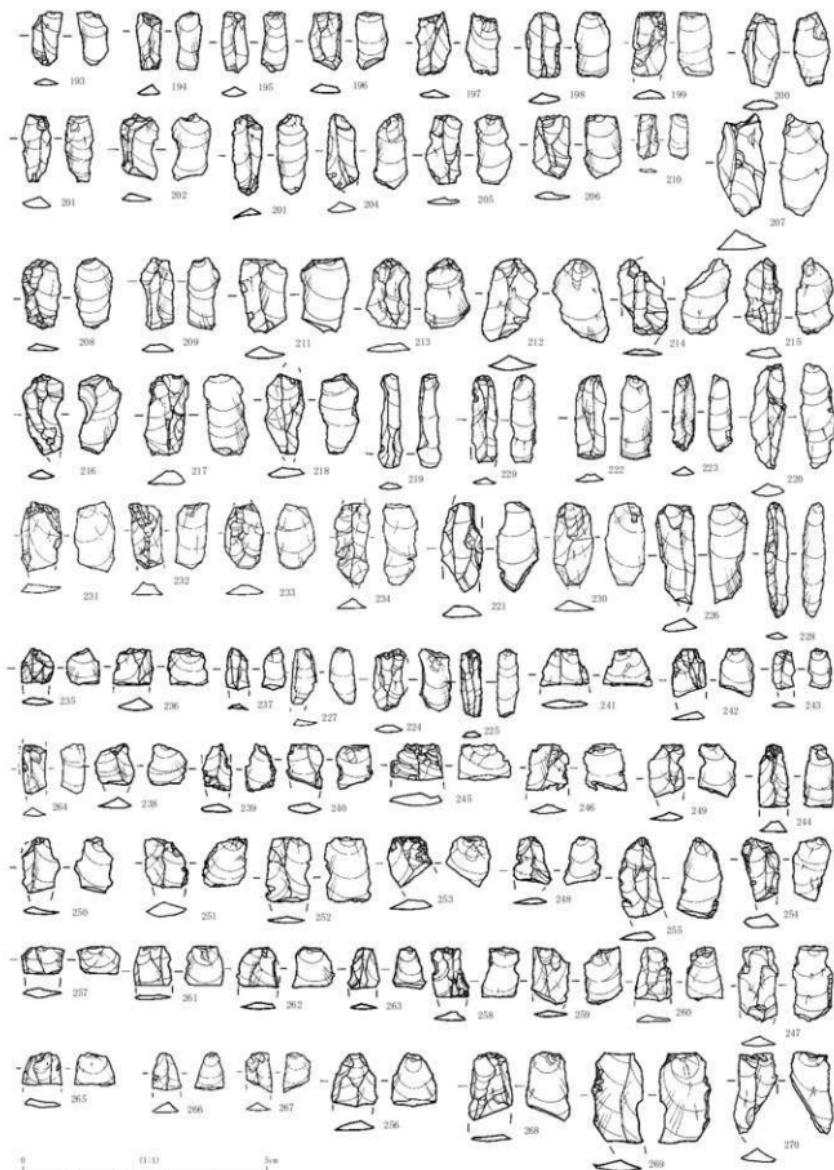
搔器（第92図） 777～779は搔器である。777は腹面方向から刃部形成されている。779は、左側縁は腹面から、右側縁は背面から刃部形成されている。777は三船産黒曜石製、779は頁岩製である。778は不定形剥片を素材とし、打面に対して背面から調整剥離が施されている。

彫器（第93図） 786は彫器である。縦長剥片を素材とし、下縁に調整剥離が施されている。チャート製である。

二次加工剥片（第94図） 787～793は二次加工剥片である。787は、鉄石英製である。角錐状石器様の二次加工が認められる。793は黒色安山岩製である。不定形剥片を素材とし、両側面の下端に二次加工が部分的に施している。

微細剥離剥片（第95図） 794～796・803は、側縁に微細剥離痕が観察される。

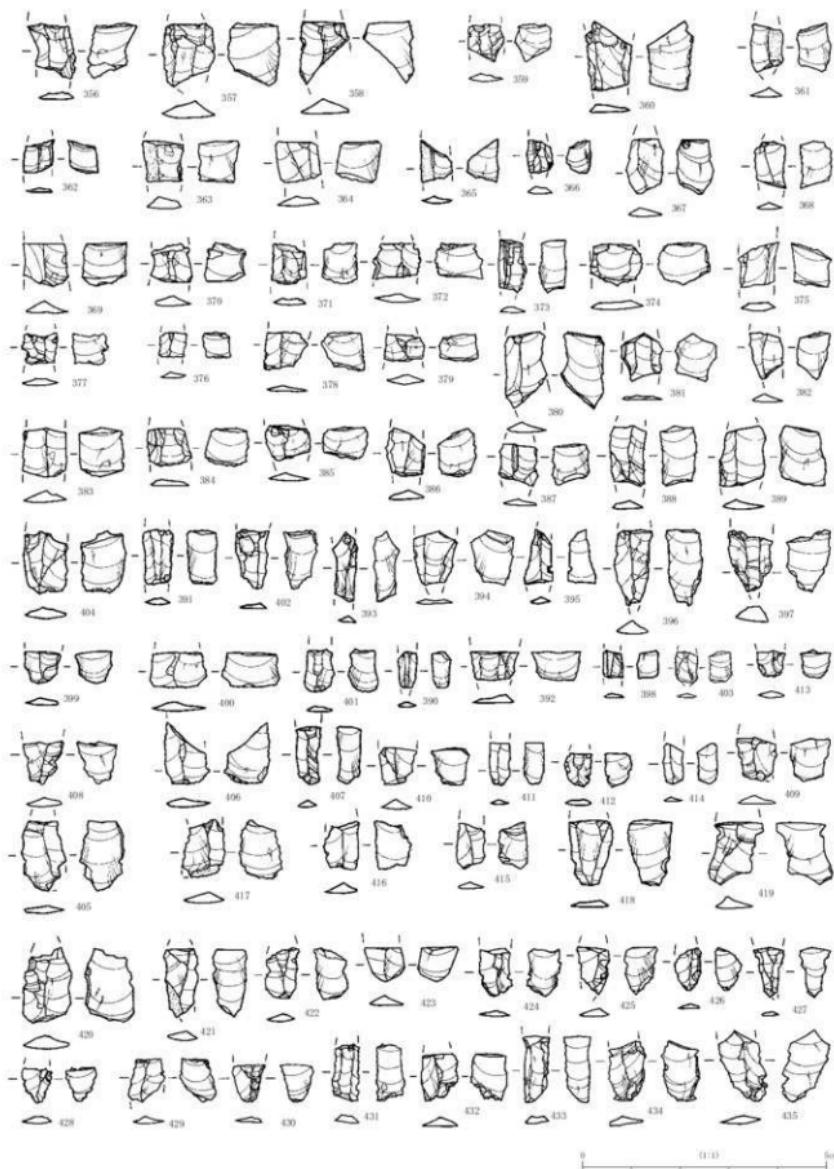
ナイフ形石器（第95図） 797は切出型ナイフ形石器で、頁岩製である。多面体の石核から得られた分厚い幅広剥片を用い、刃縁と長軸の角度は45°程である。また、背部及び対峙する短辺は急角度の剥離で基部調整され、その短辺が内湾状に仕上げる。このような特徴は、狸谷型ナイフ形石器に共通する。なお、刃縁の全域に刃潰れ痕が明瞭に残されている。



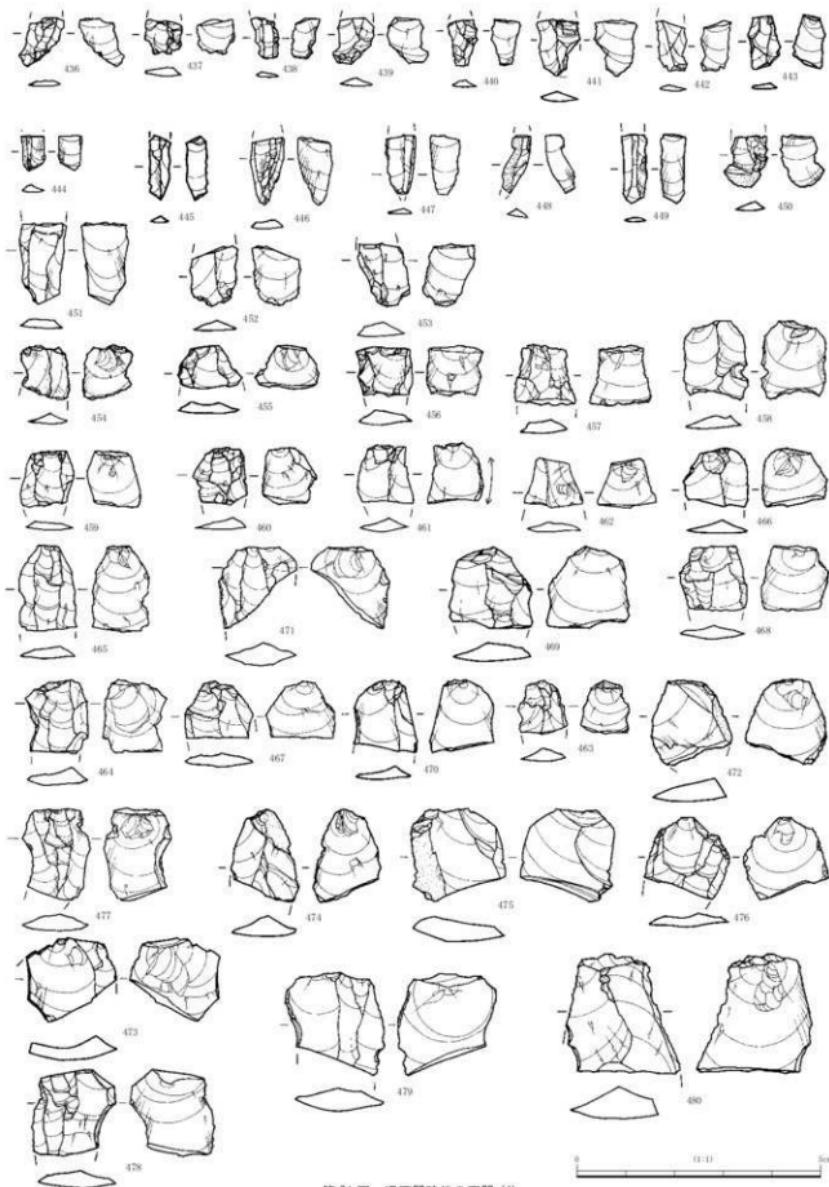
第78図 旧石器時代の石器(1)



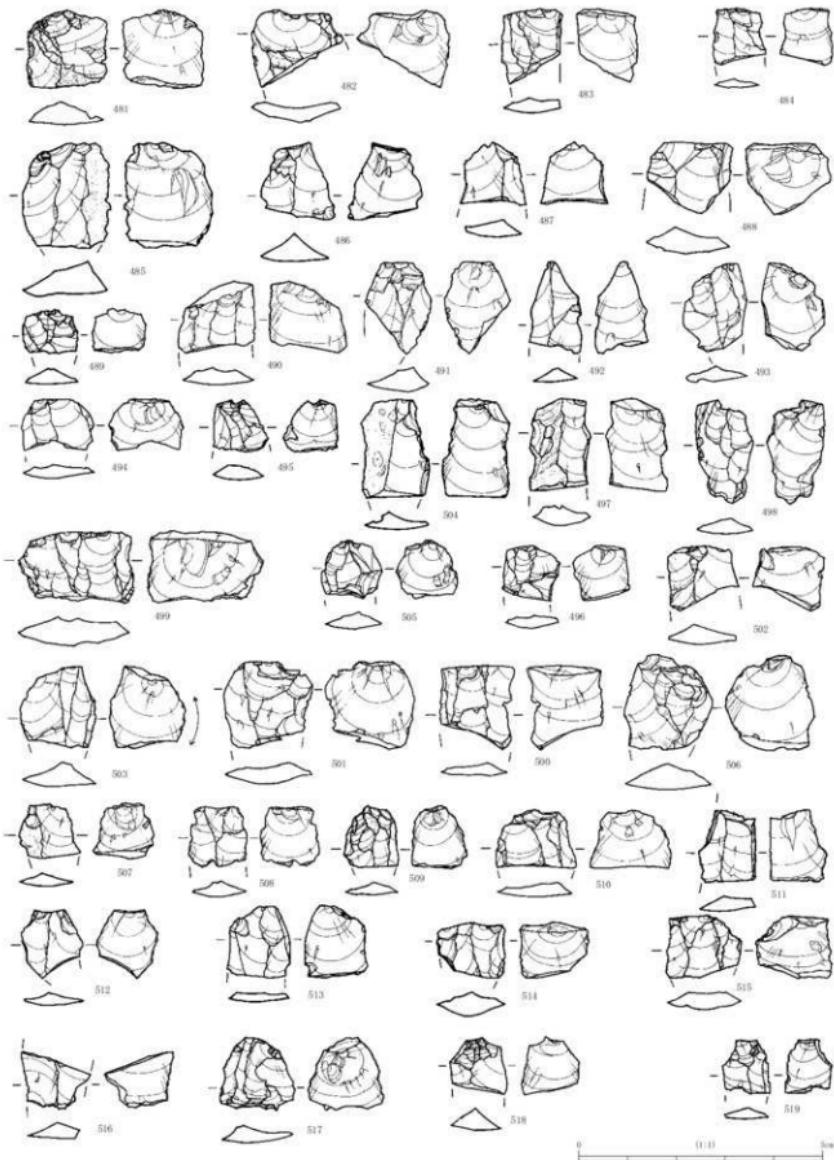
第79図 旧石器時代の石器(2)



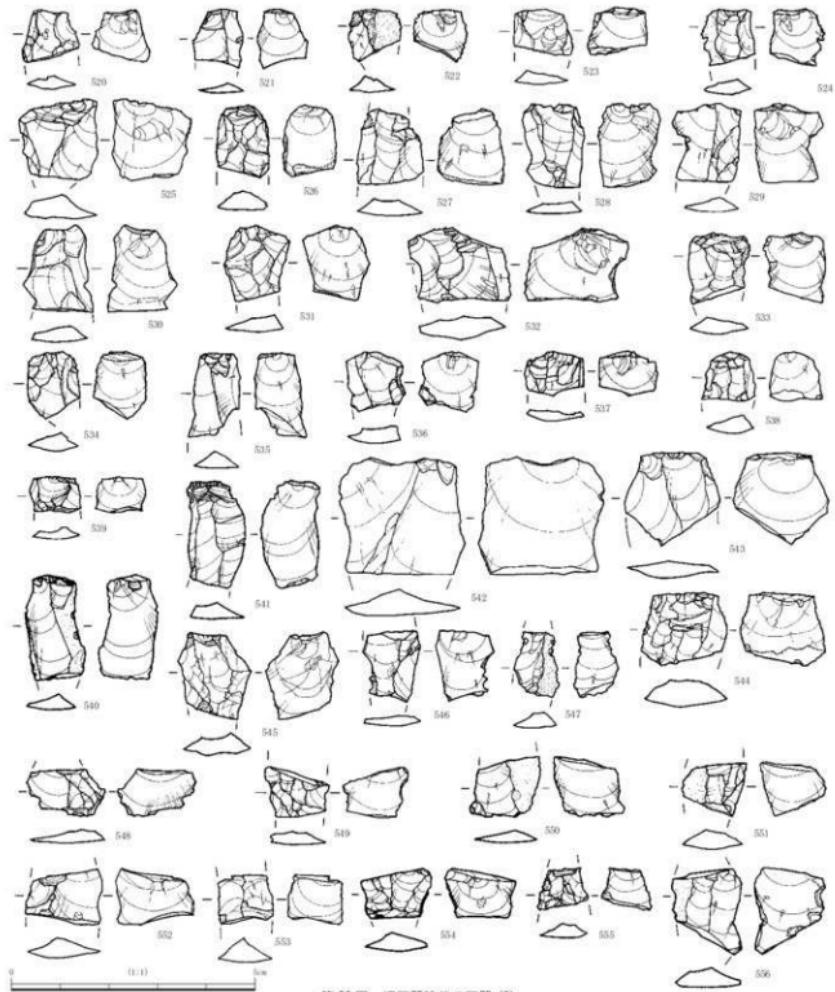
第 80 図 旧石器時代の石器 (3)



第 81 図 旧石器時代の石器 (4)



第82図 旧石器時代の石器(5)



第 83 図 旧石器時代の石器 (6)

798は小型ナイフ形石器で横広の剥片を素材としている。腰岳産黒曜石製、両側縁部に刃潰し加工が施される。

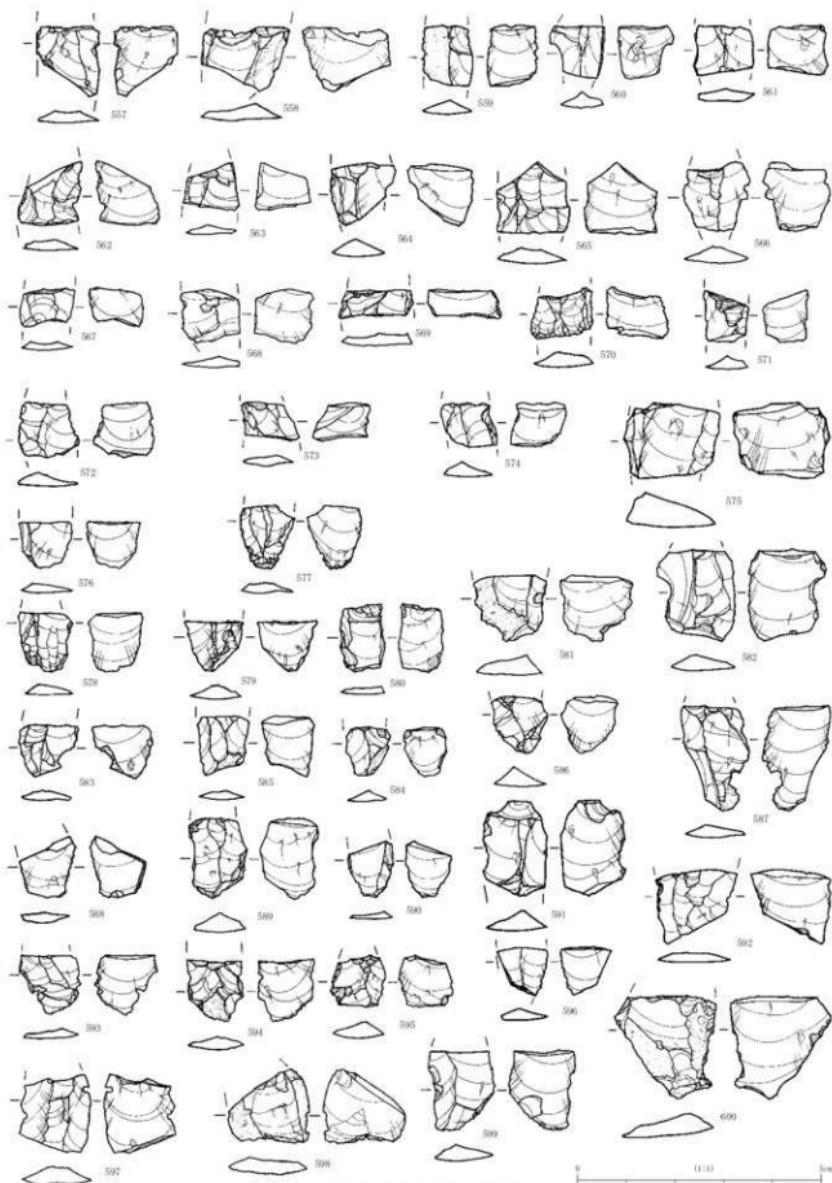
799は横広剥片を切断して使用したもので、左側縁部の折断面をそのまま使用している。日東産黒曜石製である。

800は、狭小で長身な個性的なナイフ形石器で、頁岩製である。刃部は厚手の幅広剥片の形状をそのまま活かす。

し、基部調整は腹面から急角度に行われ、腹面にも平坦剥離が施される。

801 基部加工ナイフ形石器で、頁岩製である。

802は二側縁加工ナイフ形石器で、三船産黒曜石製である。打点移動を伴う横広の不定形剥片の両側縁部に腹面方向から刃潰し加工が施される。なお、右側縁部の一部と基部に破損が認められる。



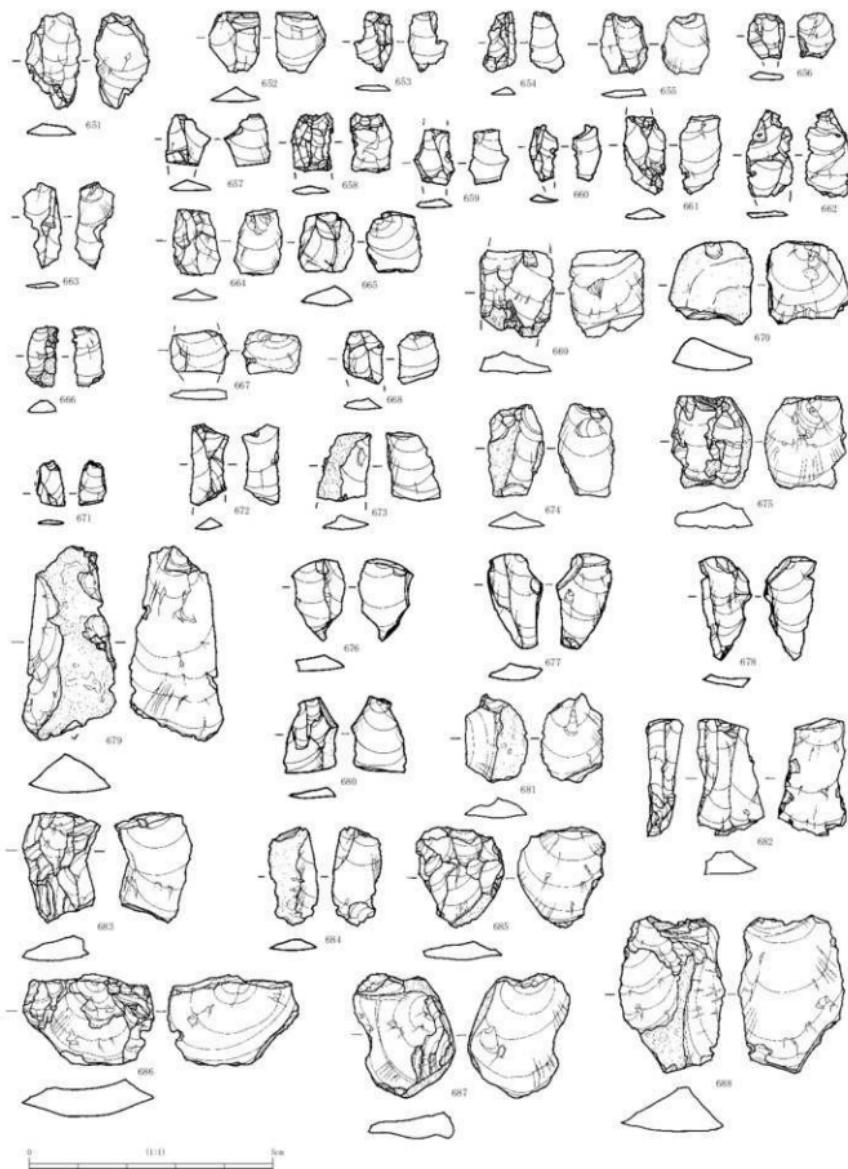
第84図 旧石器時代の石器(7)



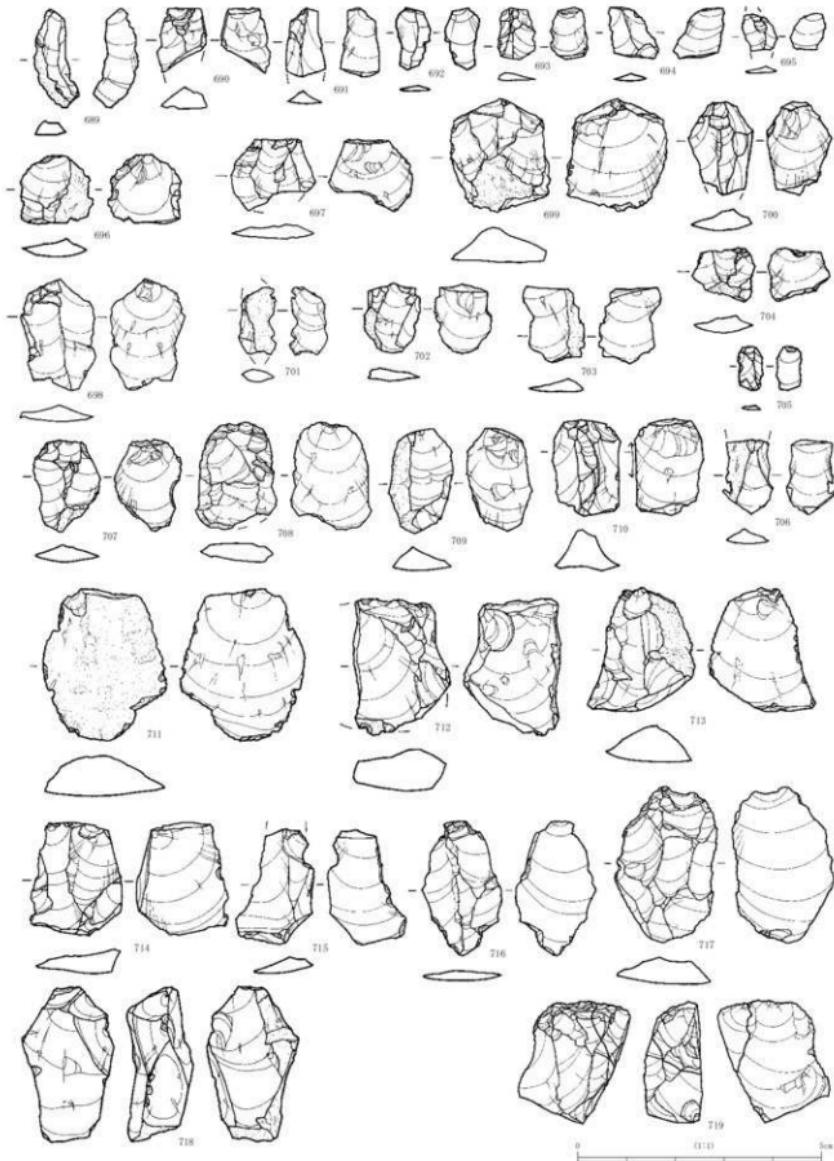
第85図 旧石器時代の石器(8)



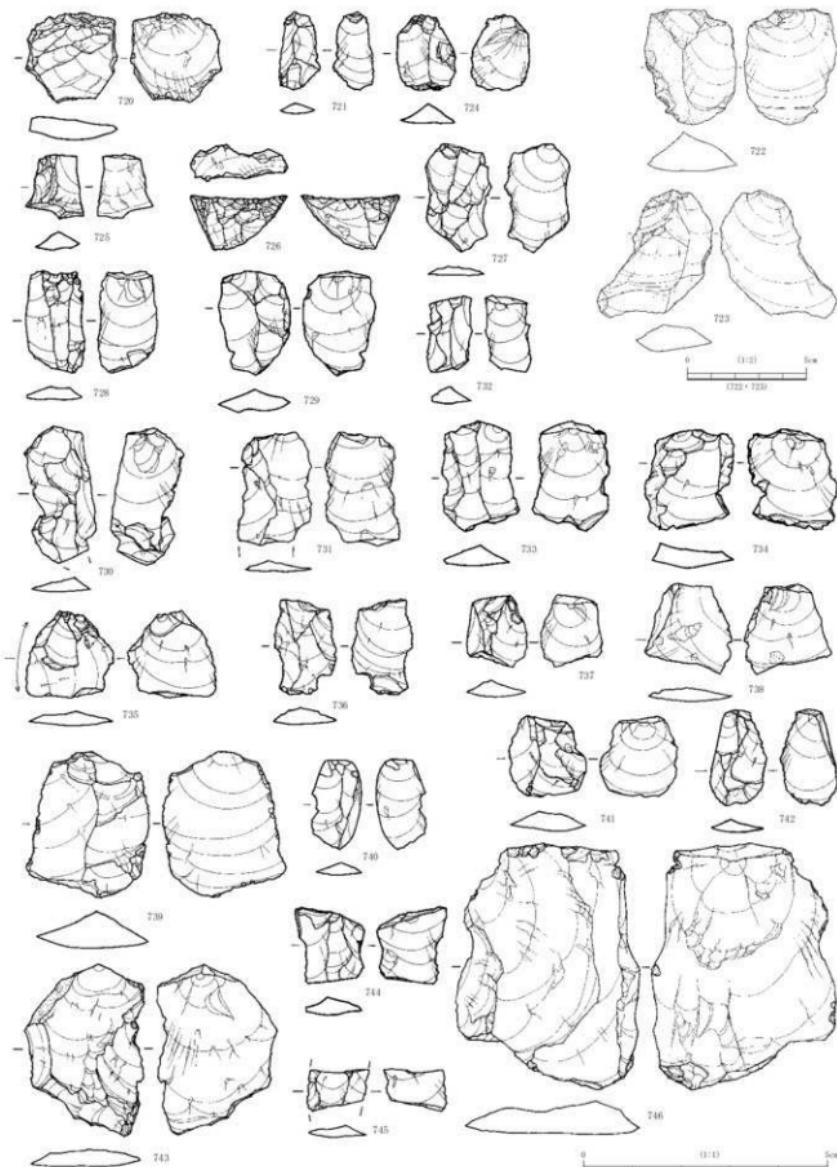
第86図 旧石器時代の石器(9)



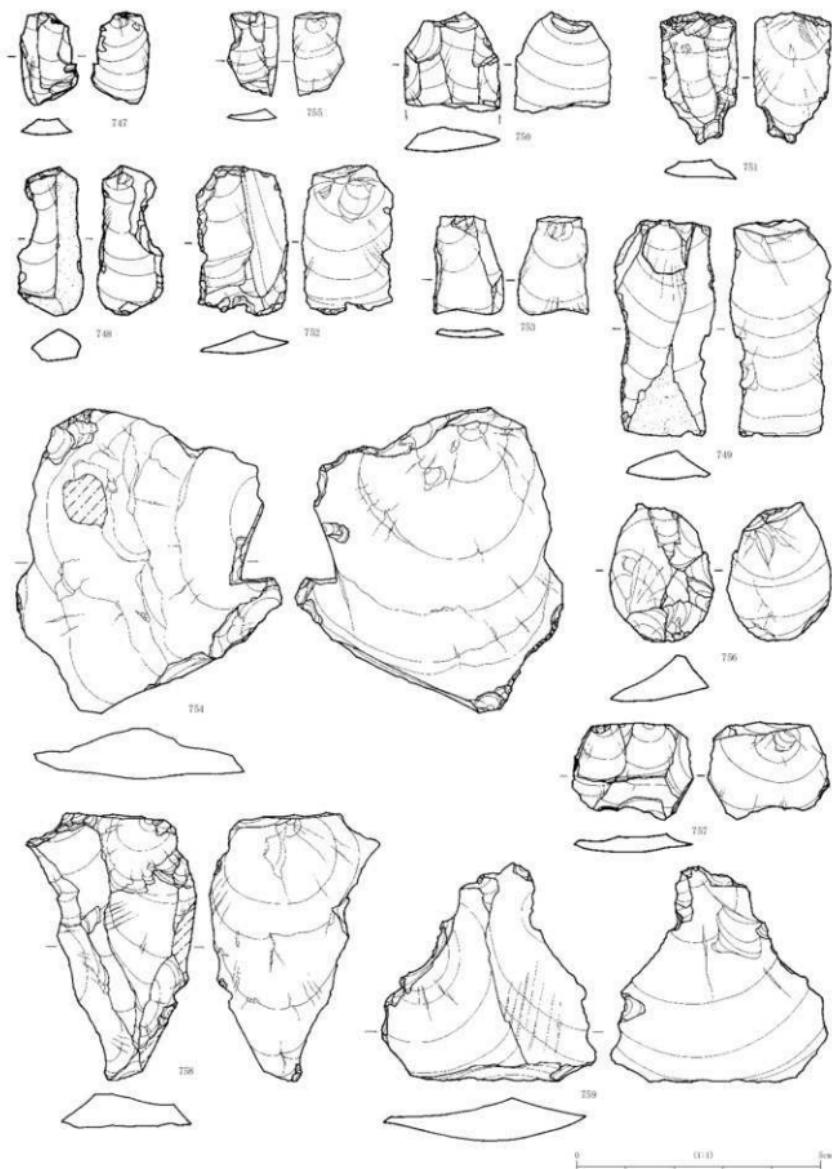
第 87 図 旧石器時代の石器 (10)



第 88 図 旧石器時代の石器 (11)



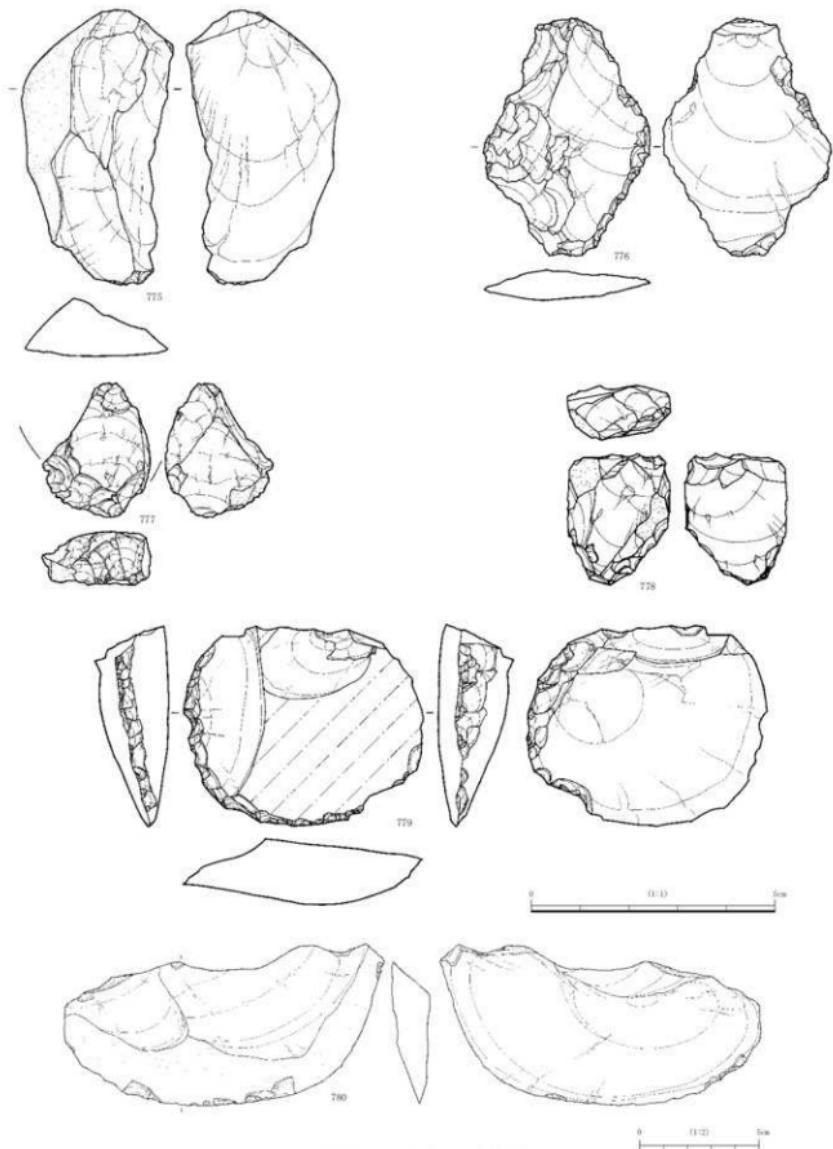
第 89 図 旧石器時代の石器 (12)



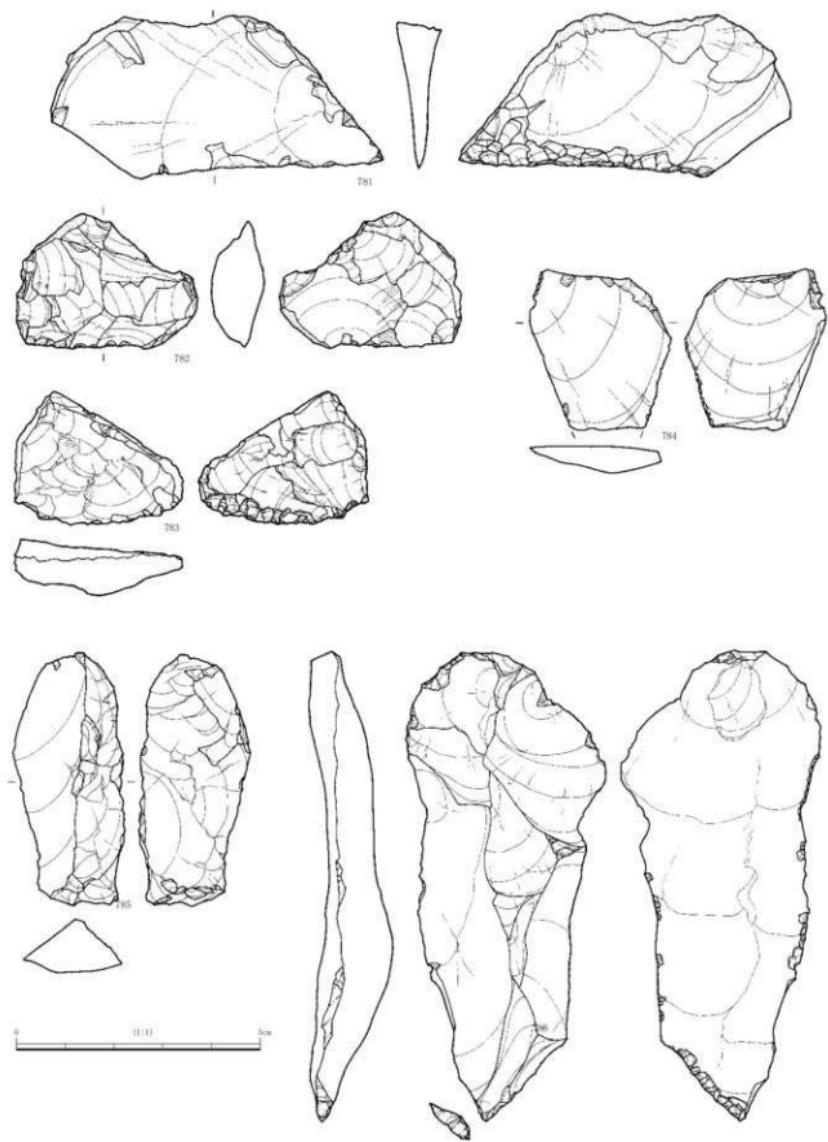
第90図 旧石器時代の石器(13)



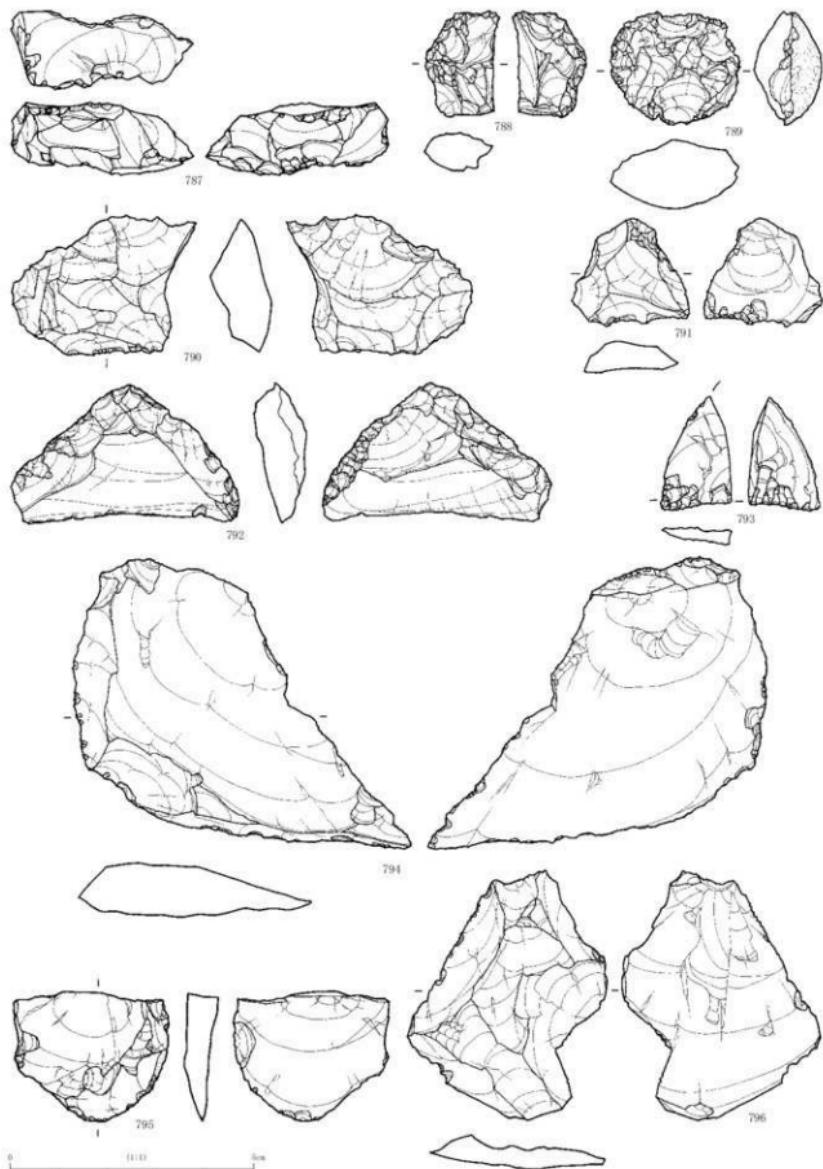
第91図 旧石器時代の石器 (14)



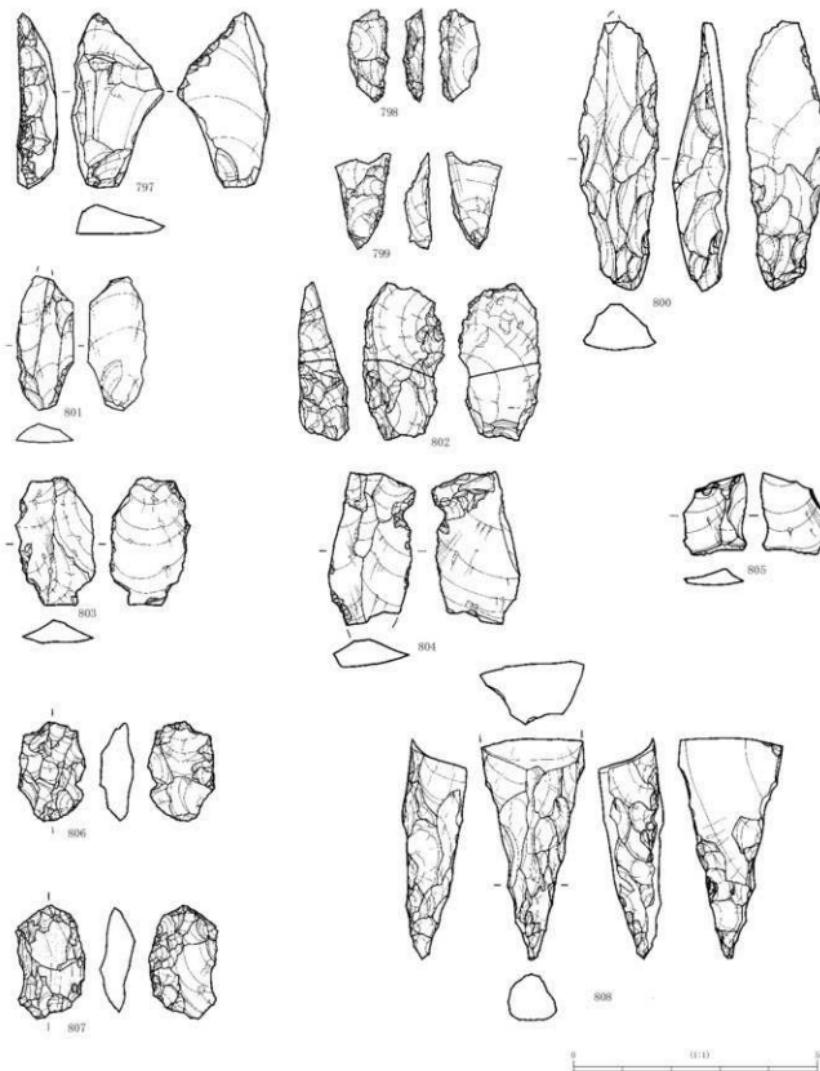
第92図 旧石器時代の石器(15)



第93図 旧石器時代の石器 (16)



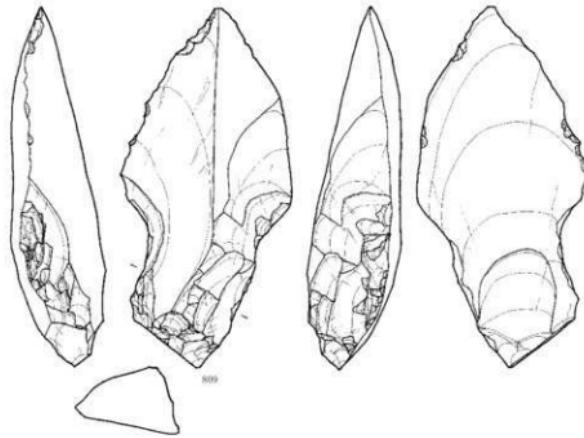
第94図 旧石器時代の石器(17)



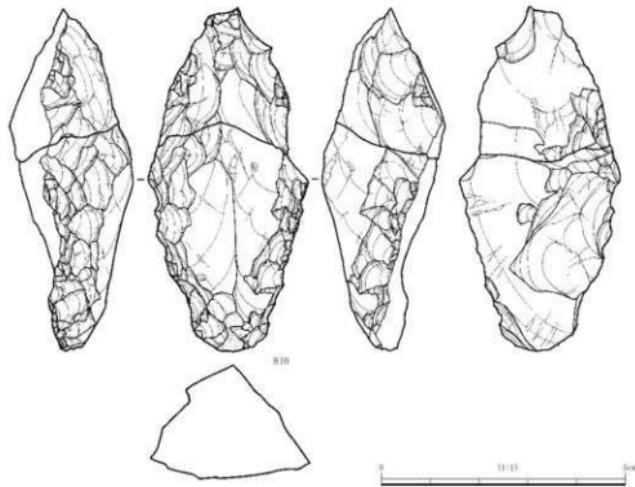
第95図 旧石器時代の石器 (18)

台形石器（第95図）805は霧島産黒曜石製で、右側縁は底面をそのまま使用している。左側縁は打面除去し、もう一枚加撃して二次加工を施されている。

楔形石器（第95図）806・807は楔形石器である。806は桑ノ木津留産黒曜石製で、両面上下からの加工が認められる。



809



810

0.10

cm

第 96 図 旧石器時代の石器 (19)

三稜尖頭器（第 95 図・第 96 図）808 はホルンフェルス製である。腹面に平坦剥離による基部加工が施される。

810 は上牛鼻産安山岩製である。背面左側の大剥離面が先行する剥離で、整形剥離は全て腹面から施される。腹面の大剥離面が主剥離面で、尖頭部方向の剥離面は二次加工である。

剥片尖頭器（第 96 図）809 は硬質の頁岩製である。平坦打面から剥離した厚手で「ノ」の字状の剥片の打面側を基部として、腹面から急角度の剥離が施され、尖頭部は剥片の形状が利用されている。

3 縄文時代の遺物

(1) 土器（第97図～第106図）

塙之内跡地出土した縄文土器は、点上げを行ったもので総数966点である。その中の121点を図示した。

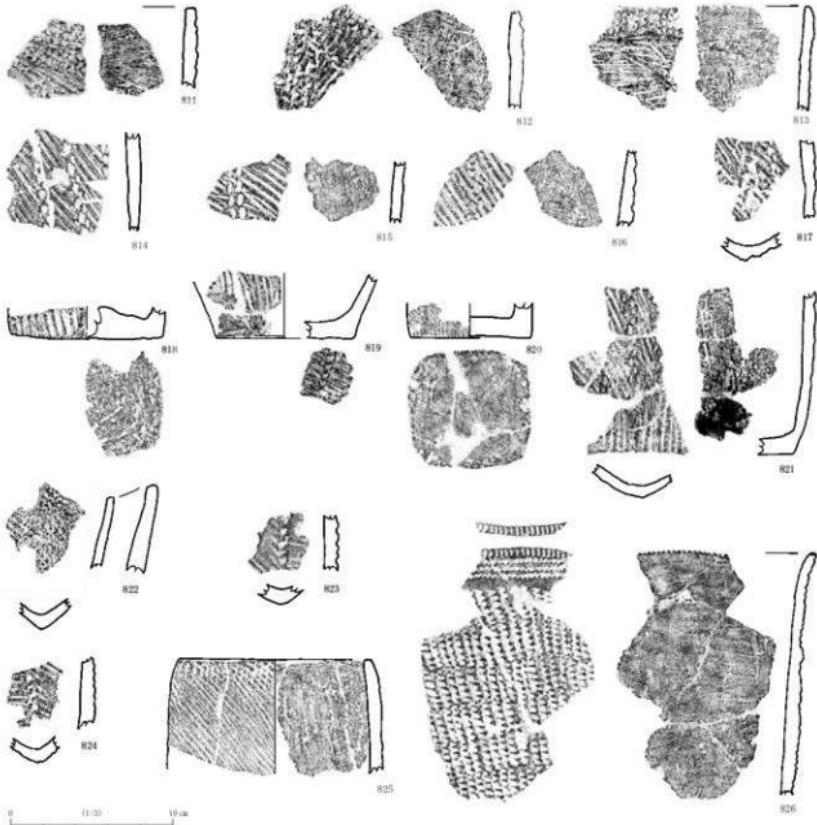
一般的に薩摩半島北部の地層堆積は、火山の西側に位置することと、鬼界カルデラから遠いことから、アカホヤ火山灰をはじめとする土層の堆積が薄い。加えて、第2節で述べたように、本調査区では多数の地層横転と擾乱が確認されている。したがって、層位的に土器を細分することは困難である。

そこで、出土土器の特徴を既存の土器型式と比較しながら1類～10類に分類し、その中で特徴の分かれるも

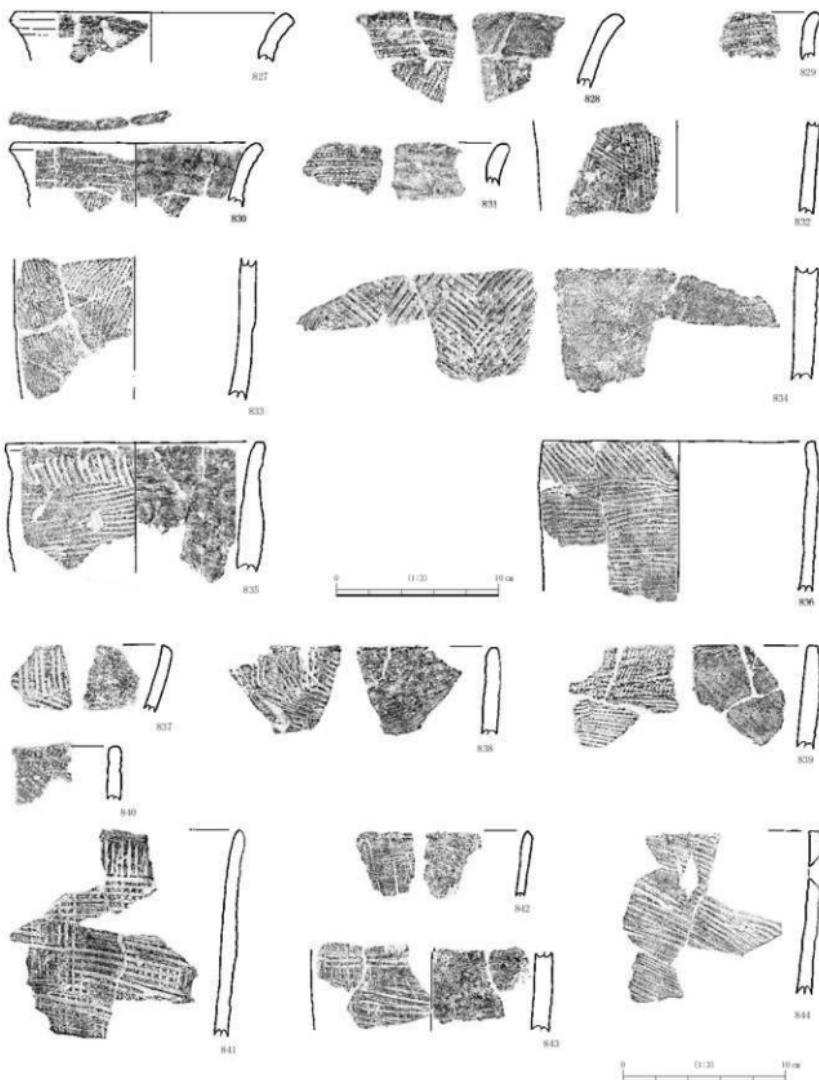
のについては細分した。既存の土器型式に当てはまらないものについては、近いと考えられる類に入れてある。

また、出土土器の系統で括ってあるので、必ずしも時期の古い順で並んでいない。以下、類型ごとに報告する。

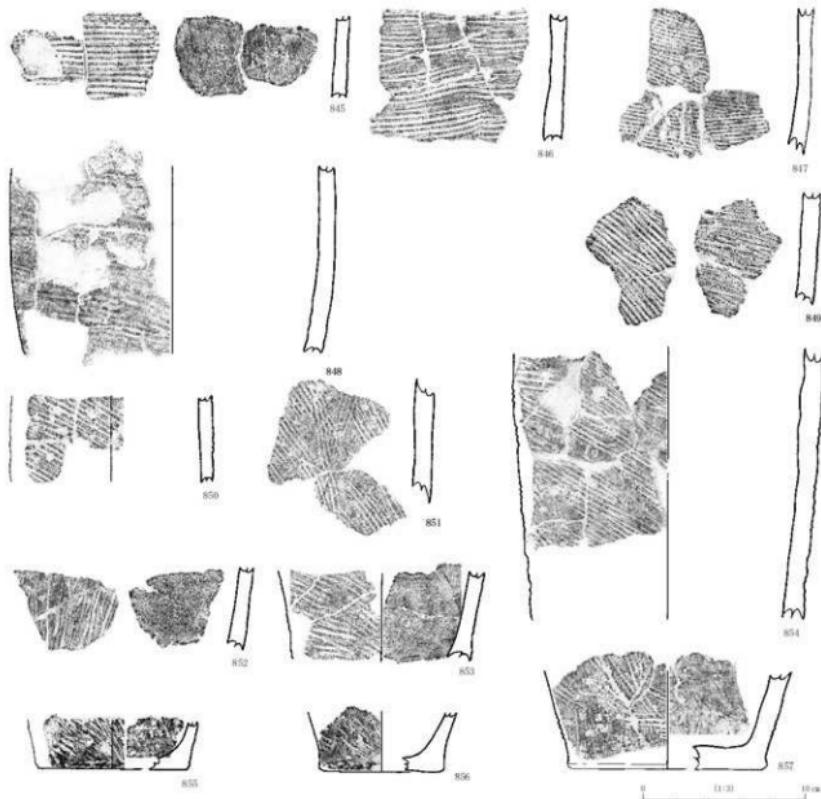
1 a類 器形は、角筒が主体を占めている。底部はほぼ直角に立ち上がるるものから、やや広がり気味に立ち上がるものまであり、縦方向の貝殻条痕をもつ。811～821は貝殻条痕を地文にもち、その上から二本単位の貝殻腹縁による連点が施されるものである。内面はケズリによる調整である。口縁部は、貝殻腹縁が縦方向あるいは横向方向に刺突される。811の口唇部は平らに面取りされ、



第97図 縄文時代の土器(1)



第98図 純文時代の土器(2)



第99図 縄文時代の土器(3)

浅い刻みが入れられる。底部を除く器壁は8mmであり比較的薄い。819の底面には編組の圧痕があり、15mmの間隔を開けたモジリ編みにも見えるが、検討を要する。820の底部は一辺7.3cmを測り、底面は細い条痕状の調整である。

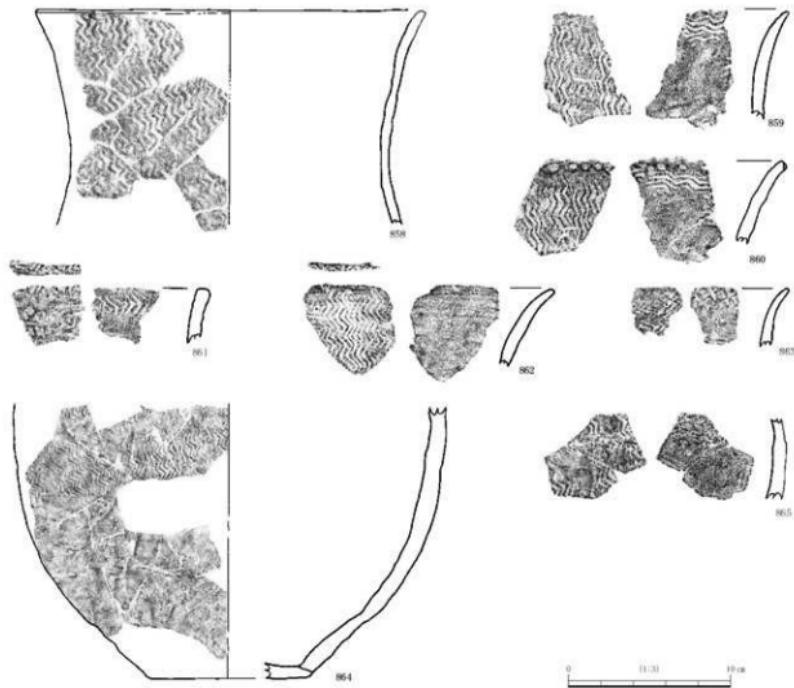
1c類 822・823はシャープな角をもつ角筒土器である。822は口縁部の角頂部であり、口唇部は平らに面取りされる。浅い条痕の上に貝殻腹縁が直線上に刺突される。角の部分には二本単位の貝殻腹縁による連点が施される。器壁は7mm前後と1a類よりもさらに薄くなる。

1c類 825は、貝殻条痕により左上から右下へ斜位に施されるもので、口縁部には貝殻腹縁による縱方向の刺突が巡らされる。内面は下から上への縱方向

ケツリによる調整であり、口唇部付近のみ横方向のナデである。口縁部はわずかに内湾気味で、口唇部の外側は丸みを帯びる。

2類 826は、口縁部がわずかに外反する器形である。口唇部は平らに面取りされ、貝殻肋を押圧した刻み目がみられる。口縁部には貝殻腹縁の刺突が三条巡らされる。胴部は貝殻腹縁を横方向へ動かしながら連続して刺突されるが、これが胴部全面に施されている。内面はミガキ様のナデである。

3類 827～831は、口縁部が外反するもので、口唇部分はやや膨らんでおり、浅い斜位の刻みが施される。口縁部には、貝殻腹縁による刺突がみられる。833・



第100図 縦文時代の土器(4)

834は、胴部の貝殻条痕が綾形状に施されている。内面の調整は丁寧なナデである。

4 a類 835～840は直行する口縁部で、口縁部文様帶と胴部文様帶に分かれるものである。胴部の貝殻条痕は横方向のものであり、通常の石坂式土器とは一線を画している。835は口径16.0cmで、口縁部に縦あるいは斜位の条痕を粗く巡らす。胴部は横方向の条痕である。

836は口径16.8cmで、口縁部に斜位の条痕を密に巡らす。胴部は横方向の条痕であり、内面の調整は縦方向のケズリに近い。837と838も同様であるが、胴部の施文がやや斜位となる。839は口縁部の文様が貝殻腹縫を傾けて密に押したるものであり、胴部の条痕は横方向となる。内面の調整は、ミガキ様のナデである。840は口縁部の文様が串状の工具を刺突したものである。

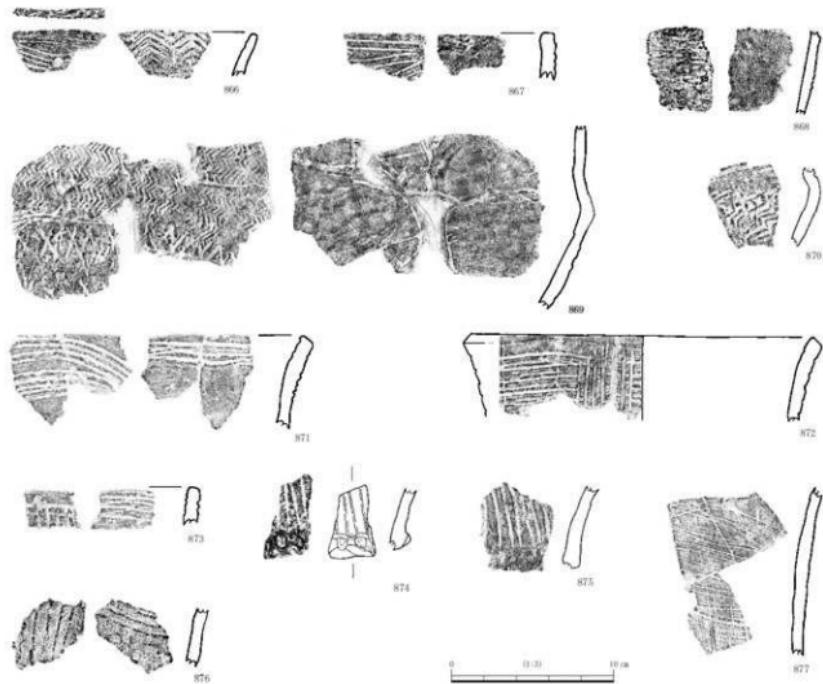
4 b類 841～843は縦方向の条痕の後に、横方向の条痕を巡らすものである。口唇部は、やや尖り気味となる。

4 c類 844は、文様帶が分かれずに、口縁端部から斜

位の条痕が施されるものである。ほぼ直行する円筒形の器形であり、口唇部は平らに面取りされている。内面の調整は丁寧なナデである。補修孔と考えられる穿孔は、回転ではなく掠り切りによるものである。

4類の胴部と底部 845～857は4類に該当する胴部と底部と考えられる。845～848には横方向の条痕がみられ、849～851・853・854には斜位を基調とする条痕がみられる。852は縦方向の条痕である。855～857の底部は、側縁がわずかに張り出すものであり、安定した平底である。

5 a類 全面に押型文が施されるものである。858は大きく外反する頭部から口縁部付近である。大ぶりの山形押型文を縦位に施す。施文の単位が20mm前後であることから、原体の直径は7mm弱である。859は山が低く長い押型文であり、施文の単位が21mm前後であることから、原体の直径は8mm前後となる。外面は縦方向に施され、口縁部内面は横方向に巡らす。原体の幅は



第101図 縄文時代の土器(5)

15mm前後である。

860は口唇部が外側に張り出し、内外面から交互に刻み目が施される。施文原体は859に近い。861は、口縁部内外面と口唇部にも山形押型文が施される。862は外面と口唇部に山形押型文を施している。863は山の高い押型文であり、口縁部内面にも施文される。

864は底部付近から胴部最大径付近のものであり、胴部中央付近から上に縱方向の山形押型文が施文される。胎土に金色雲母を含むのが特徴的である。865は、接合痕にも押型文がみられ、成形途中で施文していることが分かる。

5b類 同一個体内に、押型文と他の施文技法がみられるものである。866は、口縁部内面に横方向の大ぶりの山形押型文が施され、外面には多条の沈線文による文様をもつ。平らに面取りされた口唇部にも何らかの施文がみられる。

867は、口縁部内面に山形押型文が施され、外面には沈線が重ねられる。868には、明瞭ではないものの単節

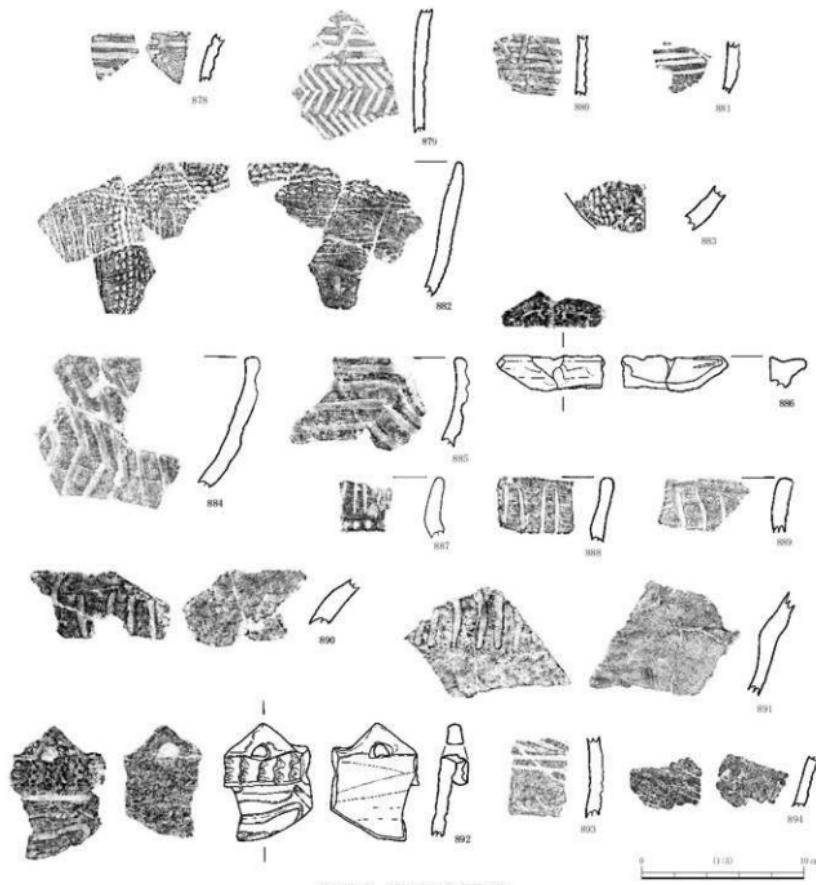
調文状の押圧と押型文風の押圧がみられる。

869は胴部の上半で内側に屈曲する器形で、頭部は外反しながら立ち上がる。屈曲部下は、上位には山形押型文が継続して施され、下位には大ぶりの網目状の捲文文が施文される。870は胴部屈曲部であり、下位に山形押型文、上位に沈線による文様がみられる。

5c類 871～877は、押型文はみられないものの、手向山式土器や天道ヶ尾・妙見式土器にみられる文様をもつものである。871・872は胎土が870に類似することから、この類に加えた。

871は、数条を単位とする沈線が口縁部の内外面に施される。872はわずかに外反する口縁部で、口唇部は平らに面取りされる。外面のみに文様は描かれ、横方向に重ねられた沈線の後に、部分的に縱方向の沈線が施される。873は871と同様の施文である。

874と875は同一個体と考えられる。頭部に縱方向の沈線が描かれ、その下には刻み目が施された突帯が巡る。突帯部分での屈曲が考えられる。877は外反する口



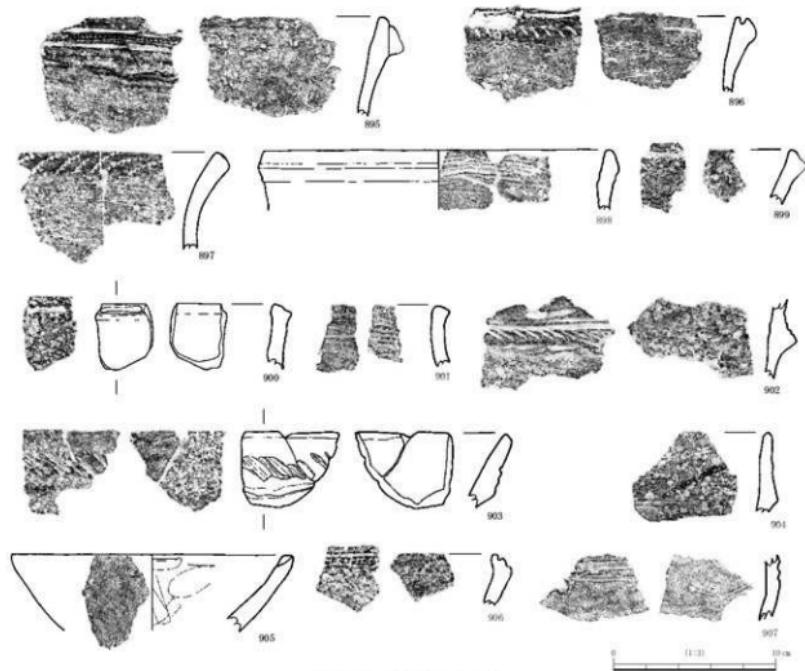
第102図 縄文時代の土器(6)

縁下部で、外面に二条を単位とする横方向の平行沈線が施された後、縦方向の沈線が描かれる。沈線の描かれ方が866に類似していることから、ここに含めた。876は、内外面に多条の微隆起帯がみられるものである。内面は横方向の、外面は斜め方向の施文である。

6類 878～881は、先端が丸みを帯びた棒状工具により文様が描かれるものである。878は、口縁部付近の内外面に横方向の文様がみられる。内面は短い線である。879はわずかに外反する口縁部付近で、横方向に展開する短沈線の上から網目文が描かれる。その下には、丁寧

な羽状文が重ねられる。880は、横方向の短沈線が描かれた後に、網目文が描かれる。881も同様な施文具による平行線がみられる。

7類 882は貝殻腹縁による押し引き状の連点を、端部に沿って口縁部の内外面に施すものである。胴部外面には概方向に貝殻腹縁による連点が施され、その両側には沈線が添えられる。口唇部には細い工具による刻み目が入る。883は丸底の底部に近い部分であり、縦あるいは斜め方向の連点が巡らされる。



第103図 純文時代の土器(7)

8類 阿高式土器及びそれに連なる阿高式系の土器をまとめた。884・885は、太めの凹線で文様が描かれるもので、胎土に滑石を多く含む。口縁部は内溝し、口唇部は幅広く平らに面取りされる。阿高式土器であり、中期後半に位置付けられる。886は、口唇部が装飾されたもので、半肉彫りによるシンメトリーな文様が描かれる。外面には赤色顔料が塗られている。後期初頭の南福寺式土器に該当する。

887～891は、浅い凹線が縱方向に施されるもので、887と891の内面には屈曲部もみられる。887は、口縁端部に沿って凹点が施され、縦線もみられる。888・889は口唇部を丸くおさめる。890・891は、凹線が上から下へ引かれる。このような特徴から、後期前半の出水式土器に該当する。

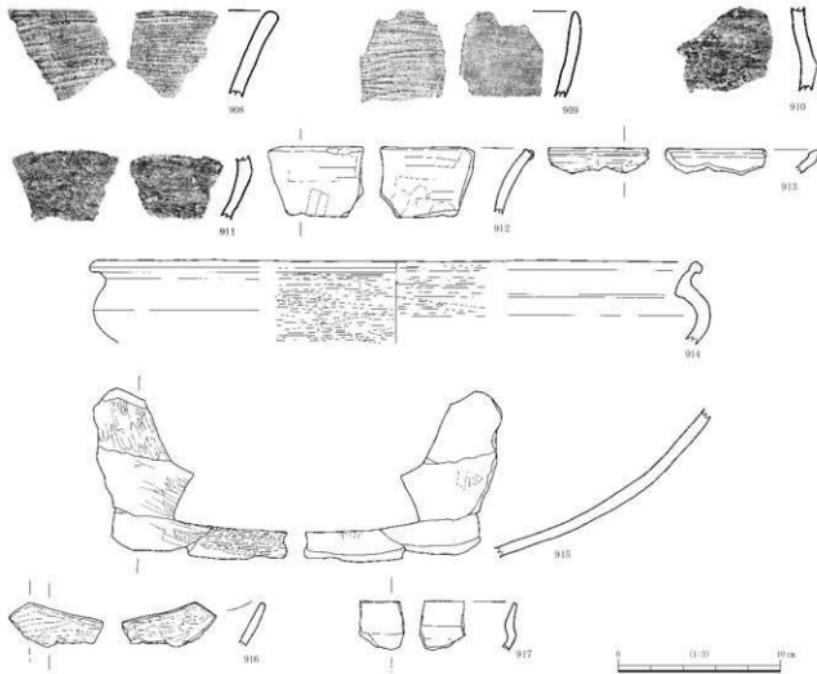
9a類 892は、直行する口縁部に凹線文が描かれる。口唇部に沿って幅広の粘土紐が貼り付けられ、縦位の貝殻腹縁刺突が巡らされる。口縁部の一部に三角形の突起をもち、円形の透かしが入れられる。口唇部は幅広い。

河口貞徳氏による「協和式土器」に近いもので、後期前半に位置付けられる。

893は胴部の上部に沈線で文様が描かれるものであり、指宿式土器に近い時期に該当する。894は、細沈線で枠をもつ文様が描かれるものである。確実な時期は不明であるが、後期前半にみられることがから、この類に含めた。

9b類 895～907は、口縁端部を断面三角形に肥厚させるもので、後期前半の中でも後出すると考えられる土器である。895は、肥厚部外側の接合痕が明瞭なものである。肥厚部分を文様帶とし、沈線間に貝殻腹縁により刺突されるものである。貝殻条痕はみられない。

896は、口唇上面に沈線が巡らされ、一部には刺突もみられる。その下に斜位の刻み目が巡らされる。口縁端部内面にも施文する意識がみられる。897は、口縁部と肥厚部が一体化したもので、斜位の貝殻腹縁による刺突のみが巡らされるものである。内外面の調整は条痕による。898は間延びした肥厚帶であり、文様はみられない。内面は貝殻条痕による調整である。



第104図 縄文時代の土器(8)

899は口唇部と肥厚帯が一体化したもので、一条の凹線が巡る。900は、端部のみがわずかに肥厚するもので、刺突を起点に凹線が引かれる。901は、肥厚帯が狭く、文様はみられない。899・901の位置付けは苦慮するが、他は松山式土器の範疇に含まれる。なお、895は、寺師見國氏が「南福寺式土器」と呼んだものであり、九州西海岸側にみられるタイプである。

9 c類 902～904は、口縁下部が断面三角形状に肥厚するもので、幅広い文様帯をもつものである。902は、ヘラ状工具が斜位に刺突される。903は下位にシャープな肥厚帯を作り、凹線と刺突の組み合わせによる文様である。904は、肥厚部分が低いもので、斜線の文様が入る。後期中頃の市来式土器に該当する。905は大きく開く器形で、口縁端部を内側に折り返してある。丁寧なつくりではないが、市来式土器に伴う台付皿形土器の一部と思われる。

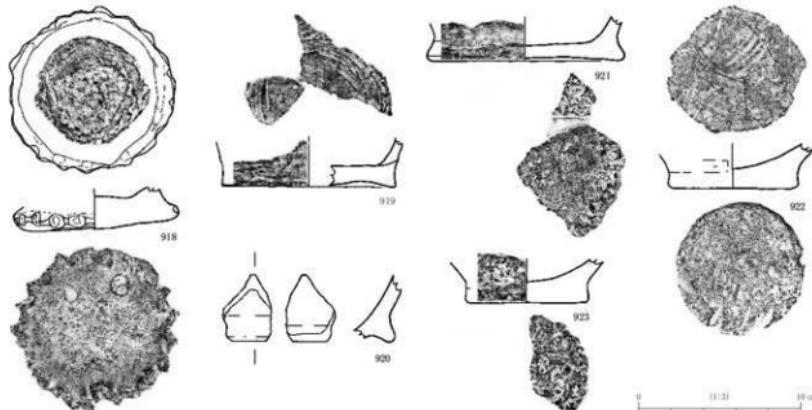
9 d類 磨消繩文系の土器にみられる手法が観察される土器である。906は口縁端部を内側に折り返すもので、

屈曲外部を文様帶としている。平行沈線の間を二条の筋を単位とする貝殻痕跡により、押し引き状に施文されている。器形からみると西平式土器であるが、施文が貝殻によるものであり、検討を要する。907は胴部の上半に施文するもので、端部に凹線に入る凹線が引かれる。

10類 後期終末から晩期に位置付けられる土器である。908～911は粗製の深鉢形土器で、912～917は精製の浅鉢形土器である。

908は口唇部を丸くおさめるもので、内外面に粗い条痕が施される。909は尖り気味の口唇部で、外面の調整は粗い条痕であるが、内面の調整は滑らかである。910は屈曲する胴部からわずかに外反する頭部であり、古めの要素をもつ。911は胴上部あるいは肩部付近のゆるい屈曲で、やや後出する。

912はゆるく外反する長い口縁部で、口唇部は平らに面取りされる。口唇部外縁の一部に、円柱状の貼り付け文がみられる。913は口縁端部のみで、口唇部に粘土紐



第105図 繩文時代の土器(9)

を重ねることで内外面が凹線状となる。914は丸く内側に湾曲する胴部上部から、「く」の字に強く屈曲した口縁部をもつ、口縁端部径よりも胴部最大径が大きくなり、口唇部は玉縁状となる。915はよく研磨された胴下部である。916は肥厚しない口縁波頂部であり、口唇部は面取りされている。917は胴上部で内側に屈曲し、外反しながら立ち上がる口縁部をもつ。口唇部が尖り気味に仕上げられる小型の浅鉢形土器である。

底部 繩文時代中期以降に該当すると考えられる底部をまとめた。918は側縁が張り出るもので、指頭状の刻みが巡らされる。阿高式系の土器にみられるもので、中期末から後期初頭に位置付けられる。919～921は浅いものの上げ底となるもので、919と同様の時期が考えられる。922と923は側縁が直立するものの円盤状ではなく、入佐式土器に近い。後期終末から晩期初頭に位置付けられる。

その他の縄文土器(第106図)

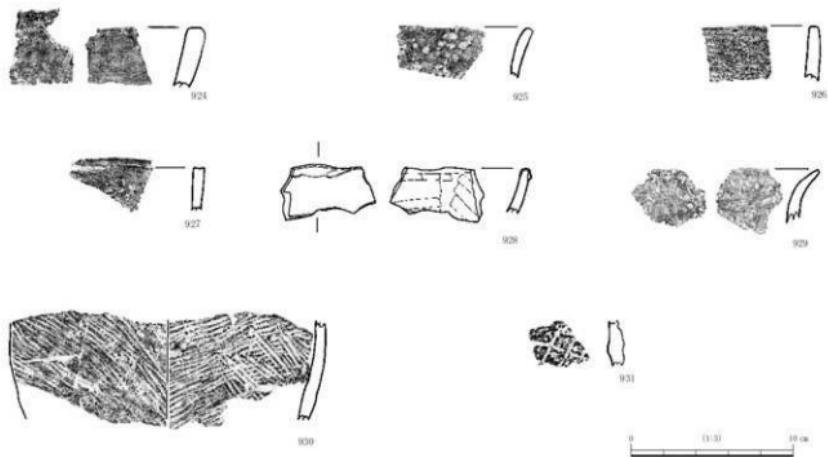
上述した以外の土器で、複数の時期に該当しそうな土

器や出土層位との組合が考えられる土器をまとめて報告する。

924は口唇部を丸くおさめ、10mmの器厚をもつ無文の土器である。内外面とも丁寧なナデである。時期は不明である。925はわずかに外反する口縁部であり、口唇部は丸くおさめられる。器厚は薄いが、丁寧な作りではなく、後期頃のものと思われる。926はわずかに内湾気味に立ち上がる口縁部であり、後期後半から晩期頃に該当するものと思われる。

927は、口唇部が凹線状になるもので、弥生時代中期以降に見られそうなものであるが、出土層位がIV層であることから、ここに含めた。928は口縁部外端に粘土が溜まったもので、指頭状の浅い刻みがみられる。古墳時代の土器にもみえるが、ここに含めた。929は外反する口縁部であるが、時期不明である。

930は丸みを帯びた胴下半部であり、内外面に貝殻条痕が施される。深浦式土器とも思われたが、断定できないことから、ここに含めた。931は、凹線を左右斜位に引いて、菱形の格子文が描かれるもので、該当する時期を早期か後期に特定できなかったので、ここに含めた。



第106図 縄文時代の土器(10)

(2) 石器(第107図～第113図)

縄文時代の石器は石匙や石鏃などの剥片石器類と打製石斧・磨製石斧、磨石・敲石類などの礫石器が出土した。一部の石鏃を除き、各石器の帰属する時期は不明である。

石匙(第107図・第108図) 932～934・939はチャート製である。932は、横広剥片を縱方向に使用した縱型石匙で、摘み部を含め、特に左側縁部に2箇所の抉入部が設けられている。

934は平坦打面の厚手の不定形剥片を素材とし、体部はほぼ円形に近いと見られる。939は、打面転移を伴う石核から取り出した中央部が分厚い横広剥片を素材とする。打面は右側縁部に配され、打面部を含め打面部分の厚い部分は全て除去し、刃部は剥片の形状を活かし、左側縁部の下位は尖頭状に仕上げる。

935は横広剥片の打点方向を摘み部に、剥片の形状を活かしながら、刃部は両側から重厚に仕上げている。頁岩製である。

936は不定形な縱長剥片の打面下位を抉入して摘み部に、下端部の両側縁部を二次加工したもので、いわゆる縱型石匙に仕上げたものと判断している。玉鈞製である。937は横広不定形剥片の打面側に摘み部を設けた小型石匙である。

938はハリ質安山岩製である。938は打点部を先端部に転換して二次加工を施している。裏面下位の左下に示

した狭い白抜きが、剥片剥離の平坦打面でそのまま残される。なお、下端部を薄くする作業は、側縁部からの成形剥離から確認できる。

940～942の3点は横型石匙で、所謂サブマリーンタイプで、940は光沢のあるやや褐色混じりの濃い灰黒色のチャート製で、素材となる横長剥片の打点部を右側縁部方向に使用する。941はタンパク石製である。942は、摘み部を欠くが横長厚手のハリ質安山岩製である。

打製石鏃(第109図～第111図) 948～952は、いわゆる小型石鏃で、南九州縄文時代早期特有の三角形鏃である。そのほとんどが県内産(上牛鼻産、三船産)ないしは桑ノ木津留産の透明度の高い黒曜石を用いている。なお、黒曜石を石材とする事もこの時期の特徴である。

948・950・951・978では軸が傾き、片脚が長くなる傾向が見られる。953は主剥離面を多く残す。954～956では側縁部が丸みを帯びる。955の基部は内溝し、両面に剥離面が多く残る。956は剥片の形状を活かし側縁部の成形を行う。963はやや形状が大きくなるものの相似形の三角形に近い。957は未製品、956・958は破損品である。

964・965はやや形状が大きくなるものの三角形に近い。966は腰岳産の良質な黒曜石を使用するやや大型化の見られる三角形平基鏃で、973と類似する。967は鉄石英の五角形鏃で未製品の可能性もある、972・974・

982・1005は相似形の三角形である。986と987の形状はほぼ正三角形を呈している。

999～1001は小型長身鐵，1002・1003はやや形状が大きい長身鐵で、明瞭な回基に仕上げている。

1005は先端部，1004・1009は破損品，1010は三日月形石器で、桑ノ木津留産である。

1013・1014は鍼形鐵である。1015・1016は先端部の鋭い長身の円脚鍼形鐵である。1027は長身鐵で、両側縁中央部を鰐歯状に仕上げる。1036は五角形のいわゆる飛行機鐵に該当し、1035も脚部の張り具合は、飛行機鐵の傾向が見られる。

1034は典型的円脚鍼形鐵である。1041は本遺跡最大で、明瞭な回基に仕上げた二等辺三角形で、ハリ賀安山岩製である。

石斧（第112図） 1042～1046は打製石斧で、5点圓化した。1043は凝灰岩製で刃部と想定される箇所は折損している。1044は粘板岩製で両面全周に剥離調整を施し整形している。

1047～1056は磨製石斧で、10点圓化した。1055・1056は完形で、側縁に剥離痕が認められる。

硃器（第113図） 1335は頁岩製である。下端に両側面から調整剥離が施されている。

ハンマーストーン（第113図） 1336・1337はハンマーストーンである。1337は安山岩製の破損品である。下端部に若干の敲打痕を残す。

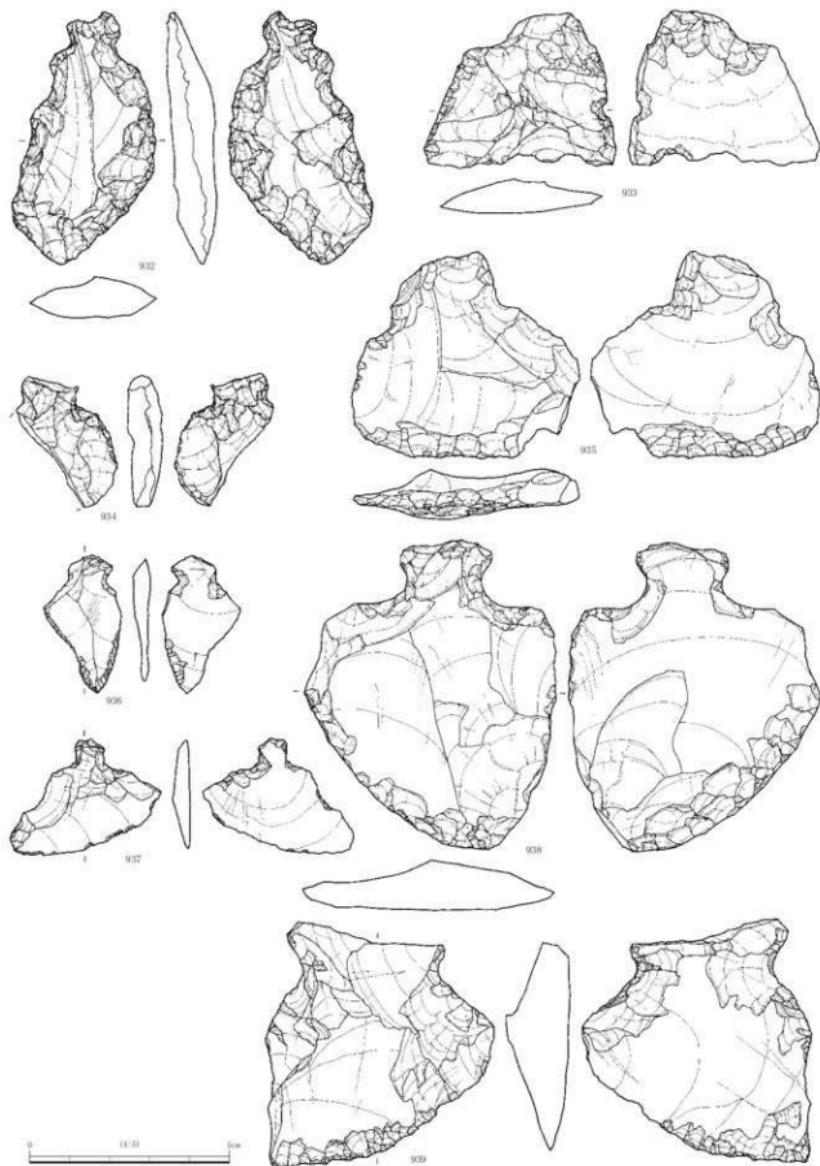
敲石・磨石（第113図） 1338は凝灰岩質安山岩製の敲石・磨石で、メンコ状を呈す。1342は花崗岩製である。表裏の平坦面は磨石として機能している。下端部では、それぞれが狭小であるが、単一の敲打面を持ち、それぞれの面が連続して用いられた様相が見られる。

1343は砂岩製の磨石で、下端部の左右の一部にハンマーストーン様の浅い敲打痕が残される。磨石としての機能は高かったと見られ、磨り面は光沢を保っている。なお、表面中央部は集中的に使用されたとみられ、浅い皿状の凹みが残される。1339は安山岩製である。裏面中央部が凹む。側縁部に若干敲打痕が認められる。

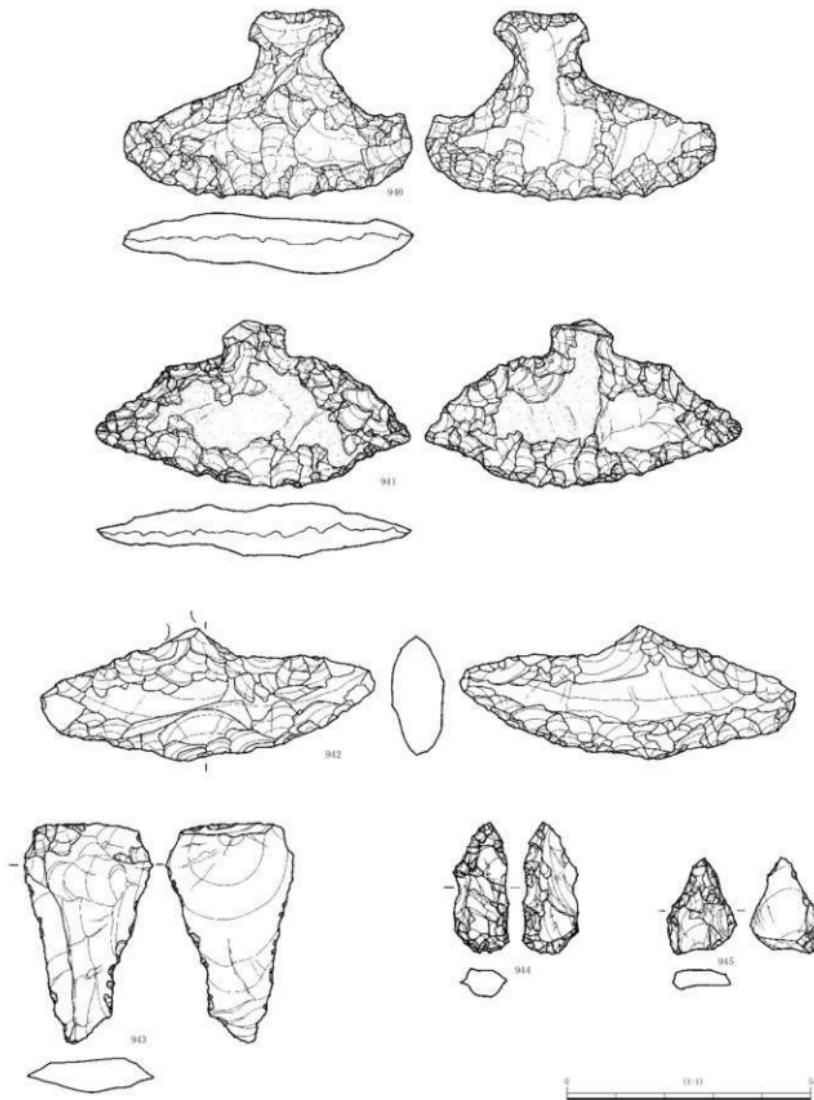
1341・1346は凝灰岩製である。6側面全てが平坦面を構成する。1346は表面中央部に敲打による凹部が残されるが、基本機能は磨石である。1341・1346とも南九州縄文時代早期前半の特徴的形態である。

砥石・石皿ほか（第113図） 1345・1347は砂岩製の砥石で、1345は砥石面の中央部に溝を一条持つ。なお、溝と砥石面については、溝が先行して使用されたとみられる。表面や左側縁部には煤上炭化物が付着し、裏面は被熱破砕している。

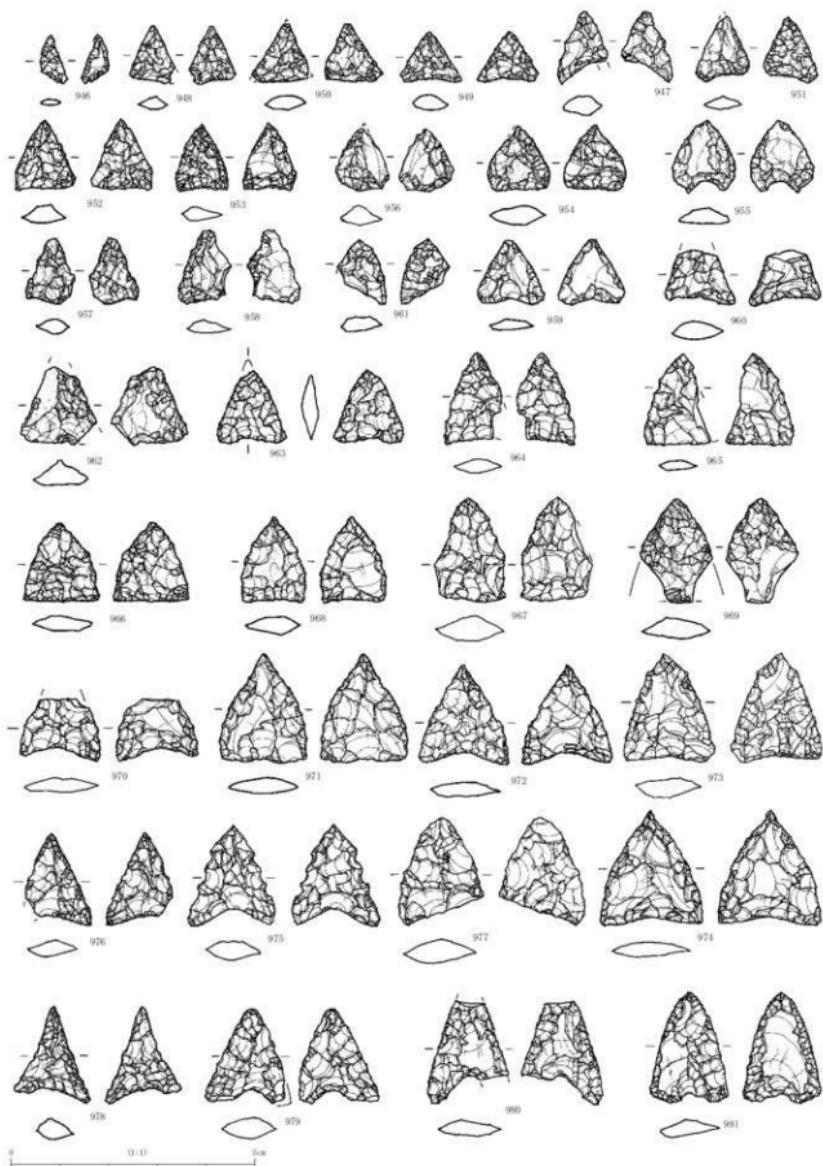
1348は、安山岩製の石皿片で、素材の特徴を活かしたもので、加工した痕跡は見られない。1344は安山岩製の回石で、表裏の中央部に浅い凹部が残される。



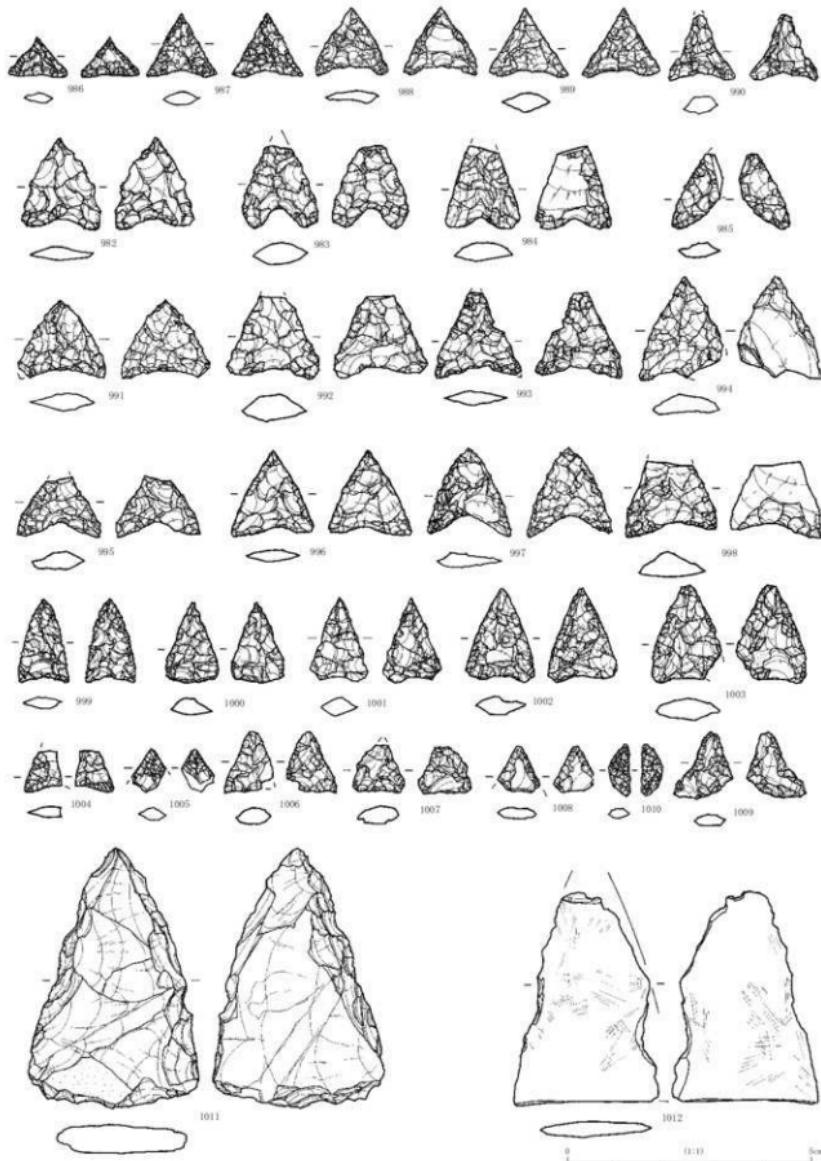
第107図 縄文時代の石器(1)



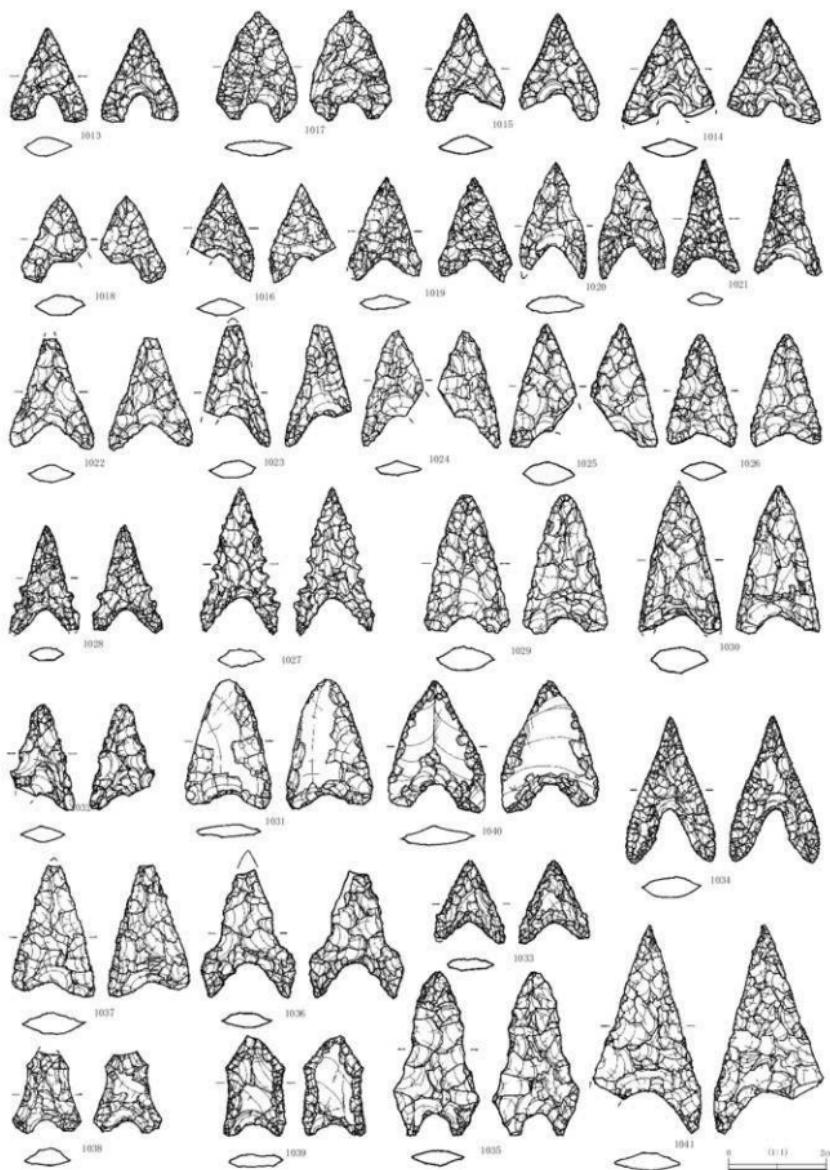
第108図 縄文時代の石器(2)



第109図 縄文時代の石器(3)



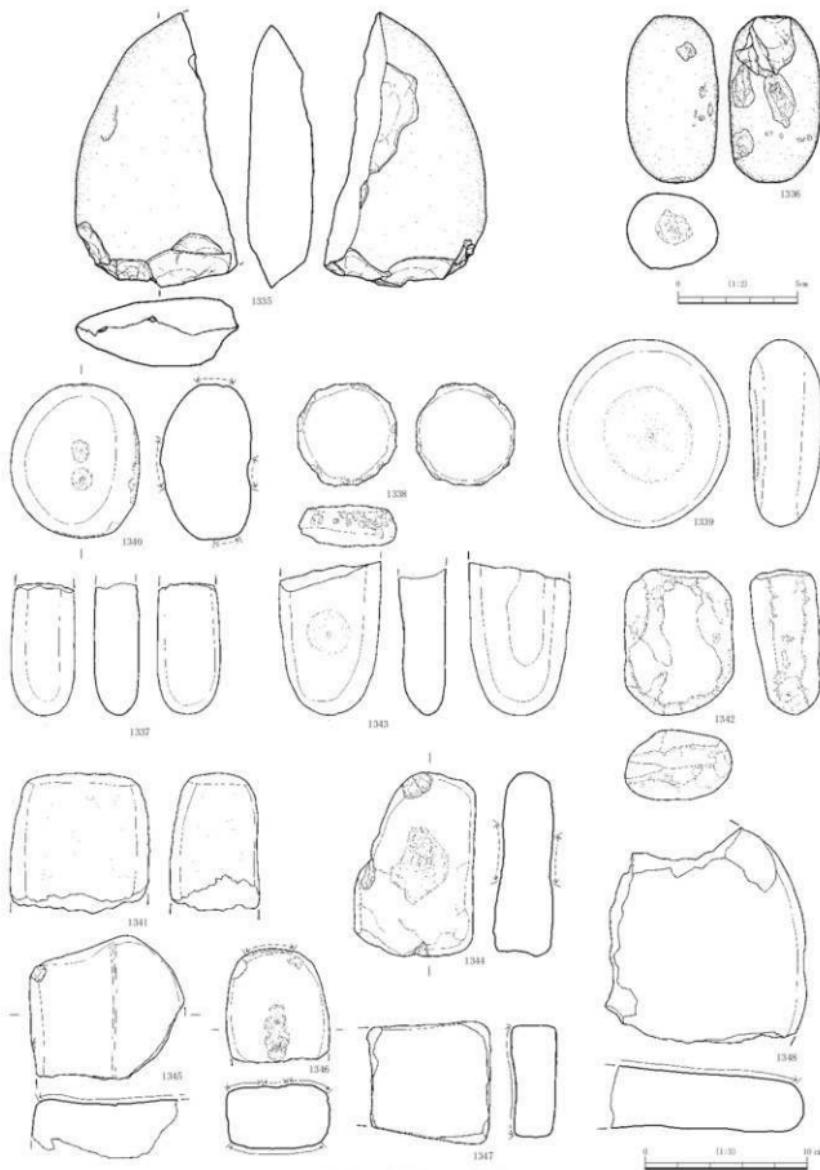
第110図 縄文時代の石器(4)



第 111 図 細文時代の石器 (5)



第 112 図 縄文時代の石器 (6)



第113図 縄文時代の石器(7)

3 弥生時代・古墳時代の遺物

弥生時代・古墳時代の土器は、ほとんどの資料が縄文時代前期～古墳時代の遺物包含層であるIII層から出土している。当該期の点上げを行った遺物3,159点のうち、約86%にあたる2,716点がIII層からの出土である。

第114図は、III層の当該期の遺物出土状況を示したものである。器種による偏りは認められず、D-16区、B～D-7～9区、F・G-9-10区の3箇所を中心に出土する。特にD-16区では、1066が5m×5m程度の範囲に集中し出土している。

一方で、本調査区の層堆积状況等を反映し、II層～IV層間にまたがる接合例もみられた。そのため、出土地点は、原位置から大きく動いている可能性は低いが、必ずしもプライマリーな状況を示すものではないと判断される。そこで本報告書では器種ごとに分類を行い、III層出土以外の資料についても、報告することとする。

本調査区からの当該期の出土資料は、古墳時代の中津野式土器から東原式土器に該当するものが中心である。残存状況は悪く、大半の資料が破片の状況で出土した。接合を行ったが、資料のうち口縁部から底部まで観察できる資料はわずかであった。

なお、当該期の土器の分類及び編年については、中村直子氏の御指導を頂いた。

(1) 瓢 (第114図～第126図・第4表)

瓢は87点を図化した。瓢の口縁部及び口縁部直下の胴部については、器形及び調整技法をもとに1～4類に分類し、それらに当てはまらないものを5類とした。全て破片資料で、全体の形状のわかる資料がないため、共通して比較できる属性が少ないが、特に口縁部の形態に注目した。

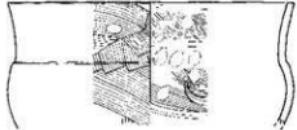
なお、口径と器高の比率等の比較ができないため、本来、鉢に含まれる資料も瓢と認識している可能性がある。胴部、底部及び脚部については、型式の判明する資料については、本文で述べることとする。

瓢1類 (第115図) 瓢1類は、胴部から口縁部への屈曲が強く、口縁部が大きく外傾するものである。内面の口縁部と胴部の境界に明瞭な稜線が形成され、口縁部の先端は丸くなる。弥生時代後半に該当する。

調整は、頸部から口縁部にかけて、ハケ目板を押し付けながら縦方向に引き上げる動作が確認できる。しかし、器面がゲル状の時に施された丁寧な横ナデにより、縦方向のハケ目は、器面にはほとんど残らないという特徴がみられる。また、土器表面の色調が黄褐色を呈し、他の類型と比較して胎土の白味が強く、赤色鉱物や角閃石を含む。特に角閃石が多い。

1057・1059は、口縁部がL字状を呈し、内面の口縁

第4表 弥生時代・古墳時代の瓢の分類

| |
|--|
| 瓢1類       |
| 瓢2類   |
| 瓢3類   |
| 瓢4類   |

胴部から口縁部への屈曲が強く、口縁部が大きく外傾するもの。内面の口縁部と胴部の境界に明瞭な稜線を持ち、口縁部の先端は丸くなる。

口縁部が「く」の字状に外反し、内面の口縁部と胴部の屈曲部には棱が形成されるが、瓢1類よりは弱いもの。瓢1類や瓢4類との中间形態も多い。

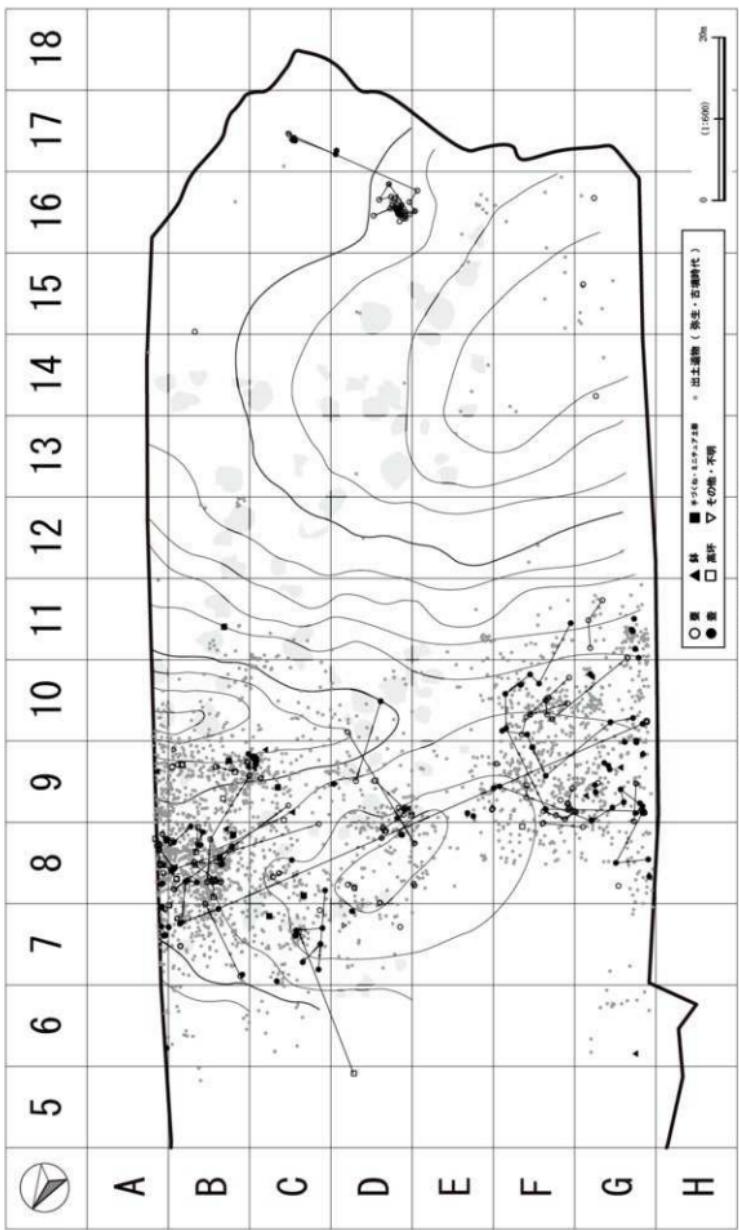
形態は瓢2類に似るが、内面の胴部から口縁部への屈曲部に棱が入らないもの。

口縁部が長く伸びて緩やかに外反し、外側の胴部と口縁部の境界に「カキアゲ」のためのヘラによる打ち込み痕が列状に明瞭に残されるもの。

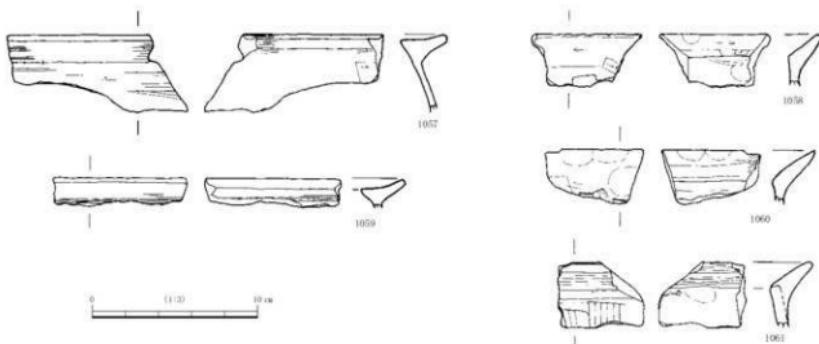
部と胴部の境界が突出する。1057は、外面に煤が付着する。

1058・1060・1061は、口縁部は外傾し、先端はやや丸みを帯び、先細る。1060は、外面に煤が付着する。

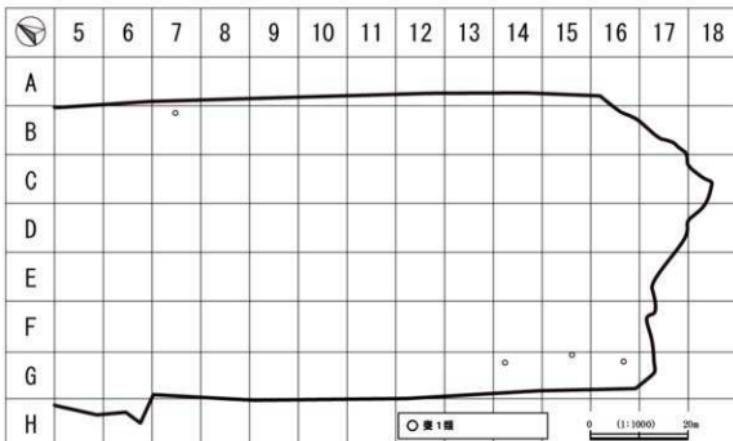
1061は製作工程を観察できる資料で、直立する胴部に接合されるかたちで口縁部は作られている。いわゆる松木箇式土器に該当する。



第114図 弥生時代・古墳時代の土器出土状況図



第115図 弥生時代・古墳時代の土器(1)



第116図 壺1類分布図

壺2類(第117図・第118図) 口縁部が「く」の字状に外反し、内面の口縁部と胴部の屈曲部に稜が形成されるが、壺1類よりは弱い。口縁部は、短いものが大半を占めるが、一部に長いものもみられる。口縁部の先端は方形を呈するものが多い。壺2類は中津野式土器の範疇に含まれるが、先行する壺1類や後続の壺4類との過渡的様相を示す資料が多いという特徴がみられる。

内面の調整は稜を境界として、口縁部と胴部のそれぞれの部位で完結する。換言すると、胴部と口縁部とを区別して調整を行った結果、内面に稜が形成されたように観察される。調整にはハケ目と工具ナデがみられる。使用する工具に違いはあるが、調整の方向は共通しており、同じ製作工程が伺える。すなわち、調整の方向は、胴部

外面では上から下、あるいは下から上へ縱方向に、内面では斜めや横方向に工具を動かしている。

1062～1066は、口縁部の外傾がきつく、内面屈曲部の稜が明瞭で、壺1類との過渡的な様相が観察される。口縁部の先端は方形となる。1062・1064は、外面の頸部から口縁部にかけてハケ目板を引き上げたカキアゲ状の痕跡が明瞭に残る。1063・1065は、口縁部が短く、直線的である。1065は、外面のハケ目調整が強く行われている。

1066は、D-10区を中心に、およそ5m×5mの範囲にまとまって出土した。脚部を除く全体のプロポーションが分かる資料である。内面の稜がやや弱いので壺2類としたが、口唇部が丸くなることや、胎土・色調の

特徴は甕 1 類と類似する。脚部は胴部との接合箇所で剥がされている。外面の口縁部から下へ 5 cm 程度の範囲内に煤の付着が認められる。

1067 ~ 1071 は、中津野式土器の甕である。1062 や 1064 と比較して口縁部の外傾が弱く、内面屈曲部の稜線もより弱くなる。1067 の煤は、外面に顎著に付くが、内面には認められない。1063 は、外面の頭部より下位に煤が多く付着する。

1072 ~ 1076 は、口縁部の外傾がより緩やかになり、内面の胴部と口縁部の境界の棱が弱くなる。甕 4 類との過渡的な様子が観察される資料である。

1072 は小型の甕で、残存状況が良く、全体の形状のわかる資料である。「く」の字形に外傾する口縁部を持ち、胴部はほとんど膨らまず、脚部は直立に近い。外面の頭部にヘラの打ち込み痕が列状に残される。脚部の調整は難で、下端には成形時の指頭痕がみられ、外面にはケズリの痕跡が明瞭に残る。口縁部の調整方法等は、後続する東原式土器に近い。

1073 は、外面に局部的に煤が付着している。特に口縁部外面には煤が付していない箇所が筋状にみとめられ、吹きこぼれの痕跡と推測される（中村氏の御教授による）。1076 は、口縁部が長く、外傾が緩やかである。外面は摩滅しているが、頭部には段が観察される。内面の屈曲部に明瞭な稜が形成されるので甕 2 類としたが、甕 4 類的な特色も濃い。

甕 3 類（第 119 図） 甕 2 類との共通点が多いが、内面の胴部から口縁部への屈曲部に棱が入らない点で区別した。それは、内面の口縁部から胴部には一連の調整が行われるために、特に指頭痕が顎著に観察され、1078 は意図的に棱をナデ消されている可能性もある。甕 2 類と比較して口縁部の外傾が緩やかである。

1078 は、口縁部が短く、胴部から口縁部は緩やかに外反する。胴部の外面には、上から下方向へのケズリの痕跡が残るが、その上からナデが施されている。

1079 には内外面にハケ目の痕跡が明瞭に残る。1077 と 1079 の口縁部先端は方形となり、口唇部はナデによりやや凹んでいる。

甕 4 類（第 121 図・第 122 図） 甕 4 類は、口縁部が長く伸びて緩やかに外反するものである。いわゆる東原式土器の範疇に入るものである。残存する範囲では、比較的器壁が薄く、口縁部の先端は丁寧に成形されていて、角張る。甕 4 類の最大の特徴は、外面の胴部と口縁部の境界にカキアゲのためのヘラによる打ち込み痕が列状に残され、ハケ目板を押し付けながら縱方向に引き上げる動作であるカキアゲの痕跡が観察されることである。また、あらかじめ列状に段差を付け、その後にハケ目を文

様のように入れたものもある。

他の部位では、溝の深いハケ目板を用いて、頭部から口縁部にかけて下から上への調整を行ったハケ目を明瞭に残す。ハケ目は、器面調整と文様的側面を兼ねている可能性もある。また、ハケ目の後、口唇部から外面の口縁部上端に横方向のナデが施される資料が多い。

1081 は、ヘラによる打ち込み痕跡が明瞭に残る。内外面にはハケ目の痕がよく残るが、内面の胴部と口縁部の境界には指頭によるナデが施され、ハケ目痕や棱が消されている。1083 の外面口縁部付近は、ハケ目の痕が丁寧な横ナデにより消されている。

1082・1084・1086 は口縁部が短く、口縁部の先端は方形に成形されている。1084 は、内面の口縁部と胴部の境界に稜が観察されるが、外面にヘラの打ち込み痕が見られることから甕 4 類とした。1086 の調整は、溝が浅く、目の細かいハケ目板が用いられており工具ナデに近い。また、外面に煤が付着している。

1085 は、外面の口縁部と胴部の境界に突帯を持つもので、突帯にハケ目板を押し当てて刻み目としている。口縁部外面は、丁寧なナデが施されており、ハケ目・カキアゲの痕跡は残らない。また、外面の口縁部付近には、横位のハケ目が文様の様に入れられている。内面はクレーター状に削げている。

1089 は小型で、器壁も薄い。口縁部は先端に向かって先細る。胎土の粒子が細かく、全体的に丁寧な調整が施されている。口縁部内面には横方向のハケ目が良く残り、胴部にはナデが施される。

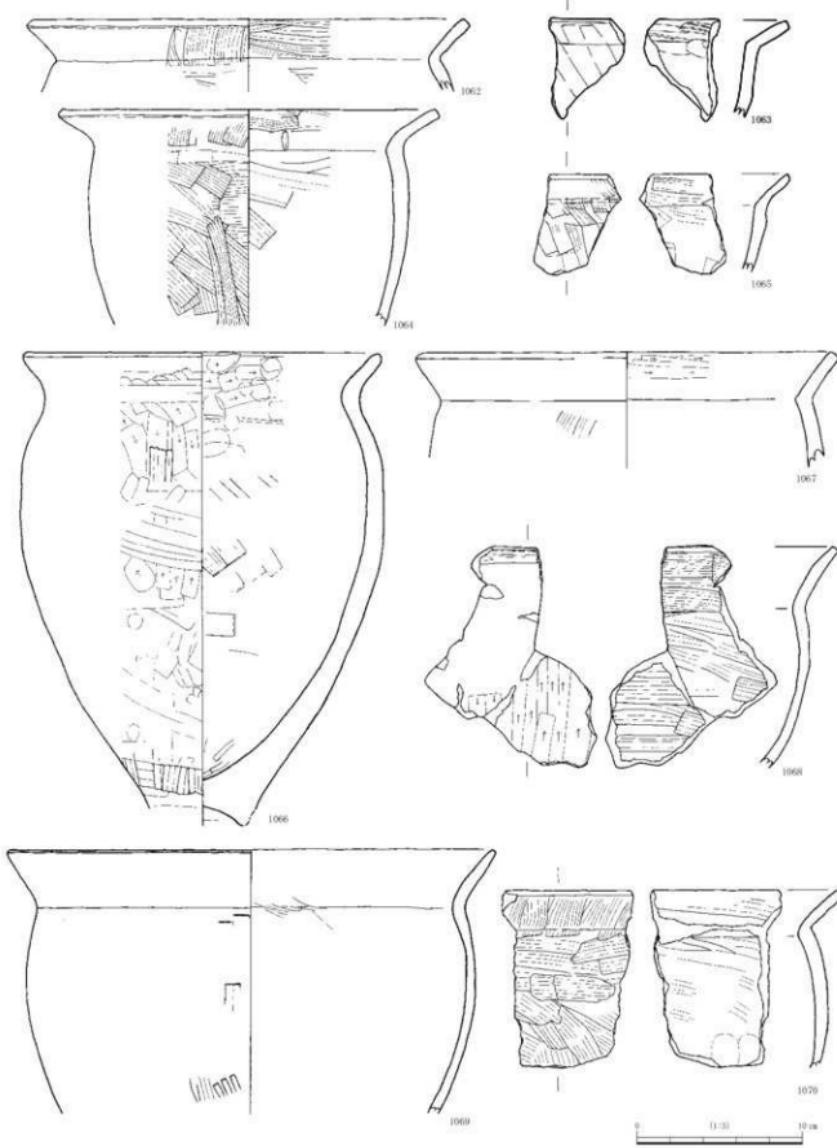
1088 ~ 1095 は、外面の口縁部と胴部の境界にヘラ打ち込み痕が確認されることから、甕 4 類の胴部と判断した。1088 は、あらかじめヘラの打ち込みにより段差が付けられ、その後、ハケ目調整が施される。また、外面には、光沢をもつほど丁寧なナデが施されている。

1091 は、器面全体にナデが施されておりハケ目の痕跡を確認できないが、明瞭なヘラの打ち込み痕を持つ。

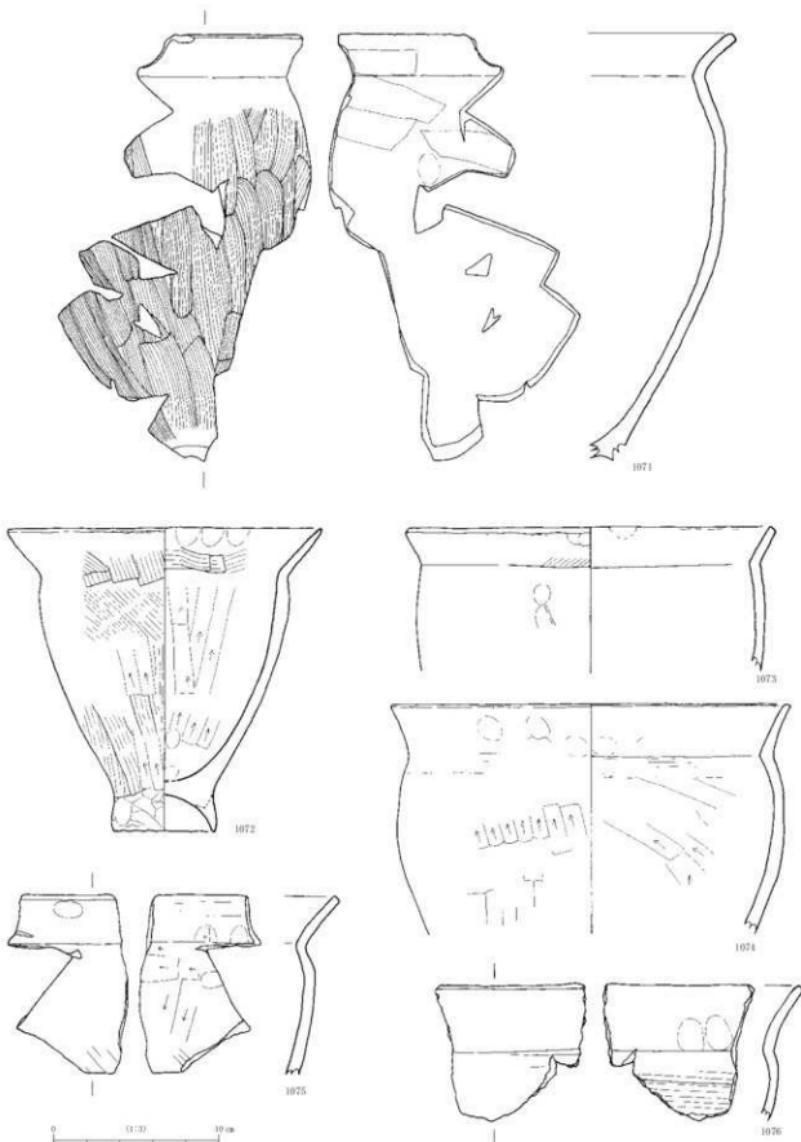
1093 と 1095 もあらかじめヘラにより段差が付けられ、その後ハケ目が施されるものである。1092 は、外面に薄く赤色顔料が塗られていた痕跡を残す。

1096 は、口縁部が短く、外面の頭部に突帯を持つもので、突帯にハケ目板を押し当てて刻み目としている。口縁部は短いが、口縁部外面にカキアゲの痕跡が観察される。1096 のように、東原式土器段階のものと想定されるものであっても、口縁部が短い、という点が本遺跡出土資料の特徴である（中村氏の御教授による）。

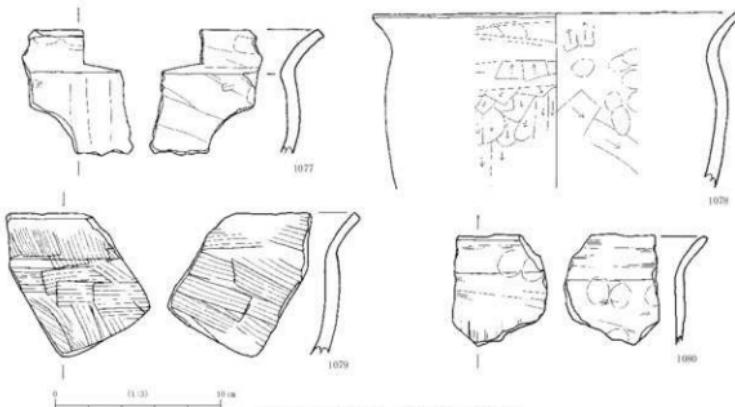
1097 ~ 1102 は、口縁部である。いずれの資料も調整は、外面には下から上方方向のハケ目が、内面には横方向のハケ目が施される。口縁部の形態と外反の程度から、甕 4 類と判断した。



第117図 弥生時代・古墳時代の土器(2)



第118図 弥生時代・古墳時代の土器(3)



第119図 弥生時代・古墳時代の土器(4)

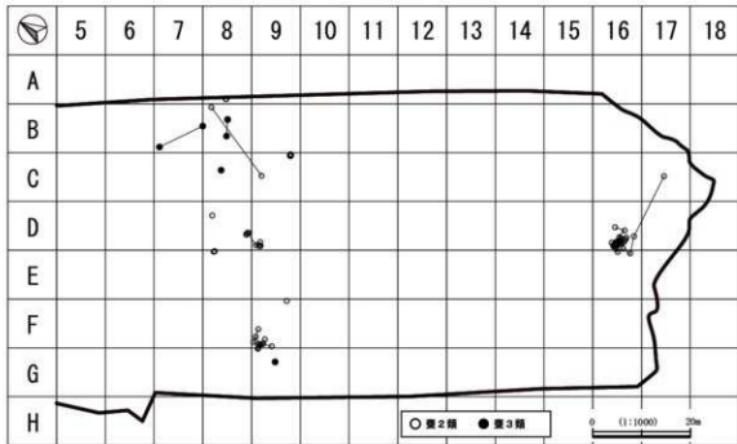


表5類(第123図) 壺1~4類に該当しない口縁部を
壺5類としてまとめた。

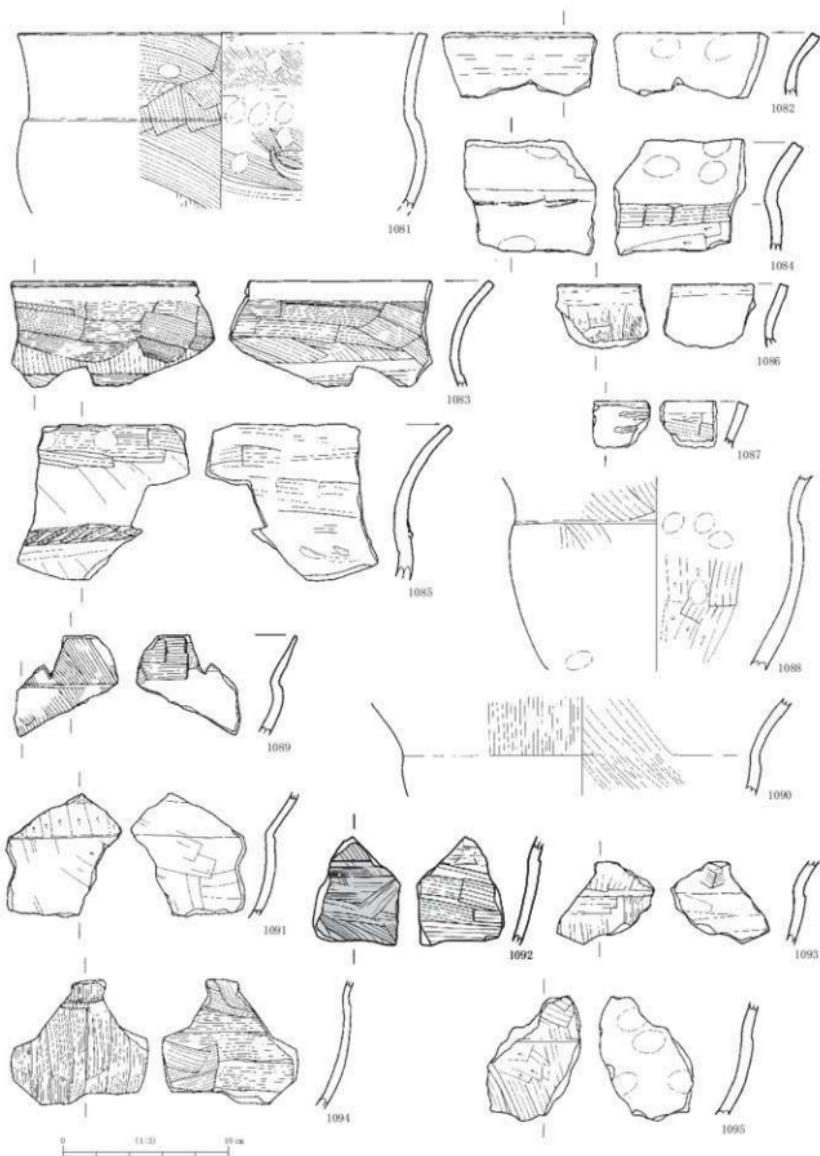
1103・1104は、口縁部が特に短く、外反するものである。1103の口縁部は水平ではなく、やや歪む。目の細かいハケ目調整が施される。また、外面には煤が付着している。1104は、口縁部内面に横位のハケ目が残るが、他の部位には丁寧なナデが施される。

1105は器形、調整とともに他に類例が見られない。口縁部外面の先端付近に粘土紐が貼り付けられ、口縁部縁辺の器壁は厚くなる。胴部にはタタキが施され、外面に明瞭にタタキ痕跡が残る。内面のタタキはナデ消されて

いる。また、煤は内外面いずれにも付着しているが、特に内面では、口縁部の2cmほどの範囲に煤が付着している。それより下位には煤の付着が認められないことから、内蓋の存在が推測される。

1106は、壺としたが他の器種の可能性もある。ハケ目工具により口縁部に刻み目が入れられた波状の口縁を呈する。ハケ目が残るため弥生時代以降のものと判断される。在地のものではなく、九州島外からの輸入品の可能性もある(中村氏の御教授による)。

1107は、壺としたが、壺や高杯の可能性もある。詳細不明である。



第121図 弥生時代・古墳時代の土器(5)

胴部・底部（第 125 図・第 126 図）

1108 は胴部で、最大張り出し部のやや下部に二条の突帯が貼り付けられている。胎土が甕 1 類と共通する。

1109 は扁平な突帯を持つ胴部である。突帯の表面にはハケ目板で押し引いた文様が付く。外面には煤が付着している。搬入品の可能性がある。

1110 は、胴部から底部の一部が残存している。脚部との接着部付近は細くなる。また、外面にはケズリの痕跡が残る。1112 は、ケズリあるいはケズリに近いナデにより、表面が搔き取られている。胎土に赤色鉱物を多く含む。

1110・1112 は中津野式段階のものと想定されるが、それよりも古手の可能性もある。

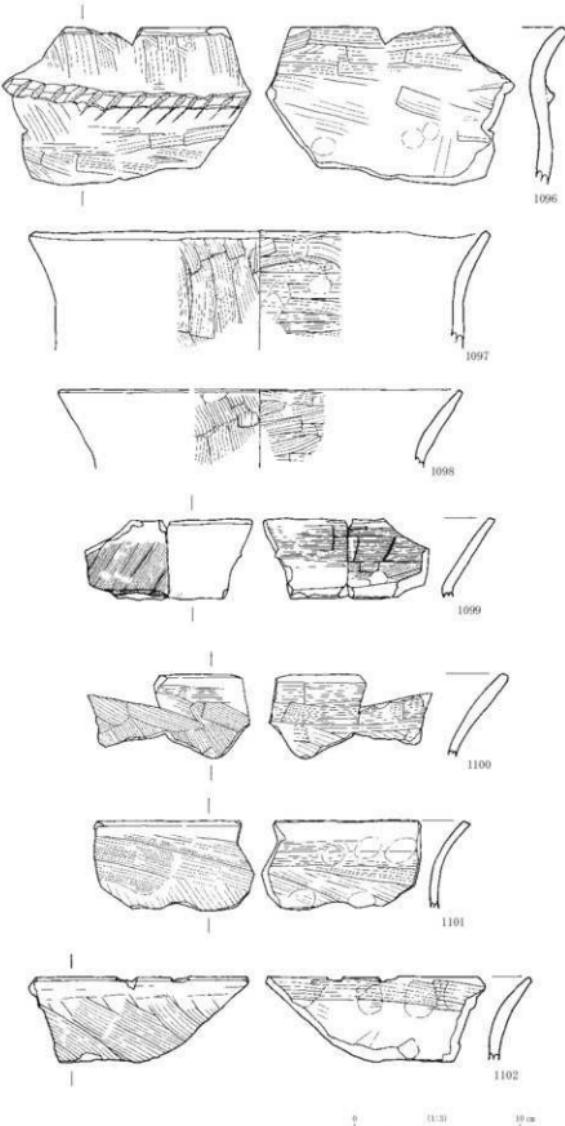
1111 は、胴部から底部にかけて残存している。外面には上下方向の、内面には斜位のハケ目が明瞭に残る。外面に煤が付着しているが、下半には認められない。東原式土器の甕の胴部と想定される。

1113～1120 は底部の破片で、一部脚部が残る。1113 の内面は、粘土の継ぎ足し痕に沿って表面が剥落している。1114 は、底部が厚く、内面に平坦面が形成される。

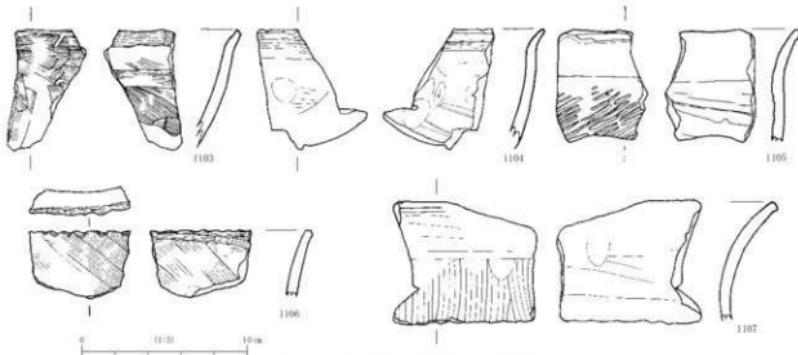
1115 は外面にハケ目あるいは工具ナデの痕跡を残す。特に脚部との接着部に強い調整が入れられている。

1117・1120 は、脚部との付け根が細くなり、底部内面に平坦な面が形成されない。1117 の外面にはハケ目が明瞭に残る。1120 の外面は、ケズリの痕跡はナデにより消されている。1119 の胎土は甕 1 類と類似する。底部内面に煤が付着する。1120 は脚部との境界が細く、底部は厚い。

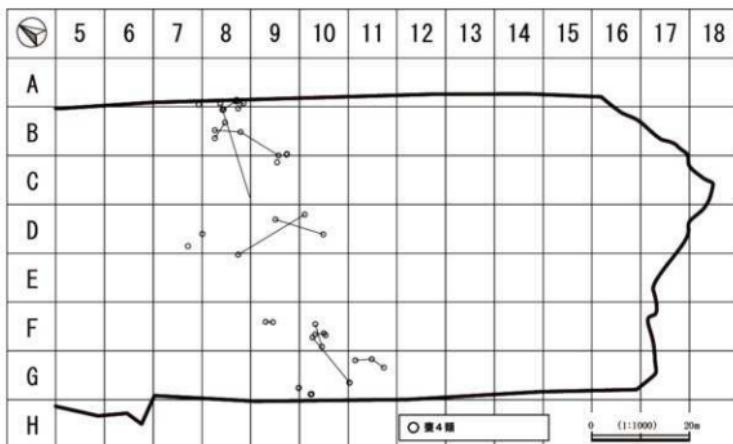
1121 は小型の甕の底部である。胎土に赤色鉱物を多く含む。1118 は、脚部が開かないタイプの底部



第 122 図 弥生時代・古墳時代の土器 (6)



第123図 弥生時代・古墳時代の土器(7)



第124図 壺4類分布図

と想定される。

1122は、底部と脚部の接着状況が分かる資料である。強く指痕を付けて凸凹を作り、接着しやすくしたものと推測される。

脚部(第126図) 1123～1143は底部から脚部の破片資料である。1123は、脚部が短く裾に向かって外反するもので、脚部の先端は丸くなる。胎土に赤色鉱物を含む。弥生時代後期の甕の脚部と考えられる(中村氏の御教授による)。

1129は脚部の低いタイプである。脚部はわずかに外反し、先端は丸くなる。1125～1132の脚部は1129と

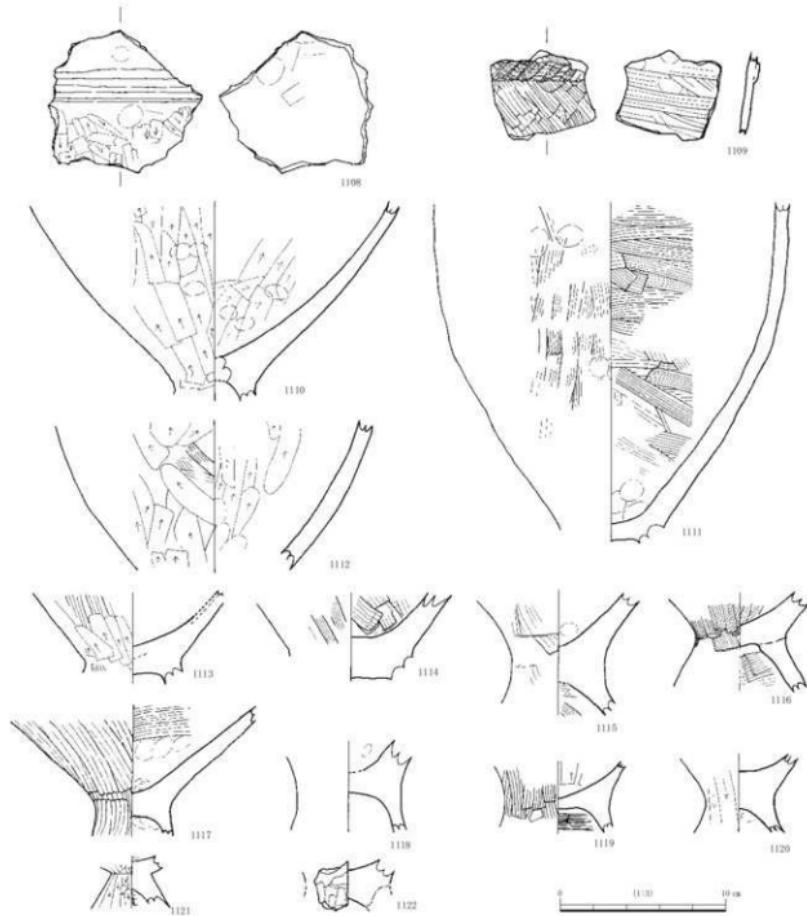
類似した形態だが、脚部は高くなる。1127は1125・1129と比較して、底部が厚い。1132の色調は白色を呈する。

1124は、脚部の低いものだが、1125や1129と比較して器壁が薄い。内外面にハケ目の痕跡を明瞭に残し、特に外面には強く調整が施されており、ハケ目とハケ目の境界に稜が形成される。

1126は、脚部の開きが大きく、先端がわずかに内湾気味である。胎土が他には見られない暗褐色を呈する。

1130も1126と類似した形態だが、色調が白色を呈する点で異なる。

1133～1139は脚部の低いものである。1133は、脚部



第125図 弥生時代・古墳時代の土器(8)

が大きく開き、直線的で、先端は先細る。外面に縦方向の目の細かいハケ目(ハケ目)の痕跡を良く残している。

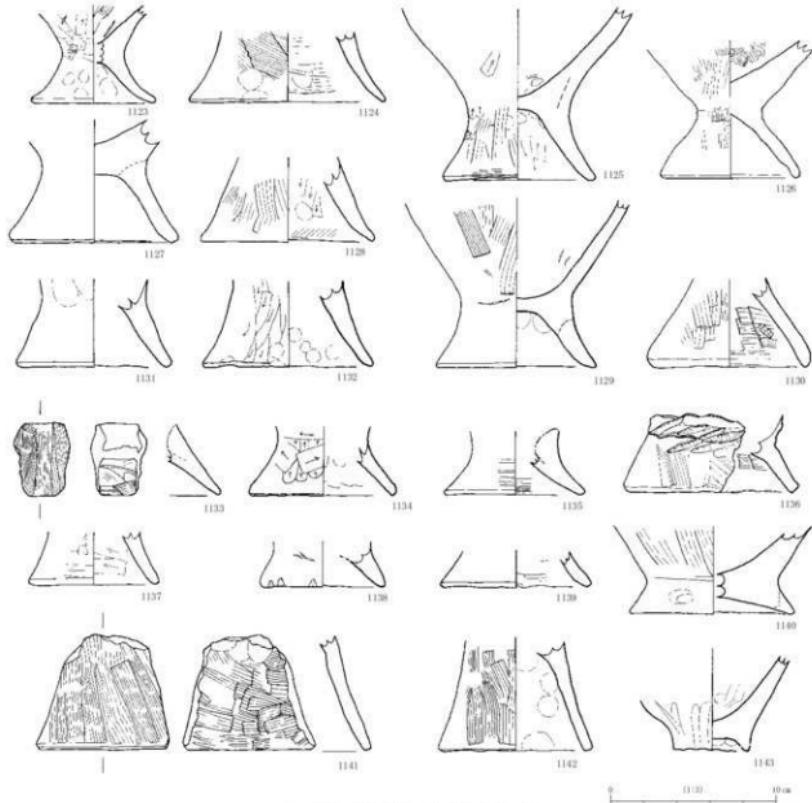
1134・1135は、脚部が大きく開き、外反する。1134の胎土は甕1類と共通である。

1136は、脚部が低く、先端は角張る。全体的に調整が粗い。胴部との境界に突帯を持ち、突帯に刻み目が施される。突帯にはハケ目板で文様が付けられているが、文様は一度の型押しで付けられており、ハケ目板の幅は確認できるだけで3.8cmはあることが分かる。古墳時代

後半に比定される(中村氏の御教授による)。

1137の脚部は低いものだが、1134・1135ほど開かず、先端は丸みを帯びる。1138の脚部の先端は僅かに膨らみ、全体的に厚ぼったい印象である。また、脚部の先端に棒状の工具痕を観察できる。1137・1138は胎土に赤色鉱物を含む。1139は、台付き鉢の脚部の可能性もある。

1140は、底部がわずかに上げ底状になる。胎土に赤色鉱物を多く含み、外面は赤く発色している。尖底状の底部に、脚部分の粘土を貼り付け成形し、最終的に脚部



第126図 弥生時代・古墳時代の土器(9)

全体に丁寧なナデが施されている。

1141と1142は、脚部が高いもので、先端は角張る。両者とも外面にはハケ目が施される。1141は内面にもハケ目痕が明瞭に残るが、1142の内面にはナデが施されている。

1143は脚部が極端に短く、調整はミガキに近い工具ナデである。にぶい黄橙色の胎土に赤色鉱物を多く含み、調整、胎土の特徴が他の底部と異なる。

(2) 壺(第127図～第129図)

壺は、残存状況が悪く、かつ、資料数が少ないとから、分類には至らなかった。40点を図化した。

1144～1150は弥生時代の壺である。1144と1147は肥後系の長頭壺の形態に近い。胎土が在地のものと異なる

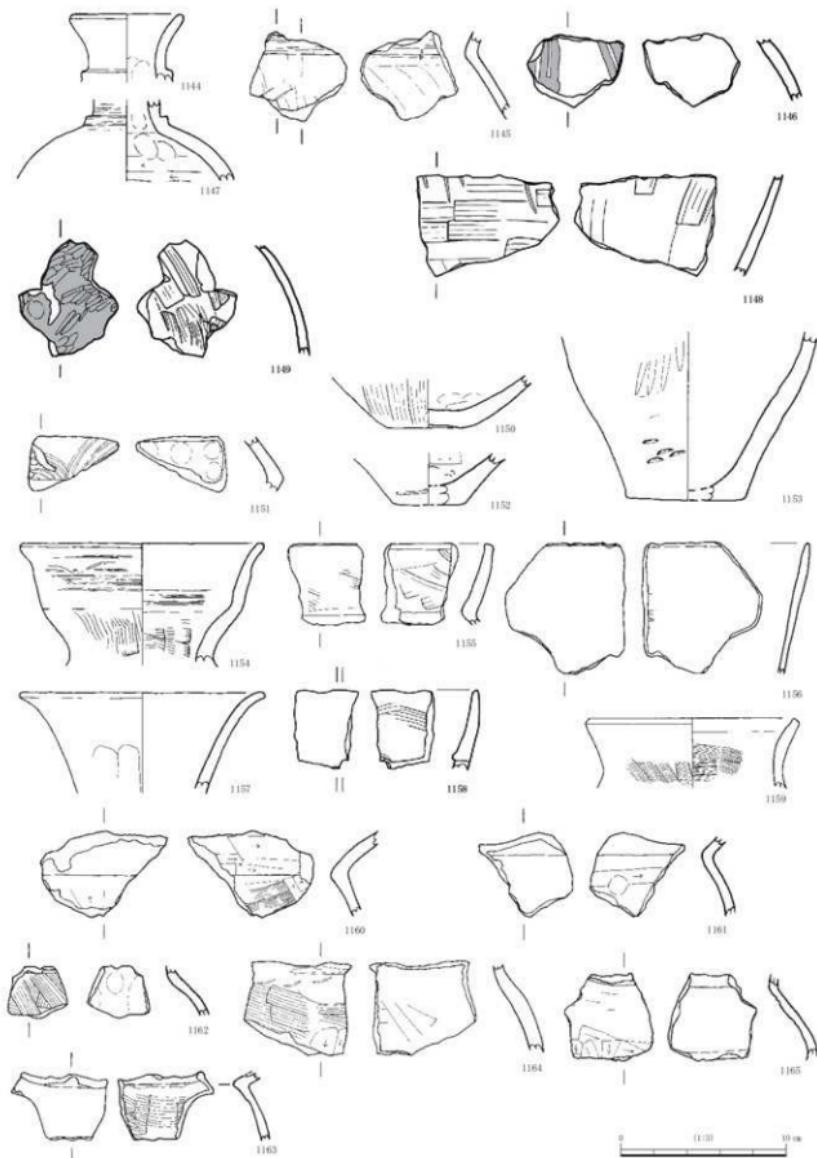
り黄橙色を呈する。1147は頸部と胴部の境界に突帯をもつものである。弥生時代後期に属する。1149は、外來系の丹塗りの壺である。外面にミガキが施され、さらに赤色顔料が塗布されている。

1145～1150は黒髮式土器に所属する。1145は、胴部外面に二条の線刻を持つ。1146・1148は彩文を持つものである。1146は無頭壺である。1150は、底部がわずかに上げ底状になることから、黒髮式土器の底部と判断した。

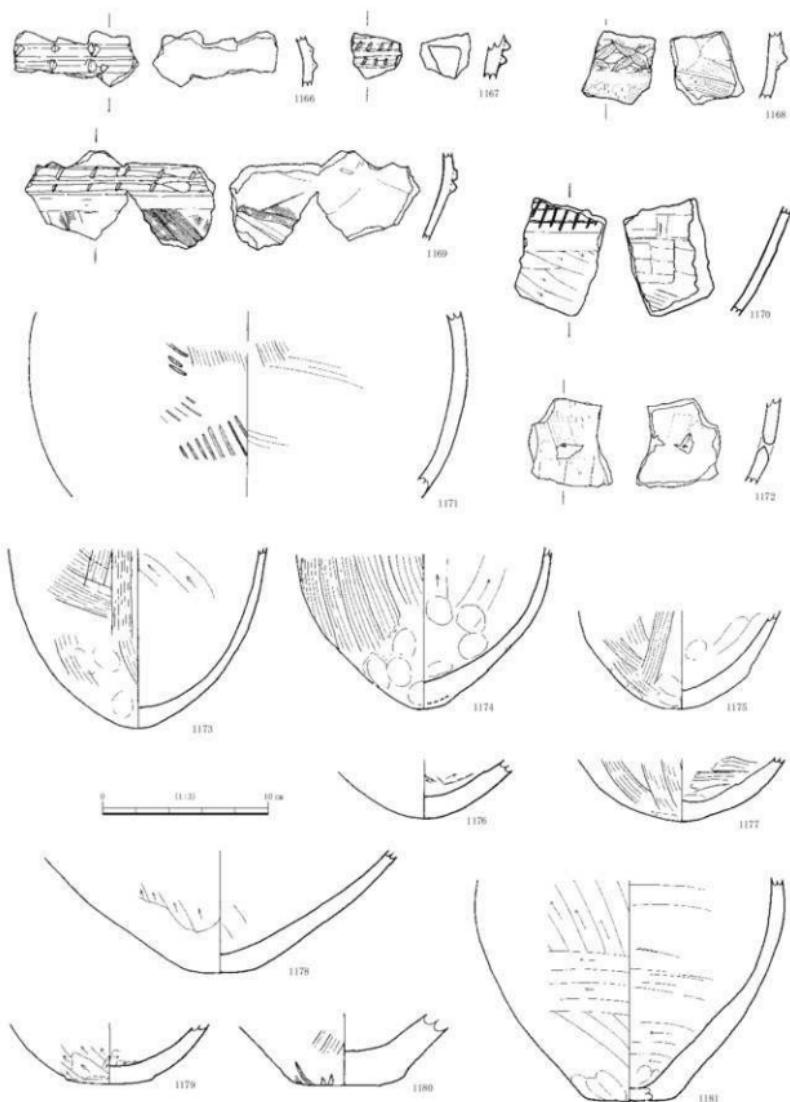
1151は免田式土器である。重弧文は櫛描きでなく、ヘラで1本ずつ描かれている。

1152と1153は平底の底部である。胎土は甕1類の色調と共に通し、にぶい黄橙色を呈し赤色鉱物を含む。

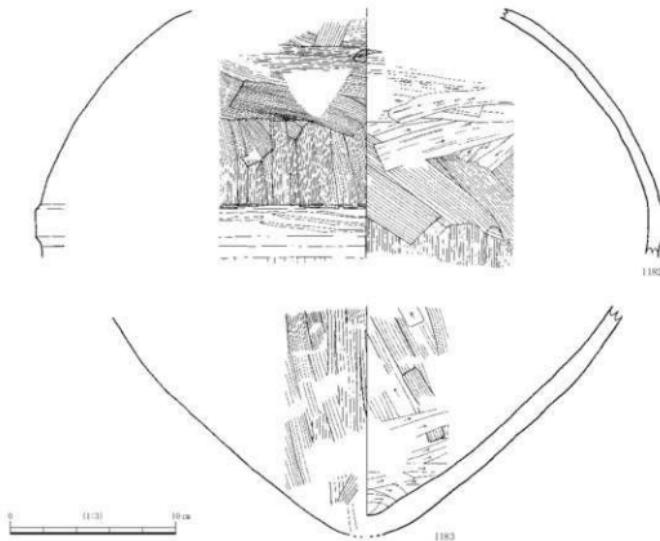
1157～1183は古墳時代の壺である。1154は二重口縁



第127図 弥生時代・古墳時代の土器(10)



第128図 弥生時代・古墳時代の土器(11)



第129図 弥生時代・古墳時代の土器(12)

壺の口縁部である。口縁部の形状が退化していることから、中津野式～東原式の時期のものと想定される(中村氏の御教授による)。胎土には、水簸したような粒子の細かな土を用いている。口縁上部には横ナデが施され、その下はハケ目の痕跡が良く残る。

1156は長頸壺の口縁部である。器壁が薄く、胎土が非常にきめ細かい。1157は、先端付近が緩やかに外反し、口縁部の先端は丸みを持つ。1158には穿孔がみられる。無頸壺の口縁部と判断したが、丸みを帯びる高脚部、若しくは、内溝する跡の可能性もある。1159は壺の口縁部としているが、甕の可能性もある。

1160～1165は、頸部付近の破片資料である。1160は、本来は図示された傾きよりも口縁部が立つ。器壁が厚い。

1161は、弥生時代後期の無頸壺の可能性もある。

1163は、器壁が薄い。粘土帶の接合痕が明瞭に残る。

1164は東原式期の壺である。1165は、内面が剥落している。

1166～1172は胴部の破片である。1166・1167・1169は二条の突帯を持つ。いずれの資料も突帯に刻み目が施されるが、二条の突帯に同時に工具を押し当てることによって刻み目は付けられている。1167の外側の色調は白色を呈する。

1168は、刻み目突帯を持つ壺の胴部片である。刻み目がシャープで細かいことから、古墳時代前半期の東原

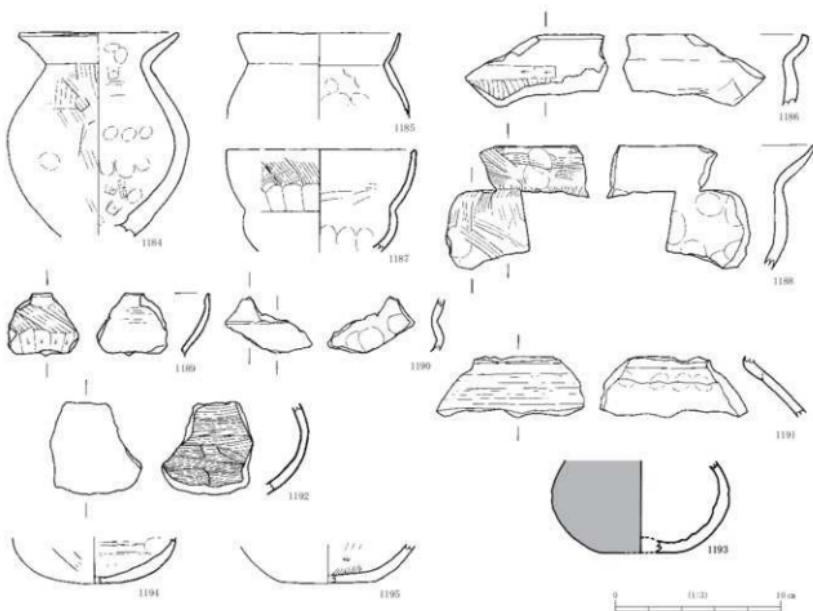
式期に比定される(中村氏の御教授による)。刻み目はハケ目板で十字状に付けられている。

1170は、突帯を貼り付けていないが、水平方向と斜位の刻み目を入れることにより、刻み目突帯様にみなしれている。胎土が精製である。古墳時代前半期に比定される(中村氏の御教授による)。1171は、胴部が球形を呈することから壺と判断した。外面にタタキの痕跡がわずかに残る。1172は、内側から穿孔しようとして破損している。

1173～1181は底部である。1180・1181は平底の底部である。1180の器壁は厚い。1181の胎土は甕1類に共通する。1173～1178は丸底の底部である。1179は一見平底のような断面の形状をしているが、ケズリが深く入った結果段差が形成されたものであり、丸底に含めた。

1177は二次焼成を受けている。

1182・1183は大型の壺である。胎土、焼成及び出土位置等から同一個体のものと判断される。1182は、胴部の復元径が38cm程度である。胴部の最大張り出し部に断面台形の突帯を持つ。1183は底部で、尖底に近い丸底になると想定される。外側の調整は、頭部付近には横方向のハケ目が、胴部から底部には縱方向のハケ目が施されている。また、突帯や底部周辺にはナデが施される。内側の調整は、ハケ目と工具ナデが施される。用いられたハケ目板は最も幅の広いもので2.6cmある。



第130図 弥生時代・古墳時代の土器(13)

(3) 増 (第130図)

1184～1195は壇・小型丸底壺である。12点図化した。

1184は、想定される器高が14cm程度の小型丸底壺である。器壁が7mm程度と薄手である。外面は、ケズリの後にナデあるいはハケ目の調整が施される。内面にはナデが施される。

1185は薄手で、胎土が細かい。外面には丁寧なナデが施される。1185～1188は小型で、外傾する口縁部と膨らむ胴部を持つことから壇と判断した。1186は基本的に外反するが、口縁部の先端部のみ内湾する。口縁部の傾きは図示したものよりも外側に開く可能性がある。外面には煤が付着している。1188は、口縁部と胴部の屈曲が強く、口縁部はやや内湾する。外面にはハケ目の痕跡が残る。

1191は大ぶりの壇と想定される。頭部から胴部と判断し図化したが、天地が逆で口縁部の可能性もある。

1192は、内面のハケ目痕が顕著である。

1193～1195は底部である。1193は丹塗りの壇である。

1195は、底部が平底状になる。

(4) 鉢 (第131図)

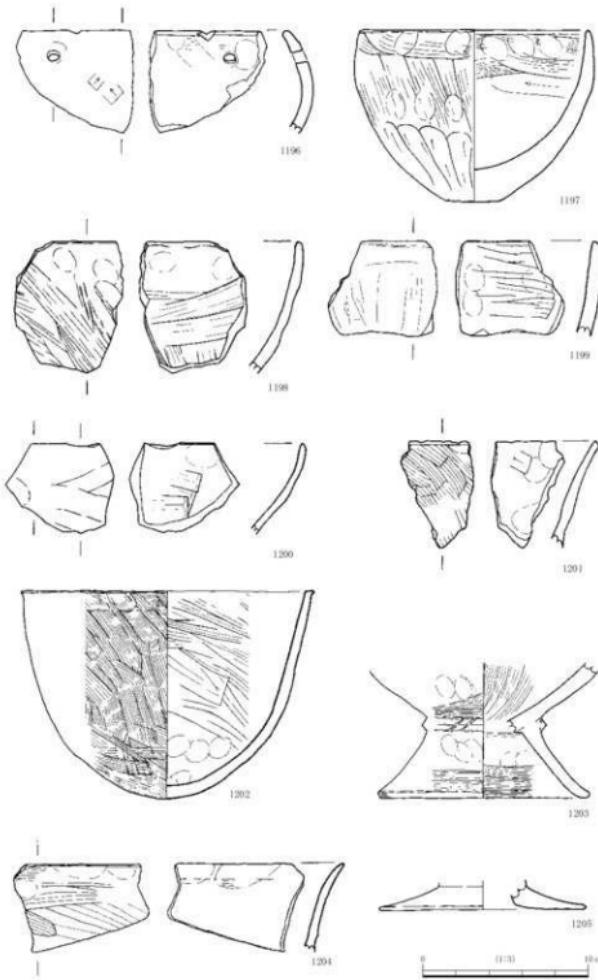
鉢は10点を図化した。1196は鉢としたが、無頸壺の

可能性もある。口縁部から下2cm程度の位置に穿孔がある。破損しているため確実ではないが、図中の凹みは穿孔によるもの可能性が高い。また、図化していないが、胎土や形態から同一個体と判断される別の破片が存在し、それにも穿孔がみられる。したがって、穿孔は少なくとも2個以上あったと判断される。

1197は、口縁部がわずかに内湾し、先端は先細る。1202と比較して底部が厚く、厚さ2cmを超える。外面の下半には、強くケズリが施され、その後にナデが施されている。また、底部は平底状となるが、それもケズリにより成形されている。内面の口縁部から胴部上半にはハケ目の痕跡が認められるが、下半から底部はクレーター状に剥落している。

1198～1200は、口縁部が内湾する。1199は、器壁が厚く、口縁部先端は方形を呈する。胎土は浅黄橙色で、赤色鉱物を多く含む。外面の口縁部には横ナデが施され、胴部にはケズリの後にナデが施されている。内面には横位のケズリあるいは強いナデが施されている。

1198の口縁部先端は丸みを帯びる。胴部外面にはケズリ様のハケ目調整が施されており、器面に凹凸がみられる。1200の口縁部先端は先細る。1201は、口縁部は外傾し、口唇部が方形を呈する。外面には斜位のハケ目



第131図 弥生時代・古墳時代の土器 (14)

調整が明瞭に残る。

1202は鉢の完形品である。口縁部は直線的で、口唇部は方形でナデが施されている。底部は丸底となる。外面全体には目の細かいハケ目痕が明瞭に残るが、外面の底部付近ではケズリが施され、その後にハケ目が施されている。内面には、胴部の下半から反時計回り

に目の粗いハケ目が施される。

また、1202は、外面の煤の付き方に特徴がある。胴部外面の中位から口縁部付近の上位にかけて幅4cm、長さ9cmの楕円形が数個並ぶように煤が付着しており、使用時の施設の痕跡を残している。口縁部に明瞭な稜を持つが、底部は丸底で9り、中津野式土器と東原式土器との漸進的な様相を示す。1204は、口縁部がわずかに外反する。口唇部先端が先細り、丁寧なナデの下にわずかにハケ目調整が認められる。

1203・1205は脚付鉢の脚部で、いずれも裾部が広く安定している。1203は胴部と脚部の境界に突帯をもつ。突帯には刻み目があるが、それらは胴部側から押して付けられている。

(5) 高坏 (第132図)

高坏は17点を図化した。全て破片資料であり、全體の形狀のわかるものは無い。部位ごとに報告する。

坏部 (第5表) 坏部は器形をもとに2類に分類し、1類については口縁部の長さと外反の程度により細分した。また、赤色顔料の塗布された破片資料も併せて報告する。

高坏1a類 1206～1208
は、坏部の中途で屈折する。

口縁部は短く外反する。口唇部にはナデが施され、口縁部の先端の断面は方形となる。1206は、器壁が8mm程度と厚手で、胎土に赤色鉱物を含む。口縁部の内面には明瞭な稜が形成され、その上部には横ナデが施される。外面の口縁部付近には斜面のハケ目痕が残る。

1207・1208は小型の坏部と想定される。1207の器壁

は6mm程度である。内外面の屈曲部に明瞭な稜が形成される。1208の器壁は5mm程度で1207よりも薄くなる。器形は1207に似るが、口縁部外端がわずかに膨らむ。口縁部内外面に煤が付着する。

高坏1 b類 1209～1211は、坏部の中途で屈折し、口縁部が長く、大きく外反するものである。高坏1 a類と比較して大型である。

1209は復元口径37.8cmと大型で、胎土に赤色鉱物を含む。口縁部先端は方形を呈する。屈曲部の内外面に明瞭な稜が形成される。内面と口唇部、口縁部外端付近にはナデが施されるが、外面の一部には斜位のハケ目の痕が観察される。外面の屈曲部より下には丁寧なナデが施されている。1211も胎土に赤色鉱物を含み1209と共に通する。内外面の屈曲部に稜が形成されるが、1209と比較して全体的に雑な作りである。

1210は、口縁部が丸みを帯びる。残存する範囲で、屈曲部の外面には稜が形成されるが、内面にはみられない。内外面に横位を基本とするナデが施されている。

高坏2類 1213は、底部から体部へ立ち上がりが垂直に近く、屈曲部の外面には段が付き一周する。外面全体と底部を除く内面は黄橙色を呈するが、このように発色する胎土が意図的に選択されたと考えられる。口縁部は指頭で仕上げられ、やや丸みを帯びる。外面には横位～斜位のナデが施され、内面には斜位のハケ目あるいはハケ目様のナデが施されている。また、脚部との接合箇所が凸状に膨らみ、脚部内に収められていた痕跡が観察される。

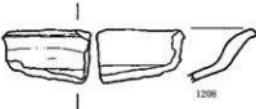
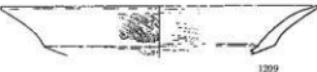
その他 1212～1215は、外面に赤色顔料が塗布されたものである。いずれの資料も外面にはミガキが施される。

脚部 1217・1218は中実の脚部である。1217・1218は、外面に赤色顔料が塗布される。两者ともに胎土がきめ細かく、残存する器面全体に丁寧なナデが施されている。

1216は中空の脚部で、脚部下半に3箇所の穿孔が認められる。坏部の底部外面の丸く突き出た部分が脚部に収まる形で接合している。外面の一部に縱方向のケズリの痕跡が認められるが、基本的には内外面全体にナデが施されている。また、胎土に赤色鉱物が含まれる。

1219・1220は中空で、上部は器壁が厚いが、下に向かって器壁は薄くなる。1219の外面には縦方向のケズリの痕が残る。胎土に赤色鉱物を含む。1220は、脚部の円の中心で縦方向に割れた資料である。割れ方が特殊であり、意図的に割られたものと想定される。器面は黄橙色を呈し、胎土に赤色鉱物を含む。1221は大型で中空の脚部で、外面に赤色顔料が塗布されている。器壁が8mm

第5表 弥生時代・古墳時代の高坏の分類

| | |
|---------------|---|
| 高坏1 a類 |  1208 |
| | 坏部の中途で屈折し口縁部は外反するものが、口縁部の短いもの。 |
| 高坏1 b類 |  1209 |
| | 坏部の中途で屈折し、高坏1 a類よりも口縁部が長く、大きく外反するもの。大型のものが多い。 |
| 高坏2類 |  1213 |
| | 底部から体部への立ち上がりが垂直に近く、屈曲部の外面には段が付き一周するもの。 |

程度と薄手である。胎土に角閃石が多く含まれる。

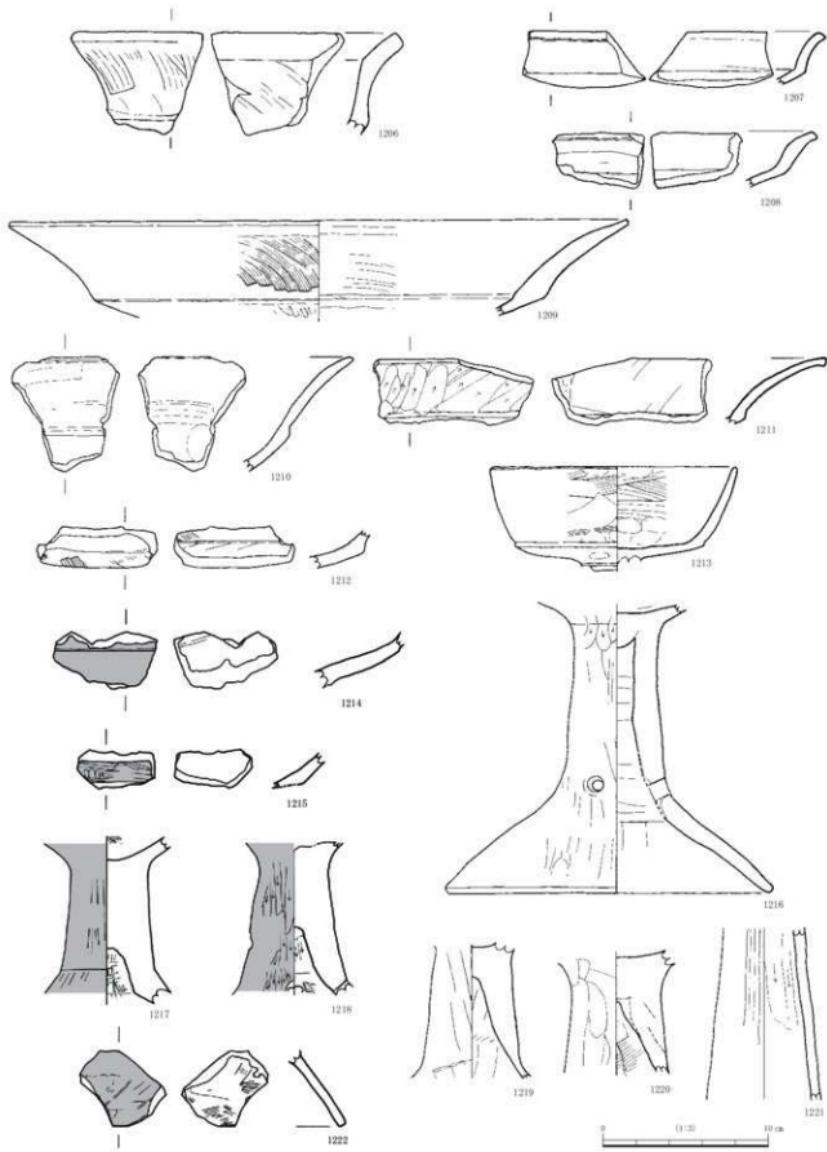
1222は外面に赤色顔料の塗布された底部で、外面にはミガキが施される。

(6) 手捏ね土器（第133図 1223～1226）

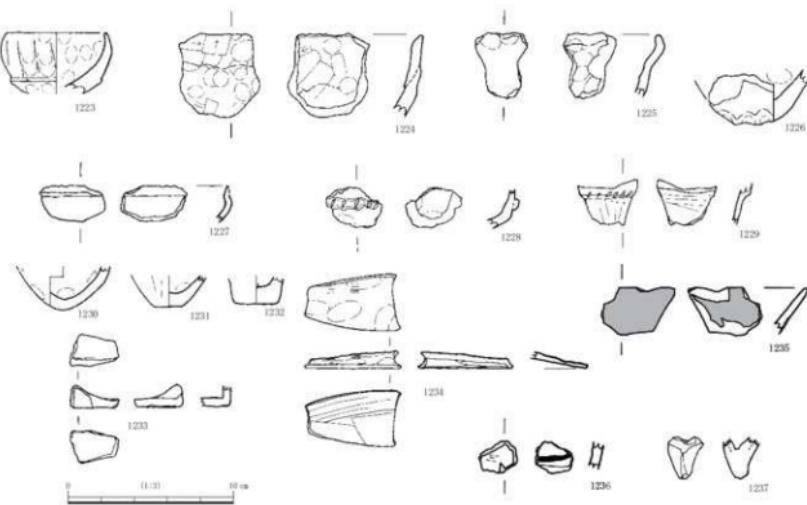
4点を図化した。全て破片資料で、残存率が高いもので3分の1程度である。

1223は、外面につまみ出した突堤がみられる。指で外面を擦った痕が連続した凹線文となり、紙縞文様を構成している。同様の特徴を持つ別個体の破片もある。

1224は製作工程の分かる資料で、粘土の接着状況が観察できる。1225の口縁部は上端付近のみ内溝するが、このような特徴の資料は周辺の成岡遺跡の甕に類例がある。1226は、指頭痕が特に外面の底部に顕著にみとめられる。



第132図 弥生時代・古墳時代の土器 (15)



第133図 弥生時代・古墳時代の土器 (16)

(7) ミニチュア土器（第133図 1227～1232）

6点を図化した。壺形、鉢形及び甕形のものがある。

1227・1230・1231は壺形、1228・1232は鉢形、1229は甕形である。1227の器壁は薄い。1228は刻み目突帯を持つ。1229は口縁部付近で、器壁の肥厚した部分に刻み目が施される。1232の底部は方形に近い梢円形である。

(8) その他（第133図 1233～1237）

詳細のわからぬ資料をまとめた。

1233は、底部付近と判断して図化したが詳細は不明である。胎土は他の土器と比べても特異なものではない。

1234は、器壁が薄く、胎土がきめ細かい。上面観は円形である。蓋として図化した。

1235は外表面に赤色顔料が塗布される。搬入品の可能性がある。1236は内面に黒色顔料で文様が描かれる。搬入品の可能性もあるが、詳細はわからない。1237は上面から見ると粘土が折り重なって集まっている。高坏の坏部・脚部を接合するために坏底部に付けるソケット部分である（中村直子氏の御教授による）。

4 古代・中世・近世の遺物

古代、中世及び近世の遺物は、調査区の層堆積状況を反映し、当該期の遺物包含層であるII層からだけでなく、表土へ浮き上がって出土するものや、III層へ沈み込んで出土するものが多くみられた。また、残存状況が悪く、小片でローリングを受けているものが多い。

古代の土師器（第134図 1238～1256） 1238～1256は古代に該当する土師器であり、19点を図化した。1238～1254は土師器の壺である。底部が残存するものについては、いずれも底部の切り離し技法がヘラ切りである。口縁部から体部には、内外面とともに横ナデが施される。

1238は、器高が高い。壺体部は直線的で口唇部は先細りする。内外面には横ナデによる凹凸が残る。底部の切り離し痕跡は、丁寧にナデ消される。

1239・1240は、底径が小さく、体部は外傾し、口縁部は開く。体部は直線的である。焼成が良く、胎土が緻密なため硬質である。

1241は、底径が大きく、器高が浅い。体部はわずかに内済し、口縁部は外反する。底部と体部の境界付近はやや凹む。体部外面の下端にはケズリの痕跡が残る。胎土に角閃石等を含む。

1242・1243は、底部から体部は丸みをもって立ち上がる。1242は、体部の中程でわずかに内済し、口唇部は先細りする。

1244と1245は、体部中程でわずかに内済し、口縁部はやや外反する。1246は、外面に横ナデによる凹凸が残る。器壁が厚めで、口唇部は厚ぼったい。

1247は、器壁が厚く、体部は強めに内済する。口唇部外面には強い横ナデにより、おそらく意図的に凹みが作られている。中世に下る可能性もある。

1253は壺の体部で、内面に赤色顔料が塗布される。

1248・1249・1251・1252は底部片である。1249・1251は、底部外面のヘラ切りの痕跡が丁寧にナデ消されている。

1248・1251の外面の調整は雑である。1254は、胎土が緻密で、焼成も良く、硬質である。

1250・1255・1256は壺の底部である。1250は、高台高が1.2cmとやや高く、先端は方形となる。1255は、高台が低く、開く。1256は、高台の先端は方形を呈する。底部内面にミガキが施されている。

墨書き土器（第134図 1257～1263） 7点を図化した。

1257・1258は壺の口縁部から体部である。体部は外傾し、口縁部は開く。外面に漢字の「吉」が墨書きされる。

1259～1263の墨書きは、解説できなかった。いずれも古代に属するものである。

内黒土師器（第134図 1264～1272） 1264は壺で、器

高が高い。口縁部から体部は直線的だが、体部下半でやや内済する。外面にもミガキが施される。1265～1268は壺の口縁部から体部である。全て器高が高いもので、口唇部が先細る。外面にもミガキが施される。1265は、体部が直線的である。1266・1267は、体部がやや内済し、口縁部はわずかに外反する。

1269は壺の底部である。底部外面までミガキが施されている。1270は、高台付き皿である。口縁部がやや外反する。1271・1272は碗の底部である。1272の高台は開かないタイプである。

中世の土師器（第134図 1273～1280） 1273～1280は、中世に属するものであり、底部の切り離し技法が系切りによるものである。8点を図化した。1273は、器壁が厚く、底部から体部は丸みをもって立ち上がり、外傾が弱い。1274は、口唇部が先細る。1275の体部は外傾する。

1276は、底部から丸みを持って立ち上がり、体部はわずかに外傾する。

1277・1278は小皿である。1277は、口唇部が先細る。

1279は、器高が高い。1280は大型で、鉢と考えられる。

白磁（第135図 1281・1282・1287） 白磁は、ほとんどのものが表土に含まれており、また、陶器類自体の出土量が少ないが、青磁と比較しても出土量が少ない。3点を図化した。

青磁（第135図 1283～1286・1288～1302） 青磁は19点を図化した。中世の12世紀から15世紀後半に該当する資料が出土している。詳細は観察表を参照されたい。

1283の体部外面から底部は施釉されない。内面に文様を持つ。1284～1286・1288・1290は外面に蓮弁文を持つ碗である。

1286は近世の陶器の可能性もある。体部が丸みを帯び、口縁部は外反する。詳細は観察表を参照されたい。

1288～1290は、蓮弁文が片切形、またはヘラ先で描かれており、文様の幅が狭くなり退化している。1291は雷文を持つものである。

1292は小型の碗である。釉は全体に厚くかかる。

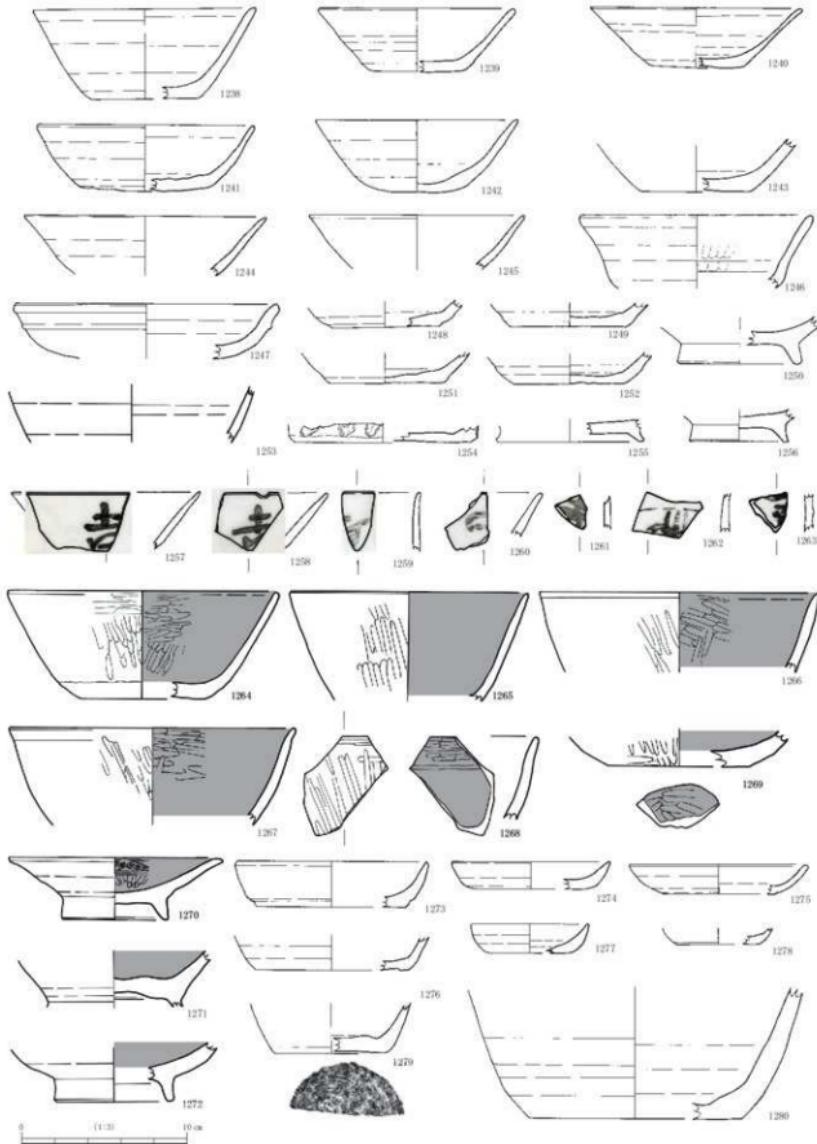
1296・1297は梅花皿である。1298は盤である。体部内面に櫛描き状の文様が施される。

1293～1300は、碗の底部である。1293の胎土は灰黄色を呈する。1300は、見込みに草花文が描かれる。

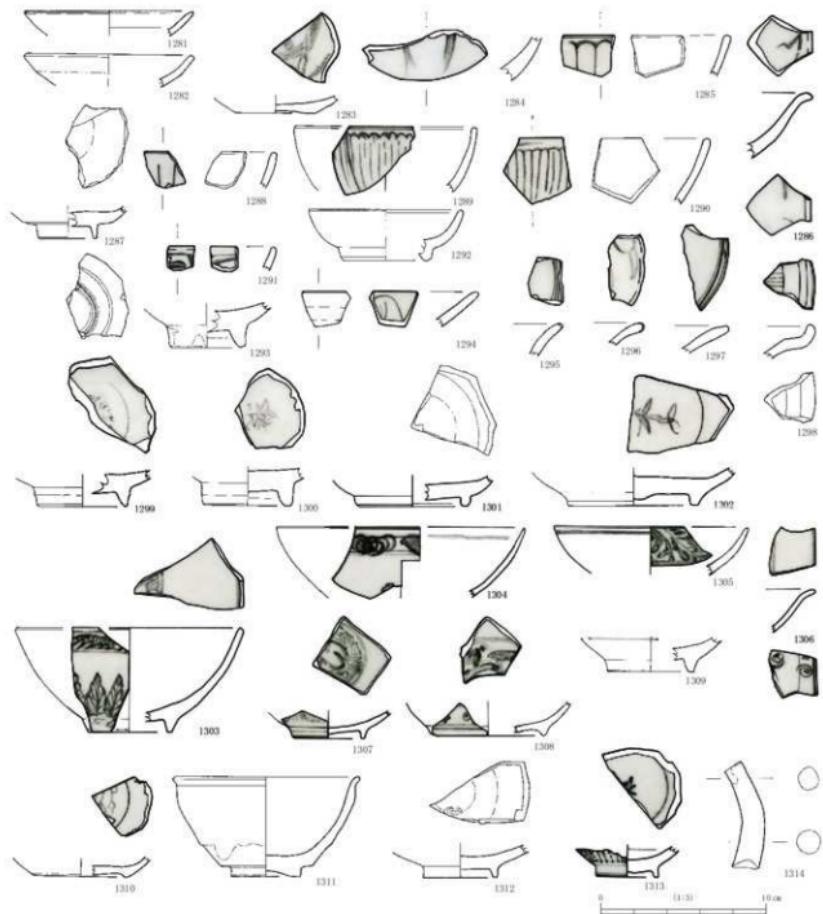
1296も見込みに何らかの文様が描かれるが、詳細はわかららない。

1301・1302は、浅型碗または壺の底部である。1301は、見込み中央と底部外面に焼成前に釉薬が剥ぎ取られている。

1302は、見込みに草花文が描かれる。



第134図 古代・中世・近世の遺物(1)



第 135 図 古代・中世・近世の遺物 (2)

青花・染付 (第 135 図 1303 ~ 1310) 1303 ~ 1310 は中國産の青花・染付である。ほとんどの資料が表土に含まれていたものである。8 点を図化した。詳細は観察表を参照されたい。

國產陶磁器など (第 135 図 1311 ~ 1314) 表土出土のもので、特徴的な 4 点を報告する。

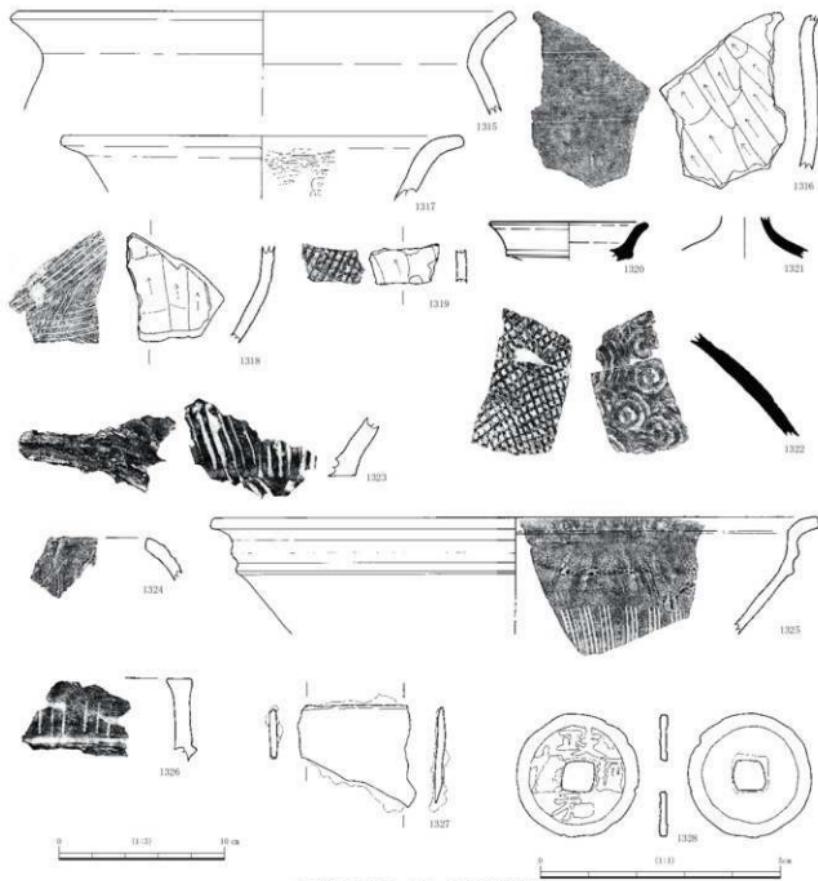
1311 は天目碗である。ろくろの回転が右方向であることから瀬戸産と判断される。

1312 は肥前系の銅緑釉碗と考えられる。見込みは蛇

ノ目釉剥ぎされ、外面底部は施釉されない。1313 は肥前系の碗である。外面に簡略化した梵字文、見込みに虫文と團線が描かれる。1314 は薩摩焼の水注の把手で、堂平窯産のものと想定される。

土師壺 (第 136 図 1315 ~ 1319) 土師壺は 5 点を図化した。いずれも古代に属する。1315 は、口唇部が方形を呈する。残存する器面全体には、丁寧な横ナデが施される。胎土に砂粒を多く含む。

1316 の内面には、右下から左上方向へのケズリの痕



第136図 古代・中世・近世の遺物(3)

跡が明瞭に残る。外面にはナゲが施され、粘土の継ぎ目には、特に丁寧な横ナゲが施されている。

1317は、口縁部が短い。外面から内面口縁部には横ナゲが施される。

1318には、内面は下から上方向のケズリが観察され、外面にはハケメの痕が明瞭に残り、一部は格子目状となる。

1319は、外面に格子目状のタタキの痕跡が残る。

須恵器(第136図1320~1322) 須恵器は3点を図化した。1320は壺の口縁部である。1321は壺の肩部である。

1322は甕の破片で、外面には格子目状のタタキの痕跡が、内面には青海波の當て具痕が明瞭に残る。

その他(第136図1323~1328) その他では、瓦質のすり鉢片(1323)や、陶器の火鉢、すり鉢等が出土した。また、II層又はIII層中から刃物片と想定される鉄片(1327など)が数点出土したが、詳細は不明である。

1328は銅鏡で「政和通宝」である。X線写真をもとに図化した。

第6表 造模内出土石器 観察表

| 探査 番号 | 地盤 番号 | 取土番号 | 出土区 | 造模 | 層 | 測量値 | | | 基準 | 分類 | 石材 | 最大長 (cm) | 最大幅 (cm) | 最大厚 (cm) | 重量 (g) |
|----------|----------|------|------|------|---|-----|-----|-----|----|-----|-----|-------------|-------------|-------------|-----------|
| | | | | | | X座標 | Y座標 | Z座標 | | | | | | | |
| 10 | 1 | - | E-13 | 上段4号 | V | - | - | - | 標尺 | 定尖端 | 安山岩 | 16.09 | 13.34 | 4.11 | 1110.00 |

第7表 造模内出土土器 観察表(1)

| 探査 番号 | 地盤 番号 | 取土番号 | 出土区 | 造模 | 層 | 基盤 | 形状 | 分類 | 法量 (cm) | | | 色調 | 調整 | 出土 有物 特徴 | 造成 | 備考 | |
|----------|----------|---------|-------|------|---|----|-------|-------|---------|-------|-------|-----|--------|-------------|---------|----|--------|
| | | | | | | | | | 口径 | 底径 | 高さ | 内面 | 外面 | | | | |
| 22 | 2 | - | B-8 | 上段7号 | V | 鐵 | 筒形 | 2 | 19.4 | 8.75 | 26.0 | 明褐色 | にじみ、斑駁 | 丸孔 | ハサメ・ハサミ | 良 | 外側に縦け目 |
| 23 | 3 | ■ u12-1 | B-8 | 上段8号 | V | 鐵 | 筒形 | 7.3 | 3.3 | - | - | 明褐色 | 無 | ナダ | ナダ | ナダ | |
| 5 | ■ u13-3 | B-8+9 | 上段11号 | V | 鐵 | 筒形 | 14.33 | 14.33 | 14.33 | 14.33 | 14.33 | 明褐色 | にじみ、斑駁 | 丸孔 | ナダ | 良石 | 2条の突起 |
| 6 | ■ u13-13 | B-8+9 | 上段11号 | V | 鐵 | 筒形 | 15.13 | 12.07 | 12.07 | 12.07 | 12.07 | 明褐色 | 無 | ハサメ・ハサミ | ナダ | 良石 | 外側に縦け目 |

第8表 造模内出土土器 観察表(2)

| 探査 番号 | 地盤 番号 | 取土番号 | 出土区 | 造模 | 層 | 基盤 | 形状 | 分類 | 法量 (cm) | | | 色調 | 調整 | 出土 有物 特徴 | 造成 | 備考 | |
|----------|----------|------|------|--------|---|----|----|------|---------|-------|-------|-----|----|-------------|----|----|------------------------------|
| | | | | | | | | | 口径 | 底径 | 高さ | 内面 | 外面 | | | | |
| 24 | 4 | - | E-10 | 上段9号 | V | 鐵 | 筒形 | 15.4 | 10.96 | 10.96 | 10.96 | 明褐色 | 無 | ナダ | ナダ | 良石 | |
| 30 | 9 | 418 | F-11 | 深井遺跡9号 | V | 鐵 | 筒形 | 7.5 | 5.13 | 5.13 | 5.13 | 明褐色 | 無 | ナダ | ナダ | 良石 | 底面7.5cm、高さ1.2cm 底面内面に刃状凹部 |

第9表 造模内出土土器 観察表(3)

| 探査 番号 | 地盤 番号 | 取土番号 | 出土区 | 造模 | 層 | 基盤 | 形状 | 分類 | 法量 (cm) | | | 色調 | 調整 | 出土 有物 特徴 | 造成 | 備考 | |
|----------|----------|---------------|------|-------------|---|----|----|------|---------|------|------|-----|----|-------------|----|----|----------------|
| | | | | | | | | | 口径 | 底径 | 高さ | 内面 | 外面 | | | | |
| 33 | 7 | ■ u-15-2 IP | D-13 | 伊勢作 大型土器 | V | 鐵 | 筒形 | 15.6 | 8.5 | 7.9 | 7.9 | 明褐色 | 無 | ナダ | ナダ | 良石 | 10世紀前～平成の時期に該当 |
| | 8 | ■ u-15-1-2 IP | D-13 | 伊勢作 大型土器 | V | 鐵 | 筒形 | 14.8 | 8 | 6.95 | 6.95 | 明褐色 | 無 | ナダ | ナダ | 良石 | 10世紀前～平成の時期に該当 |

第10表 古石器時代の石器 観察表(1)

| 探査 番号 | 地盤 番号 | 取土番号 | 出土区 | 造模 | 層 | 測量値 | | | 基盤 | 分類 | 石材 | 最大長 (cm) | 最大幅 (cm) | 最大厚 (cm) | 重量 (g) | |
|----------|----------|-------|------|--------|---------|----------|--------|-----|-------|-------|-------|-------------|-------------|-------------|-----------|-------|
| | | | | | | X座標 | Y座標 | Z座標 | | | | | | | | |
| 78 | 8730 | - | E-10 | 60.054 | 77.585 | 0.3568 | 石頭 | A | 17.00 | 10.00 | 3.10 | 2.80 | 2.80 | 4.00 | 10.83 | |
| 79 | 10514 | C-14 | V | 51.387 | 100.069 | 0.3392 | 石頭 | A | 17.00 | 10.00 | 3.00 | 2.70 | 2.70 | 3.00 | 10.00 | |
| 80 | 12458 | D-13 | V | 51.386 | 100.069 | 0.3392 | 石頭 | A | 17.00 | 10.00 | 3.00 | 2.70 | 2.70 | 3.00 | 10.00 | |
| 81 | 9133 | B-9 | V | 41.849 | 81.955 | 0.3381 | 石頭 | A | 17.00 | 10.00 | 1.70 | 2.70 | 2.70 | 4.20 | 11.25 | |
| 82 | 5219 | B-10 | V | 62.364 | 94.349 | 0.4478 | 石頭 | A | 17.00 | 10.00 | 2.70 | 3.10 | 3.10 | 3.70 | 13.76 | |
| 83 | 10375 | C-10 | V | 52.033 | 99.983 | 0.3382 | 石頭 | A | 17.00 | 10.00 | 2.78 | 3.81 | 3.81 | 2.28 | 23.51 | |
| 84 | 13166 | D-13 | V | 48.018 | 124.042 | 0.4472 | 石頭 | A | 17.00 | 10.00 | 3.40 | 3.80 | 3.80 | 1.60 | 18.60 | |
| 85 | 2983 | G-10 | V | 11.29 | 95.112 | 0.4465 | 石頭 | A | 17.00 | 10.00 | 2.80 | 2.70 | 2.70 | 0.80 | 6.74 | |
| 86 | 12232 | C-12 | V | 52.21 | 122.088 | 0.3331 | 石頭 | A | 17.00 | 10.00 | 2.73 | 3.67 | 3.67 | 2.95 | 28.11 | |
| 87 | - | - | - | - | - | - | 石頭 | A | 17.00 | 10.00 | 3.70 | 2.80 | 2.80 | 2.40 | 23.09 | |
| 88 | 1860 | C-17 | V | 54.248 | 101.951 | 0.3324 | 石頭 | B1 | 17.00 | 10.00 | 2.30 | 3.00 | 3.00 | 1.90 | 9.96 | |
| 89 | 3251 | B-10 | V | 49.036 | 97.855 | 0.3315 | 石頭 | B1 | 17.00 | 10.00 | 2.30 | 2.20 | 2.20 | 1.60 | 11.03 | |
| 90 | 12707 | B-13 | V | 69.036 | 122.633 | 0.4425 | 石頭 | B1 | 17.00 | 10.00 | 2.30 | 3.00 | 3.00 | 3.83 | 13.83 | |
| 91 | 10020 | D-10 | V | 45.434 | 96.731 | 0.4427 | 石頭 | B1 | 17.00 | 10.00 | 2.00 | 2.70 | 2.70 | 1.70 | 8.48 | |
| 92 | 12823 | E-13 | V | 70.728 | 129.452 | 0.4416 | 石頭 | B1 | 17.00 | 10.00 | 1.90 | 3.00 | 3.00 | 2.50 | 12.59 | |
| 93 | 13815 | B-10 | V | 69.131 | 95.599 | 0.4327 | 石頭 | B1 | 17.00 | 10.00 | 1.60 | 2.70 | 2.70 | 1.90 | 5.78 | |
| 94 | 96 | 12197 | B-12 | V | 44.856 | 123.033 | 0.4324 | 石頭 | B1 | 17.00 | 10.00 | 3.00 | 2.40 | 2.40 | 3.10 | 25.73 |
| 95 | 97 | - | - | - | - | - | 石頭 | B1 | 17.00 | 10.00 | 2.30 | 2.40 | 2.40 | 2.40 | 12.74 | |
| 96 | 13130 | B-12 | V | 59.088 | 119.074 | 0.4319 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 1.60 | 5.40 | 5.40 | 4.50 | 132.21 | |
| 97 | 10860 | E-13 | V | 34.761 | 104.812 | 0.3312 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 2.40 | 2.40 | 2.40 | 2.90 | 18.43 | |
| 98 | 7509 | B-10 | V | 49.036 | 97.855 | 0.3307 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 1.40 | 2.00 | 2.00 | 1.40 | 8.00 | |
| 99 | 101 | 13913 | C-10 | V | 53.362 | 91.048 | 0.4344 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 2.50 | 3.00 | 3.00 | 2.40 | 20.03 |
| 100 | 10520 | C-11 | V | 52.034 | 101.432 | 0.4375 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 2.90 | 4.40 | 4.40 | 3.50 | 40.82 | |
| 101 | 13507 | B-13 | V | 52.956 | 128.135 | 0.4401 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 3.00 | 2.00 | 2.00 | 2.20 | 12.43 | |
| 102 | 4882 | D-9 | V | 48.072 | 80.001 | 0.4384 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 2.20 | 2.50 | 2.50 | 2.00 | 20.00 | |
| 111 | 12496 | E-15 | V | 55.345 | 104.148 | 0.4419 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 2.20 | 2.70 | 2.70 | 1.17 | 11.74 | |
| 112 | 12496 | E-15 | V | 56.303 | 173.603 | 0.4233 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 2.00 | 2.00 | 2.00 | 2.00 | 8.00 | |
| 113 | 12492 | E-15 | V | 56.053 | 96.042 | 0.4391 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 2.20 | 2.00 | 2.00 | 2.10 | 13.74 | |
| 114 | 13246 | B-13 | V | 57.929 | 123.312 | 0.4419 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 2.40 | 3.20 | 3.20 | 19.28 | | |
| 115 | 116 | 7936 | D-10 | V | 48.829 | 94.020 | 0.4407 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 1.80 | 2.80 | 2.80 | 12.47 | |
| 116 | 17452 | C-9 | V | 51.514 | 104.844 | 0.4405 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 1.60 | 2.70 | 2.70 | 7.43 | | |
| 117 | 11944 | C-18 | V | 51.514 | 104.844 | 0.4405 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 2.00 | 2.80 | 2.80 | 15.39 | | |
| 118 | 14042 | E-15 | V | 34.258 | 108.913 | 0.4441 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 2.70 | 3.20 | 3.20 | 1.90 | 13.74 | |
| 119 | 12240 | B-13 | V | 51.514 | 104.844 | 0.4405 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 3.00 | 4.00 | 4.00 | 3.20 | 29.60 | |
| 120 | 12240 | B-13 | V | 51.514 | 104.844 | 0.4405 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 1.80 | 2.70 | 2.70 | 1.77 | 13.68 | |
| 121 | 12240 | B-13 | V | 51.514 | 104.844 | 0.4405 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 1.70 | 2.20 | 2.20 | 1.70 | 6.01 | |
| 122 | 12240 | B-13 | V | 51.514 | 104.844 | 0.4405 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 1.90 | 3.00 | 3.00 | 10.24 | | |
| 123 | 12240 | B-10 | V | 43.067 | 98.748 | 0.3390 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 2.40 | 1.90 | 1.90 | 2.60 | 14.19 | |
| 124 | 12240 | B-9 | V | 52.538 | 82.231 | 0.4374 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 2.30 | 2.50 | 2.50 | 10.30 | | |
| 125 | 12240 | B-9 | V | 52.538 | 82.231 | 0.4374 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 2.30 | 1.90 | 1.90 | 2.20 | | |
| 126 | 12240 | B-9 | V | 52.538 | 82.231 | 0.4374 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 2.30 | 2.50 | 2.50 | 1.77 | | |
| 127 | 12240 | B-9 | V | 52.538 | 82.231 | 0.4374 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 2.30 | 2.50 | 2.50 | 1.77 | | |
| 128 | 12240 | B-9 | V | 52.538 | 82.231 | 0.4374 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 2.30 | 2.50 | 2.50 | 1.77 | | |
| 129 | 12240 | B-9 | V | 52.538 | 82.231 | 0.4374 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 2.30 | 2.50 | 2.50 | 1.77 | | |
| 130 | 12240 | B-9 | V | 52.538 | 82.231 | 0.4374 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 2.30 | 2.50 | 2.50 | 1.77 | | |
| 131 | 12240 | B-9 | V | 52.538 | 82.231 | 0.4374 | 石頭 | B2 | 17.00 | 10.00 | 2.30 | 2.50 | 2.50 | 1.77 | | |
| 132 | 12240 | B-9 | V | 52.538 | 82.231 | 0.4374</ | | | | | | | | | | |

第 11 表 旧石器時代の石器 観察表 (2)

| 番号 | 部類 | 取上番号 | 主上区 | 番 | 測定値 | | | 基準 | 寸法 | 石材 | 最大径 (mm) | 最小径 (mm) | 厚さ (mm) | 質量 (g) | |
|-----|----|-------|-------|------|--------|---------|---------|--------|------|--------|-------------|-------------|------------|-----------|-------|
| | | | | | 横幅 | 1 斜幅 | 2 斜幅 | | | | | | | | |
| 86 | | 12490 | B-13 | 有 | 69.77 | 125.114 | 44.211 | 縫合刃片 | B2 | 上凸面彎曲石 | 1.90 | 1.80 | 2.40 | 7.44 | |
| | | 8454 | D-10 | V | 47.592 | 92.182 | 43.921 | 縫合刃片 | B2 | 上凸面彎曲石 | 2.00 | 2.00 | 1.90 | 8.07 | |
| | | 13280 | B-14 | V | 42.083 | 133.463 | 44.447 | 縫合刃片 | B2 | 上凸面彎曲石 | 2.00 | 3.50 | 3.10 | 28.97 | |
| | | 2952 | D-10 | Ⅲ | 49.651 | 95.586 | 44.526 | 縫合刃片 | B2 | 上凸面彎曲石 | 1.90 | 2.20 | 2.70 | 10.54 | |
| 87 | | 3196 | C-8 | 無 | 52.504 | 70.404 | 44.124 | 縫合刃片 | B2 | 上凸面彎曲石 | 2.10 | 2.60 | 1.60 | 7.29 | |
| | | 8595 | D-11 | V | 42.202 | 103.547 | 44.443 | 縫合刃片 | B2 | 斜面彎曲石 | 2.10 | 2.90 | 2.50 | 10.23 | |
| | | 9206 | C-10 | V | 51.583 | 98.913 | 44.007 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.20 | 3.30 | 1.80 | 12.27 | |
| | | 5377 | F-16 | V | 24.707 | 154.386 | 44.214 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.00 | 1.70 | 2.50 | 7.97 | |
| 88 | | 1676 | D-17 | Ⅱ | 49.382 | 161.682 | 43.612 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.30 | 1.80 | 2.00 | 7.02 | |
| | | 8762 | B-10 | V | 68.58 | 93.312 | 43.677 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.00 | 2.20 | 2.10 | 8.36 | |
| | | 13600 | B-8 | V | 61.949 | 70.736 | 43.963 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.40 | 3.40 | 2.00 | 15.95 | |
| | | 4450 | C-10 | Ⅲ | 52.341 | 95.933 | 44.496 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 1.40 | 2.60 | 1.90 | 6.59 | |
| 89 | | 4286 | C-10 | V | 52.597 | 98.454 | 44.242 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 1.90 | 1.90 | 2.40 | 8.09 | |
| | | 1976 | B-17 | Ⅲ | 62.818 | 167.72 | 43.312 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.20 | 2.20 | 2.10 | 12.16 | |
| | | 10995 | B-10 | V | 66.827 | 96.563 | 43.594 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.00 | 2.90 | 2.40 | 15.08 | |
| | | 13404 | B-13 | V | - | - | - | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.80 | 2.80 | 2.00 | 20.93 | |
| 90 | | 10519 | C-10 | V | 38.224 | 95.928 | 43.834 | 縫合刃片 | C | 凸面角尖石 | 5.30 | 4.00 | 5.10 | 84.81 | |
| | | 9360 | C-12 | Ⅳ | 54.175 | 110.058 | 44.333 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 3.50 | 3.40 | 5.20 | 58.07 | |
| | | 4849 | C-11 | Ⅲ | 53.036 | 100.891 | 44.184 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.80 | 3.30 | 1.90 | 14.16 | |
| | | 12992 | B-13 | V | 62.614 | 125.611 | 44.24 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.50 | 2.30 | 3.20 | 20.37 | |
| 91 | | 12986 | B-13 | V | 62.272 | 127.093 | 44.187 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.80 | 2.80 | 2.30 | 22.49 | |
| | | 9139 | B-10 | V | 69.759 | 93.937 | 43.596 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.20 | 1.90 | 2.30 | 10.64 | |
| | | 13015 | C-13 | V | 33.808 | 122.117 | 44.52 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.70 | 3.90 | 6.00 | 49.81 | |
| | | 1797 | C-15 | V | 55.773 | 148.22 | 43.639 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 1.80 | 3.80 | 1.90 | 12.00 | |
| 92 | | 5336 | G-15 | V | 13.313 | 140.405 | 44.712 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.60 | 3.40 | 2.40 | 19.05 | |
| | | 3852 | D-10 | V | 47.072 | 95.196 | 44.579 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 1.60 | 1.80 | 2.50 | 5.87 | |
| | | 7509 | C-9 | V | 51.393 | 80.138 | 44.062 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.40 | 2.70 | 2.30 | 14.24 | |
| | | 1633 | 3591 | C-13 | V | 58.535 | 127.887 | 44.391 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.40 | 3.40 | 1.70 | 14.51 |
| 93 | | 13933 | D-10 | V | 47.965 | 92.000 | 43.455 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 1.50 | 3.10 | 2.30 | 8.75 | |
| | | 4988 | D-10 | V | 47.023 | 95.302 | 44.33 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.30 | 1.90 | 1.30 | 4.38 | |
| | | 4210 | D-10 | V | 47.123 | 95.853 | 44.527 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 3.10 | 2.40 | 3.00 | 13.71 | |
| | | 6908 | D-10 | V | 66.802 | 94.32 | 43.829 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.80 | 2.30 | 18.20 | | |
| 94 | | 7542 | C-8 | V | 56.716 | 80.018 | 43.975 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.40 | 2.80 | 2.50 | 15.24 | |
| | | 7560 | D-15 | V | 61.549 | 148.15 | 44.237 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 1.80 | 2.60 | 2.30 | 10.14 | |
| | | 4816 | D-10 | V | 48.886 | 94.854 | 44.398 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.00 | 2.40 | 1.30 | 8.74 | |
| | | 6267 | D-10 | V | 49.511 | 94.153 | 43.904 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.50 | 1.90 | 1.60 | 8.73 | |
| 95 | | 16064 | D-11 | V | 65.229 | 109.250 | 43.951 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 2.30 | 2.40 | 1.50 | 7.31 | |
| | | 6161 | A-7 | V | 70.777 | 69.226 | 43.993 | 縫合刃片 | C | 上凸面彎曲石 | 3.10 | 2.40 | 1.70 | 0.09 | |
| | | 4916 | F-17 | V | 20.863 | 62.901 | 41.767 | 縫合刃片 | D | 凹面角尖石 | 3.00 | 6.74 | 2.70 | 69.89 | |
| | | 12028 | D-12 | V | 43.113 | 114.723 | 43.948 | 縫合刃片 | D | 斜面彎曲石 | 3.00 | 2.60 | 1.40 | 11.00 | |
| 96 | | 7172 | C-10 | V | 52.292 | 96.053 | 44.486 | 縫合刃片 | D | 上凸面彎曲石 | 3.00 | 4.50 | 2.10 | | |
| | | 1609 | C-16 | V | 56.691 | 131.774 | 43.722 | 縫合刃片 | D | 上凸面彎曲石 | 3.10 | 1.70 | 3.80 | 19.29 | |
| | | 8725 | B-10 | V | 62.847 | 92.04 | 43.928 | 縫合刃片 | D | 斜面彎曲石 | 2.60 | 1.50 | 2.14 | | |
| | | 3601 | B-10 | V | 68.808 | 92.809 | 44.052 | 縫合刃片 | E | 上凸面彎曲石 | 2.20 | 3.20 | 2.20 | 15.13 | |
| 97 | | 10075 | B-11 | V | 41.076 | 100.165 | 44.029 | 縫合刃片 | E | 上凸面彎曲石 | 2.20 | 1.80 | 2.80 | 10.76 | |
| | | 7414 | D-9 | V | 48.056 | 89.862 | 44.180 | 縫合刃片 | E | 上凸面安打石 | 2.20 | 4.60 | 2.30 | 13.62 | |
| | | 3283 | B-13 | Ⅲ | 60.079 | 126.813 | 44.482 | 縫合刃片 | E | 上凸面彎曲石 | 3.30 | 2.30 | 5.50 | 34.02 | |
| | | 13366 | B-13 | V | - | - | - | 縫合刃片 | E | 斜面彎曲石 | 1.74 | 3.04 | 2.17 | 9.71 | |
| 98 | | 12221 | D-12 | V | 43.291 | 119.799 | 43.380 | 縫合刃片 | E | 斜面彎曲石 | 1.80 | 2.80 | 3.00 | 14.07 | |
| | | 13495 | B-14 | V | 67.886 | 133.095 | 44.752 | 縫合刃片 | E | 砾石 | 3.30 | 3.40 | 5.00 | 49.0 | |
| | | 13674 | C-8 | V | 54.517 | 73.633 | 43.908 | 縫合刃片 | E | 斜面彎曲石 | 2.60 | 1.80 | 2.10 | 6.43 | |
| | | 3277 | B-17 | V | 45.005 | 160.592 | 43.317 | 縫合刃片 | E | 上凸面彎曲石 | 2.80 | 2.40 | 3.20 | 25.00 | |
| 99 | | 21207 | D-12 | V | 48 | 112.03 | 43.386 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.90 | 1.90 | 0.90 | 3.73 | |
| | | 12333 | D-10 | V | 44.572 | 96.555 | 43.682 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.60 | 1.80 | 2.40 | 6.16 | |
| | | 14010 | D-15 | V | 62.833 | 142.372 | 44.112 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 2.50 | 2.40 | 1.30 | 7.70 | |
| | | 192 | 5912 | C-7 | V | 50.788 | 65.834 | 44.097 | 尖状器 | F | 斜面彎曲石 | 1.20 | 3.50 | 1.40 | 3.52 |
| 100 | | 10845 | D-10 | V | 43.683 | 97.892 | 43.931 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.10 | 0.60 | 0.20 | 0.08 | |
| | | 10992 | D-10 | V | 49.052 | 99.523 | 43.92 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.20 | 0.32 | 2.36 | 0.14 | |
| | | 19180 | D-10 | V | 44.137 | 97.485 | 44.017 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.20 | 0.50 | 0.30 | 0.15 | |
| | | 196 | 9416 | D-10 | V | 49.424 | 94.552 | 43.709 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.15 | 0.63 | 0.22 | 0.20 |
| 101 | | 9413 | D-10 | V | 47.933 | 93.453 | 43.696 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.25 | 0.75 | 0.25 | 0.17 | |
| | | 198 | 9244 | D-10 | V | 43.755 | 98.96 | 44.057 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.30 | 0.70 | 0.25 | 0.24 |
| | | 199 | 7457 | C-9 | V | 51.871 | 81.312 | 43.891 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.2 | 0.7 | 0.2 | 0.19 |
| | | 200 | 10764 | D-10 | V | 45.287 | 96.334 | 43.893 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.50 | 0.80 | 0.20 | 0.25 |
| 102 | | 12985 | B-13 | V | 63.342 | 127.307 | 44.112 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.35 | 0.58 | 0.24 | 0.13 | |
| | | 203 | 9019 | D-10 | V | 48.107 | 95.097 | 43.736 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.60 | 0.60 | 0.20 | 0.14 |
| | | 204 | 8644 | D-10 | V | 47.163 | 95.368 | 43.884 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.51 | 0.66 | 0.24 | 0.17 |
| | | 205 | 10882 | D-10 | V | 42.975 | 99.039 | 43.963 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.30 | 0.70 | 0.20 | 0.19 |
| 106 | | 11396 | D-10 | V | 42.919 | 98.095 | 43.904 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.20 | 0.60 | 0.20 | 0.17 | |
| | | 206 | 10883 | C-17 | Ⅲ | 57.112 | 108.063 | 43.163 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 2.10 | 1.00 | 0.40 | 0.68 |
| | | 206 | 13307 | - | - | - | - | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.42 | 0.60 | 0.23 | 0.18 | |
| | | 208 | 12079 | D-13 | V | 48.501 | 125.796 | 43.64 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.30 | 0.70 | 0.20 | 0.18 |
| 107 | | 9301 | D-10 | V | 46.955 | 96.393 | 44.466 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.35 | 0.60 | 0.20 | 0.13 | |
| | | 211 | 12213 | D-12 | V | 62.098 | 119.874 | 43.378 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.50 | 0.95 | 0.30 | 0.41 |
| | | 212 | 7375 | D-10 | V | 62.697 | 95.957 | 43.839 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.70 | 1.10 | 3.00 | 0.38 |
| | | 213 | 10304 | D-10 | V | 43.595 | 98.145 | 43.972 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.40 | 0.90 | 0.20 | 0.27 |
| 108 | | 10034 | D-10 | V | 46.292 | 96.98 | 44.002 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.50 | 1.00 | 0.30 | 0.30 | |
| | | 215 | 7383 | D-10 | V | 44.023 | 94.721 | 44.197 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.60 | 0.80 | 0.20 | 0.26 |
| | | 216 | 12445 | D-10 | V | 45.717 | 98.452 | 43.651 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.60 | 0.80 | 0.30 | 0.23 |
| | | 217 | 10504 | E-15 | N | 35.715 | 149.011 | 44.43 | 縫合刃片 | F | 上凸面彎曲石 | 1.87 | 0.92 | 0.36 | 0.47 |

第12表 旧石器時代の石器 観察表(3)

| 番号 | 部類 | 出土場所 | 出土状況 | 面 | 測定値 | | | 基準 | 分類 | 石材 | 長さ (cm) | 幅 (cm) | 高さ (cm) | 最大厚 (cm) | 最小厚 (cm) | 質 |
|-----|-------|------|------|--------|---------|--------|-----|----|---------|------|------------|-----------|------------|-------------|-------------|---|
| | | | | | 1面積 | 2面積 | 工具種 | | | | | | | | | |
| 218 | 9281 | E10 | V | 52.699 | 98.584 | 43.991 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.61 | 0.78 | 0.25 | 0.28 | - | - | |
| 219 | 7732 | C10 | N | 50.29 | 92.47 | 44.12 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.90 | 0.50 | 0.30 | 0.15 | - | - | |
| 220 | 14313 | E15 | V | 34.938 | 109.284 | 44.099 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 2.13 | 0.72 | 0.28 | 0.30 | - | - | |
| 221 | 11224 | D10 | V | 44.118 | 98.413 | 43.68 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.80 | 0.90 | 0.20 | 0.29 | - | - | |
| 222 | 13917 | E14 | V | 38.009 | 132.122 | 44.537 | 磨石 | - | ※木留留尖端石 | 1.70 | 0.70 | 0.20 | 0.19 | - | - | |
| 223 | 13407 | B13 | V | - | - | - | 磨石 | - | ※木留留尖端石 | 1.60 | 0.50 | 0.20 | 0.14 | - | - | |
| 224 | 13440 | D10 | V | - | - | - | 磨石 | - | ※木留留尖端石 | 1.30 | 0.70 | 0.20 | 0.12 | - | - | |
| 225 | 6570 | D-8 | N | 41.497 | 78.727 | 45.093 | 磨石 | - | ※木留留尖端石 | 1.40 | 0.50 | 0.20 | 0.10 | - | - | |
| 226 | 10280 | C10 | V | 53.115 | 99.645 | 43.923 | 磨石 | - | 片尾尖端石 | 2.00 | 0.80 | 0.30 | 0.35 | - | - | |
| 227 | 13733 | C-7 | V | 53.493 | 63.204 | 43.967 | 磨石 | - | 片尾尖端石 | 1.10 | 0.40 | 0.10 | 0.07 | - | - | |
| 228 | 8882 | C-11 | N | 53.905 | 103.875 | 44.201 | 磨石 | - | 高島石尖端石 | 2.35 | 0.43 | 0.25 | 0.15 | - | - | |
| 229 | 11901 | C-11 | V | 52.491 | 100.887 | 43.817 | 磨石 | - | 高島石尖端石 | 1.70 | 0.50 | 0.20 | 0.12 | - | - | |
| 230 | 8811 | B10 | V | 47.443 | 95.534 | 43.755 | 磨石 | - | 高島石 | 1.70 | 0.80 | 0.20 | 0.30 | - | - | |
| 231 | 9996 | B10 | V | 43.016 | 97.373 | 44.148 | 磨石 | - | 高島石 | 1.40 | 0.90 | 0.20 | 0.23 | - | - | |
| 232 | 10168 | D10 | V | 43.248 | 98.37 | 43.997 | 磨石 | - | 高島石 | 1.30 | 0.60 | 0.20 | 0.22 | - | - | |
| 233 | 3036 | B-12 | ■ | 61.826 | 118.143 | 44.513 | 磨石 | - | 武石 | 1.30 | 0.90 | 0.20 | 0.2 | - | - | |
| 234 | 11258 | A-13 | N | 12.363 | 12.311 | 44.242 | 磨石 | - | 武石 | 1.60 | 0.70 | 0.20 | 0.28 | - | - | |
| 235 | 11958 | D-10 | V | 42.69 | 98.31 | 43.784 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.70 | 0.70 | 0.10 | 0.08 | - | - | |
| 236 | 11600 | B10 | V | 43.918 | 98.826 | 43.823 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.80 | 0.10 | 0.30 | 0.15 | - | - | |
| 237 | 8256 | D-10 | V | 47.738 | 95.109 | 43.964 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.90 | 0.50 | 0.20 | 0.05 | - | - | |
| 238 | 12190 | D-12 | N | 40.564 | 119.166 | 43.633 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.86 | 0.79 | 0.20 | 0.11 | - | - | |
| 239 | 11172 | D-10 | V | 43.267 | 98.745 | 43.938 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.94 | 0.60 | 0.14 | 0.07 | - | - | |
| 240 | 11122 | D-10 | V | 40.108 | 96.358 | 43.862 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.87 | 0.75 | 0.20 | 0.13 | - | - | |
| 241 | 12733 | D-10 | V | 46.673 | 93.417 | 43.427 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.76 | 1.00 | 0.14 | 0.11 | - | - | |
| 242 | 10976 | D-10 | V | 43.914 | 98.932 | 43.933 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.00 | 0.70 | 0.20 | 0.16 | - | - | |
| 243 | 10846 | D-10 | V | 43.774 | 97.961 | 43.974 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.80 | 0.30 | 0.20 | 0.04 | - | - | |
| 244 | 10531 | D-11 | V | 48.894 | 101.656 | 43.982 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.31 | 0.60 | 0.24 | 0.14 | - | - | |
| 245 | 12839 | B-13 | V | 68.31 | 123.223 | 44.737 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.12 | 0.75 | 0.22 | 0.17 | - | - | |
| 246 | 12990 | B-13 | V | 69.938 | 124.845 | 44.156 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.95 | 0.90 | 0.20 | 0.15 | - | - | |
| 247 | 12648 | B-13 | N | 69.594 | 124.336 | 44.777 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.50 | 0.61 | 0.28 | 0.30 | - | - | |
| 248 | 8397 | D-10 | V | 48.188 | 94.561 | 43.992 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.00 | 0.70 | 0.12 | 0.08 | - | - | |
| 249 | 7408 | C-10 | N | 52.277 | 98.182 | 44.166 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.10 | 0.70 | 0.16 | 0.10 | - | - | |
| 250 | 9690 | D-10 | ■ | 43.781 | 98.343 | 44.395 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.10 | 0.80 | 0.20 | 0.17 | - | - | |
| 251 | 7418 | C-10 | N | 50.568 | 95.543 | 44.113 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.00 | 0.60 | 0.40 | 0.27 | - | - | |
| 252 | 13292 | B-13 | V | 40.698 | 100.036 | 44.016 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.00 | 0.60 | 0.20 | 0.21 | - | - | |
| 253 | 10631 | D-10 | V | 43.558 | 98.671 | 43.944 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.24 | 0.61 | 0.25 | 0.25 | - | - | |
| 254 | 10697 | A-13 | V | 70.660 | 124.749 | 44.159 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.28 | 0.76 | 0.20 | 0.25 | - | - | |
| 255 | 11163 | D-10 | V | 53.558 | 98.052 | 44.099 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.60 | 0.67 | 0.26 | 0.26 | - | - | |
| 256 | 8503 | D-10 | V | 50.556 | 95.526 | 43.998 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.10 | 0.60 | 0.25 | 0.22 | - | - | |
| 257 | 11950 | D-10 | V | 45.609 | 99.092 | 43.144 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.60 | 0.60 | 0.30 | 0.10 | - | - | |
| 258 | 7323 | D-11 | ■ | 41.281 | 108.444 | 44.209 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.00 | 0.80 | 0.30 | 0.18 | - | - | |
| 259 | 9682 | D-10 | V | 44.233 | 95.136 | 43.894 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.20 | 0.73 | 0.20 | 0.18 | - | - | |
| 260 | 12743 | A-13 | N | 71.027 | 125.439 | 44.137 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.12 | 0.78 | 0.15 | 0.16 | - | - | |
| 261 | 11313 | D-10 | V | 43.238 | 99.111 | 43.897 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.90 | 0.80 | 0.20 | 0.11 | - | - | |
| 262 | 8531 | D-10 | V | 48.843 | 95.379 | 43.809 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.85 | 0.95 | 0.15 | 0.14 | - | - | |
| 263 | 11341 | D-10 | V | 44.168 | 98.731 | 43.843 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.80 | 0.60 | 0.10 | 0.07 | - | - | |
| 264 | 4939 | D-10 | ■ | 41.947 | 94.524 | 44.508 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.10 | 0.50 | 0.30 | 0.08 | - | - | |
| 265 | 8881 | D-10 | N | 47.208 | 96.356 | 43.803 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.60 | 0.70 | 0.10 | 0.08 | - | - | |
| 266 | 12296 | D-10 | V | 47.56 | 93.059 | 43.533 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.70 | 0.50 | 0.20 | 0.10 | - | - | |
| 267 | 12290 | D-10 | V | 46.968 | 93.529 | 43.696 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.80 | 0.50 | 0.20 | 0.06 | - | - | |
| 268 | 14418 | E-15 | V | 33.144 | 147.747 | 44.109 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.40 | 0.90 | 0.30 | 0.21 | - | - | |
| 269 | 13544 | C-12 | V | 51.316 | 133.174 | 44.337 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.79 | 1.00 | 0.27 | 0.51 | - | - | |
| 270 | 7304 | D-10 | V | 47.095 | 97.954 | 44.195 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.64 | 0.84 | 0.43 | 0.39 | - | - | |
| 271 | 10762 | D-10 | V | 45.912 | 97.086 | 43.895 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.10 | 0.80 | 0.10 | 0.12 | - | - | |
| 272 | 8054 | D-10 | N | 43.757 | 99.295 | 44.195 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.10 | 0.60 | 0.20 | 0.12 | - | - | |
| 273 | 8305 | D-14 | V | 44.237 | 136.982 | 44.338 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.90 | 0.66 | 0.17 | 0.10 | - | - | |
| 274 | 9033 | D-10 | V | 47.192 | 94.201 | 43.75 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.90 | 0.60 | 0.20 | 0.10 | - | - | |
| 275 | 8672 | D-10 | V | 47.794 | 93.368 | 43.852 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.80 | 0.90 | 0.30 | 0.19 | - | - | |
| 276 | 8367 | D-10 | V | 48.92 | 94.412 | 43.888 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.90 | 0.70 | 0.20 | 0.11 | - | - | |
| 277 | 9118 | D-10 | V | 48.189 | 92.303 | 43.761 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.80 | 0.55 | 0.13 | 0.06 | - | - | |
| 278 | 4778 | D-10 | V | 49.3 | 94.803 | 44.426 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.60 | 0.90 | 0.20 | 0.11 | - | - | |
| 279 | 11317 | D-10 | V | 45.939 | 97.6 | 43.821 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.00 | 0.80 | 0.20 | 0.17 | - | - | |
| 280 | 7933 | D-10 | N | 49.769 | 94.585 | 43.994 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.10 | 0.80 | 0.20 | 0.14 | - | - | |
| 281 | 6029 | D-10 | V | 47.325 | 94.209 | 43.879 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.05 | 0.95 | 0.33 | 0.28 | - | - | |
| 282 | 4798 | D-10 | V | 46.704 | 95.052 | 44.47 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.10 | 0.90 | 0.30 | 0.25 | - | - | |
| 283 | 7859 | D-10 | N | 44.665 | 93.739 | 44.111 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.10 | 0.60 | 0.10 | 0.08 | - | - | |
| 284 | 7999 | D-10 | V | 45.956 | 93.118 | 44.008 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.50 | 0.80 | 0.30 | 0.31 | - | - | |
| 285 | 11391 | D-10 | V | 42.934 | 98.761 | 43.891 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.40 | 1.00 | 0.30 | 0.42 | - | - | |
| 286 | 7618 | D-10 | N | 45.801 | 93.361 | 44.126 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.10 | 0.76 | 0.35 | 0.25 | - | - | |
| 287 | 10500 | D-10 | V | 44.007 | 98.912 | 43.969 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.10 | 0.90 | 0.20 | 0.25 | - | - | |
| 288 | 12812 | A-13 | V | 70.202 | 125.535 | 44.1 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.30 | 1.00 | 0.30 | 0.35 | - | - | |
| 289 | 4746 | D-10 | N | 48.563 | 92.451 | 44.426 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.10 | 1.00 | 0.30 | 0.26 | - | - | |
| 290 | 6449 | A-13 | V | 71.904 | 122.494 | 44.098 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.10 | 0.60 | 0.20 | 0.01 | - | - | |
| 291 | 4958 | D-10 | V | 47.233 | 95.034 | 44.386 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.00 | 0.80 | 0.20 | 0.13 | - | - | |
| 292 | 7998 | D-10 | V | 47.45 | 93.304 | 44.014 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.90 | 1.00 | 0.30 | 0.21 | - | - | |
| 293 | 9730 | D-10 | ■ | 49.377 | 98.162 | 43.317 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.20 | 0.90 | 0.20 | 0.26 | - | - | |
| 294 | 10334 | D-10 | V | 46.316 | 96.56 | 43.941 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.90 | 0.70 | 0.15 | 0.10 | - | - | |
| 295 | 10906 | D-10 | V | 42.992 | 97.033 | 43.937 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.70 | 0.90 | 0.22 | 0.14 | - | - | |
| 296 | 10903 | D-10 | V | 45.594 | 97.784 | 43.883 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.68 | 0.75 | 0.15 | 0.07 | - | - | |
| 297 | 11040 | D-10 | V | 42.542 | 98.178 | 43.933 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 1.10 | 1.15 | 0.32 | 0.33 | - | - | |
| 298 | 11054 | D-10 | V | 42.93 | 98.677 | 43.936 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.70 | 0.80 | 0.20 | 0.13 | - | - | |
| 299 | 9791 | D-10 | ■ | 43.099 | 97.408 | 44.374 | 磨石 | - | 上円頭尖端石 | 0.95 | 0.75 | 0.10 | 0.05 | - | - | |

第13表 旧石器時代の石器 観察表(4)

| 番号 | 器種 | 出土年 | 出土地 | 原標 | | 形態 | 分類 | 石材 | 最大長 [cm] | 最大幅 [cm] | 最大厚 [cm] | 重量 [g] | |
|-----|-------|------|-----|--------|---------|--------|-----|----|-------------|-------------|-------------|-----------|------|
| | | | | 上標 | 下標 | | | | | | | | |
| 300 | 10143 | D-10 | V | 43.349 | 97.363 | 44.014 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.10 | 0.50 | 0.20 | 0.08 |
| 301 | 9814 | C-10 | N | 51.106 | 96.477 | 44.241 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.70 | 0.65 | 0.10 | 0.02 |
| 302 | 9628 | D-10 | ■ | 44.255 | 96.808 | 44.265 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.00 | 0.80 | 0.20 | 0.17 |
| 303 | 10006 | D-10 | V | 44.152 | 96.999 | 44.077 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.68 | 0.75 | 0.17 | 0.08 |
| 304 | 10583 | D-10 | V | 44.279 | 96.463 | 43.931 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.00 | 0.65 | 0.15 | 0.11 |
| 305 | 10967 | D-10 | V | 43.196 | 98.248 | 43.043 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.75 | 1.15 | 0.23 | 0.20 |
| 306 | 12861 | B-13 | V | 68.509 | 123.285 | 44.232 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.19 | 0.79 | 0.19 | 0.17 |
| 307 | 11650 | D-10 | V | 41.814 | 99.741 | 43.902 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.10 | 1.87 | 0.13 | 0.19 |
| 308 | 13214 | A-13 | ■ | 71.099 | 124.495 | 43.952 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.96 | 0.93 | 0.20 | 0.17 |
| 309 | 11139 | D-10 | V | 43.296 | 97.790 | 43.84 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.90 | 0.80 | 0.24 | 0.13 |
| 310 | 14333 | E-13 | ■ | 34.295 | 147.962 | 44.072 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.90 | 0.70 | 0.20 | 0.10 |
| 311 | 13451 | D-13 | V | - | - | - | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.08 | 0.98 | 0.20 | 0.21 |
| 312 | 1725 | D-17 | ■ | 44.021 | 163.089 | 43.812 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.70 | 0.60 | 0.25 | 0.28 |
| 313 | 9602 | D-10 | V | 48.125 | 96.489 | 44.599 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.21 | 0.80 | 0.21 | 0.22 |
| 314 | 14156 | E-15 | V | 24.803 | 148.645 | 43.93 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.09 | 0.55 | 0.15 | 0.09 |
| 315 | 11205 | D-10 | V | 38.445 | 146.853 | 43.257 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.13 | 0.80 | 0.24 | 0.24 |
| 316 | 7952 | D-10 | V | 48.168 | 94.062 | 44.098 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.75 | 0.98 | 0.21 | 0.11 |
| 317 | 7725 | D-10 | V | 49.096 | 93.849 | 44.081 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.08 | 0.70 | 0.23 | 0.19 |
| 318 | 8713 | C-10 | V | 52.261 | 99.234 | 44.005 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.10 | 0.85 | 0.13 | 0.11 |
| 319 | 13222 | B-13 | ■ | 69.095 | 121.391 | 43.988 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.00 | 0.60 | 0.10 | 0.06 |
| 320 | 8633 | D-10 | V | 48.608 | 94.419 | 43.829 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.00 | 0.60 | 0.20 | 0.08 |
| 321 | 8609 | D-10 | V | 47.73 | 95.867 | 43.787 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.20 | 0.80 | 0.30 | 0.25 |
| 322 | 11444 | D-10 | V | 42.554 | 99.00 | 43.873 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.90 | 0.90 | 0.30 | 0.19 |
| 323 | 11820 | D-10 | V | 44.007 | 96.613 | 43.780 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.70 | 0.60 | 0.20 | 0.05 |
| 324 | 11851 | D-10 | V | 44.448 | 98.507 | 43.781 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.80 | 0.80 | 0.20 | 0.10 |
| 325 | 11874 | D-10 | V | 43.963 | 99.166 | 43.811 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.90 | 0.50 | 0.10 | 0.04 |
| 326 | 8838 | D-10 | V | 46.016 | 94.228 | 43.845 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.90 | 0.80 | 0.10 | 0.12 |
| 327 | 13234 | B-13 | V | 68.599 | 123.553 | 43.962 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.20 | 0.70 | 0.20 | 0.14 |
| 328 | 12408 | D-10 | V | 47.095 | 95.144 | 43.834 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.05 | 0.80 | 0.16 | 0.15 |
| 329 | 13354 | B-13 | V | - | - | - | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.95 | 0.95 | 0.30 | 0.23 |
| 330 | 12507 | D-10 | V | 47.038 | 95.501 | 43.432 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.10 | 0.50 | 0.10 | 0.06 |
| 331 | 5084 | D-10 | ■ | 47.081 | 92.541 | 44.305 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.12 | 0.75 | 0.20 | 0.13 |
| 332 | 4999 | D-10 | ■ | 44.884 | 94.262 | 44.413 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.80 | 0.90 | 0.20 | 0.13 |
| 333 | 4975 | D-10 | ■ | 48.9 | 94.612 | 44.308 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.66 | 0.54 | 0.12 | 0.04 |
| 334 | 5460 | D-10 | V | 48.514 | 94.279 | 44.295 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.63 | 0.39 | 0.10 | 0.23 |
| 335 | 4961 | D-10 | V | 47.303 | 95.834 | 44.397 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.98 | 0.75 | 0.15 | 0.10 |
| 336 | 4797 | D-10 | V | 46.482 | 94.937 | 44.461 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.90 | 0.90 | 0.10 | 0.11 |
| 337 | 5288 | D-10 | V | 47.259 | 94.982 | 44.336 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.90 | 0.80 | 0.20 | 0.10 |
| 338 | 6828 | C-9 | V | 52.766 | 81.676 | 43.751 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.84 | 0.80 | 0.23 | 0.14 |
| 339 | 5109 | C-10 | V | 50.056 | 91.342 | 44.231 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.96 | 0.55 | 0.21 | 0.11 |
| 340 | 5488 | D-8 | V | 42.087 | 73.438 | 44.199 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.08 | 0.88 | 0.32 | 0.30 |
| 341 | 6602 | D-13 | V | 47.454 | 120.93 | 44.731 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.28 | 0.88 | 0.28 | 0.34 |
| 342 | 3858 | D-10 | V | 53.421 | 93.529 | 44.385 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.76 | 0.39 | 0.18 | 0.09 |
| 343 | 9116 | C-10 | V | 53.804 | 99.324 | 44.052 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.94 | 0.66 | 0.23 | 0.09 |
| 344 | 10084 | D-10 | V | 43.744 | 97.249 | 44.076 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.14 | 0.78 | 0.28 | 0.25 |
| 345 | 13644 | D-10 | V | 49.231 | 97.203 | 43.749 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.30 | 1.00 | 0.20 | 0.22 |
| 346 | 8105 | C-10 | V | 55.763 | 99.292 | 44.179 | 砸石片 | - | 侧刮削器 | 0.85 | 0.50 | 0.15 | 0.07 |
| 347 | 9278 | D-10 | V | 43.311 | 98.005 | 44.049 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.70 | 0.60 | 0.10 | 0.05 |
| 348 | 13396 | - | V | - | - | - | 砸石片 | - | 侧刮削器 | 1.50 | 1.20 | 0.20 | 0.32 |
| 349 | 6818 | D-7 | V | 41.607 | 68.429 | 43.477 | 砸石片 | - | 侧刮削器 | 0.90 | 0.60 | 0.10 | 0.10 |
| 350 | 4380 | D-7 | V | 48.538 | 90.438 | 44.106 | 砸石片 | - | 侧刮削器 | 0.90 | 0.90 | 0.20 | 0.13 |
| 351 | 5007 | D-10 | ■ | 48.434 | 93.653 | 44.402 | 砸石片 | - | 侧刮削器 | 1.40 | 0.50 | 0.20 | 0.14 |
| 352 | 12208 | D-12 | V | 42.066 | 114.264 | 43.44 | 砸石片 | - | 侧刮削器 | 1.03 | 0.70 | 0.14 | 0.12 |
| 353 | 9301 | E-11 | V | 34.519 | 109.327 | 44.504 | 砸石片 | - | 侧刮削器 | 0.90 | 0.70 | 0.20 | 0.12 |
| 354 | 8101 | C-10 | V | 52.977 | 99.313 | 44.089 | 砸石片 | - | 侧刮削器 | 1.40 | 0.60 | 0.15 | 0.09 |
| 355 | 13656 | C-11 | V | 58.287 | 106.542 | 43.948 | 砸石片 | - | 玉器 | 1.00 | 0.70 | 0.10 | 0.13 |
| 356 | 12900 | A-13 | V | 70.023 | 125.616 | 44.074 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.10 | 1.00 | 0.20 | 0.21 |
| 357 | 11932 | D-10 | V | 44.123 | 98.77 | 43.795 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.20 | 1.10 | 0.35 | 0.44 |
| 358 | 13338 | B-13 | V | 68.822 | 122.97 | 44.015 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.30 | 1.00 | 0.30 | 0.25 |
| 359 | 9627 | D-10 | ■ | 48.633 | 96.571 | 44.463 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.92 | 0.80 | 0.20 | 0.19 |
| 360 | 12283 | D-10 | V | 43.664 | 97.208 | 43.635 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.00 | 0.91 | 0.14 | 0.23 |
| 361 | 8552 | D-10 | V | 46.131 | 93.029 | 43.576 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.00 | 0.70 | 0.20 | 0.17 |
| 362 | 8520 | D-10 | V | 46.259 | 93.913 | 43.968 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.70 | 0.60 | 0.10 | 0.04 |
| 363 | 8575 | D-10 | V | 45.834 | 94.83 | 43.905 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.90 | 0.90 | 0.30 | 0.27 |
| 364 | 8652 | D-10 | V | 45.902 | 96.126 | 43.957 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.80 | 0.80 | 0.30 | 0.22 |
| 365 | 12476 | D-10 | V | 43.745 | 93.989 | 43.817 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.90 | 0.70 | 0.15 | 0.13 |
| 366 | 12677 | D-10 | V | 47.015 | 93.743 | 43.477 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.70 | 0.50 | 0.18 | 0.08 |
| 367 | 4763 | D-10 | V | 46.116 | 93.753 | 44.442 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.10 | 0.80 | 0.20 | 0.14 |
| 368 | 7448 | D-8 | V | 49.506 | 84.386 | 43.743 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.90 | 0.70 | 0.20 | 0.07 |
| 369 | 7496 | C-10 | V | 52.267 | 93.209 | 44.106 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.90 | 0.90 | 0.30 | 0.23 |
| 370 | 7151 | D-10 | V | 49.574 | 98.453 | 44.297 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.80 | 0.90 | 0.20 | 0.14 |
| 371 | 10290 | D-10 | V | 43.304 | 98.136 | 43.986 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.80 | 0.70 | 0.12 | 0.07 |
| 372 | 13063 | E-11 | V | 34.023 | 109.29 | 44.182 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.73 | 1.00 | 0.21 | 0.16 |
| 373 | 13611 | C-13 | V | 51.364 | 126.134 | 44.349 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.03 | 0.55 | 0.20 | 0.13 |
| 374 | 10048 | D-10 | V | 46.963 | 96.641 | 44.082 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.90 | 1.00 | 0.20 | 0.17 |
| 375 | 12330 | D-10 | V | 44.282 | 96.71 | 43.67 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.90 | 0.80 | 0.20 | 0.13 |
| 376 | 12566 | D-10 | V | 47.143 | 93.263 | 43.409 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.55 | 0.60 | 0.14 | 0.04 |
| 377 | 13447 | D-13 | V | - | - | - | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.65 | 0.70 | 0.15 | 0.07 |
| 378 | 7950 | D-10 | V | 48.053 | 94.576 | 44.105 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.79 | 0.90 | 0.14 | 0.11 |
| 379 | 8268 | D-10 | V | 49.038 | 93.913 | 43.892 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 0.56 | 0.85 | 0.22 | 0.09 |
| 380 | 8538 | D-10 | V | 48.977 | 95.129 | 43.793 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.50 | 0.80 | 0.20 | 0.28 |
| 381 | 8603 | D-10 | V | 45.791 | 95.833 | 43.802 | 砸石片 | - | 上手磨打砸石 | 1.00 | 0.80 | 0.10 | 0.08 |

第14表 旧石器時代の石器 観察表(5)

| 番号 | 部類 | 出土場所 | 層 | 遺物種別 | | 分類 | 石材 | 直大高 (cm) | 直大幅 (cm) | 直大厚 (cm) | 質 |
|-----|-------|------|---|--------|---------|--------|----|-------------|-------------|-------------|------|
| | | | | 下層種 | 上層種 | | | | | | |
| 382 | 8602 | D-10 | V | 45.307 | 98.000 | 43.807 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 383 | 11933 | D-10 | V | 44.292 | 97.122 | 43.777 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 384 | 11930 | D-10 | V | 33.043 | 99.443 | 43.788 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 385 | 11605 | D-10 | V | 44.349 | 97.511 | 43.811 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 386 | 12954 | B-13 | V | 53.341 | 125.959 | 44.342 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 387 | 5629 | D-10 | V | 47.234 | 98.662 | 44.382 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 388 | 4965 | D-10 | V | 47.076 | 95.368 | 44.518 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 389 | 14600 | E-15 | M | 34.258 | 97.189 | 44.512 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 390 | 5640 | M-8 | V | 45.000 | 98.313 | 43.813 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 391 | 9115 | C-10 | V | 53.173 | 98.513 | 44.041 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 392 | 7995 | D-01 | V | 47.238 | 98.938 | 44.116 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 393 | 12747 | A-13 | V | 70.068 | 124.382 | 44.112 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 394 | 13759 | C-7 | V | 57.596 | 96.332 | 43.788 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 395 | 9454 | D-10 | V | 48.881 | 98.091 | 43.834 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 396 | 10311 | D-10 | V | 43.61 | 98.713 | 43.982 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 397 | 9134 | D-10 | B | 47.529 | 98.272 | 44.149 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 398 | 12318 | D-10 | V | 46.259 | 94.297 | 43.609 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 399 | 9087 | D-10 | V | 47.077 | 95.533 | 43.738 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 400 | 9519 | D-10 | B | 48.3 | 98.812 | 43.509 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 401 | 9271 | D-10 | V | 42.84 | 98.604 | 44.029 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 402 | 9439 | D-10 | B | 46.036 | 93.806 | 43.692 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 403 | 8836 | D-10 | B | 45.54 | 93.592 | 43.799 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 404 | 5384 | D-10 | B | 46.012 | 93.597 | 44.537 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 405 | 12029 | D-10 | V | 44.849 | 98.56 | 43.706 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 406 | 11923 | B-10 | V | 43.121 | 98.975 | 43.778 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 407 | 9961 | D-10 | V | 46.588 | 96.754 | 44.175 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 408 | 8033 | D-10 | V | 42.253 | 98.742 | 44.175 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 409 | 8192 | D-10 | V | 42.789 | 99.022 | 44.063 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 410 | 8165 | D-10 | B | 47.122 | 94.387 | 44.129 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 411 | 10480 | D-10 | V | 45.283 | 97.534 | 43.916 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 412 | 11484 | D-10 | V | 44.24 | 99.861 | 43.878 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 413 | 7275 | B-10 | V | 43.216 | 97.716 | 44.096 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 414 | 10618 | D-10 | V | 43.818 | 98.977 | 43.973 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 415 | 11337 | B-10 | V | 42.831 | 98.19 | 43.911 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 416 | 8748 | B-10 | V | 67.33 | 95.096 | 43.774 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 417 | 10085 | D-10 | V | 46.635 | 96.506 | 43.961 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 418 | 8971 | D-10 | V | 42.615 | 98.519 | 44.083 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 419 | 12824 | A-13 | V | 71.227 | 125.161 | 44.093 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 420 | 5423 | B-9 | V | 37.187 | 98.759 | 44.333 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 421 | 10116 | D-10 | V | 43.961 | 97.407 | 44.03 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 422 | 8338 | D-10 | B | 44.456 | 95.831 | 43.977 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 423 | 4848 | C-11 | B | 54.528 | 100.461 | 44.398 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 424 | 10110 | D-10 | V | 43.775 | 97.459 | 44.021 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 425 | 7613 | D-10 | B | 46.636 | 93.346 | 44.158 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 426 | 4820 | D-10 | B | 49.459 | 95.109 | 44.412 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 427 | 12678 | D-10 | V | 47.041 | 98.068 | 43.829 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 428 | 12448 | D-10 | V | 40.944 | 95.395 | 43.576 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 429 | 14158 | E-15 | V | 34.442 | 108.900 | 44.3 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 430 | 10976 | D-10 | V | 44.517 | 98.38 | 43.877 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 431 | 7354 | B-10 | V | 63.967 | 91.761 | 43.789 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 432 | 9831 | D-10 | B | 44.634 | 96.821 | 44.206 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 433 | 14622 | E-15 | V | 35.027 | 148.374 | 43.933 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 434 | 12533 | A-13 | B | 70.524 | 123.536 | 44.279 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 435 | 10501 | E-15 | V | 36.002 | 108.563 | 44.475 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 436 | 7049 | D-10 | B | 48.728 | 98.144 | 44.379 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 437 | 8649 | D-10 | V | 47.194 | 94.501 | 43.874 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 438 | 8828 | D-10 | V | 48.143 | 98.608 | 43.808 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 439 | 13825 | D-09 | V | 51.386 | 98.645 | 44.143 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 440 | 11608 | D-10 | B | 43.084 | 93.001 | 43.873 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 441 | 12809 | A-13 | V | 70.374 | 125.046 | 44.081 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 442 | 11714 | D-09 | V | 42.697 | 95.113 | 43.805 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 443 | 12809 | B-13 | V | 44.274 | 127.737 | 44.987 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 444 | 10853 | D-10 | V | 43.926 | 97.000 | 43.911 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 445 | 7480 | C-10 | B | 30.07 | 94.307 | 44.155 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 446 | 12828 | D-10 | V | 45.121 | 96.56 | 43.779 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 447 | 12612 | D-10 | V | 45.259 | 99.619 | 43.523 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 448 | 10767 | D-10 | V | 47.722 | 96.507 | 43.982 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 449 | 8109 | C-11 | B | 53.286 | 100.953 | 44.116 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 450 | 14294 | B-16 | V | 34.022 | 150.294 | 44.127 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 451 | 9853 | D-10 | B | 43.272 | 96.978 | 44.192 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 452 | 4788 | D-10 | V | 47.652 | 94.389 | 44.632 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 453 | 8253 | D-10 | V | 47.003 | 95.665 | 43.984 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 454 | 11199 | B-11 | V | 32.658 | 100.014 | 43.948 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 455 | 7010 | D-10 | V | 46.229 | 91.981 | 43.808 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 456 | 12186 | D-13 | V | 44.081 | 124.82 | 43.687 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 457 | 12557 | A-13 | V | 70.4 | 125.930 | 44.206 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 458 | 12337 | D-12 | B | 46.811 | 119.234 | 43.619 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 459 | 11032 | D-10 | V | 42.571 | 97.119 | 43.895 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 460 | 10003 | D-10 | V | 44.043 | 97.184 | 44.112 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 461 | 14330 | E-15 | V | 35.862 | 148.181 | 44.207 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 462 | 8941 | D-10 | B | 46.127 | 93.912 | 43.811 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |
| 463 | 10118 | D-10 | V | 44.206 | 97.519 | 44.012 | 砾石 | - | 1.7 | 0.46 | 0.96 |

第15表 旧石器時代の石器 観察表(6)

| 部品 | 部品番号 | 取上番号 | 出土地 | 器 | 構造面 | | | 埋置 | 分類 | 石材 | 最大長 (cm) | 最大幅 (cm) | 最大厚 (cm) | 重量 (g) |
|----|------|-------|------|---|--------|---------|--------|-----|----|----------|-------------|-------------|-------------|-----------|
| | | | | | X座標 | Y座標 | Z座標 | | | | | | | |
| | 484 | 9197 | D-10 | V | 45.708 | 96.606 | 44.265 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.50 | 1.30 | 0.80 | 0.78 |
| | 495 | 14238 | E-15 | V | 35.080 | 148.023 | 44.253 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.80 | 1.20 | 0.80 | 0.86 |
| | 496 | 12167 | D-13 | V | 47.423 | 125.316 | 43.602 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.21 | 1.29 | 0.38 | 0.48 |
| | 497 | 12974 | B-13 | V | 65.787 | 129.609 | 44.231 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.20 | 1.40 | 0.30 | 0.49 |
| | 498 | 8079 | D-10 | V | 47.537 | 93.686 | 43.913 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.40 | 1.40 | 0.40 | 0.56 |
| | 499 | 14214 | E-15 | V | 35.009 | 148.604 | 44.175 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.70 | 1.30 | 0.50 | 1.31 |
| | 500 | 14348 | E-15 | V | 36.176 | 147.302 | 44.227 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.50 | 1.30 | 0.30 | 0.53 |
| | 501 | 5266 | D-11 | ■ | 47.266 | 100.625 | 44.514 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.70 | 1.30 | 0.50 | 0.97 |
| | 502 | 12064 | C-11 | V | 50.804 | 100.230 | 43.999 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.70 | 1.70 | 0.55 | 1.69 |
| | 503 | 11774 | D-10 | ■ | 40.11 | 97.85 | 44.272 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.70 | 1.90 | 0.50 | 1.44 |
| | 504 | 7786 | D-10 | V | 44.275 | 92.578 | 44.143 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.80 | 1.40 | 0.30 | 0.96 |
| | 505 | 12128 | D-12 | V | 47.001 | 116.141 | 43.501 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.82 | 1.90 | 0.45 | 1.70 |
| | 506 | 8059 | D-10 | V | 44.263 | 98.000 | 44.117 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.50 | 1.30 | 0.40 | 0.83 |
| | 507 | 8215 | D-14 | V | 44.225 | 138.436 | 44.499 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.90 | 1.80 | 0.50 | 1.28 |
| | 508 | 7204 | D-11 | V | 44.404 | 104.019 | 44.451 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.80 | 1.70 | 0.40 | 1.41 |
| | 509 | 9144 | B-10 | V | 68.051 | 94.883 | 43.642 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 2.02 | 1.98 | 0.52 | 1.52 |
| | 510 | 5491 | D-8 | V | 48.071 | 75.304 | 44.222 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 2.50 | 2.40 | 0.75 | 4.48 |
| | 511 | 7652 | D-10 | V | 47.537 | 95.562 | 44.101 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.61 | 1.67 | 0.49 | 1.29 |
| | 512 | 9861 | D-10 | V | 44.255 | 96.625 | 44.243 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.60 | 1.90 | 0.50 | 1.01 |
| | 513 | 12854 | B-13 | V | 69.635 | 123.281 | 44.208 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.50 | 1.20 | 0.40 | 0.73 |
| | 514 | 11415 | D-10 | V | 43.502 | 98.482 | 43.883 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.20 | 1.30 | 0.20 | 0.23 |
| | 515 | - | D-14 | V | - | - | - | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 2.20 | 1.80 | 0.80 | 3.08 |
| | 516 | 9465 | D-10 | V | 45.687 | 97.78 | 43.982 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.60 | 1.50 | 0.70 | 1.23 |
| | 517 | 13158 | D-13 | V | 42.834 | 121.897 | 44.536 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.27 | 1.39 | 0.34 | 0.60 |
| | 518 | 13304 | B-13 | V | 68.006 | 125.681 | 44.257 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.50 | 1.80 | 0.60 | 1.46 |
| | 519 | 11905 | D-10 | V | 45.091 | 96.227 | 43.721 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 0.90 | 1.10 | 0.33 | 0.34 |
| | 520 | 13377 | C-13 | V | - | - | - | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.50 | 1.60 | 0.50 | 1.10 |
| | 521 | 13370 | C-13 | V | - | - | - | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.90 | 1.40 | 0.50 | 1.02 |
| | 522 | 12220 | D-12 | V | 42.807 | 116.623 | 43.429 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.91 | 1.45 | 3.02 | 0.42 |
| | 523 | 12322 | D-10 | V | 46.673 | 93.980 | 43.597 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.80 | 1.30 | 0.40 | 0.77 |
| | 524 | 6598 | D-13 | V | 48.462 | 122.976 | 44.681 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.00 | 1.50 | 0.30 | 0.43 |
| | 525 | 8769 | D-10 | V | 45.933 | 93.201 | 43.922 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.07 | 1.14 | 0.31 | 0.36 |
| | 526 | 7805 | D-10 | V | 46.221 | 94.239 | 44.093 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.10 | 1.30 | 0.30 | 0.39 |
| | 527 | 10406 | C-11 | V | 52.758 | 104.038 | 44.056 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.90 | 1.30 | 0.50 | 1.15 |
| | 528 | 12778 | D-10 | V | 43.279 | 98.058 | 44.186 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 2.10 | 1.30 | 0.40 | 0.76 |
| | 529 | 6372 | D-11 | V | 41.756 | 100.306 | 44.247 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.50 | 2.40 | 0.70 | 2.58 |
| | 530 | 8380 | D-10 | V | 45.792 | 95.881 | 43.961 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.70 | 1.30 | 0.60 | 0.95 |
| | 531 | 14092 | E-15 | V | 33.801 | 148.33 | 44.286 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.80 | 1.80 | 0.50 | 1.33 |
| | 532 | 10195 | D-10 | V | 44.074 | 97.743 | 43.972 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.50 | 1.50 | 0.40 | 0.40 |
| | 533 | 14165 | D-10 | V | 47.000 | 92.000 | 44.453 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.70 | 1.60 | 0.40 | 1.47 |
| | 534 | 14449 | C-10 | V | 53.847 | 95.744 | 44.241 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 2.00 | 1.40 | 0.50 | 1.25 |
| | 535 | 8799 | D-10 | V | 45.286 | 96.911 | 44.084 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.20 | 1.50 | 0.30 | 0.48 |
| | 536 | 8212 | D-14 | V | 45.024 | 127.376 | 44.553 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 2.00 | 1.90 | 0.70 | 2.02 |
| | 537 | 1970 | D-10 | V | 48.777 | 95.084 | 44.324 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.10 | 1.20 | 0.40 | 0.44 |
| | 538 | 11454 | D-10 | V | 43.246 | 98.049 | 43.888 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.20 | 1.20 | 0.40 | 0.49 |
| | 539 | 8477 | D-10 | V | 45.215 | 96.16 | 44.041 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.20 | 1.00 | 0.40 | 0.43 |
| | 540 | 10164 | D-10 | V | 42.827 | 97.326 | 44.028 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.20 | 1.70 | 0.40 | 0.69 |
| | 541 | 12705 | B-13 | V | 69.875 | 121.944 | 44.292 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.48 | 1.20 | 0.32 | 0.65 |
| | 542 | 4295 | D-10 | ■ | 43.009 | 95.769 | 44.54 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.40 | 1.30 | 0.40 | 0.48 |
| | 543 | 5445 | D-10 | V | 47.225 | 95.33 | 44.273 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.50 | 1.30 | 0.30 | 0.64 |
| | 544 | 12231 | D-13 | V | 33.666 | 122.87 | 43.598 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.20 | 1.40 | 0.60 | 0.78 |
| | 545 | 12779 | A-13 | V | 70.229 | 128.751 | 44.113 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.30 | 1.60 | 0.38 | 0.83 |
| | 546 | 9993 | D-10 | V | 42.842 | 97.451 | 44.113 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.00 | 1.24 | 0.36 | 0.55 |
| | 547 | 13466 | - | V | - | - | - | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.50 | 1.30 | 0.36 | 0.96 |
| | 548 | 11625 | D-10 | V | 43.293 | 96.294 | 43.918 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.21 | 1.19 | 0.42 | 0.51 |
| | 549 | 13080 | B-13 | V | 69.787 | 124.197 | 43.979 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.10 | 1.00 | 0.30 | 0.24 |
| | 550 | 12153 | D-13 | V | 46.307 | 120.227 | 43.571 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.10 | 1.20 | 0.30 | 0.20 |
| | 551 | 12230 | D-13 | V | 43.464 | 122.305 | 43.621 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.23 | 1.08 | 0.30 | 0.35 |
| | 552 | 5013 | D-10 | V | 45.637 | 94.643 | 44.403 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.07 | 1.12 | 0.38 | 0.35 |
| | 553 | 6892 | D-10 | V | 44.42 | 95.245 | 43.878 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 0.90 | 1.20 | 0.30 | 0.37 |
| | 554 | 9999 | C-11 | V | 53.449 | 104.866 | 44.118 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.20 | 1.10 | 0.30 | 0.45 |
| | 555 | 10440 | D-10 | V | 44.269 | 97.619 | 43.941 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.60 | 1.80 | 0.60 | 1.42 |
| | 556 | 8700 | D-10 | V | 43.314 | 98.978 | 44.116 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.50 | 1.30 | 0.50 | 0.80 |
| | 557 | 7136 | D-10 | V | 46.367 | 96.659 | 44.277 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.60 | 1.40 | 0.40 | 0.91 |
| | 558 | 7107 | D-10 | V | 43.035 | 98.319 | 44.353 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.70 | 1.30 | 0.40 | 0.84 |
| | 559 | 8223 | D-14 | V | 45.087 | 126.386 | 44.452 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.70 | 1.40 | 0.50 | 0.82 |
| | 560 | 8045 | D-10 | V | 43.069 | 98.019 | 44.167 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.80 | 1.50 | 0.40 | 0.94 |
| | 561 | - | E-17 | ■ | - | - | - | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.60 | 1.40 | 0.40 | 0.70 |
| | 562 | 6440 | F-13 | V | 27.063 | 123.537 | 44.908 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.30 | 2.20 | 0.50 | 1.80 |
| | 563 | 11317 | D-10 | V | 43.083 | 98.033 | 43.882 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.50 | 1.30 | 0.40 | 0.66 |
| | 564 | 8647 | D-10 | V | 46.669 | 94.342 | 43.871 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.40 | 1.30 | 0.40 | 0.53 |
| | 565 | 1627 | C-16 | ■ | 54.955 | 150.098 | 43.702 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.70 | 1.10 | 0.40 | 0.39 |
| | 566 | 7950 | D-10 | V | 48.053 | 94.576 | 44.105 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.20 | 1.20 | 0.40 | 0.58 |
| | 567 | 9129 | E-10 | V | 39.685 | 91.973 | 44.156 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 0.90 | 1.20 | 0.30 | 0.26 |
| | 568 | 9866 | D-10 | V | 44.352 | 96.914 | 44.244 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.10 | 1.10 | 0.40 | 0.53 |
| | 569 | 10885 | D-10 | V | 45.942 | 97.137 | 43.867 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 0.73 | 1.06 | 0.25 | 0.26 |
| | 570 | 6527 | C-11 | V | 50.405 | 106.223 | 44.506 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 2.20 | 1.20 | 0.40 | 0.83 |
| | 571 | 6246 | D-10 | ■ | 45.922 | 93.379 | 44.541 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 2.16 | 1.16 | 0.35 | 0.97 |
| | 572 | 5361 | D-13 | V | 42.485 | 129.535 | 44.664 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 2.50 | 2.60 | 0.60 | 3.37 |
| | 573 | 8760 | B-10 | V | 68.965 | 94.361 | 43.971 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.78 | 2.04 | 0.51 | 1.31 |
| | 574 | 12629 | A-13 | V | 70.815 | 126.625 | 44.177 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.51 | 1.74 | 0.54 | 1.49 |
| | 575 | 13254 | B-13 | V | 62.377 | 124.212 | 44.204 | 495 | - | 1.7倍の3面石 | 1.75 | 1.47 | 0.36 | 0.98 |

第16表 旧石器時代の石器 観察表(7)

| 器種 | 器形 | 出土場所 | 出土区 | 番 | 重複度 | | 基準 | 分類 | 石材 | 最大長 (cm) | 最大幅 (cm) | 最大厚 (cm) | 重量 g |
|-----|-------|------|-----|--------|---------|--------|----|----|---------|-------------|-------------|-------------|---------|
| | | | | | 1重複 | 2重複 | | | | | | | |
| 346 | 12940 | B13 | V | 53.695 | 124.21 | 44.27 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.50 | 1.20 | 0.30 | 0.43 |
| 547 | 7446 | C9 | V | 50.713 | 84.659 | 44.007 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.33 | 0.92 | 0.39 | 0.47 |
| 548 | 4021 | E10 | B | 37.655 | 94.646 | 44.585 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.00 | 1.60 | 0.30 | 0.51 |
| 549 | 5063 | D10 | B | 45.984 | 93.886 | 44.337 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.00 | 1.30 | 0.50 | 0.43 |
| 550 | 4899 | C12 | B | 32.079 | 113.954 | 44.637 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.30 | 1.50 | 0.30 | 0.48 |
| 551 | 6333 | D10 | B | 47.073 | 97.565 | 44.501 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.10 | 1.30 | 0.40 | 0.60 |
| 552 | 7843 | C8 | V | 51.349 | 79.014 | 43.784 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.20 | 1.60 | 0.40 | 0.71 |
| 553 | 11436 | B10 | V | 42.63 | 98.148 | 43.87 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.00 | 1.20 | 0.60 | 0.60 |
| 554 | 5074 | D10 | B | 46.535 | 93.109 | 43.308 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.00 | 1.50 | 0.50 | 0.63 |
| 555 | 10146 | D10 | V | 42.549 | 98.141 | 43.992 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 0.88 | 1.07 | 0.30 | 0.07 |
| 556 | 11985 | D10 | V | 47.261 | 96.241 | 43.727 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.80 | 1.40 | 0.50 | 1.07 |
| 557 | 6384 | E12 | B | 34.609 | 110.017 | 44.795 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.40 | 1.30 | 0.30 | 0.50 |
| 558 | 4790 | B10 | V | 47.037 | 94.774 | 44.418 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.30 | 1.90 | 0.40 | 0.84 |
| 559 | 12388 | B10 | V | 46.694 | 96.201 | 43.622 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.30 | 1.10 | 0.30 | 0.42 |
| 560 | 7430 | C9 | V | 53.624 | 81.355 | 43.809 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.10 | 1.10 | 0.35 | 0.45 |
| 561 | 8108 | C11 | B | 53.36 | 102.411 | 44.192 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.00 | 1.20 | 0.28 | 0.39 |
| 562 | 8630 | B10 | V | 48.131 | 93.844 | 43.853 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.30 | 1.30 | 0.30 | 0.42 |
| 563 | 9430 | D10 | V | 44.774 | 92.879 | 43.814 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.00 | 1.15 | 0.20 | 0.21 |
| 564 | 12048 | B10 | V | 42.519 | 97.676 | 43.71 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.30 | 1.30 | 0.40 | 0.66 |
| 565 | 6978 | D10 | B | 47.742 | 93.166 | 43.822 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.50 | 1.50 | 0.40 | 0.85 |
| 566 | 17419 | D10 | V | 49.072 | 98.866 | 43.81 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.40 | 1.40 | 0.40 | 0.71 |
| 567 | 10654 | D10 | V | 43.771 | 98.989 | 43.964 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 0.80 | 1.10 | 0.30 | 0.20 |
| 568 | 13873 | D10 | B | 42.467 | 95.409 | 43.745 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.10 | 1.20 | 0.30 | 0.35 |
| 569 | 14349 | E15 | V | 33.286 | 149.737 | 44.008 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 0.60 | 1.50 | 0.30 | 0.31 |
| 570 | 12805 | A13 | V | 70.16 | 126.201 | 44.117 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.03 | 1.27 | 0.35 | 0.46 |
| 571 | 11369 | D10 | V | 42.852 | 98.301 | 43.808 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.11 | 0.93 | 0.26 | 0.25 |
| 572 | 5437 | D10 | B | 44.279 | 95.607 | 44.279 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.08 | 1.19 | 0.30 | 0.29 |
| 573 | 14346 | E16 | V | 33.851 | 150.154 | 44.021 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 0.80 | 1.20 | 0.20 | 0.20 |
| 574 | 14390 | E15 | V | 34.303 | 147.955 | 44.273 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 0.90 | 1.10 | 0.30 | 0.36 |
| 575 | 12696 | A13 | V | 70.057 | 125.816 | 44.116 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.00 | 2.00 | 0.80 | 2.41 |
| 576 | 16208 | D10 | V | 45.42 | 96.644 | 43.953 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.20 | 1.20 | 0.20 | 0.20 |
| 577 | 12965 | B13 | V | 65.175 | 128.281 | 43.438 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.30 | 1.10 | 0.28 | 0.32 |
| 578 | 8480 | B10 | V | 47.780 | 94.308 | 43.614 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.22 | 1.12 | 0.32 | 0.32 |
| 579 | 10650 | D10 | V | 44.109 | 98.127 | 43.912 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.06 | 1.21 | 0.30 | 0.35 |
| 580 | 8490 | D10 | V | 48.132 | 95.571 | 43.829 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.49 | 1.00 | 0.20 | 0.00 |
| 581 | 13817 | D11 | V | 42.634 | 107.105 | 44.153 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.49 | 1.50 | 0.50 | 1.08 |
| 582 | 13548 | C8 | V | 51.171 | 93.893 | 44.035 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.50 | 1.50 | 0.50 | 1.18 |
| 583 | 7590 | B10 | B | 42.706 | 92.524 | 44.106 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.10 | 1.20 | 0.20 | 0.25 |
| 584 | 10687 | D10 | V | 44.849 | 97.205 | 43.889 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.00 | 0.90 | 0.30 | 0.21 |
| 585 | 14587 | E16 | V | 32.607 | 151.781 | 44.096 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.00 | 1.10 | 0.30 | 0.29 |
| 586 | 10466 | D10 | V | 44.429 | 98.008 | 43.934 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.21 | 1.19 | 0.39 | 0.49 |
| 587 | 7955 | B10 | V | 47.974 | 95.015 | 44.054 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 2.29 | 1.40 | 0.40 | 0.73 |
| 588 | 10628 | C11 | V | 51.765 | 100.232 | 43.845 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.20 | 1.10 | 0.20 | 0.21 |
| 589 | 12760 | B10 | V | 43.895 | 93.977 | 43.491 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.79 | 1.20 | 0.50 | 0.92 |
| 590 | 11185 | B10 | V | 42.94 | 98.075 | 43.949 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.10 | 0.90 | 0.20 | 0.16 |
| 591 | 4727 | D10 | B | 46.054 | 91.605 | 43.541 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 2.00 | 1.20 | 0.50 | 0.97 |
| 592 | 4195 | C8 | V | 50.134 | 77.744 | 44.602 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.00 | 1.70 | 0.20 | 0.48 |
| 593 | 7190 | C11 | B | 51.258 | 102.191 | 44.326 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.20 | 1.20 | 0.30 | 0.20 |
| 594 | 14222 | B16 | V | 35.513 | 150.305 | 44.184 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.30 | 1.20 | 0.40 | 0.45 |
| 595 | 8432 | D10 | B | 42.532 | 98.053 | 44.098 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.10 | 1.10 | 0.40 | 0.43 |
| 596 | 14126 | E15 | V | 36.191 | 148.556 | 44.229 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.00 | 1.10 | 0.20 | 0.19 |
| 597 | 3490 | D10 | V | 47.601 | 94.758 | 44.284 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.70 | 1.50 | 0.40 | 1.02 |
| 598 | 8328 | B14 | V | 44.558 | 138.32 | 44.364 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.00 | 1.70 | 0.40 | 1.10 |
| 599 | - | - | - | - | - | - | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.00 | 1.30 | 0.40 | 0.66 |
| 600 | 12147 | D12 | V | 47.009 | 119.395 | 43.434 | 鶴岡 | - | 斜刃凹切端石 | 2.08 | 2.05 | 0.47 | 1.54 |
| 601 | 7438 | C9 | V | 51.237 | 81.457 | 43.949 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.29 | 1.69 | 0.51 | 1.27 |
| 602 | 10625 | D10 | V | 44.505 | 97.239 | 43.906 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.80 | 1.50 | 0.65 | 1.75 |
| 603 | 12792 | A13 | V | 71.083 | 126.122 | 44.101 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.65 | 1.70 | 0.50 | 1.22 |
| 604 | 9121 | D10 | B | 40.34 | 92.454 | 44.434 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 2.10 | 1.10 | 0.40 | 0.89 |
| 605 | 11996 | D10 | V | 42.147 | 97.95 | 43.735 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.00 | 1.10 | 0.30 | 0.34 |
| 606 | 12907 | A13 | V | 70.694 | 124.909 | 44.04 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.00 | 1.00 | 0.30 | 0.30 |
| 607 | 10274 | C11 | V | 50.522 | 100.080 | 43.969 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 0.90 | 1.10 | 0.30 | 0.31 |
| 608 | 12736 | A13 | V | 70.012 | 123.884 | 44.152 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 0.80 | 1.20 | 0.40 | 0.32 |
| 609 | 9922 | D10 | B | 48.897 | 96.291 | 44.234 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.30 | 0.90 | 0.35 | 0.29 |
| 610 | 9782 | D10 | B | 46.003 | 95.455 | 44.455 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 0.80 | 1.10 | 0.40 | 0.29 |
| 611 | 12195 | B13 | V | 45.626 | 120.569 | 43.654 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.00 | 1.30 | 0.40 | 0.47 |
| 612 | 13900 | B12 | V | 45.845 | 112.076 | 44.158 | 鶴岡 | - | 斜刃凹切端石 | 1.00 | 1.19 | 0.28 | 0.35 |
| 613 | 10775 | C10 | V | 51.391 | 99.339 | 43.862 | 鶴岡 | - | 斜刃凹切端石 | 1.10 | 1.10 | 0.30 | 0.41 |
| 614 | 9890 | D10 | B | 47.253 | 97.58 | 44.282 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 0.90 | 1.10 | 0.20 | 0.17 |
| 615 | 12481 | D10 | V | 46.336 | 95.603 | 43.896 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 0.60 | 1.10 | 0.30 | 0.15 |
| 616 | 12488 | A13 | V | 70.228 | 126.178 | 44.231 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 0.93 | 1.23 | 0.24 | 0.36 |
| 617 | 4367 | D10 | B | 46.002 | 95.455 | 44.455 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.73 | 1.26 | 0.28 | 0.41 |
| 618 | 6788 | C8 | V | 51.796 | 79.064 | 43.611 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 0.90 | 1.10 | 0.30 | 0.32 |
| 619 | 6421 | F13 | V | 21.142 | 120.717 | 44.735 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.30 | 1.00 | 0.40 | 0.35 |
| 620 | 5286 | D10 | V | 47.148 | 95.580 | 44.395 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.18 | 1.06 | 0.25 | 0.33 |
| 621 | 10064 | D10 | B | 49.664 | 96.334 | 44.034 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.00 | 2.60 | 0.50 | 1.02 |
| 622 | 11003 | D10 | V | 43.056 | 98.326 | 43.838 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 2.40 | 2.00 | 0.50 | 1.73 |
| 623 | 7667 | D10 | B | 48.95 | 95.628 | 44.116 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.40 | 1.80 | 0.40 | 0.90 |
| 624 | 14237 | B15 | V | 35.048 | 167.871 | 44.299 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 1.80 | 1.50 | 0.50 | 1.15 |
| 625 | 12981 | B13 | V | 31.163 | 127.066 | 44.282 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 2.30 | 1.60 | 0.60 | 2.69 |
| 626 | 13711 | C13 | V | 37.6 | 127.441 | 44.313 | 鶴岡 | - | 上7面凹切端石 | 2.10 | 2.20 | 0.60 | 3.33 |
| 627 | 13001 | C12 | V | 34.528 | 117.43 | 44.374 | 鶴岡 | - | 斜刃凹切端石 | 2.30 | 1.99 | 2.44 | 1.52 |

第17表 旧石器時代の石器 観察表(8)

| 部類 | 種類 | 取上番号 | 出土状況 | 基 | 遺物概要 | | | 埋置 | 分類 | 石材 | 長さ(ミリ) | 幅(ミリ) | 厚さ(ミリ) | 重さ(グラム) |
|-----|-----|-------|------|---|--------|---------|--------|-----|----|---------|--------|-------|--------|---------|
| | | | | | X座標 | Y座標 | Z座標 | | | | | | | |
| K5 | 628 | 6451 | A-13 | B | 71.005 | 122.828 | 44.692 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 2.36 | 2.60 | 0.73 | 3.61 |
| | 629 | 8330 | D-11 | V | 41.745 | 108.116 | 44.338 | 495 | - | 斜面磨擦石 | 2.30 | 2.20 | 0.50 | 2.08 |
| | 630 | 13373 | B-13 | V | - | - | - | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.80 | 1.80 | 0.50 | 1.58 |
| | 631 | 10524 | C-11 | V | 52.096 | 100.277 | 43.903 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.80 | 1.80 | 0.50 | 1.22 |
| | 632 | 10684 | D-10 | V | 44.075 | 97.168 | 43.903 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.90 | 1.70 | 0.60 | 2.02 |
| | 633 | 7978 | D-10 | V | 48.981 | 94.205 | 44.015 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.20 | 1.00 | 0.40 | 0.43 |
| | 634 | 6673 | B-13 | V | 61.194 | 120.548 | 44.325 | 495 | - | 斜面磨擦石 | 1.70 | 1.20 | 0.50 | 0.60 |
| | 635 | 3038 | B-12 | B | 60.832 | 115.618 | 44.717 | 495 | - | 斜面磨擦石 | 2.60 | 1.00 | 0.50 | 1.07 |
| | 636 | 5378 | F-14 | V | 22.823 | 137.474 | 44.552 | 495 | - | 斜面磨擦石 | 2.90 | 2.40 | 0.80 | 5.39 |
| | 637 | 6432 | F-12 | V | 23.3 | 116.808 | 44.908 | 495 | - | 斜面磨擦石 | 2.90 | 2.30 | 0.60 | 2.81 |
| K6 | 638 | 5248 | D-11 | B | 49.372 | 108.227 | 44.616 | 495 | - | 斜面磨擦石 | 2.92 | 2.43 | 1.05 | 5.01 |
| | 639 | 6611 | D-12 | V | 46.059 | 116.655 | 44.742 | 495 | - | 斜面磨擦石 | 2.89 | 2.20 | 0.55 | 3.25 |
| | 640 | 9745 | D-10 | B | 49.199 | 97.642 | 44.414 | 495 | - | 斜面磨擦石 | 3.52 | 1.77 | 0.60 | 3.19 |
| | 641 | 6248 | C-10 | B | 59.781 | 98.372 | 44.388 | 495 | - | 斜面磨擦石 | 3.61 | 2.43 | 0.66 | 4.10 |
| | 642 | 6638 | C-12 | B | 57.714 | 117.333 | 44.398 | 495 | - | 斜面磨擦石 | 3.20 | 1.75 | 0.51 | 2.47 |
| | 643 | 5459 | D-10 | V | 46.771 | 94.264 | 44.205 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 2.60 | 1.30 | 0.50 | 1.00 |
| | 644 | 8324 | D-14 | V | 44.715 | 138.633 | 44.365 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.80 | 2.50 | 0.80 | 3.11 |
| | 645 | 12211 | D-12 | V | 42.808 | 110.091 | 43.488 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.10 | 2.70 | 3.50 | 0.46 |
| | 646 | 10316 | D-10 | V | 44.514 | 98.608 | 43.960 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 2.60 | 1.30 | 0.30 | 1.30 |
| | 647 | 6794 | C-8 | V | 50.705 | 78.774 | 43.72 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.70 | 1.20 | 0.50 | 0.94 |
| K7 | 648 | 7808 | D-10 | V | 48.511 | 95.644 | 44.027 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 2.10 | 1.00 | 0.40 | 0.70 |
| | 649 | 4895 | C-12 | B | 50.857 | 111.098 | 44.665 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 2.10 | 1.30 | 0.60 | 0.85 |
| | 650 | 9256 | D-10 | V | 43.435 | 99.118 | 44.059 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.20 | 0.64 | 0.14 | 0.09 |
| | 651 | 12551 | A-13 | V | 71.371 | 123.898 | 44.243 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.95 | 1.30 | 0.41 | 0.72 |
| | 652 | 10177 | D-10 | V | 43.853 | 97.186 | 43.976 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.20 | 1.05 | 0.35 | 0.33 |
| | 653 | 8770 | D-10 | V | 46.581 | 92.961 | 43.827 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.21 | 0.76 | 0.20 | 0.12 |
| | 654 | 8777 | D-10 | V | 48.293 | 94.858 | 43.818 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.20 | 0.64 | 0.14 | 0.09 |
| | 655 | 4438 | C-10 | B | 50.828 | 91.399 | 44.210 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.20 | 0.90 | 0.20 | 0.22 |
| | 656 | 12037 | D-10 | V | 45.739 | 98.775 | 43.737 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 0.90 | 0.70 | 0.20 | 0.11 |
| | 657 | 6609 | D-13 | B | 44.191 | 126.343 | 44.643 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.00 | 0.90 | 0.30 | 0.19 |
| K8 | 658 | 5456 | D-10 | V | 47.005 | 95.113 | 44.309 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.18 | 0.89 | 0.23 | 0.19 |
| | 659 | 5008 | D-10 | V | 45.280 | 94.158 | 44.392 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.08 | 0.80 | 0.21 | 0.16 |
| | 660 | 1875 | C-17 | V | 53.336 | 163.045 | 43.303 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.14 | 0.57 | 0.15 | 0.07 |
| | 661 | 3332 | B-13 | V | 67.946 | 122.913 | 44.399 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.10 | 0.84 | 0.24 | 0.35 |
| | 662 | 5444 | D-10 | V | 47.411 | 95.308 | 44.298 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.68 | 0.94 | 0.30 | 0.31 |
| | 663 | 12991 | B-13 | V | 63.337 | 126.48 | 44.274 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.75 | 0.80 | 0.22 | 0.14 |
| | 664 | 60042 | D-10 | V | 46.398 | 96.377 | 44.002 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.00 | 1.30 | 0.30 | 0.32 |
| | 665 | 9720 | D-10 | B | 46.395 | 96.375 | 44.526 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.20 | 1.00 | 0.40 | 0.56 |
| | 666 | 10951 | D-10 | V | 44.171 | 97.722 | 44.216 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.22 | 0.62 | 0.30 | 0.16 |
| | 667 | 8288 | D-10 | V | 47.386 | 94.544 | 43.948 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 0.90 | 1.20 | 0.30 | 0.16 |
| K9 | 668 | 10091 | D-10 | V | 45.906 | 96.378 | 43.095 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.04 | 0.80 | 0.30 | 0.21 |
| | 669 | 1186 | C-9 | B | 51.329 | 81.085 | 44.494 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.78 | 1.51 | 0.43 | 1.40 |
| | 670 | 7400 | C-10 | V | 54.094 | 85.684 | 44.085 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 0.90 | 0.90 | 0.19 | 0.05 |
| | 671 | 11459 | D-10 | V | 42.806 | 98.235 | 43.863 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.75 | 0.80 | 0.22 | 0.14 |
| | 672 | - | - | - | - | - | - | - | - | 土手表面磨擦石 | 1.00 | 0.75 | 0.32 | 0.25 |
| | 673 | 5494 | D-10 | V | 47.816 | 95.00 | 44.278 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.34 | 1.04 | 0.34 | 0.42 |
| | 674 | 8972 | D-10 | V | 44.865 | 97.006 | 44.255 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.00 | 1.10 | 0.40 | 0.79 |
| | 675 | 13653 | D-9 | V | 43.521 | 84.4 | 44.145 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.87 | 1.60 | 0.54 | 2.05 |
| | 676 | 14223 | E-16 | V | 36.252 | 150.446 | 44.176 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.70 | 1.10 | 0.30 | 0.51 |
| | 677 | 8467 | D-10 | V | 44.900 | 95.645 | 43.096 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.90 | 1.10 | 0.40 | 0.71 |
| K10 | 678 | 10841 | D-10 | V | 43.438 | 98.227 | 43.948 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 2.10 | 1.00 | 0.30 | 0.44 |
| | 679 | 4292 | B-7 | V | 63.235 | 66.192 | 44.179 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 4.00 | 1.90 | 0.80 | 5.06 |
| | 680 | 9811 | D-10 | B | 49.731 | 96.175 | 44.241 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.50 | 1.10 | 0.30 | 0.49 |
| | 681 | 13194 | A-13 | V | 71.069 | 127.286 | 43.922 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.80 | 1.30 | 0.50 | 0.93 |
| | 682 | 7299 | D-10 | V | 45.207 | 99.298 | 44.215 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 2.40 | 1.40 | 0.70 | 2.02 |
| | 683 | 9952 | D-10 | B | 44.947 | 97.261 | 44.155 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 2.20 | 1.60 | 0.50 | 2.07 |
| | 684 | 10419 | D-10 | V | 42.218 | 98.208 | 43.998 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 2.00 | 1.00 | 0.40 | 0.49 |
| | 685 | 11031 | D-10 | V | 42.604 | 96.773 | 43.938 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 2.00 | 1.70 | 0.40 | 2.08 |
| | 686 | 11515 | D-10 | V | 46.131 | 97.287 | 43.828 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.90 | 2.70 | 0.90 | 3.80 |
| | 687 | 12241 | D-10 | V | 43.285 | 130.859 | 43.475 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 2.50 | 1.70 | 0.50 | 1.54 |
| K11 | 688 | 9885 | D-10 | B | 47.323 | 94.101 | 43.817 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 3.20 | 2.10 | 0.50 | 5.98 |
| | 689 | 14377 | E-15 | V | 33.945 | 147.84 | 44.229 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 2.02 | 0.96 | 0.30 | 0.41 |
| | 690 | 9867 | D-10 | B | 45.925 | 96.718 | 44.366 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.30 | 1.00 | 0.50 | 0.50 |
| | 691 | 7707 | D-10 | B | 47.699 | 92.446 | 44.127 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.49 | 0.80 | 0.40 | 0.32 |
| | 692 | 9147 | B-10 | V | 68.397 | 95.059 | 43.666 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.25 | 0.73 | 0.13 | 0.10 |
| | 693 | 4791 | D-10 | V | 46.745 | 94.556 | 44.437 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.00 | 0.80 | 0.20 | 0.15 |
| | 694 | 7827 | D-10 | B | 48.791 | 92.811 | 44.019 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.10 | 1.30 | 0.18 | 0.17 |
| | 695 | 9242 | D-10 | V | 43.091 | 98.239 | 44.01 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 0.75 | 0.70 | 0.13 | 0.06 |
| | 696 | 14426 | E-15 | V | 33.978 | 148.368 | 44.128 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.44 | 1.49 | 3.91 | 0.79 |
| | 697 | 8264 | D-10 | V | 49.055 | 95.418 | 43.028 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.50 | 1.70 | 0.40 | 0.73 |
| K12 | 698 | 8295 | D-10 | V | 45.963 | 94.224 | 43.974 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 2.30 | 1.50 | 0.40 | 1.11 |
| | 699 | 12088 | B-13 | V | 62.082 | 126.584 | 44.288 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 2.30 | 2.00 | 0.77 | 3.27 |
| | 700 | 9352 | C-10 | V | 52.185 | 99.561 | 43.994 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 0.90 | 1.30 | 0.50 | 0.99 |
| | 701 | 8219 | D-14 | V | 44.362 | 138.65 | 44.556 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.60 | 0.80 | 0.30 | 0.23 |
| | 702 | 7521 | C-8 | V | 52.018 | 76.338 | 43.927 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.40 | 1.20 | 0.40 | 0.49 |
| | 703 | 11265 | D-10 | V | 42.814 | 98.084 | 43.929 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.40 | 1.30 | 0.30 | 0.43 |
| | 704 | 8314 | C-10 | V | 53.309 | 98.083 | 44.087 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.10 | 1.20 | 0.40 | 0.43 |
| | 705 | 9332 | D-10 | V | 43.36 | 99.044 | 44.031 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 0.90 | 0.50 | 0.10 | 0.06 |
| | 706 | 10580 | D-10 | V | 44.864 | 97.069 | 43.895 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.50 | 1.00 | 0.40 | 0.50 |
| | 707 | 13623 | D-12 | V | 43.713 | 113.161 | 44.353 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 1.80 | 1.40 | 0.50 | 0.79 |
| K13 | 708 | 5280 | D-11 | B | 45.753 | 106.261 | 44.621 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 2.20 | 1.60 | 0.40 | 1.37 |
| | 709 | 4139 | D-10 | B | 49.297 | 95.111 | 44.504 | 495 | - | 土手表面磨擦石 | 2.10 | 1.30 | 0.60 | 1.34 |

第18表 旧石器時代の石器 貫察表(9)

| 登録番号 | 登録年 | 出土場所 | 出土地 | 測定値 | | | 基準 | 分類 | 石材 | 長さ (cm) | 幅 (cm) | 厚さ (cm) | 表裏面 (cm) | 裏面 (cm) |
|------|-------|------|------|--------|---------|--------|-----|----|-------|------------|-----------|------------|-------------|------------|
| | | | | 上幅 | 下幅 | 厚 | | | | | | | | |
| 710 | - | - | - | - | - | - | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.00 | 1.40 | 0.90 | 2.45 | - |
| 711 | 11873 | D-10 | V | 44.045 | 99.103 | 43.763 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 3.08 | 2.53 | 1.00 | 3.33 | - |
| 712 | 12975 | B-14 | V | 63.337 | 131.238 | 43.289 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.77 | 1.95 | 0.82 | 3.15 | - |
| 713 | 9338 | D-10 | V | 43.843 | 98.402 | 41.01 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.50 | 2.17 | 0.90 | 2.26 | - |
| 714 | 9338 | C-11 | V | 55.532 | 106.05 | 44.118 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.30 | 1.90 | 0.60 | 2.09 | - |
| 715 | 12970 | B-13 | V | 64.083 | 129.611 | 43.259 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.32 | 1.54 | 0.40 | 1.17 | - |
| 716 | 10504 | G-10 | V | 52.271 | 97.478 | 43.829 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.74 | 1.62 | 0.28 | 3.01 | - |
| 717 | 1257 | G-11 | V | 18.002 | 102.089 | 43.255 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 3.18 | 2.03 | 0.57 | 3.56 | - |
| 718 | 7417 | G-10 | V | 51.805 | 90.428 | 41.07 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 3.10 | 1.90 | 1.30 | 3.37 | - |
| 719 | 12182 | B-14 | V | 47.851 | 131.216 | 43.527 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.50 | 2.30 | 1.20 | 3.08 | - |
| 720 | - | - | - | - | - | - | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.80 | 1.80 | 0.40 | 1.66 | - |
| 721 | 8743 | B-10 | V | 64.705 | 94.518 | 43.977 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.54 | 0.90 | 0.25 | 0.23 | - |
| 722 | 3579 | C-9 | ■ | 56.8 | 89.277 | 43.293 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 4.70 | 3.80 | 1.90 | 32.03 | - |
| 723 | 13179 | D-14 | V | 49.38 | 131.26 | 44.239 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 5.40 | 4.80 | 10.80 | 21.80 | - |
| 724 | 12290 | C-12 | V | 52.232 | 133.032 | 43.355 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.51 | 1.18 | 0.42 | 0.67 | - |
| 725 | 5933 | B-8 | V | 42.551 | 71.49 | 41.153 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.29 | 1.16 | 0.34 | 0.45 | - |
| 726 | 6688 | A-7 | ■ | 70.32 | 83.893 | 43.339 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.10 | 2.00 | 0.70 | 1.14 | - |
| 727 | 13835 | C-12 | V | 56 | 123.777 | 42.428 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.20 | 1.40 | 0.50 | 3.64 | - |
| 728 | 5463 | B-10 | N | 46.578 | 94.177 | 41.29 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.10 | 1.20 | 0.30 | 3.88 | - |
| 729 | 12934 | B-13 | V | 69.697 | 122.221 | 42.209 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.20 | 1.50 | 0.50 | 1.31 | - |
| 730 | 11809 | D-10 | V | 43.095 | 98.688 | 43.781 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.80 | 1.50 | 0.40 | 1.24 | - |
| 731 | 10369 | C-10 | V | 52.082 | 89.483 | 43.94 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.30 | 1.50 | 0.30 | 0.81 | - |
| 732 | 8938 | D-10 | N | 45.042 | 93.473 | 43.839 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.60 | 0.90 | 0.40 | 0.39 | - |
| 733 | 7266 | D-10 | N | 47.815 | 94.887 | 43.178 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.30 | 1.60 | 0.00 | 1.72 | - |
| 734 | 14518 | E-15 | V | 37.167 | 149.5 | 41.07 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.10 | 1.90 | 0.60 | 2.00 | - |
| 735 | 12585 | C-11 | V | 50.825 | 103.076 | 43.834 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.80 | 1.80 | 0.30 | 0.90 | - |
| 736 | 12492 | B-13 | N | 69.96 | 125.539 | 43.248 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.96 | 1.28 | 0.36 | 0.76 | - |
| 737 | 12346 | D-10 | V | 47.688 | 96.728 | 43.633 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.50 | 1.30 | 0.50 | 0.82 | - |
| 738 | 1825 | B-16 | N | 61.279 | 158.593 | 43.984 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.90 | 1.80 | 0.60 | 1.14 | - |
| 739 | 4878 | C-11 | ■ | 50.271 | 107.881 | 43.731 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.82 | 2.43 | 0.75 | 4.38 | - |
| 740 | 6413 | B-13 | N | 69.033 | 123.173 | 44.886 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.80 | 1.00 | 0.30 | 0.51 | - |
| 741 | 9873 | D-10 | N | 44.1 | 97.292 | 41.191 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.70 | 1.60 | 0.50 | 1.05 | - |
| 742 | 5451 | D-10 | V | 46.818 | 93.378 | 43.266 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.00 | 1.20 | 0.40 | 0.60 | - |
| 743 | 8602 | C-12 | V | 54.708 | 122.036 | 43.865 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 3.60 | 2.50 | 0.50 | 4.66 | - |
| 744 | 11520 | D-10 | V | 46.537 | 97.923 | 43.827 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.60 | 1.40 | 0.30 | 0.99 | - |
| 745 | 11320 | D-10 | V | 41.915 | 98.466 | 43.945 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 0.90 | 1.30 | 0.30 | 0.29 | - |
| 746 | - | - | - | - | - | - | チート | - | 斜尾光面石 | 0.30 | 1.70 | 0.60 | 36.66 | - |
| 747 | 9470 | R-10 | S-11 | 85.18 | 124.325 | 43.289 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.80 | 1.20 | 0.40 | 1.40 | - |
| 748 | 6664 | C-12 | V | 53.942 | 119.657 | 44.003 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 3.10 | 1.40 | 0.60 | 2.02 | - |
| 749 | 6452 | F-13 | V | 23.981 | 121.300 | 44.888 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 4.20 | 2.00 | 0.63 | 4.85 | - |
| 750 | 5963 | D-11 | B-11 | 49.718 | 103.230 | 44.112 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.00 | 1.94 | 0.50 | 1.99 | - |
| 751 | 9971 | D-10 | N | 68.849 | 96.665 | 43.096 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.68 | 1.58 | 0.41 | 1.88 | - |
| 752 | 11801 | C-11 | V | 37.73 | 105.844 | 44.2 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 3.00 | 1.83 | 0.51 | 2.75 | - |
| 753 | 3389 | C-13 | N | 50.986 | 127.033 | 44.658 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.00 | 1.40 | 0.49 | 0.71 | - |
| 754 | 3339 | F-14 | V | 50.758 | 138.844 | 44.8 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 6.20 | 3.40 | 1.30 | 20.76 | - |
| 755 | 13075 | A-13 | V | 70.875 | 123.008 | 43.938 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.70 | 1.00 | 0.30 | 0.51 | - |
| 756 | 7342 | B-11 | N | 43.187 | 100.363 | 44.263 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.81 | 2.13 | 0.90 | 3.92 | - |
| 757 | 13427 | C-14 | V | - | - | - | チート | - | 斜尾光面石 | 5.60 | 3.60 | 0.90 | 15.29 | - |
| 758 | 788 | G-15 | ■ | 14.41 | 142.122 | 44.995 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 4.45 | 4.40 | 0.80 | 14.08 | - |
| 759 | - | - | - | - | - | - | チート | - | 斜尾光面石 | 1.46 | 1.09 | 0.29 | 0.59 | - |
| 760 | 7718 | D-10 | V | 48.296 | 93.554 | 43.993 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.46 | 1.09 | 0.29 | 0.59 | - |
| 761 | 3586 | C-13 | N | 57.375 | 127.973 | 44.457 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.30 | 1.00 | 0.50 | 0.79 | - |
| 762 | - | - | - | - | - | - | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.70 | 1.05 | 0.38 | 0.55 | - |
| 763 | 10962 | D-10 | V | 43.472 | 98.394 | 43.931 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.70 | 0.90 | 0.40 | 0.55 | - |
| 764 | - | - | - | - | - | - | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.65 | 1.02 | 0.29 | 0.55 | - |
| 765 | 8084 | D-10 | N | 45.662 | 97.757 | 44.131 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.77 | 1.20 | 0.31 | 0.66 | - |
| 766 | 5129 | D-10 | ■ | 47.743 | 90.736 | 44.283 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 1.70 | 1.38 | 0.74 | 0.97 | - |
| 767 | 12679 | D-10 | V | 47.36 | 94.043 | 43.421 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.35 | 1.46 | 0.35 | 1.10 | - |
| 768 | 9387 | D-10 | V | 44.895 | 97.974 | 43.987 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.38 | 1.61 | 0.36 | 1.30 | - |
| 769 | 13849 | B-11 | V | 66.116 | 107.312 | 43.8 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.34 | 2.03 | 0.69 | 4.40 | - |
| 770 | 1032 | G-8 | V | 44.845 | 97.732 | 43.93 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 0.10 | 4.50 | 2.40 | 69.38 | - |
| 771 | 7328 | C-8 | N | 53.081 | 79.378 | 43.936 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 0.60 | 2.70 | 8.90 | 13.33 | - |
| 772 | 5107 | D-10 | V | 48.413 | 91.823 | 43.329 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 4.00 | 1.90 | 0.70 | 3.55 | - |
| 773 | 6644 | D-8 | N | 43.475 | 74.513 | 43.439 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 4.20 | 3.20 | 1.10 | 10.14 | - |
| 774 | 6531 | D-11 | V | 45.666 | 109.116 | 44.72 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.50 | 1.60 | 0.50 | 1.30 | - |
| 775 | 5296 | C-9 | N | 38.832 | 86.394 | 43.152 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 5.60 | 3.10 | 1.20 | 18.58 | - |
| 776 | 6665 | D-9 | V | 46.715 | 81.51 | 43.37 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 4.8 | 3.4 | 0.8 | 9.26 | - |
| 777 | 5382 | F-6 | V | 21.39 | 59.684 | 41.86 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.73 | 2.21 | 1.13 | 6.02 | - |
| 778 | 1925 | C-17 | ■ | 37.097 | 106.193 | 43.188 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.70 | 2.10 | 1.10 | 6.81 | - |
| 779 | 10600 | D-11 | V | 41.379 | 104.632 | 43.782 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 4.90 | 4.12 | 1.66 | 36.81 | - |
| 780 | 9648 | D-8 | N | 49.847 | 75.649 | 43.343 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 6.00 | 13.10 | 1.68 | 116.09 | - |
| 781 | 1370 | G-10 | V | 18.669 | 90.293 | 44.493 | 鉄刃 | - | ハリ背骨石 | 3.37 | 6.83 | 0.90 | 15.88 | - |
| 782 | 2084 | F-16 | ■ | 24.081 | 157.321 | 44.28 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.72 | 3.71 | 1.08 | 9.92 | - |
| 783 | 2023 | F-15 | ■ | 30.477 | 149.09 | 44.197 | 鉄刃 | - | 斜尾光面石 | 2.70 | 3.46 | 1.13 | 7.84 | - |
| 784 | 13590 | B-9 | N | 66.691 | 84.041 | 43.969 | 鉄刃 | - | 鉄石 | 3.29 | 2.91 | 0.67 | 6.12 | - |
| 785 | 1458 | E-9 | V | 31.162 | 88.137 | 44.553 | 鉄刃 | - | 鉄石 | 5.14 | 2.27 | 1.08 | 11.10 | - |
| 786 | 800 | G-11 | ■ | 12.17 | 109.691 | 44.74 | 鉄刃 | - | チート | 0.56 | 4.12 | 1.74 | 38.62 | - |
| 787 | 3338 | B-13 | ■ | 61.125 | 124.034 | 44.419 | 次加工 | - | 鉄石 | 1.50 | 3.70 | 1.00 | 6.92 | - |
| 788 | 3485 | B-9 | V | 61.764 | 93.857 | 44.174 | 次加工 | - | チート | 2.10 | 1.30 | 0.80 | 2.08 | - |
| 789 | 3583 | C-10 | ■ | 54.643 | 93.457 | 44.356 | 次加工 | - | 日東御黒石 | 2.30 | 2.7 | 1.4 | 7.34 | - |
| 790 | 876 | G-12 | ■ | 14.859 | 111.385 | 45.03 | 次加工 | - | チート | 2.85 | 3.87 | 1.31 | 10.27 | - |

第19表 旧石器時代の石器 観察表(10)

| 標注番号 | 地質番号 | 取上番号 | 出土区 | 層 | 層位 | | | 基準 | 分類 | 石材 | 最大長 (cm) | 最大幅 (cm) | 厚さ (cm) | 重量 (g) |
|------|-------|------|-----|--------|---------|---------|--------|-------|-------|-------|----------|----------|---------|--------|
| | | | | | X座標 | Y座標 | Z座標 | | | | | | | |
| 94 | 7810 | A-T | | | 70.065 | 67.163 | 44.036 | - | 石器 | 鐵石頭 | 2.20 | 2.40 | 0.60 | 3.00 |
| | - | F-11 | 石 | | - | - | - | - | - | - | 2.84 | 4.72 | 1.08 | 10.41 |
| | 1990 | B-18 | | | 63.176 | 172.853 | 42.651 | - | 石器 | 黑鷲山石 | 2.30 | 1.50 | 0.60 | 1.06 |
| | 780 | G-15 | | | 15.578 | 144.261 | 44.925 | - | 石器 | 黑鷲山石 | 5.93 | 6.99 | 1.10 | 38.76 |
| | 5201 | C-9 | 石 | | 59.429 | 82.249 | 44.054 | - | 石器 | 黑鷲山石 | 2.63 | 3.17 | 0.68 | 6.21 |
| | 2002 | G-15 | | | 14.028 | 141.235 | 44.884 | - | 石器 | 黑鷲山石 | 5.13 | 4.06 | 0.70 | 12.44 |
| 95 | 9008 | D-11 | V | 44.191 | 104.536 | 44.24 | - | ナノ形石器 | 日引 | 日引形石器 | 3.62 | 1.94 | 0.81 | 4.74 |
| | 6729 | B-8 | V | 61.716 | 72.713 | 43.581 | - | ナノ形石器 | 日引形石器 | 1.80 | 0.80 | 0.40 | 0.52 | |
| | 7341 | B-10 | V | 63.478 | 94.355 | 43.536 | - | ナノ形石器 | 日引形石器 | 2.00 | 1.10 | 0.50 | 0.75 | |
| | 7493 | C-9 | V | 53.572 | 80.451 | 43.947 | - | ナノ形石器 | 日引 | 日引 | 5.50 | 1.60 | 1.16 | 9.11 |
| | 1532 | F-10 | V | 27.335 | 98.261 | 43.945 | - | ナノ形石器 | 日引 | 日引 | 2.8 | 1.20 | 0.40 | 1.43 |
| | 4375 | D-7 | 石 | 49.814 | 61.065 | 44.155 | - | ナノ形石器 | 日引形石器 | 3.20 | 1.70 | 1.00 | 4.55 | |
| 96 | 13774 | D-7 | V | 48.363 | 66.186 | 44.054 | - | ナノ形石器 | 日引形石器 | 2.13 | 1.63 | 0.45 | 2.10 | |
| | 2388 | C-9 | V | 55.108 | 85.968 | 44.327 | - | ナノ形石器 | 日引形石器 | 3.17 | 1.77 | 0.64 | 2.98 | |
| | 510 | F-10 | V | 27.022 | 99.021 | 44.675 | 日引 | ナノ形石器 | 日引形石器 | 1.70 | 1.30 | 0.40 | 0.63 | |
| | 6706 | B-7 | V | 63.575 | 68.779 | 43.395 | - | ナノ形石器 | 日引形石器 | 2.07 | 1.30 | 0.69 | 1.71 | |
| | 3244 | C-9 | V | 54.896 | 81.081 | 44.397 | - | ナノ形石器 | 日引形石器 | 2.35 | 1.41 | 0.71 | 2.05 | |
| | 5856 | B-6 | 石 | 65.27 | 58.022 | 43.791 | - | ナノ形石器 | 日引形石器 | 4.55 | 2.14 | 1.33 | 8.56 | |
| 97 | 791 | G-11 | V | 14.299 | 106.182 | 44.805 | - | ナノ形石器 | 日引形石器 | 1.81 | 1.20 | 0.40 | 1.43 | |
| | 518 | B-11 | V | 61.820 | 103.965 | 44.41 | - | ナノ形石器 | 日引形石器 | 2.00 | 1.36 | 0.66 | 3.80 | |
| 98 | 1694 | C-18 | 石 | 52.665 | 170.913 | 43.335 | - | ナノ形石器 | 日引形石器 | 7.00 | 3.20 | 2.51 | 38.04 | |
| | 3731 | B-17 | V | 48.4 | 160.085 | 43.283 | - | ナノ形石器 | 日引形石器 | - | - | - | - | |

第20表 縄文時代の土器 観察表(1)

| 標注番号 | 地質番号 | 取上番号 | 出土区 | 層 | 部位 | 色調 | | 調整・文様 | 土色 | 粘土 | | | | その他の 粘土 | 備考 | |
|------|---|-----------|-------|-----|---------|-----------|----------|--------|------|----|----|----|----|------------|----|---|
| | | | | | | 外面 | 内面 | | | 褐色 | 白色 | 赤色 | 藍色 | 金色 | | |
| 811 | 6521 | C-11 | 石 | 陶器 | に点状・直線 | 6.25×1.9 | 青・白(淡) | 目立たず | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 | |
| | | | | | 107R5-4 | 内 | 朱色 | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 | |
| 812 | 3333-2190 | C-11 | 石 | 1層底 | 陶器 | 12.00×0.5 | 青・白(淡) | 目立たず | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 | |
| 813 | 3334 | B-7 | 石 | 1層底 | 陶器 | 2.5×1.5 | 青・白(淡) | 目立たず | ○ | △ | ○ | △ | △ | △ | 無 | |
| 814 | 3409-3409 | D-8 | V | 陶器 | に点状・直線 | 107R5-4 | 7.23×0.6 | 青・白(淡) | 目立たず | ○ | ○ | ○ | △ | △ | 無 | |
| 815 | 132 | B-14 | 石 | 陶器 | に点状・直線 | 107R5-4 | 内 | 目立たず | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 | |
| 816 | 10009 | B-10 | 石 | 陶器 | 2.5×1.5 | 107R5-4 | 内 | 目立たず | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 | |
| 817 | 6414-7403 | C-9-C-10 | N-8 | 陶器 | に点状・直線 | 7.31R6-3 | 107R5-4 | 内 | 目立たず | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 |
| 818 | 4283 | B-7 | 石 | 陶器 | 直線 | 2.37×0.5 | 7.23R6-5 | 内 | 目立たず | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 |
| 819 | -41-109-7799 | B-C-7-N-8 | 石 | 陶器 | に点状・直線 | 107R5-4 | 内 | 目立たず | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 | |
| 820 | 8406 | D-11 | V | 陶器 | に点状・直線 | 107R5-4 | 内 | 目立たず | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 | |
| 821 | 13086-3286 | B-0-C-2 | ■-■-■ | 陶器 | 直線 | 107R5-4 | 内 | 目立たず | ○ | △ | ○ | ○ | △ | △ | 無 | |
| 822 | 7426 | D-9 | N | 1層底 | 陶器 | に点状・直線 | 107R5-4 | 内 | 目立たず | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 |
| 823 | 3205 | C-8 | 石 | 陶器 | に点状・直線 | 107R5-4 | 内 | 目立たず | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 | |
| 824 | 13718 | B-7 | V | 陶器 | に点状・直線 | 107R6-7 | 107R6-5 | 内 | 目立たず | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 |
| 825 | 4310-4310 | B-7 | V-V | 1層底 | 陶器 | に点状・直線 | 107R6-4 | 内 | 目立たず | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 |
| 826 | 1653-1654 | C-15 | N | 1層底 | 陶器 | 2.5×1.5 | 107R6-4 | 内 | 目立たず | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 |
| 827 | -45-4683-1477 | B-D-10 | N-N- | 陶器 | 直線 | 107R5-4 | 2.5×1.5 | 青・白(淡) | 目立たず | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 |
| 828 | 4708-7088-12273 | D-10 | N-N- | 陶器 | 直線 | 107R5-4 | 2.5×1.5 | 青・白(淡) | 目立たず | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ | 無 |
| 829 | 13513-13440-1 | D-10 | N-N- | 陶器 | 直線 | 107R5-4 | 2.5×1.5 | 青・白(淡) | 目立たず | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ | 無 |
| 830 | 7705 | D-10 | N | 1層底 | 陶器 | 2.5×1.5 | 107R5-4 | 内 | 目立たず | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ | 無 |
| 831 | 832 | 4605 | D-8 | 石 | 陶器 | 2.5×1.5 | 107R5-4 | 内 | 目立たず | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 |
| 832 | 5433-5777-7831-13214-13647-14542-15007-43-7 | D-10-D-9 | N-N-V | 陶器 | 直線 | 107R5-4 | 2.5×1.5 | 青・白(淡) | 目立たず | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 |
| 833 | 1778-18153 | A-13 | N-V | 陶器 | 直線 | 107R5-4 | 2.5×1.5 | 青・白(淡) | 目立たず | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 |
| 834 | 14032-14030 | E-15 | N | 陶器 | 直線 | 107R6-9 | 107R6-4 | 内 | 目立たず | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 |
| 835 | 1778-18153 | A-13 | N | 1層底 | 陶器 | 2.5×1.5 | 107R6-9 | 内 | 目立たず | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 |
| 836 | 7287-10537-3088-16400 | D-10 | N-V | 1層底 | 陶器 | 2.5×1.5 | 107R5-3 | 内 | 目立たず | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ | 無 |

第21表 細文時代の土器 観察表(2)

| 件番号 | 標本番号 | 取上番号 | 出土区 | 層 | 部位 | 色調 外面 内面 | 調査・式様 | 地土 | | | | その他 | 備考 | |
|-----|------|--|----------------|-----|----|-----------------|----------------|--------------------|----------|----|----|-----|----|---------|
| | | | | | | | | 黑色 | 風化 褐色 | 白色 | 赤色 | | | |
| | | | | | | | | ○ | △ | ○ | ○ | △ | | |
| 98 | K37 | 6047 | D.8 | N | I | 上縁部 T.2394.9 | 黒色 T.2394.9 | 外 日食痕跡 内 ナゲ | ○ | △ | ○ | ○ | △ | 無 |
| | K38 | 1843 | B.15 | B | I | 上縁部 T.2393.9 | 黒色 T.2393.9 | 外 赤 内 ナゲ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | 無 |
| | K39 | 2706+1364R+1378D | C.8-D.8 | B+V | I | 縁部 T.2373.2 | 黒色 T.2373.2 | 外 黒色 内 1.5cm幅ナゲ | ○ | △ | ○ | △ | △ | 無 |
| | K40 | 8341 | B.7 | B | I | 上縁部 T.2394.9 | 黒色 T.2394.9 | 外 日食痕跡 内 ナゲ | ○ | △ | ○ | △ | △ | 無 |
| | K41 | 8032+3353+3458 | D.8-D.9 | N | I | 上縁部 T.2394.9 | 黒色 T.2394.9 | 外 日食痕跡 内 ナゲ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 |
| | K42 | 9307 | D.9 | N | I | 上縁部 T.2394.9 | 黒色 T.2394.9 | 外 茶色 内 ナゲの日食痕跡 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 |
| | K43 | 5329+15 | A.8-D.8 | N | 腹部 | 一 T.2395.0 | 黒色 T.2395.0 | 外 日食痕跡 内 ナゲ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 |
| | K44 | 9080+1386G+3090C | B.7+射 E.9+? | V | I | 上縁部 T.2392.9 | 黒色 T.2392.9 | 外 黒色 内 ナゲ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | 無 |
| | K45 | 1378 | B.9 | N | 腹部 | 一 T.2392.9 | 黒色 T.2392.9 | 外 日食痕跡 内 ナゲ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | X.3多量付着 |
| | K46 | 7330+2442+7337 | B.10 | N | 腹部 | 黒色 T.2392.9 | 黒色 T.2392.9 | 外 日食痕跡 内 ナゲ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 無 |
| 100 | K47 | 4340+13671+3026 | D.8 | B+V | 腹部 | 黒色 T.2392.9 | 黒色 T.2392.9 | 外 日食痕跡 内 ナゲ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | 無 |
| | K48 | 11300+1250+1260+1270+1280+1290+1300+1310+1320+1330+1340+1350+1360+1370+1380+1390+1400+1410+1420+1430+1440+1450+1460+1470+1480+1490+1500+1510+1520+1530+1540+1550+1560+1570+1580+1590+1600+1610+1620+1630+1640+1650+1660+1670+1680+1690+1700+1710+1720+1730+1740+1750+1760+1770+1780+1790+1800+1810+1820+1830+1840+1850+1860+1870+1880+1890+1900+1910+1920+1930+1940+1950+1960+1970+1980+1990+2000+2010+2020+2030+2040+2050+2060+2070+2080+2090+2100+2110+2120+2130+2140+2150+2160+2170+2180+2190+2200+2210+2220+2230+2240+2250+2260+2270+2280+2290+2300+2310+2320+2330+2340+2350+2360+2370+2380+2390+2400+2410+2420+2430+2440+2450+2460+2470+2480+2490+2500+2510+2520+2530+2540+2550+2560+2570+2580+2590+2600+2610+2620+2630+2640+2650+2660+2670+2680+2690+2700+2710+2720+2730+2740+2750+2760+2770+2780+2790+2800+2810+2820+2830+2840+2850+2860+2870+2880+2890+2900+2910+2920+2930+2940+2950+2960+2970+2980+2990+3000+3010+3020+3030+3040+3050+3060+3070+3080+3090+3100+3110+3120+3130+3140+3150+3160+3170+3180+3190+3200+3210+3220+3230+3240+3250+3260+3270+3280+3290+3300+3310+3320+3330+3340+3350+3360+3370+3380+3390+3400+3410+3420+3430+3440+3450+3460+3470+3480+3490+3500+3510+3520+3530+3540+3550+3560+3570+3580+3590+3600+3610+3620+3630+3640+3650+3660+3670+3680+3690+3700+3710+3720+3730+3740+3750+3760+3770+3780+3790+3800+3810+3820+3830+3840+3850+3860+3870+3880+3890+3900+3910+3920+3930+3940+3950+3960+3970+3980+3990+4000+4010+4020+4030+4040+4050+4060+4070+4080+4090+4100+4110+4120+4130+4140+4150+4160+4170+4180+4190+4200+4210+4220+4230+4240+4250+4260+4270+4280+4290+4300+4310+4320+4330+4340+4350+4360+4370+4380+4390+4400+4410+4420+4430+4440+4450+4460+4470+4480+4490+4500+4510+4520+4530+4540+4550+4560+4570+4580+4590+4600+4610+4620+4630+4640+4650+4660+4670+4680+4690+4700+4710+4720+4730+4740+4750+4760+4770+4780+4790+4800+4810+4820+4830+4840+4850+4860+4870+4880+4890+4900+4910+4920+4930+4940+4950+4960+4970+4980+4990+5000+5010+5020+5030+5040+5050+5060+5070+5080+5090+5100+5110+5120+5130+5140+5150+5160+5170+5180+5190+5200+5210+5220+5230+5240+5250+5260+5270+5280+5290+5300+5310+5320+5330+5340+5350+5360+5370+5380+5390+5400+5410+5420+5430+5440+5450+5460+5470+5480+5490+5500+5510+5520+5530+5540+5550+5560+5570+5580+5590+5600+5610+5620+5630+5640+5650+5660+5670+5680+5690+5700+5710+5720+5730+5740+5750+5760+5770+5780+5790+5800+5810+5820+5830+5840+5850+5860+5870+5880+5890+5900+5910+5920+5930+5940+5950+5960+5970+5980+5990+6000+6010+6020+6030+6040+6050+6060+6070+6080+6090+6100+6110+6120+6130+6140+6150+6160+6170+6180+6190+6200+6210+6220+6230+6240+6250+6260+6270+6280+6290+6300+6310+6320+6330+6340+6350+6360+6370+6380+6390+6400+6410+6420+6430+6440+6450+6460+6470+6480+6490+6500+6510+6520+6530+6540+6550+6560+6570+6580+6590+6600+6610+6620+6630+6640+6650+6660+6670+6680+6690+6700+6710+6720+6730+6740+6750+6760+6770+6780+6790+6800+6810+6820+6830+6840+6850+6860+6870+6880+6890+6900+6910+6920+6930+6940+6950+6960+6970+6980+6990+7000+7010+7020+7030+7040+7050+7060+7070+7080+7090+7100+7110+7120+7130+7140+7150+7160+7170+7180+7190+7200+7210+7220+7230+7240+7250+7260+7270+7280+7290+7300+7310+7320+7330+7340+7350+7360+7370+7380+7390+7400+7410+7420+7430+7440+7450+7460+7470+7480+7490+7500+7510+7520+7530+7540+7550+7560+7570+7580+7590+7600+7610+7620+7630+7640+7650+7660+7670+7680+7690+7700+7710+7720+7730+7740+7750+7760+7770+7780+7790+7800+7810+7820+7830+7840+7850+7860+7870+7880+7890+7900+7910+7920+7930+7940+7950+7960+7970+7980+7990+8000+8010+8020+8030+8040+8050+8060+8070+8080+8090+8100+8110+8120+8130+8140+8150+8160+8170+8180+8190+8200+8210+8220+8230+8240+8250+8260+8270+8280+8290+8300+8310+8320+8330+8340+8350+8360+8370+8380+8390+8400+8410+8420+8430+8440+8450+8460+8470+8480+8490+8500+8510+8520+8530+8540+8550+8560+8570+8580+8590+8600+8610+8620+8630+8640+8650+8660+8670+8680+8690+8700+8710+8720+8730+8740+8750+8760+8770+8780+8790+8800+8810+8820+8830+8840+8850+8860+8870+8880+8890+8900+8910+8920+8930+8940+8950+8960+8970+8980+8990+9000+9010+9020+9030+9040+9050+9060+9070+9080+9090+9100+9110+9120+9130+9140+9150+9160+9170+9180+9190+9200+9210+9220+9230+9240+9250+9260+9270+9280+9290+9300+9310+9320+9330+9340+9350+9360+9370+9380+9390+9400+9410+9420+9430+9440+9450+9460+9470+9480+9490+9500+9510+9520+9530+9540+9550+9560+9570+9580+9590+9600+9610+9620+9630+9640+9650+9660+9670+9680+9690+9700+9710+9720+9730+9740+9750+9760+9770+9780+9790+9800+9810+9820+9830+9840+9850+9860+9870+9880+9890+9900+9910+9920+9930+9940+9950+9960+9970+9980+9990+10000+10010+10020+10030+10040+10050+10060+10070+10080+10090+10100+10110+10120+10130+10140+10150+10160+10170+10180+10190+10200+10210+10220+10230+10240+10250+10260+10270+10280+10290+10300+10310+10320+10330+10340+10350+10360+10370+10380+10390+10400+10410+10420+10430+10440+10450+10460+10470+10480+10490+10500+10510+10520+10530+10540+10550+10560+10570+10580+10590+10600+10610+10620+10630+10640+10650+10660+10670+10680+10690+10700+10710+10720+10730+10740+10750+10760+10770+10780+10790+10800+10810+10820+10830+10840+10850+10860+10870+10880+10890+10900+10910+10920+10930+10940+10950+10960+10970+10980+10990+11000+11010+11020+11030+11040+11050+11060+11070+11080+11090+11100+11110+11120+11130+11140+11150+11160+11170+11180+11190+11200+11210+11220+11230+11240+11250+11260+11270+11280+11290+11300+11310+11320+11330+11340+11350+11360+11370+11380+11390+11400+11410+11420+11430+11440+11450+11460+11470+11480+11490+11500+11510+11520+11530+11540+11550+11560+11570+11580+11590+11600+11610+11620+11630+11640+11650+11660+11670+11680+11690+11700+11710+11720+11730+11740+11750+11760+11770+11780+11790+11800+11810+11820+11830+11840+11850+11860+11870+11880+11890+11900+11910+11920+11930+11940+11950+11960+11970+11980+11990+12000+12010+12020+12030+12040+12050+12060+12070+12080+12090+12100+12110+12120+12130+12140+12150+12160+12170+12180+12190+12200+12210+12220+12230+12240+12250+12260+12270+12280+12290+12300+12310+12320+12330+12340+12350+12360+12370+12380+12390+12400+12410+12420+12430+12440+12450+12460+12470+12480+12490+12500+12510+12520+12530+12540+12550+12560+12570+12580+12590+12600+12610+12620+12630+12640+12650+12660+12670+12680+12690+12700+12710+12720+12730+12740+12750+12760+12770+12780+12790+12800+12810+12820+12830+12840+12850+12860+12870+12880+12890+12900+12910+12920+12930+12940+12950+12960+12970+12980+12990+13000+13010+13020+13030+13040+13050+13060+13070+13080+13090+13100+13110+13120+13130+13140+13150+13160+13170+13180+13190+13200+13210+13220+13230+13240+13250+13260+13270+13280+13290+13300+13310+13320+13330+13340+13350+13360+13370+13380+13390+13400+13410+13420+13430+13440+13450+13460+13470+13480+13490+13500+13510+13520+13530+13540+13550+13560+13570+13580+13590+13600+13610+13620+13630+13640+13650+13660+13670+13680+13690+13700+13710+13720+13730+13740+13750+13760+13770+13780+13790+13800+13810+13820+13830+13840+13850+13860+13870+13880+13890+13900+13910+13920+13930+13940+13950+13960+13970+13980+13990+14000+14010+14020+14030+14040+14050+14060+14070+14080+14090+14100+14110+14120+14130+14140+14150+14160+14170+14180+14190+14200+14210+14220+14230+14240+14250+14260+14270+14280+14290+14300+14310+14320+14330+14340+14350+14360+14370+14380+14390+14400+14410+14420+14430+14440+14450+14460+14470+14480+14490+14500+14510+14520+14530+14540+14550+14560+14570+14580+14590+14600+14610+14620+14630+14640+14650+14660+14670+14680+14690+14700+14710+14720+14730+14740+14750+14760+14770+14780+14790+14800+14810+14820+14830+14840+14850+14860+14870+14880+14890+14900+14910+14920+14930+14940+14950+14960+14970+14980+14990+15000+15010+15020+15030+15040+15050+15060+15070+15080+15090+15100+15110+15120+15130+15140+15150+15160+15170+15180+15190+15200+15210+15220+15230+15240+15250+15260+15270+15280+15290+15300+15310+15320+15330+15340+15350+15360+15370+15380+15390+15400+15410+15420+15430+15440+15450+15460+15470+15480+15490+15500+15510+15520+15530+15540+15550+15560+15570+15580+15590+15600+15610+15620+15630+15640+15650+15660+15670+15680+15690+15700+15710+15720+15730+15740+15750+15760+15770+15780+15790+15800+15810+15820+15830+15840+15850+15860+15870+15880+15890+15900+15910+15920+15930+15940+15950+15960+15970+15980+15990+16000+16010+16020+16030+16040+16050+16060+16070+16080+16090+16100+16110+16120+16130+16140+16150+16160+16170+16180+16190+16200+16210+16220+16230+16240+16250+16260+16270+16280+16290+16300+16310+16320+16330+16340+16350+16360+16370+16380+16390+16400+16410+16420+16430+16440+16450+16460+16470+16480+16490+16500+16510+16520+16530+16540+16550+16560+16570+16580+16590+16600+16610+16620+16630+16640+16650+16660+16670+16680+16690+16700+16710+16720+16730+16740+16750+16760+16770+16780+16790+16800+16810+16820+16830+16840+16850+16860+16870+16880+16890+16900+16910+16920+16930+16940+16950+16960+16970+16980+16990+17000+17010+17020+17030+17040+17050+17060+17070+17080+17090+17100+17110+17120+17130+17140+17150+17160+17170+17180+17190+17200+17210+17220+17230+17240+17250+17260+17270+17280+17290+17300+17310+17320+17330+17340+17350+17360+17370+17380+17390+17400+17410+17420+17430+17440+17450+17460+17470+17480+17490+17500+17510+17520+17530+17540+17550+17560+17570+17580+17590+17600+17610+17620+17630+17640+17650+17660+17670+17680+17690+17700+17710+17720+17730+17740+17750+17760+17770+17780+17790+17800+17810+17820+17830+17840+17850+17860+17870+17880+17890+17900+17910+17920+17930+17940+17950+17960+17970+17980+17990+18000+18010+18020+18030+18040+18050+18060+18070+18080+18090+18100+18110+18120+18130+18140+18150+18160+18170+18180+18190+18200+18210+18220+18230+18240+18250+18260+18270+18280+18290+18300+18310+18320+18330+18340+18350+18360+18370+18380+18390+18400+18410+18420+18430+18440+18450+18460+18470+18480+18490+18500+18510+18520+18530+18540+18550+18560+18570+18580+18590+18600+18610+18620+18630+18640+18650+18660+18670+18680+18690+18700+18710+18720+18730+18740+18750+18760+18770+18780+18790+18800+18810+18820+18830+18840+18850+18860+18870+18880+18890+18900+18910+18920+18930+18940+18950+18960+18970+18980+18990+19000+19010+19020+19030+19040+19050+19060+19070+19080+19090+19100+19110+19120+1 | | | | | | | | | | | | |

第22表 縄文時代の土器 観察表(3)

| 件名 | 標本番号 | 取扱番号 | 出土試 | 層 | 部位 | 色調 | 調整・文様 | 胎土 | | | | | その他 | 備考 |
|-----|------------------------------|--------------|--------|-------|-------|-------|-------|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------------|----|
| | | | | | | | | 外墨 | 内墨 | 胎土 | 胎土 | 胎土 | | |
| | | | | | | | | 墨 | 墨 | 墨 | 墨 | 墨 | | |
| | 618 | G-12 | ■ | 輪郭 | に点・横縞 | に点・横縞 | 内 ナラ | 外 桐原氏 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 | |
| 882 | 54057-11-0001 54140-4202 | D-11 D-11 | II-IV | 1層部 | に点・横縞 | に点・横縞 | 内 ナラ | 外 桐原氏 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 内墨 神じき他立文 | |
| 883 | 54057-11-0006 | E-11 | III-IV | 1層部 | に点・横縞 | に点・横縞 | 内 ナラ | 外 桐原氏 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 先端 頂点 | |
| 884 | 3229-2024 36120-3710-3429 | B-8 | ■ | 1層部 | に点・横縞 | に点・横縞 | 内 ナラ | 外 桐原氏 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 桐原氏 内墨 阿久式 | |
| 885 | 4431-5373 | A-9 B-8 | III-IV | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 外 桐原氏 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 先端 頂点 | |
| 886 | 903-1-15 | G-10 G-11 | II-IV | 1層部 | 2-3層部 | 2-3層部 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 887 | -15 | 高尾 | ■ | 1層部 | に点・横縞 | に点・横縞 | 内 ナラ | 外 桐原氏 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 | |
| 888 | 2040 | F-16 | ■ | 1層部 | に点・横縞 | に点・横縞 | 内 ナラ | 外 桐原氏 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 | |
| 889 | -15 | 高尾 | ■ | 1層部 | 2-3層部 | 2-3層部 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 | |
| 890 | -15 | 高尾 | ■ | 1層部 | 点 | 点 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 沢山式 | |
| 891 | 2033 | F-16 | ■ | 1層部 | 2-3層部 | 2-3層部 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 沢山式 | |
| 892 | 1767 | D-17 | ■ | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 893 | 372-890 | F-11 | II-IV | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 894 | 5815 | B-6 | 作 | 輪郭 | 点 | 点 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 | |
| 895 | 5000 | D-8 | ■ | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 896 | 1639 | C-14 | ■ | 1層部 | 2-3層部 | 2-3層部 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 1層部上部・底部 内墨少子型 | |
| 897 | 9928-6010 | B-10 C-10 | ■ | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 898 | 7367-3480 | A-9 B-9 | ■ | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 茶山式 | |
| 899 | 2487 | B-9 | ■ | 1層部 | 点 | 点 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 茶山式 | |
| 900 | 3337 | C-10 | ■ | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 | |
| 901 | 9429 | F-10 | ■ | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 902 | 943 | C-11 | ■ | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 903 | -15-4208 | B-9 D-10 | ■ | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 904 | 3099 | C-8 | ■ | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 905 | 1073 | F-10 | ■ | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 906 | 2730 | C-9 | ■ | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 907 | 1423 | F-10 | ■ | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 908 | 580 | G-10 | ■ | 1層部 | に点・横縞 | に点・横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 | |
| 909 | 1401 | F-9 | ■ | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 | |
| 910 | 801 | F-11 | ■ | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 | |
| 911 | 1793 | D-16 | ■ | 横部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 | |
| 912 | 6039 | D-8 | ■ | 1層部 | に点・横縞 | に点・横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 913 | 6408-2023 | A-11-C-8 | ■ | 1層部 | に点・横縞 | に点・横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 914 | 8001-8723 85-2737 | D-10-D-11 | ■ | 1層部 | に点・横縞 | に点・横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 915 | 7313-5269 6417-5118 | D-11 D-10 | ■ | II-IV | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 | |
| 916 | 1401-15 2-10-110 | E-10 | ■ | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 917 | 1126 | F-10 | ■ | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 | |
| 918 | 4413 | C-9 | ■ | 横部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 919 | 2002-2021 | T-C-16 | ■ | 1層部 | に点・横縞 | に点・横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 920 | -15 | D-10 | ■ | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 | |
| 921 | 1061 | F-10 | ■ | 横部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 922 | 2425 | H-4 | ■ | 横部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 923 | 585 | G-12 | ■ | 横部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 924 | 2125 | F-12 | ■ | 1層部 | に点・横縞 | に点・横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 925 | 5120 | B-10 | ■ | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 926 | 5378 | F-10 | ■ | 1層部 | に点・横縞 | に点・横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 927 | 5843 | B-6 | ■ | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 928 | 2080 | B-11 | ■ | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 929 | 9978 | B-10 | B | 1層部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | △ | |
| 930 | 3819-1003 1637-1620 | C-16 | ■ | 横部 | に点・横縞 | に点・横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |
| 931 | 537 | F-10 | ■ | 横部 | 横縞 | 横縞 | 内 ナラ | 2-3層部 内 ナラ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ | 幅 特徴的 内墨少子型 | |

第23表 細文時代の石器 観察表(1)

| 博物 館番 号 | 通 番号 | 取上番号 | 出土区 域 | 層 | 産地 | | | 部類 | 分類 | 石材 | 最大長 (cm) | 最大幅 (cm) | 最大厚 (cm) | 重量 (g) |
|---------------|---------|-------|----------|---|--------|---------|--------|-------|----|----------|-------------|-------------|-------------|-----------|
| | | | | | E標 | Y標 | Z標 | | | | | | | |
| 107 | 932 | 2132 | F-12 | ■ | 24.067 | 119.635 | 44.941 | 石器 | - | チャート | 6.41 | 3.64 | 1.05 | 24.61 |
| | 933 | 2050 | G-17 | ■ | 14.33 | 161.795 | 44.634 | 石器 | - | チャート | 4.80 | 5.31 | 0.84 | 16.83 |
| | 934 | 3361 | C-9 | ■ | 56.497 | 83.58 | 44.287 | 石器 | - | チャート | 3.45 | 2.62 | 0.89 | 5.74 |
| | 935 | - | F-11 | ■ | - | - | - | 石器 | - | 貝殻 | 5.29 | 6.00 | - | 3.67 |
| | 936 | 10670 | B-10 | ■ | 67.646 | 96.313 | 43.918 | 石器 | - | 玉髓 | 3.56 | 2.00 | 0.46 | 2.12 |
| | 937 | - | - | ■ | - | - | - | 石器 | - | ハリ貝殻安山岩 | 3.04 | 3.53 | 0.59 | 3.50 |
| | 938 | 3335 | B-11 | ■ | 65.966 | 105.106 | 44.305 | 石器 | - | ハリ貝殻安山岩 | 4.88 | 4.00 | 1.33 | 36.43 |
| 108 | 939 | 787 | G-15 | ■ | 13.032 | 141.571 | 44.99 | 石器 | - | チャート | 6.40 | 6.04 | 1.68 | 53.81 |
| | 940 | 13952 | E-10 | ■ | 38.074 | 97.483 | 43.694 | 石器 | - | チャート | 3.99 | 6.00 | 1.29 | 19.22 |
| | 941 | 1695 | C-18 | ■ | 57.293 | 172.207 | 43.152 | 石器 | - | タシトリ石 | 3.53 | 6.66 | 1.15 | 16.78 |
| | 942 | 4185 | C-9 | ■ | 52.872 | 81.679 | 44.299 | 石器 | - | ハリ貝殻安山岩 | 2.77 | 7.08 | 1.05 | 18.47 |
| | 943 | 868 | G-11 | ■ | 15.212 | 105.901 | 44.715 | アメニタ | - | チャート | 4.59 | 2.60 | 0.70 | 8.10 |
| | 944 | 13629 | D-12 | ■ | 49.89 | 110.69 | 44.21 | 石器未記録 | ■ | ノホタルヒカリ石 | 2.70 | 1.10 | 0.60 | 1.65 |
| | 945 | 8089 | C-10 | ■ | 50.653 | 97.638 | 44.053 | 石器未記録 | - | タシトリ石 | 1.96 | 1.41 | 0.49 | 1.90 |
| 109 | 946 | 6188 | B-7 | ■ | 64.824 | 61.699 | 43.934 | 石器 | - | ノホタルヒカリ石 | 1.00 | 0.50 | 0.10 | 0.07 |
| | 947 | 5892 | B-7 | ■ | 67.21 | 68.671 | 43.953 | 石器 | - | ノホタルヒカリ石 | 1.40 | 1.00 | 0.40 | 0.36 |
| | 948 | 3377 | B-8 | ■ | 63.325 | 74.85 | 44.239 | 石器 | - | 上牛島黒曜石 | 1.19 | 0.92 | 0.32 | 0.26 |
| | 949 | 9740 | D-10 | ■ | 49.465 | 96.615 | 43.323 | 石器 | - | 西高知黒曜石 | 1.10 | 1.27 | 0.30 | 0.25 |
| | 950 | 6698 | B-6 | ■ | 67.679 | 59.013 | 43.228 | 石器 | - | 上牛島黒曜石 | 1.16 | 1.19 | 0.29 | 0.24 |
| | 951 | 4885 | C-11 | ■ | 53.429 | 109.344 | 44.6 | 石器 | - | チャート | 1.3 | 1.11 | 0.26 | 0.27 |
| | 952 | 3553 | C-7 | ■ | 57.223 | 63.973 | 44.132 | 石器 | - | 西高知黒曜石 | 1.4 | 1.28 | 0.35 | 0.44 |
| 110 | 953 | 7390 | B-9 | ■ | 61.426 | 81.94 | 43.949 | 石器 | - | ノホタルヒカリ石 | 1.29 | 1.05 | 0.27 | 0.34 |
| | 954 | 13574 | B-9 | ■ | 61.46 | 87.778 | 43.835 | 石器 | - | 上牛島黒曜石 | 1.32 | 1.23 | 0.32 | 0.56 |
| | 955 | 5773 | A-8 | ■ | 70.33 | 76.835 | 44.263 | 石器 | - | サムライイト | 1.50 | 1.27 | 0.29 | 0.44 |
| | 956 | 7389 | B-9 | ■ | 61.313 | 84.153 | 43.944 | 石器 | - | ノホタルヒカリ石 | 1.28 | 1.12 | 0.44 | 0.39 |
| | 957 | 7543 | C-8 | ■ | 55.924 | 76.365 | 43.902 | 石器未記録 | - | 船形黒曜石 | 1.35 | 1.20 | 0.30 | 0.32 |
| | 958 | 7379 | B-9 | ■ | 63.614 | 86.637 | 43.832 | 石器 | - | ノホタルヒカリ石 | 1.51 | 1.12 | 0.30 | 0.40 |
| | 959 | 10469 | D-10 | ■ | 49.287 | 97.807 | 43.919 | 石器 | - | 宝くじ岩 | 1.25 | 1.31 | 0.23 | 0.32 |
| 111 | 960 | 7122 | D-10 | ■ | 43.718 | 99.101 | 44.278 | 石器 | - | 上牛島安山岩 | 1.13 | 1.43 | 0.47 | 0.45 |
| | 961 | 8140 | D-12 | ■ | 43.631 | 112.938 | 44.488 | 石器 | - | 高知黒曜石 | 1.32 | 0.97 | 0.29 | 0.30 |
| | 962 | 13677 | B-7 | ■ | 60.809 | 63.912 | 43.846 | 石器 | - | 船形黒曜石 | 1.53 | 1.51 | 0.51 | 1.08 |
| | 963 | - | D-10 | ■ | - | - | - | 石器 | - | 斜面黒曜石 | 1.55 | 1.20 | 0.34 | 0.48 |
| | 964 | 6122 | A-9 | ■ | 70.066 | 82.215 | 44.255 | 石器 | - | 上牛島安山岩 | 1.86 | 1.19 | 0.29 | 0.52 |
| | 965 | 5480 | D-9 | ■ | 64.694 | 89.476 | 44.285 | 石器 | - | 宝くじ岩 | 1.85 | 1.41 | 0.19 | 0.67 |
| | 966 | 5839 | B-7 | ■ | 68.597 | 58.051 | 43.806 | 石器 | - | 難波黒曜石 | 1.61 | 1.53 | 0.37 | 0.64 |
| 112 | 967 | 2662 | B-11 | ■ | 63.445 | 108.971 | 44.599 | 石器 | - | 鉄斧 | 2.13 | 1.47 | 0.52 | 1.44 |
| | 968 | 1876 | C-17 | ■ | 52.435 | 16.147 | 43.079 | 石器 | - | 上牛島黒曜石 | 1.69 | 1.26 | 0.38 | 0.69 |
| | 969 | 8812 | C-11 | ■ | 50.462 | 102.146 | 44.116 | 石器 | - | 上牛島黒曜石 | 2.09 | 1.46 | 0.49 | 1.01 |
| | 970 | 2865 | B-8 | ■ | 64.899 | 75.861 | 44.271 | 石器 | - | ハリ貝殻安山岩 | 1.25 | 1.66 | 0.29 | 0.60 |
| | 971 | 10497 | D-10 | ■ | 49.483 | 96.873 | 43.888 | 石器 | - | ハリ貝殻安山岩 | 2.08 | 1.80 | 0.36 | 1.14 |
| | 972 | 298 | G-9 | ■ | 13.037 | 86.811 | 44.325 | 石器 | - | ハリ貝殻安山岩 | 2.03 | 1.81 | 0.32 | 1.00 |
| | 973 | 5975 | C-10 | ■ | 58.562 | 98.472 | 44.446 | 石器 | - | 斜面黒曜石 | 2.21 | 1.87 | 0.41 | 1.38 |
| 113 | 974 | 4271 | D-9 | ■ | 42.7 | 89.166 | 44.527 | 石器 | - | ハリ貝殻安山岩 | 2.34 | 2.10 | 0.29 | 1.46 |
| | 975 | 4536 | D-12 | ■ | 42.341 | 116.703 | 44.838 | 石器 | - | ハリ貝殻安山岩 | 2.07 | 1.81 | 0.38 | 0.96 |
| | 976 | 3399 | B-9 | ■ | 61.808 | 85.248 | 44.218 | 石器 | - | タシトリ石 | 1.90 | 1.37 | 0.34 | 0.60 |
| | 977 | 1952 | C-18 | ■ | 57.244 | 170.346 | 42.829 | 石器 | - | 上牛島黒曜石 | 2.19 | 1.75 | 0.51 | 1.42 |
| | 978 | 8329 | D-11 | ■ | 41.404 | 110.303 | 44.362 | 石器 | - | 西高知黒曜石 | 1.93 | 1.49 | 0.39 | 0.63 |
| | 979 | - | E-17 | ■ | - | - | - | 石器 | - | 斜面黒曜石 | 1.92 | 1.63 | 0.43 | 0.98 |
| | 980 | 5249 | D-11 | ■ | 49.57 | 106.1 | 44.678 | 石器 | - | ハリ貝殻安山岩 | 2.09 | 1.64 | 0.32 | 0.75 |
| 114 | 981 | 7230 | E-11 | ■ | 37.687 | 101.289 | 44.473 | 石器 | - | チャート | 2.23 | 1.90 | 0.36 | 1.11 |
| | 982 | 4278 | D-9 | ■ | 47.552 | 89.011 | 44.528 | 石器 | - | ハリ貝殻安山岩 | 1.91 | 1.63 | 0.28 | 0.65 |
| | 983 | 6443 | E-12 | ■ | 31.242 | 115.598 | 44.982 | 石器 | - | 斜面黒曜石 | 1.68 | 1.57 | 0.47 | 0.87 |
| | 984 | 7413 | C-10 | ■ | 51.155 | 91.3 | 43.995 | 石器 | - | チャート | 1.67 | 1.40 | 0.31 | 0.82 |
| | 985 | 13539 | C-9 | ■ | 55.448 | 89.071 | 44.038 | 石器 | - | 上牛島黒曜石 | 1.56 | 1.04 | 0.36 | 0.31 |
| | 986 | 1388 | B-8 | ■ | 66.24 | 78.494 | 44.502 | 石器 | - | 上牛島黒曜石 | 0.82 | 1.16 | 0.23 | 0.42 |
| | 987 | 68401 | B-9 | ■ | 64.465 | 83.727 | 43.517 | 石器 | - | 西高知黒曜石 | 1.58 | 1.52 | 0.26 | 0.30 |
| 115 | 988 | 9155 | C-10 | ■ | 59.979 | 99.711 | 44.195 | 石器 | - | 西高知黒曜石 | 1.57 | 1.50 | 0.27 | 0.36 |
| | 989 | 13530 | C-9 | ■ | 55.411 | 87.795 | 43.597 | 石器 | - | 上牛島黒曜石 | 1.37 | 1.56 | 0.41 | 0.48 |
| | 990 | 13716 | B-7 | ■ | 67.563 | 60.437 | 43.649 | 石器 | - | 桑ノ浦御用石 | 1.43 | 1.29 | 0.34 | 0.38 |
| | 991 | 1970 | B-18 | ■ | 49.674 | 171.5 | 43.046 | 石器 | - | 宝くじ岩 | 1.60 | 1.81 | 0.39 | 0.72 |
| | 992 | 6322 | C-11 | ■ | 52.916 | 101.02 | 44.284 | 石器 | - | 斜面黒曜石 | 1.66 | 1.91 | 0.39 | 1.17 |
| | 993 | - | - | ■ | - | - | - | 石器 | - | 難波黒曜石 | 1.73 | 1.69 | 0.28 | 0.53 |
| | 994 | 286 | G-10 | ■ | 13.493 | 90.988 | 44.565 | 石器 | - | 上牛島黒曜石 | 2.08 | 1.72 | 0.41 | 0.91 |
| 116 | 995 | 9182 | D-11 | ■ | 48.172 | 101.54 | 44.031 | 石器 | - | 上牛島黒曜石 | 1.23 | 1.79 | 0.37 | 0.44 |
| | 996 | 5375 | G-16 | ■ | 16.567 | 159.37 | 44.249 | 石器 | - | ハリ貝殻安山岩 | 1.71 | 1.75 | 0.26 | 0.58 |
| | 997 | 1721 | D-17 | ■ | 41.619 | 164.758 | 43.73 | 石器 | - | ハリ貝殻安山岩 | 1.78 | 1.73 | 0.32 | 0.60 |
| | 998 | 1587 | G-10 | ■ | 11.073 | 90.905 | 44.11 | 石器 | - | 黒島白石 | 1.58 | 1.85 | 0.54 | 0.87 |
| | 999 | 4204 | D-10 | ■ | 41.784 | 95.699 | 44.532 | 石器 | - | 轟谷黒曜石 | 1.72 | 1.03 | 0.23 | 0.38 |

第24表 繩文時代の石器 観察表(2)

| 地図 番号 | 標数 番号 | 取上面番号 | 出土区 | 層 | 度量値 | | | 器種 | 分類 | 石材 | 最大長 (cm) | 最大幅 (cm) | 最大厚 (cm) | 重量 (g) |
|----------|----------|-------|-----|---------|---------|--------|-------|----|----|----------|-------------|-------------|-------------|-----------|
| | | | | | X座標 | Y座標 | Z座標 | | | | | | | |
| 1000 | 8029 | D-10 | V | 42.184 | 99.379 | 44.168 | 石器 | | | 上半圓底安山岩 | 1.59 | 1.03 | 0.32 | 0.45 |
| 1001 | 8696 | F-11 | B | 27.507 | 105.383 | 44.835 | 石器 | | | 鹿ノ木津原黒曜石 | 1.70 | 1.15 | 0.40 | 0.57 |
| 1002 | 13977 | C-9 | VI | 56.488 | 82.055 | 43.681 | 石器 | | | 上半圓底安山岩 | 1.94 | 1.42 | 0.38 | 0.71 |
| 1003 | - | - | - | - | - | - | - | 石器 | | 圓底安山岩 | 1.95 | 1.38 | 0.43 | 0.95 |
| 1004 | 13958 | E-11 | IV | 35.395 | 104.1 | 44.189 | 石器 | | | 上半圓底安山岩 | 0.85 | 0.73 | 0.22 | 0.14 |
| 1005 | 7388 | B-9 | V | 60.185 | 85.344 | 43.968 | 石器 | | | 鹿ノ木津原黒曜石 | 0.87 | 0.65 | 0.28 | 0.12 |
| 1006 | 6165 | B-7 | IV | 69.511 | 66.418 | 43.983 | 石器 | | | 鹿ノ木津原黒曜石 | 1.20 | 1.00 | 0.30 | 0.26 |
| 1007 | 5598 | C-8 | V | 54.385 | 79.344 | 44.105 | 石器 | | | 鹿ノ木津原黒曜石 | 0.90 | 1.10 | 0.40 | 0.29 |
| 1008 | 4288 | B-7 | IV | 61.905 | 67.219 | 44.088 | 石器 | | | 圓底安山岩 | 0.90 | 0.90 | 0.20 | 0.14 |
| 1009 | 9821 | B-10 | II | 67.29 | 95.733 | 44.205 | 石器 | | | 三角底安山岩 | 1.39 | 1.12 | 0.23 | 0.37 |
| 1010 | 7395 | C-9 | V | 59.336 | 83.611 | 43.981 | 石器 | | | 鹿ノ木津原黒曜石 | 1.06 | 0.39 | 0.23 | 0.06 |
| 1011 | 4294 | B-7 | IV | 63.466 | 66.407 | 44.168 | 石器 | | | 鈍板刃 | 5.28 | 3.49 | 0.59 | 1.25 |
| 1012 | 6325 | B-10 | IV | 69.518 | 92.937 | 44.13 | 石器 | | | 凹口 | 4.34 | 2.94 | 0.32 | 4.32 |
| 1013 | 4715 | D-10 | III | 48.787 | 90.865 | 44.424 | 石器 | | | チエット | 1.94 | 1.50 | 0.41 | 0.69 |
| 1014 | - | - | - | - | - | - | - | 石器 | | チエット | 2.10 | 1.87 | 0.33 | 1.18 |
| 1015 | 14542 | E-15 | IV | 34.277 | 148.774 | 44.048 | 石器 | | | 黒色安山岩 | 2.14 | 1.58 | 0.37 | 0.76 |
| 1016 | 3686 | B-9 | III | 60.968 | 88.825 | 44.134 | 石器 | | | 斜谷安山岩 | 1.98 | 1.28 | 0.36 | 0.43 |
| 1017 | 3414 | B-9 | III | 68.373 | 86.188 | 44.186 | 石器 | | | 圓底安山岩 | 2.25 | 1.64 | 0.30 | 0.80 |
| 1018 | 5367 | E-16 | IV | 32.865 | 159.822 | 43.777 | 石器 | | | 斜谷安山岩 | 1.71 | 1.41 | 0.43 | 0.64 |
| 1019 | - | G-13 | III | - | - | - | 石器 | | | 一束底安山岩 | 2.09 | 1.49 | 0.27 | 0.53 |
| 1020 | 4700 | D-9 | III | 43.61 | 87.598 | 44.549 | 石器 | | | 上半圓底安山岩 | 2.39 | 1.36 | 0.37 | 0.67 |
| 1021 | 1971 | C-18 | IV | 49.234 | 171.023 | 43.015 | 石器 | | | 圓底安山岩 | 2.41 | 1.39 | 0.28 | 0.52 |
| 1022 | 1852 | C-16 | IV | 54.318 | 153.305 | 43.557 | 石器 | | | 凹口 | 2.28 | 1.74 | 0.35 | 0.68 |
| 1023 | 5345 | C-15 | IV | 18.914 | 151.014 | 44.514 | 石器 | | | 黑色安山岩 | 2.55 | 1.44 | 0.38 | 0.73 |
| 1024 | 200 | G-12 | III | 131.315 | 113.169 | 45.025 | 石器 | | | 黒色安山岩 | 2.41 | 1.20 | 0.32 | 0.66 |
| 1025 | 6761 | C-8 | V | 55.309 | 73.974 | 43.671 | 石器 | | | 上半圓底安山岩 | 2.52 | 1.34 | 0.48 | 1.26 |
| 1026 | 1602 | C-10 | IV | 18.532 | 92.138 | 44.425 | 石器 | | | 凹口 | 2.24 | 1.47 | 0.43 | 0.94 |
| 1027 | 3506 | B-8 | IV | 65.022 | 79.937 | 44.191 | 石器 | | | 黑色安山岩 | 2.89 | 1.58 | 0.34 | 0.93 |
| 1028 | - | B-9 | - | - | - | - | 石器 | | | 斜谷安山岩 | 2.29 | 1.49 | 0.27 | 0.60 |
| 1029 | 1577 | F-9 | II | 24.958 | 85.865 | 44.225 | 石器 | | | チエット | 2.85 | 1.76 | 0.49 | 2.07 |
| 1030 | 7431 | D-10 | IV | 42.511 | 94.786 | 44.129 | 石器 | | | 凹口 | 3.09 | 1.68 | 0.53 | 2.13 |
| 1031 | 2322 | C-9 | IV | 58.637 | 81.672 | 44.454 | 石器 | | | ハリ貫通臼 | 2.68 | 1.25 | 0.25 | 1.16 |
| 1032 | 224 | G-12 | III | 11.817 | 110.026 | 44.975 | 石器 | | | 前庭底安山岩 | 2.21 | 1.33 | 0.31 | 0.64 |
| 1033 | - | - | - | - | - | - | 石器 | | | ハリ貫通臼 | 1.67 | 1.39 | 0.24 | 0.34 |
| 1034 | 745 | G-11 | III | 18.143 | 106.429 | 44.92 | 石器 | | | 踏石 | 2.99 | 1.83 | 0.41 | 1.47 |
| 1035 | 1031 | G-8 | III | 11.13 | 71.728 | 41.925 | 石器 | | | 凹口 | 3.26 | 1.70 | 0.29 | 1.55 |
| 1036 | 1809 | B-16 | III | 61.798 | 155.173 | 43.404 | 石器 | | | 斜谷安山岩 | 3.09 | 1.96 | 0.35 | 0.94 |
| 1037 | 1972 | C-18 | III | 51.385 | 170.111 | 42.87 | 石器 | | | 凹口 | 2.71 | 1.67 | 0.46 | 1.30 |
| 1038 | 4519 | D-11 | III | 42.533 | 105.293 | 44.721 | 石器 | | | チエット | 1.69 | 1.40 | 0.34 | 0.73 |
| 1039 | 94 | G-12 | III | 12.277 | 112.004 | 44.445 | 石器 | | | チエット | 2.05 | 1.29 | 0.27 | 0.82 |
| 1040 | 4506 | D-10 | IV | 42.293 | 100.063 | 44.644 | 石器 | | | 圓底安山岩 | 2.68 | 2.01 | 0.42 | 1.46 |
| 1041 | 1340 | G-10 | III | 11.984 | 97.266 | 44.585 | 石器 | | | ハリ貫通臼 | 4.13 | 2.16 | 0.35 | 1.87 |
| 1042 | 4403 | C-9 | III | 53.088 | 80.253 | 44.223 | 石器 | | | 凹口 | 19.35 | 5.79 | 1.61 | 141.87 |
| 1043 | - | - | - | - | - | - | 石器 | | | 圓底安山岩 | 11.88 | 6.62 | 1.70 | 178.25 |
| 1044 | 5163 | D-8 | IV | 46.993 | 79.098 | 44.297 | 石器 | | | 鈍板刃 | 14.22 | 8.12 | 2.43 | 331.62 |
| 1045 | 1905 | B-17 | III | 62.773 | 168.783 | 42.463 | 石器 | | | 凹口 | 10.26 | 5.09 | 1.73 | 104.71 |
| 1046 | 6034 | B-10 | IV | 64.127 | 95.347 | 44.169 | 石器 | | | ホルンフェルス | 7.69 | 4.40 | 1.07 | 37.67 |
| 1047 | 109 | B-11 | III | 63.188 | 100.369 | 44.365 | 石器 | | | 凹口 | 4.29 | 2.87 | 2.79 | 1.389 |
| 1048 | 1848 | C-17 | IV | 54.402 | 190.133 | 43.446 | 石器 | | | 凹口 | 4.24 | 2.60 | 1.46 | 5.55 |
| 1049 | 2698 | C-11 | III | 58.860 | 108.242 | 44.458 | 石器 | | | 凹口 | 6.50 | 6.22 | 2.82 | 175.24 |
| 1050 | - | - | - | - | - | - | 石器 | | | 電刃 | 6.47 | 5.84 | 3.26 | 9.52 |
| 1051 | 774 | G-12 | III | 13.077 | 110.629 | 44.878 | 石器 | | | 圓底安山岩 | 6.51 | 6.00 | 1.88 | 79.44 |
| 1052 | 2081 | E-17 | II | 31.549 | 162.688 | 44.097 | 石器 | | | 凹口 | 7.30 | 8.17 | 2.55 | 164.88 |
| 1053 | 4070 | E-9 | II | 38.444 | 84.357 | 44.452 | 石器 | | | 凹口 | 6.88 | 4.90 | 2.91 | 97.62 |
| 1054 | 5896 | B-7 | V | 60.505 | 67.772 | 44.073 | 石器 | | | 凹口 | 9.83 | 3.99 | 3.81 | 331.84 |
| 1055 | 5743 | A-8 | II | 70.190 | 78.674 | 44.267 | 石器 | | | ホルンフェルス | 1.58 | 3.85 | 1.62 | 117.39 |
| 1056 | 2853 | B-8 | III | 66.023 | 75.763 | 44.246 | 石器 | | | 凹口 | 19.54 | 7.06 | 3.81 | 610.00 |
| 1057 | 3220 | B-8 | III | 64.445 | 76.857 | 44.265 | 石器 | | | 圓底安山岩 | 8.09 | 8.60 | 5.55 | 720.00 |
| 1058 | 1940 | C-18 | IV | 55.38 | 174.866 | 42.368 | 鍛造 | | | 凹口 | 12.69 | 7.48 | 3.21 | 31.006 |
| 1059 | 1893 | B-18 | IV | 65.115 | 170.062 | 42.826 | 鍛造 | | | 鍛造 | 7.79 | 4.22 | 3.54 | 155.31 |
| 1060 | 1475 | E-10 | II | 33.181 | 96.396 | 44.435 | 鍛造 | | | 凹口 | 8.10 | 3.90 | 2.80 | 160.00 |
| 1061 | 4490 | B-11 | II | - | - | - | 鍛造・鍛石 | | | 電刃 | 6.30 | 6.00 | 2.50 | 100.00 |
| 1062 | 1935 | C-17 | II | 59.482 | 168.973 | 43.038 | 鍛石 | | | 電刃 | 11.69 | 10.50 | 4.70 | 800.00 |
| 1063 | 14003 | D-14 | II | 42.187 | 138.233 | 44.714 | 鍛石 | | | 凹口 | 9.50 | 7.90 | 5.60 | 650.00 |
| 1064 | 5830 | B-6 | IV | 67.376 | 57.715 | 43.806 | 鍛石 | | | 圓底安山岩 | 8.09 | 8.60 | 5.55 | 720.00 |
| 1065 | 1965 | C-18 | II | 52.479 | 172.253 | 43.018 | 鍛石・鍛造 | | | 花崗岩 | 8.80 | 6.60 | 4.30 | 410.00 |
| 1066 | 816 | G-11 | II | 18.198 | 107.937 | 44.488 | 鍛石 | | | 砂岩 | 9.40 | 6.20 | 2.90 | 280.00 |
| 1067 | - | B-9 | - | - | - | - | 鍛石 | | | 電刃 | 11.30 | 7.30 | 4.10 | 520.00 |
| 1068 | 6627 | D-11 | IV | 46.404 | 104.488 | 44.425 | 鍛石 | | | 砂岩 | 8.90 | 9.50 | 3.60 | 380.00 |
| 1069 | - | - | - | - | - | - | 鍛石 | | | 圓底安山岩 | 7.00 | 6.40 | 4.00 | 290.00 |
| 1070 | 444 | F-11 | II | 20.983 | 105.056 | 44.487 | 鍛石 | | | 砂岩 | 7.70 | 7.60 | 3.00 | 300.00 |
| 1071 | 6730 | B-8 | V | 61.622 | 73.108 | 43.588 | 鍛石 | | | 電刃 | 13.29 | 12.40 | 4.10 | 1006.00 |

第25表 弥生時代・古墳時代の土器 観察表(1)

| 登録番号 | 取上番号 | 出土区 | 層 | 埋置 | 部位 | 分類 | 法量(cm) | | | 色調 | 鉢 | | | 地土 | 構成 | 備考 | | | |
|------|------|-------------|-----------|-------|----|-------|--------|------|-------|---------|---------|---------|--------------------|---------------------|------------------------------------|----|---|---|---|
| | | | | | | | 口径 | 底径 | 高さ | | 内面 | | 石英 | 長石 | 角閃石 | | | | |
| | | | | | | | | | | | 内面 | 内面 | | | | | | | |
| 115 | 1057 | 5784 | B-8 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 1 | | 14.80 | 10786.2 | 10787.3 | 黒 | ハニタジ、ナデ | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1058 | 5338 | G-15 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 1 | | 13.30 | 10786.2 | 10787.3 | 青 | ハニタジ | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1059 | II-p-52-8 | B-9 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 1 | | 13.70 | 10786.2 | 10787.4 | 青 | ハニタジ、工具ナデ、ナデ | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1060 | 2052 | G-17 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 1 | | 13.30 | 10786.2 | 10787.4 | 青 | ハニタジ、手形 | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1061 | 2043 | G-16 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 1 | | 14.00 | 10786.2 | 10787.6 | 青 | ハニタジ、手形 | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| 116 | 1062 | 1148+1168 | F-10 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 2 | | 14.40 | 10786.2 | 10787.6 | 青 | ハニタジ、手形、ナデ | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1063 | II-p-52-21 | - | ■ | 良 | L1縫隙部 | 2 | | 16.00 | 10786.2 | 10787.9 | 青 | ハニタジ | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1064 | 1051+1149 | F-10 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 2 | 23.4 | 13.30 | 10786.2 | 10787.9 | 青 | ハニタジ、手形、ナデ | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1065 | 1218 | F-10 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 2 | | 16.20 | 10786.2 | 10787.4 | 青 | ハニタジ、手形、工具ナデ、ナデ | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1066 | 1166+1167 | C-18+ | ■ | 良 | 完形 | 2 | 11 | 12.90 | 10787.6 | 10787.6 | 青 | 白粘土、日字ナデ、剪刀印、ナデ | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| 117 | 1067 | II-a-15-809 | - | ■ | 良 | L1縫隙部 | 2 | 25.8 | 7.10 | 10786.2 | 10787.6 | 青 | ハニタジ、手形、ナデ | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1068 | 1238+1446- | 1571 | F-10 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 2 | | 13.60 | 10786.2 | 10787.6 | 青 | ハニタジ、ナデ | ○ | ○ | ○ | 良 | |
| | 1069 | 3008+3009- | 3911+4270 | D-9 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 2 | 30 | 16.20 | 10787.6 | 10787.6 | 青 | ハニタジ、ハサク模 | ○ | ○ | ○ | 良 | |
| | 1070 | 1173+1446- | E-10+ | F-10 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 2 | | 10.00 | 10787.6 | 10787.6 | 青 | ハニタジ、手形ナデ、剪刀印、ナデ | ○ | ○ | ○ | 良 | |
| | 1071 | 3888+3887- | 3889+4256 | D-10 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 2 | 22.2 | 12.50 | 10787.6 | 10787.6 | 青 | ハニタジ、手形 | ○ | ○ | ○ | 良 | |
| 118 | 1072 | 3229+3231- | 3232+3233 | C-10 | ■ | 良 | 完形 | 2 | 17.2 | 6.2 | 18.60 | 10787.6 | 10787.6 | 青 | ハニタジ、ケズリ、工具ナデ、ナデ、ハサク、13.3ナデ、ナデ、剪刀印 | ○ | ○ | ○ | 良 |
| | 1073 | 5886+5887- | A-9 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 2 | 22.7 | 8.80 | 10787.6 | 10787.6 | 青 | ハニタジ、手形、ナデ | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1074 | 3840+3948 | E-9 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 2 | 24.6 | 13.30 | 10786.2 | 10787.6 | 青 | ハニタジ、ナデ、剪刀印 | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1075 | 2728+5724 | B-9+ | C-10 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 2 | | 10.00 | 10786.2 | 10787.6 | 青 | ハニタジ、手形、手形ナデ、ナデ | ○ | ○ | ○ | 良 | |
| | 1076 | 3930 | D-9 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 2 | | 8.80 | 10786.2 | 10787.6 | 青 | ハニタジ、ナデ | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| 119 | 1077 | 3164+3200- | 3493 | B-9 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 3 | | 7.60 | 10786.2 | 10786.6 | 青 | 手形等、ハサク、ナデ | ○ | ○ | ○ | 良 | |
| | 1078 | 2885+3075 | B-8 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 3 | 22.2 | 10.00 | 10786.2 | 10786.6 | 青 | 手形等、ナデ | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1079 | 3013 | C-9 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 3 | | 9.80 | 10786.2 | 10786.6 | 青 | ハニタジ、手形 | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1080 | 986 | G-10 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 3 | | 6.70 | 10786.2 | 10787.6 | 青 | 手形等、手形 | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1081 | 407+460- | 472 | F-11 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 4 | | 10.70 | 10786.2 | 10787.6 | 青 | 手形等、手形、剪刀印 | ○ | ○ | ○ | 良 | |
| 120 | 1082 | 2780+7380 | B-9 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 4 | | 13.80 | 10786.2 | 10787.6 | 青 | 手形等、工具ナデ | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1083 | 3231+3234- | 768 | G-11 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 4 | | 16.50 | 10786.2 | 10787.6 | 青 | ハニタジ、手形 | ○ | ○ | ○ | 良 | |
| | 1084 | 5624 | A-9 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 4 | | 16.70 | 10786.2 | 10787.6 | 青 | 手形等、手形等、剪刀印、ナデ、剪刀印 | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1085 | 5596+5622- | A-B-9 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 4 | | 16.50 | 10786.2 | 10787.6 | 青 | ハニタジ、ナダ、ナダ、ナデ、剪刀印 | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1086 | 4673 | D-9 | ■ | 良 | L1縫隙部 | 4 | | 13.80 | 10786.2 | 10787.6 | 青 | 手形等、ナデ | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| 121 | 1087 | 1216 | F-10 | V | 良 | L1縫隙部 | 4 | | 12.80 | 10786.2 | 10786.2 | 青 | 手形等 | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1088 | 5026+5700- | 6709+6835 | A-B-9 | ■ | 良 | 糊 | 4 | | 11.00 | 10786.2 | 10787.6 | 青 | ハニタジ、手形等、手形等、ナデ、剪刀印 | ○ | ○ | ○ | 良 | |
| | 1089 | 5971+6235 | B-10 | H | 良 | L1縫隙部 | 4 | | 16.20 | 10786.2 | 10787.6 | 青 | ハニタジ、手形等、ナダ | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1090 | 3153+2942 | B-9+10 | ■ | 良 | 糊 | 4 | 0 | 13.50 | 10786.2 | 10786.6 | 青 | ハニタジ | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1091 | 4673 | D-9 | ■ | 良 | 糊 | 4 | | 17.00 | 10786.2 | 10787.6 | 青 | ハニタジ、ナデ | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| 122 | 1092 | 5160 | D-8 | N | 良 | 糊 | 4 | | 16.70 | 10786.2 | 10787.6 | 青 | ハニタジ、ナダ | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1093 | 5740 | A-B | ■ | 良 | 糊 | 4 | | 15.10 | 10786.2 | 10787.6 | 青 | ハニタジ、手形等、手形 | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1094 | 1185+1539 | F-10 | H+ | 良 | 糊 | 4 | | 17.70 | 10786.2 | 10787.6 | 青 | ハニタジ、手形等、手形 | ○ | ○ | ○ | 良 | | |
| | 1095 | 5520 | C-10 | ■ | 良 | 糊 | 4 | | 17.00 | 10786.2 | 10786.6 | 青 | ハニタジ、手形等、ナデ、ナデ | ○ | ○ | ○ | 良 | | |

第26表 弓生時代・古墳時代の土器 観察表(2)

| 登録番号 | 出土事号 | 出土区 | 層 | 埋置 | 留出 | 分類 | 法寸(毫米) | | 色調 | 調査 | 地土 | 石英 | 長石 | 角閃石 | その他 | 焼成 | 参考 | |
|------|------------------------------|---------------|-----|-------|-------|-------|--------|--------|-------------|------------------|---------|----|----|-----|-----|----|-------------------|---|
| | | | | | | | 口径 | 底径 | | | | | | | | | | |
| 1096 | 3746・4037 | D-11 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 4 | (9.7) | 51R6/6 | 青 | 六谷社, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良帶 | |
| 1097 | 223・406・173 | F-1, 2 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 4 | 20.4 | (7.2) | 51R6/6 | 青 | 六谷社, 頂面 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 |
| 1098 | 451・596 | F-11 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 4 | 24.4 | (4.8) | 51R6/6 | 青 | 六谷社, 頂面 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 |
| 1099 | 606・609・617 | G-12 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 4 | (4.9) | 51R6/6 | 青 | 六谷社, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1100 | 4076・4541 | D-12 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 4 | (5.1) | 51R6/6 | 青 | 六谷社, 手李 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1101 | 259・588 | G-11 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 4 | (5.4) | 51R6/6 | 青 | 六谷社, 手李 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1102 | 2803・2544・5929 | B-9・10 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 4 | (5.2) | 51R6/4 | 青 | 六谷社, 手李 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1103 | 1138・1139 | G-10 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 5 | (7.5) | 51R6/6 | 青 | 六谷社, 手李 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1104 | 1233・1465 | E-10 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 5 | (7.3) | 51R6/7 | 青 | 六谷社, 手李, 頂面 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1223 | 1105 | C-9 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 5 | (7) | 51R6/6 | 青 | 手子, 手李 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 内外面に縫付着 | |
| 1106 | 3971・5701 | B-C | Ⅲ | 黄 | 1144B | 5 | (4.1) | 51R6/6 | 青 | 手子, 手李 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1107 | 1780・一括 | B-16 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 5 | (7.5) | 51R6/7 | 青 | 手子, 頂面, ハケ口 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1108 | 6313 | B-10 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 5 | (8.4) | 51R6/4 | 青 | 頂面, 上手子, 手李 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1109 | 4006 | C-8 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 5 | (9) | 51R6/7 | 青 | 六谷社, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 外側に縫付着 | |
| 1110 | 5887・5882・ 302・5701 | A-9・9・ B-C | Ⅲ | 黄 | 1144B | 5 | (12.2) | 51R6/6 | 青 | 手子, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1111 | 40・41・42・43・ 390・591・1284 | 127・F-11 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 5 | (22.9) | 51R6/6 | 青 | 手子, 頂面 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 外側に縫付着 | |
| 1112 | 2802・2986・ 2991・3001・3006 | B-9 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 5 | (9.0) | 51R6/4 | 青 | 手子, 頂面, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1113 | 2522 | B-9 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 5 | (5.6) | 51R6/6 | 青 | 手子, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1225 | 2217 | C-8 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 5 | (5.4) | 51R6/7 | 青 | 手子, 手取川, ハケ口, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1116 | 5618 | B-9 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 5 | (7.5) | 51R6/6 | 青 | 手子, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1117 | 2802・2986・ 2991・3001・3006 | E-10・C-9 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 5 | (7.8) | 51R6/6 | 青 | 手子, 手取川, ハケ口 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 外側縫付着 | |
| 1118 | 162・253・254 | G-11 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 5 | (5.6) | 51R6/4 | 青 | 手子, 頂面, ハケ口 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1119 | 2155 | G-15 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 5 | (4.5) | 51R6/5 | 青 | 手子, 手李 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 底面内側に縫付着 | |
| 1120 | 781 | F-11 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 5 | (4.8) | 51R6/7 | 青 | 手子, ハケ口, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1121 | 696 | E-11 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 5 | (3.2) | 51R6/6 | 青 | 手子, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1122 | 394 | F-11 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 5 | (2.8) | 51R6/6 | 青 | 手子, 頂面 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1123 | 1296・1316 | E-9・G-9 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 7 | (6) | 51R6/4 | 青 | 手子, 工程鉢, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1124 | 2618 | B-9 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 6 | (4.3) | 51R6/8 | 青 | 手子, 頂面 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1125 | 2263・2501 | B-9 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 9.5 | (10.6) | 51R6/5 | 青 | 手子, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1126 | F-14 | - | 黄 | 1144B | 8 | (6.1) | 51R6/5 | 青 | 手子, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | | |
| 1127 | 2802・2986・ 2991・3001・3006 | F-G-10 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 10.4 | (7.6) | 51R6/7 | 青 | 手子, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1128 | 278・672 | G-10 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 10.6 | (5.2) | 51R6/4 | 青 | 手子, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1129 | 1022・1028・ 1081・1083 | F-11・12 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 9.8 | (10.9) | 51R6/6 | 青 | 手子, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1130 | 3084・5669 | B-9 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 10 | (5.5) | 51R6/7 | 青 | 手子, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1131 | 3917・9068 | D-9・10 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 9.6 | (5.4) | 51R6/6 | 青 | 手子, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1132 | 4131 | D-9 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 10.6 | (5.3) | 51R6/7 | 青 | 手子, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1226 | 1133 | 7429 | D-9 | Ⅲ | 黄 | 1144B | (4.6) | 51R6/7 | 青 | 手子, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 手子と脚部の結合部に縫付着している | |
| 1134 | 1122 | G-10 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 7.3 | (4.2) | 51R6/4 | 青 | 手子, 手取川, ハケ口, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1135 | 569 | F-11 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 8.6 | (3.8) | 51R7/6 | 青 | 手子, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 手子と脚部の結合部に縫付着している | |
| 1136 | 2355・13610 | C-8 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 10.7 | (4.8) | 51R6/6 | 青 | 手子, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 手子と脚部の結合部に縫付着している | |
| 1137 | 4264・4273 | D-10 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 7.6 | (3.2) | 51R6/7 | 青 | 手子, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1138 | 387・506 | F-10 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 7.6 | (2.8) | 51R6/7 | 青 | 手子, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 背面に工具痕あり | |
| 1139 | 1202・1221・ 1242・1243 | F-10 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 9.4 | (2.8) | 51R6/6 | 青 | 手子, ハケ口, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1140 | 1505 | G-9 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 10.2 | (5.6) | 51R6/7 | 青 | 手子, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1141 | 624 | G-11 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 10.6 | (5.8) | 51R6/4 | 青 | 手子, ハケ口, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1142 | 346・447・ 471 | F-11 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 9.5 | (5.8) | 51R6/5 | 青 | 手子, ハケ口, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1143 | 1283・1385・ 1407 | F-9・10 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 11.2 | (6.4) | 51R6/6 | 青 | 手子, ハケ口, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1144 | 1037 | G-10 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 7 | (4.1) | 51R6/6 | 青 | 手子, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1145 | 5364 | E-17 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 14.9 | (9.8) | 51R6/3 | 青 | 手子, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 後期擬制あり | |
| 1146 | 3372 | B-8 | Ⅲ | 黄 | 1144B | 0.9 | (2.5) | 51R6/2 | 青 | 手子 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 赤色鉛料 | |
| 1227 | 1147 | -一括 | D-9 | Ⅲ | 黄 | 1144B | (5) | 51R6/7 | 青 | 手子, 手取川, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |
| 1148 | 5828 | A-7 | N | 赤 | 1144B | 0.9 | (2.2) | 51R6/2 | 青 | ナデ, ハケ口 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 赤色鉛料 | |
| 1149 | 4581・4659 | D-9 | II | 黄 | 1144B | 0.6 | (2.6) | 51R6/4 | 青 | 手子, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 赤色鉛料 | |
| 1150 | 999-B-15 | D-E-9 | - | 赤 | 1144B | 4.2 | (3.8) | 51R6/4 | 青 | 手子, ハケ口, ナデ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 良 | 良 | |

第 27 表 弥生時代・古墳時代の土器 観察表 (3)

| 登録番号 | 地名 | 取上番号 | 出土区 | 層 | 基盤 | 部位 | 分類 | 法寸 (cm) | 色調 | 調査 | 施主 | | | 備考 | |
|------|--|--------------|-----|----|----|----|-----|-----------------|----------------|-------------|-------------|----|-----|-----|---|
| | | | | | | | | | | | 石英 | 長石 | 共開石 | その他 | |
| 1151 | 95 | G-12 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (3.2) 7.5YR7/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1152 | - | G-11 | ■ 山 | 廻廊 | | | | 4.6 | (3.2) 7.5YR7/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | ○ | △ | 良 |
| 1153 | 1153-1801 1909-18 | C-11 G-11 | ■ 山 | 廻廊 | | | | 7.4 | (9.4) 7.5YR6/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | 良 |
| 1154 | 1150-231 1909-18 | D-11 G-11 | ■ 山 | 廻廊 | | | | 15 | (7.5) 7.5YR6/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | 良 |
| 1155 | -45 | I | ■ 山 | 廻廊 | | | | (3) 7.5YR6/4 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1156 | 5822 | A-9 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (9) 7.5YR7/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 127 | 1157-3383 5643 | B-9 | ■ 山 | 廻廊 | | | | 13.2 | (8.2) 7.5YR7/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | ○ | △ | △ |
| 1158 | 671 | G-11 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (4.8) 7.5YR6/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1159 | B p - 52-22 | B-9 | ■ 山 | 廻廊 | | | | 12 | 0 7.5YR6/3 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ |
| 1160 | 542 | F-11 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (3.2) 7.5YR6/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1161 | 4775 | D-10 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (4.7) 7.5YR6/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1162 | -45 | A-9 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (3.2) 7.5YR7/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1163 | 1464 | E-10 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (4.1) 7.5YR6/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1164 | 3942 | D-8 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (5.8) 7.5YR6/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1165 | 57 | G-12 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (5.3) 7.5YR7/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1166 | 3131-3617 3623 | B-9 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (3.5) 7.5YR6/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | △ |
| 1167 | 5188 | C-8 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (2.2) 7.5YR6/4 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1168 | 6142 | B-8 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (4.2) 7.5YR7/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1169 | 2426-2818 | B-9 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (5.3) 7.5YR6/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1170 | 625 | G-11 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (8.6) 7.5YR6/4 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1171 | 5763-7 | B-9 C-11 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (11.4) 7.5YR6/4 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1172 | 5963 | B-10 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (5.7) 7.5YR6/2 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 128 | 1213-1212 2314 | B-9 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (1.0) 7.5YR6/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1173 | 1744-1745 1745-1746 | E-10 E-10 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (9.9) 7.5YR6/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1174 | 2301-4013 | C-8 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (8) 7.5YR6/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1175 | 3739 | D-11 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (3.6) 7.5YR6/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1176 | 1018 | E-10 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (3.9) 7.5YR6/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1177 | 246 | G-11 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (3.9) 7.5YR6/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1178 | 33 | G-10 | ■ 山 | 廻廊 | | | | (7.5) 7.5YR6/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1179 | 3739 | D-11 | ■ 山 | 廻廊 | | | 5.4 | (3.7) 7.5YR6/6 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1180 | - | G-7 | ■ 山 | 廻廊 | | | 4.2 | (4.4) 7.5YR6/4 | ■ 黄 | 内 ナガマ、ナデ | ○ | △ | △ | △ | 良 |
| 1181 | 異A15-5 異A15-6 異A15-7 異A15-8 異A15-9 異A15-10 異A15-11 異A15-12 異A15-13 異A15-14 異A15-15 異A15-16 異A15-17 異A15-18 異A15-19 異A15-20 異A15-21 異A15-22 異A15-23 異A15-24 異A15-25 異A15-26 異A15-27 異A15-28 異A15-29 異A15-30 異A15-31 異A15-32 異A15-33 異A15-34 異A15-35 異A15-36 異A15-37 異A15-38 異A15-39 異A15-40 異A15-41 異A15-42 異A15-43 異A15-44 異A15-45 異A15-46 異A15-47 異A15-48 異A15-49 異A15-50 異A15-51 異A15-52 異A15-53 異A15-54 異A15-55 異A15-56 異A15-57 異A15-58 異A15-59 異A15-60 異A15-61 異A15-62 異A15-63 異A15-64 異A15-65 異A15-66 異A15-67 異A15-68 異A15-69 異A15-70 異A15-71 異A15-72 異A15-73 異A15-74 異A15-75 異A15-76 異A15-77 異A15-78 異A15-79 異A15-80 異A15-81 異A15-82 異A15-83 異A15-84 異A15-85 異A15-86 異A15-87 異A15-88 異A15-89 異A15-90 異A15-91 異A15-92 異A15-93 異A15-94 異A15-95 異A15-96 異A15-97 異A15-98 異A15-99 異A15-100 異A15-101 異A15-102 異A15-103 異A15-104 異A15-105 異A15-106 異A15-107 異A15-108 異A15-109 異A15-110 異A15-111 異A15-112 異A15-113 異A15-114 異A15-115 異A15-116 異A15-117 異A15-118 異A15-119 異A15-120 異A15-121 異A15-122 異A15-123 異A15-124 異A15-125 異A15-126 異A15-127 異A15-128 異A15-129 異A15-130 異A15-131 異A15-132 異A15-133 異A15-134 異A15-135 異A15-136 異A15-137 異A15-138 異A15-139 異A15-140 異A15-141 異A15-142 異A15-143 異A15-144 異A15-145 異A15-146 異A15-147 異A15-148 異A15-149 異A15-150 異A15-151 異A15-152 異A15-153 異A15-154 異A15-155 異A15-156 異A15-157 異A15-158 異A15-159 異A15-160 異A15-161 異A15-162 異A15-163 異A15-164 異A15-165 異A15-166 異A15-167 異A15-168 異A15-169 異A15-170 異A15-171 異A15-172 異A15-173 異A15-174 異A15-175 異A15-176 異A15-177 異A15-178 異A15-179 異A15-180 異A15-181 異A15-182 異A15-183 異A15-184 異A15-185 異A15-186 異A15-187 異A15-188 異A15-189 異A15-190 異A15-191 異A15-192 異A15-193 異A15-194 異A15-195 異A15-196 異A15-197 異A15-198 異A15-199 異A15-200 異A15-201 異A15-202 異A15-203 異A15-204 異A15-205 異A15-206 異A15-207 異A15-208 異A15-209 異A15-210 異A15-211 異A15-212 異A15-213 異A15-214 異A15-215 異A15-216 異A15-217 異A15-218 異A15-219 異A15-220 異A15-221 異A15-222 異A15-223 異A15-224 異A15-225 異A15-226 異A15-227 異A15-228 異A15-229 異A15-230 異A15-231 異A15-232 異A15-233 異A15-234 異A15-235 異A15-236 異A15-237 異A15-238 異A15-239 異A15-240 異A15-241 異A15-242 異A15-243 異A15-244 異A15-245 異A15-246 異A15-247 異A15-248 異A15-249 異A15-250 異A15-251 異A15-252 異A15-253 異A15-254 異A15-255 異A15-256 異A15-257 異A15-258 異A15-259 異A15-260 異A15-261 異A15-262 異A15-263 異A15-264 異A15-265 異A15-266 異A15-267 異A15-268 異A15-269 異A15-270 異A15-271 異A15-272 異A15-273 異A15-274 異A15-275 異A15-276 異A15-277 異A15-278 異A15-279 異A15-280 異A15-281 異A15-282 異A15-283 異A15-284 異A15-285 異A15-286 異A15-287 異A15-288 異A15-289 異A15-290 異A15-291 異A15-292 異A15-293 異A15-294 異A15-295 異A15-296 異A15-297 異A15-298 異A15-299 異A15-300 異A15-301 異A15-302 異A15-303 異A15-304 異A15-305 異A15-306 異A15-307 異A15-308 異A15-309 異A15-310 異A15-311 異A15-312 異A15-313 異A15-314 異A15-315 異A15-316 異A15-317 異A15-318 異A15-319 異A15-320 異A15-321 異A15-322 異A15-323 異A15-324 異A15-325 異A15-326 異A15-327 異A15-328 異A15-329 異A15-330 異A15-331 異A15-332 異A15-333 異A15-334 異A15-335 異A15-336 異A15-337 異A15-338 異A15-339 異A15-340 異A15-341 異A15-342 異A15-343 異A15-344 異A15-345 異A15-346 異A15-347 異A15-348 異A15-349 異A15-350 異A15-351 異A15-352 異A15-353 異A15-354 異A15-355 異A15-356 異A15-357 異A15-358 異A15-359 異A15-360 異A15-361 異A15-362 異A15-363 異A15-364 異A15-365 異A15-366 異A15-367 異A15-368 異A15-369 異A15-370 異A15-371 異A15-372 異A15-373 異A15-374 異A15-375 異A15-376 異A15-377 異A15-378 異A15-379 異A15-380 異A15-381 異A15-382 異A15-383 異A15-384 異A15-385 異A15-386 異A15-387 異A15-388 異A15-389 異A15-390 異A15-391 異A15-392 異A15-393 異A15-394 異A15-395 異A15-396 異A15-397 異A15-398 異A15-399 異A15-400 異A15-401 異A15-402 異A15-403 異A15-404 異A15-405 異A15-406 異A15-407 異A15-408 異A15-409 異A15-410 異A15-411 異A15-412 異A15-413 異A15-414 異A15-415 異A15-416 異A15-417 異A15-418 異A15-419 異A15-420 異A15-421 異A15-422 異A15-423 異A15-424 異A15-425 異A15-426 異A15-427 異A15-428 異A15-429 異A15-430 異A15-431 異A15-432 異A15-433 異A15-434 異A15-435 異A15-436 異A15-437 異A15-438 異A15-439 異A15-440 異A15-441 異A15-442 異A15-443 異A15-444 異A15-445 異A15-446 異A15-447 異A15-448 異A15-449 異A15-450 異A15-451 異A15-452 異A15-453 異A15-454 異A15-455 異A15-456 異A15-457 異A15-458 異A15-459 異A15-460 異A15-461 異A15-462 異A15-463 異A15-464 異A15-465 異A15-466 異A15-467 異A15-468 異A15-469 異A15-470 異A15-471 異A15-472 異A15-473 異A15-474 異A15-475 異A15-476 異A15-477 異A15-478 異A15-479 異A15-480 異A15-481 異A15-482 異A15-483 異A15-484 異A15-485 異A15-486 異A15-487 異A15-488 異A15-489 異A15-490 異A15-491 異A15-492 異A15-493 異A15-494 異A15-495 異A15-496 異A15-497 異A15-498 異A15-499 異A15-500 異A15-501 異A15-502 異A15-503 異A15-504 異A15-505 異A15-506 異A15-507 異A15-508 異A15-509 異A15-510 異A15-511 異A15-512 異A15-513 異A15-514 異A15-515 異A15-516 異A15-517 異A15-518 異A15-519 異A15-520 異A15-521 異A15-522 異A15-523 異A15-524 異A15-525 異A15-526 異A15-527 異A15-528 異A15-529 異A15-530 異A15-531 異A15-532 異A15-533 異A15-534 異A15-535 異A15-536 異A15-537 異A15-538 異A15-539 異A15-540 異A15-541 異A15-542 異A15-543 異A15-544 異A15-545 異A15-546 異A15-547 異A15-548 異A15-549 異A15-550 異A15-551 異A15-552 異A15-553 異A15-554 異A15-555 異A15-556 異A15-557 異A15-558 異A15-559 異A15-560 異A15-561 異A15-562 異A15-563 異A15-564 異A15-565 異A15-566 異A15-567 異A15-568 異A15-569 異A15-570 異A15-571 異A15-572 異A15-573 異A15-574 異A15-575 異A15-576 異A15-577 異A15-578 異A15-579 異A15-580 異A15-581 異A15-582 異A15-583 異A15-584 異A15-585 異A15-586 異A15-587 異A15-588 異A15-589 異A15-590 異A15-591 異A15-592 異A15-593 異A15-594 異A15-595 異A15-596 異A15-597 異A15-598 異A15-599 異A15-600 異A15-601 異A15-602 異A15-603 異A15-604 異A15-605 異A15-606 異A15-607 異A15-608 異A15-609 異A15-610 異A15-611 異A15-612 異A15-613 異A15-614 異A15-615 異A15-616 異A15-617 異A15-618 異A15-619 異A15-620 異A15-621 異A15-622 異A15-623 異A15-624 異A15-625 異A15-626 異A15-627 異A15-628 異A15-629 異A15-630 異A15-631 異A15-632 異A15-633 異A15-634 異A15-635 異A15-636 異A15-637 異A15-638 異A15-639 異A15-640 異A15-641 異A15-642 異A15-643 異A15-644 異A15-645 異A15-646 異A15-647 異A15-648 異A15-649 異A15-650 異A15-651 異A15-652 異A15-653 異A15-654 異A15-655 異A15-656 異A15-657 異A15-658 異A15-659 異A15-660 異A15-661 異A15-662 異A15-663 異A15-664 異A15-665 異A15-666 異A15-667 異A15-668 異A15-669 異A15-670 異A15-671 異A15-672 異A15-673 異A15-674 異A15-675 異A15-676 異A15-677 異A15-678 異A15-679 異A15-680 異A15-681 異A15-682 異A15-683 異A15-684 異A15-685 異A15-686 異A15-687 異A15-688 異A15-689 異A15-690 異A15-691 異A15-692 異A15-693 異A15-694 異A15-695 異A15-696 異A15-697 異A15-698 異A15-699 異A15-700 異A15-701 異A15-702 異A15-703 異A15-704 異A15-705 異A15-706 異A15-707 異A15-708 異A15-709 異A15-710 異A15-711 異A15-712 異A15-713 異A15-714 異A15-715 異A15-716 異A15-717 異A15-718 異A15-719 異A15-720 異A15-721 異A15-722 異A15-723 異A15-724 異A15-725 異A15-726 異A15-727 異A15-728 異A15-729 異A15-730 異A15-731 異A15-732 異A15-733 異A15-734 異A15-735 異A15-736 異A15-737 異A15-738 異A15-739 異A15-740 異A15-741 異A15-742 異A15-743 異A15-744 異A15-745 異A15-746 異A15-747 異A15-748 異A15-749 異A15-750 異A15-751 異A15-752 異A15-753 異A15-754 異A15-755 異A15-756 異A15-757 異A15-758 異A15-759 異A15-760 異A15-761 異A15-762 異A15-763 | | | | | | | | | | | | | | |

第28表 弥生時代・古墳時代の土器 観察表(4)

| 探査 番号 | 施設 番号 | 取上番号 | 出土区 | 周 | 基盤 | 部位 | 分類 | 法量(cm) | | | 色調 | 調査 | 胎土 | 構成 | 備考 | | | |
|----------|----------|-----------------------------------|---------|-----|-----|----|-------|---------|---------|---------|------|-----|--------------|--------------|--------------|-------------|--------|---|
| | | | | | | | | 口径 | 底径 | 高さ | | | | | | | | |
| 131 | 1203 | 3882・6569・ 6106・ 6106 | A・B・9 | III | 壁部 | 壁部 | | 13 | (13.3) | 1.8-2.0 | にじ・灰 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 黒芯母 真 | 側面と底部の境間に変色 | | |
| | 1204 | 11800 | C-10 | III | 壁 | 壁部 | | (5.5) | - | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| | 1205 | 1523 | G-7 | II | 壁部 | 壁部 | | 12.7 | (1.8) | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| 132 | 1206 | 5756 | B-8 | III | 底 | 底部 | t+ | (4.5) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| | 1207 | 6318 | B-10 | III | 高脚 | 底部 | t+ | (3.0) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| | 1208 | 6314 | B-10 | III | 高脚 | 底部 | t+ | (3.0) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| | 1209 | 2906・5949 | C-8-D-7 | II | 底 | 底部 | t+b | 37.8 | (5.5) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 |
| | 1210 | 5627・5683 | A-9 | III | 高脚 | 底部 | t+b | (7) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| | 1211 | 5640 | B-9 | III | 底 | 底部 | t+b | (4) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| | 1212 | 1293 | E-9 | II | 底 | 底部 | | (2.0) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| | 1213 | 5997 | C-10 | IV | 底 | 底部 | Z | 15.2 | (9.5) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 |
| | 1214 | 2955・3071 | B-9 | III | 高脚 | 底部 | | (3.0) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| 133 | 1215 | 5735 | B-8 | III | 高脚 | 底部 | | 0 | 底 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| | 1216 | 2267・2296・ 2297・C-103・ 6378 | B-9 | II | 高脚 | 底部 | | 21 | (17.8) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 |
| | 1217 | 5613 | A-9 | III | 高脚 | 底部 | | (10.0) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| | 1218 | 6280・9639 | B-10 | III | 高脚 | 底部 | | (9.2) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| | 1219 | 2461 | B-10 | III | 高脚 | 底部 | | (9.3) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| | 1220 | 5723 | B-9 | III | 高脚 | 底部 | | (7.0) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| | 1221 | 3847・9132・ 一括 | D-9・10 | IV | 底 | 底部 | | (10.0) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| | 1222 | 3910 | D-9 | III | 高脚 | 底部 | | (4.5) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| | 1223 | 5609 | A-9 | III | 下づき | 底部 | 6 | (3.7) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 底 | 底 | 内・外鉛灰 | ○ ○ ○ | 良 | 赤色 | |
| | 1224 | 2758 | C-10 | III | 下づき | 底部 | | (5) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| 134 | 1225 | 3148 | B-9 | III | 下づき | 底部 | | (5.0) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| | 1226 | 2430 | B-9 | III | 下づき | 底部 | | (3.4) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| | 1227 | 3340 | B-12 | III | 下づき | 底部 | | (2.0) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| | 1228 | 3004 | C-9 | III | 下づき | 底部 | | (2.4) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| | 1229 | 2997 | C-8 | III | 下づき | 底部 | | (2.0) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| | 1230 | 5736・一括 | A-8 | III | 下づき | 底部 | | (2.7) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 良 | 赤色 | |
| | 1231 | -一括 | C-9 | III | 下づき | 底部 | | 1.7 | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 良 | 赤色 | |
| | 1232 | -一括 | F-9 | III | 下づき | 底部 | | 2.5 | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 良 | 手押人、爪痕 | |
| | 1233 | 3945 | D-8 | III | 下づき | 底部 | | (1.2) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色不明 | 真 | |
| | 1234 | 7365 | A-9 | III | 下づき | 底部 | | (1.1) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| 135 | 1235 | 6304 | B-10 | III | 下づき | 底部 | | (2.8) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 赤色 | 真 | |
| | 1236 | -一括 | A-10 | III | 下づき | 底部 | | (1.8) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 良 | 黑色 | |
| | 1237 | -一括 | I | その他 | 底部 | | (2.0) | 1.0-1.2 | 1.0 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 良 | 真 | | |

第29表 古代の遺物 観察表(1)

| 探査 番号 | 施設 番号 | 取上番号 | 出土区 | 周 | 基盤 | 部位 | 分類 | 法量(cm) | | | 色調 | 調査 | 胎土 | 構成 | 備考 | | |
|----------|----------------|-------------|------|-----|-----|------|------|--------|----------|----------|-----|-----|--------------|--------------|-------|----|------------|
| | | | | | | | | 口径 | 底径 | 高さ | | | | | | | |
| 1238 | 9-10-11 | 5-12- 12 | I | II | 1底部 | 底部 | 14.1 | 6.0 | 1.5-5.3 | 7.3X3.8 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 翠緑 | 良好 |
| 1239 | 3260 | B-13 | II | II | 1底部 | 底部 | 12 | 5 | 4.9 | 7.3X3.8 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 翠緑 | 良好 |
| 1240 | 3780-4477-4304 | C-11 | II | II | 1底部 | 底部 | 13 | 5.6 | 3.7 | 7.3X3.8 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 翠緑 | 体部下部に粘土剥離 |
| 1241 | 9667-9669 | C-14 | I-9 | II | 1底部 | 底部 | 13.2 | 7.9 | 4 | 7.3X3.8 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 翠緑 | 体部外側にケズり痕跡 |
| 1242 | 168-一括 | 8-12-27 | I | II | 1底部 | 底部 | 13.2 | 6.6 | 4.45 | 7.3X3.8 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 翠緑 | 良好 |
| 1243 | II-a14-34 | B-13 | II | II | 1底部 | 底部 | 14.0 | - | 6.6 | 7.3X3.8 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 翠緑 | 良好 |
| 1244 | 4168 | C-10 | II | II | 1底部 | 底部 | 14.8 | - | 6.6 | 7.3X3.8 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 翠緑 | 良好 |
| 1245 | 2413-5531 | B-D-10 | II | II | 1底部 | 底部 | 12.4 | - | 6.6 | 7.3X3.8 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 翠緑 | 良好 |
| 1246 | -一括 | 13 | II | II | 1底部 | 底部 | 13 | - | 6.6 | 7.3X3.8 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 翠緑 | 良好 |
| 1247 | TT | I | II | 1底部 | 底部 | 16.2 | - | 6.6 | 10.7X7.3 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 翠緑 | 良好 | |
| 1248 | ZT62-4075 | C-10- 5 | II | II | 底 | 底部 | - | 6.45 | - | 8.0X7.3 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 翠緑 | 良好 |
| 1249 | 4081 | E-9 | II | II | 底 | 底部 | - | 7.2 | - | 8.0X7.3 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 翠緑 | 良好 |
| 1250 | 3272 | B-13 | II-8 | II | 底 | 底部 | - | 7.6 | - | 8.0X7.3 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 翠緑 | 良好 |
| 1251 | 4471 | C-11 | II | II | 底 | 底部 | - | 6.8 | - | 8.0X7.3 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 翠緑 | 良好 |
| 1252 | 4074 | E-9 | II | II | 底 | 底部 | - | 6.6 | - | 8.0X7.3 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 翠緑 | 良好 |
| 1253 | II-a14-9 | B-13 | II | II | 底 | 底部 | - | - | - | 8.0X7.3 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 翠緑 | 良好 |
| 1254 | -一括 | E-11 | I | その他 | 底 | - | 10.7 | - | - | 10.9X7.4 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 翠緑 | 良好 |
| 1255 | 2769 | B-10 | II | II | 底 | 底部 | - | 9 | - | 10.9X7.4 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 翠緑 | 良好 |
| 1256 | 4121 | D-9 | II | II | 底 | 底部 | - | 6 | - | 10.9X7.4 | 青 | 内V字 | 内V字 | 白・ハナリ・チリ(鉛灰) | ○ ○ ○ | 翠緑 | 良好 |

第30表 古代の遺物 観察表(2)

| 序号 | 標識番号 | 取上番号 | 出土区 | 層 | 基層 | 部位 | 法量(cm) | | | 色調 | | 調査 | 出土 台有物 | 特徴 | 成 | 備考 |
|-----|------|-----------|------|---|--------|-------|--------|----|----|----------------|------------------|----|------------|----|----|----|
| | | | | | | | 口径 | 底径 | 壁高 | 内面 | 外面 | | | | | |
| | 1257 | 5566-5953 | B-10 | ■ | II | I-基層 | 11.4 | | | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | |
| | 1258 | 9771 | B-10 | ■ | II | II-基層 | 15.4 | | | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | |
| | 1259 | 9758 | C-10 | ■ | II-III | II-基層 | | | | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | |
| 134 | 1260 | 9632 | B-10 | ■ | II-III | II-基層 | | | | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | 赤鉄・小石 含 | 堅硬 | 良好 | |
| | 1261 | - | B-10 | ■ | II-III | II-基層 | | | | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | |
| | 1262 | 6477 | A-10 | ■ | II-III | II-基層 | | | | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | |
| | 1263 | - | D-8 | N | II-III | II-基層 | | | | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | 赤鉄・石英 含 | 堅硬 | 良好 | |

第31表 古代の遺物 観察表(3)

| 序号 | 標識番号 | 取上番号 | 出土区 | 層 | 基層 | 部位 | 法量(cm) | | | 色調 | | 調査 | 出土 台有物 | 特徴 | 成 | 備考 |
|-----|------|--------------|--------|---|--------|---------|--------|-----|------|----------------|------------------|----|-----------|----|----|-----------------|
| | | | | | | | 口径 | 底径 | 壁高 | 内面 | 外面 | | | | | |
| | 1204 | 3771-3772 | D-11 | ■ | H | I-II-基層 | 15.9 | 7.6 | 6.45 | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | 堅硬・柱状・球状・錐形・円錐形 |
| | 1265 | -45-2580 | B-9-10 | ■ | II-III | I-II-基層 | 14.1 | | | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | |
| | 1266 | 2939-5512 | B-C-10 | ■ | II-III | I-II-基層 | 15.8 | | | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | |
| | 1267 | 2410-2764 | B-C-10 | ■ | II-III | I-II-基層 | 16.6 | | | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | 堅硬・柱状・球状・錐形・円錐形 |
| 134 | 1268 | 4092 | D-9 | ■ | II-III | I-II-基層 | | | | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | 堅硬・柱状・球状・錐形・円錐形 |
| | 1269 | 2346-2347 | C-10 | ■ | H | II-III | 8.3 | | | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | 堅硬・柱状・球状・錐形・円錐形 |
| | 1270 | 1633-1634 | A-B-16 | ■ | II-III | I-II-基層 | 12.8 | 6.2 | 3.7 | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | 堅硬・柱状・球状・錐形・円錐形 |
| | 1271 | 1635-1640-48 | A-B-16 | ■ | H | II-III | 8.8 | | | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | 堅硬・柱状・球状・錐形・円錐形 |
| | 1272 | 961 | G-10 | ■ | H | II-III | 6.8 | | | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 良好 | | |

第32表 中世の遺物 観察表

| 序号 | 標識番号 | 取上番号 | 出土区 | 層 | 基層 | 部位 | 法量(cm) | | | 色調 | | 調査 | 出土 台有物 | 特徴 | 成 | 備考 |
|----|------|----------|------|---|----|---------|--------|-----|-----|----------------|------------------|----|-----------|----|----|----|
| | | | | | | | 口径 | 底径 | 壁高 | 内面 | 外面 | | | | | |
| | 1273 | 318 | F-12 | ■ | H | I-II-基層 | 11.6 | 9.2 | 2.8 | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | |
| | 1274 | 2432 | B-9 | ■ | H | I-II-基層 | 12.2 | 9 | 2 | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | |
| | 1275 | 4109 | D-9 | ■ | H | I-II-基層 | 11 | 6.9 | 1.8 | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | |
| | 1276 | 1576 | F-10 | ■ | H | II-III | 9.3 | | | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | |
| | 1277 | 3369 | C-8 | ■ | H | I-II-基層 | 7.2 | 4.7 | 1.8 | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | |
| | 1278 | 8958 | E-9 | ■ | H | II-III | 5.2 | | | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | |
| | 1279 | ■-a-15周内 | - | ■ | H | II-III | 7 | | | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | |
| | 1280 | 2771 | B-10 | ■ | H | II-III | 12.9 | | | 内:黒褐色 外:黒褐色 | 二二:黒褐色 三三:黒褐色 | 探 | | 堅硬 | 良好 | |

第33表 陶磁器類 観察表

| 序号 | 標識番号 | 取上番号 | 出土区 | 層 | 基層 | 部位 | 法量(cm) | | | 色調 | | 施釉部位・施装 | 年代 | 構成 | 備考 |
|----|------|-------|-----------|----|----|----------|--------|-----|-----|------------|--------------|---------|--------|------|---------------|
| | | | | | | | 口径 | 底径 | 壁高 | 内面 | 外面 | | | | |
| | 1281 | - | G-11 | ■ | 白磁 | I-II-基層 | 10.35 | | | 内:白 外:白 | 二二:白 三三:白 | 探 | 13世紀中期 | 14世紀 | 太平山分類の既存、F-該当 |
| | 1282 | 661 | G-11 | ■ | 白磁 | I-II-基層 | 10.4 | | | 内:白 外:白 | 二二:白 三三:白 | 探 | | | |
| | 1283 | - | I | 青磁 | ■ | II-III | 4.8 | | | 内:青 外:青 | 二二:青 三三:青 | 探 | | | |
| | 1284 | 1121 | G-10 | ■ | 青磁 | II-III | | | | 内:青 外:青 | 二二:青 三三:青 | 探 | | | |
| | 1285 | 12T-1 | G-10-11 | ■ | 青磁 | II-III | | | | 内:青 外:青 | 二二:青 三三:青 | 探 | | | |
| | 1286 | - | G-10 | ■ | 青磁 | II-III | | | | 内:青 外:青 | 二二:青 三三:青 | 探 | | | |
| | 1287 | - | G-C-11～12 | ■ | 白磁 | II-III | 3.6 | | | 内:白 外:白 | 二二:白 三三:白 | 探 | 12世紀 | 13世紀 | 森田分類主張 |
| | 1288 | - | I | 青磁 | ■ | II-III | | | | 内:青 外:青 | 二二:青 三三:青 | 探 | 12世紀 | 13世紀 | 森田分類主張 |
| | 1289 | 2261 | B-9 | ■ | 青磁 | I-II-III | 11.2 | | | 内:青 外:青 | 二二:青 三三:青 | 探 | 12世紀 | 13世紀 | 森田分類主張 |
| | 1290 | - | E-11 | ■ | 青磁 | II-III | | | | 内:青 外:青 | 二二:青 三三:青 | 探 | 12世紀 | 13世紀 | 森田分類主張 |
| | 1291 | - | I | 青磁 | ■ | II-III | | | | 内:青 外:青 | 二二:青 三三:青 | 探 | 12世紀 | 13世紀 | 森田分類主張 |
| | 1292 | - | G-10 | ■ | 青磁 | I-II-III | 9.4 | 3.2 | 3.1 | 内:青 外:青 | 二二:青 三三:青 | 探 | 12世紀 | 13世紀 | 森田分類主張 |
| | 1293 | 2560 | B-9 | ■ | 青磁 | II-III | 4.4 | | | 内:青 外:青 | 二二:青 三三:青 | 探 | 12世紀 | 13世紀 | 森田分類主張 |
| | 1294 | - | I | 青磁 | ■ | II-III | | | | 内:青 外:青 | 二二:青 三三:青 | 探 | 12世紀 | 13世紀 | 森田分類主張 |
| | 1295 | - | I | 青磁 | ■ | II-III | | | | 内:青 外:青 | 二二:青 三三:青 | 探 | 12世紀 | 13世紀 | 森田分類主張 |
| | 1296 | - | I | 青磁 | ■ | II-III | | | | 内:青 外:青 | 二二:青 三三:青 | 探 | 12世紀 | 13世紀 | 森田分類主張 |
| | 1297 | - | G-11 | ■ | 青磁 | I-II-III | | | | 内:青 外:青 | 二二:青 三三:青 | 探 | 12世紀 | 13世紀 | 森田分類主張 |
| | 1298 | - | I | 青磁 | ■ | II-III | | | | 内:青 外:青 | 二二:青 三三:青 | 探 | 12世紀 | 13世紀 | 森田分類主張 |
| | 1299 | - | G-9 | ■ | 青磁 | II-III | 5.2 | | | 内:青 外:青 | 二二:青 三三:青 | 探 | 12世紀 | 13世紀 | 森田分類主張 |
| | 1300 | 11T-1 | G-10～12 | ■ | 青磁 | II-III | 5.2 | | | 内:青 外:青 | 二二:青 三三:青 | 探 | 12世紀 | 13世紀 | 森田分類主張 |
| | 1301 | - | I | 青磁 | ■ | II-III | 6.6 | | | 内:青 外:青 | 二二:青 三三:青 | 探 | 12世紀 | 13世紀 | 森田分類主張 |
| | 1302 | - | G-C-2～9 | ■ | 青磁 | II-III | 8 | | | 内:青 外:青 | 二二:青 三三:青 | 探 | 12世紀 | 13世紀 | 森田分類主張 |

第34表 青花・染付 観察表

| 標記 番号 | 通巻 番号 | 取上番号 | 出土区 | 層 | 墓種 | 部位 | 法量(cm) | | | 色調 | | 施釉部位・調節 | 年代 | 集成 | 備考 |
|----------|----------|------|------|----|-----|----------|--------|------|---------|---------|--|--|-------------|-------|-------|
| | | | | | | | 口径 | 底径 | 基盤 | 胎土 | 釉色 | | | | |
| | 1303 | 2102 | E-12 | II | 窓 | 1000-800 | 14 | 5 | 26.2 | 23.78±1 | 透明 | 内面(底面)青花文様・施釉部底足丸。 外側(口縁)青花文様・施釉部底足丸。 | 14世紀～17世紀前半 | DAF | 初期青花窓 |
| | 1304 | - | - | I | 窓 | 1000-800 | 15.2 | - | 26.2 | 23.78±1 | 透明 | 内面(底面)青花文様・施釉部底足丸。 外側(口縁)青花文様・施釉部底足丸。 | DAF | 初期青花窓 | |
| 1305 | - | - | I | 窓 | L脚部 | 11.8 | - | 26.2 | 23.78±1 | 透明 | 内面(底面)青花文様・施釉部底足丸。 外側(口縁)青花文様・施釉部底足丸。 | 14世紀～17世紀前半 | DAF | 中期青花窓 | |
| 1306 | 3786 | C-11 | II | 底部 | 1脚部 | 11 | - | 26.2 | 23.78±1 | 透明 | 内面(底面)青花文様・施釉部底足丸。 | 14世紀～17世紀前半 | DAF | 中期青花窓 | |
| 1307 | - | - | I | 窓 | 底部 | 4.4 | - | 26.2 | 23.78±1 | 透明 | 内面(底面)青花文様・施釉部底足丸。 | 14世紀～17世紀前半 | DAF | 中期青花窓 | |
| 1308 | - | - | D-9 | I | 窓 | 底部 | 6.8 | - | 26.2 | 23.78±1 | 透明 | 内面(底面)青花文様・施釉部底足丸。 外側(口縁)青花文様・施釉部底足丸。 | 14世紀～17世紀前半 | DAF | 中期青花窓 |
| 1309 | - | - | I | 窓 | 底部 | 5.4 | - | 26.2 | 23.78±1 | 透明 | 内面(底面)青花文様・施釉部底足丸。 | 14世紀後半 | DAF | 中期青花窓 | |
| 1310 | - | - | I | 窓 | 底部 | 5.6 | - | 26.2 | 23.78±1 | 透明 | 内面(底面)青花文様・施釉部底足丸。 | 14世紀後半 | DAF | 中期青花窓 | |

第35表 国産陶磁器類 観察表

| 標記 番号 | 通巻 番号 | 取上番号 | 出土区 | 層 | 墓種 | 部位 | 法量(cm) | | | 色調 | | 施釉部位・調節 | 年代 | 集成 | 備考 |
|----------|----------|------|-------|---|----|-----|--------|------|---------|---------|--------------------|------------|-----------|----------|---------|
| | | | | | | | 口径 | 底径 | 基盤 | 胎土 | 釉色 | | | | |
| | 1311 | - | 3.3.1 | I | 灰 | 1脚部 | 11.4 | 4.2 | 6.1 | 10.95±1 | 透明 | 内面～外周部まで施釉 | 13世紀～16世紀 | DAF | 16世紀・美濃 |
| 1312 | - | - | I | 灰 | 底部 | 4.6 | - | 25.3 | 23.82±2 | 透明 | 内面(底面)青花文様・施釉部底足丸。 | 良好 | 更前系の模様焼物 | | |
| 1313 | - | - | I | 灰 | 底部 | 3.1 | - | 26.2 | 23.78±1 | 透明 | 内面(底面)青花文様・施釉部底足丸。 | 14世紀 | 良好 | 肥前系の小仏東窯 | |
| 1314 | - | - | I | 灰 | 把手 | - | - | 26.0 | 23.78±1 | 透明 | 内側を青花文様・施釉部底足丸。 | 17世紀後半 | DAF | 中期青花把手 | |

第36表 土師器 観察表

| 標記 番号 | 通巻 番号 | 取上番号 | 出土区 | 層 | 墓種 | 部位 | 法量(cm) | | | 色調 | | 調節 | 年代 | 集成 | 備考 |
|----------|----------|-----------------------|------|----|-----|------|--------|----|---------------------------|---------------------------|--------------------|--------|-----------------------|--------|---------|
| | | | | | | | 口径 | 底径 | 基盤 | 内面 | 外面 | | | | |
| | 1315 | 10044-10051- 10055 | B-9 | II | 灰 | 1脚部 | 31 | - | - | 内面(底面) 内側を青花文様・施釉部底足丸。 | 外側(口縁)青花文様・施釉部底足丸。 | 良好 | 16世紀以前 | DAF | 16世紀・美濃 |
| | 1316 | 1 | B-11 | II | 灰 | 底部 | - | - | - | 内面(底面) 内側を青花文様・施釉部底足丸。 | 外側(口縁)青花文様・施釉部底足丸。 | 良好 | 更前系の模様焼物 | | |
| 1317 | 5987 | C-10 | II | 灰 | 1脚部 | 24.4 | - | - | - | 内面(底面) 内側を青花文様・施釉部底足丸。 | 外側(口縁)青花文様・施釉部底足丸。 | 良好 | 16世紀以前～中期に亘り続いているものナマ | | |
| 1318 | 9583 | C-10 | II | 灰 | 底部 | - | - | - | 内面(底面) 内側を青花文様・施釉部底足丸。 | 外側(口縁)青花文様・施釉部底足丸。 | 良好 | 中世～近世 | DAF | 中世～近世 | |
| 1319 | 5966 | B-10 | II | 灰 | 底部 | - | - | - | 内面(底面) 内側を青花文様・施釉部底足丸。 | 外側(口縁)青花文様・施釉部底足丸。 | 良好 | 13世紀後半 | DAF | 13世紀後半 | |

第37表 須恵器 観察表

| 標記 番号 | 通巻 番号 | 取上番号 | 出土区 | 層 | 墓種 | 部位 | 法量(cm) | | | 色調 | | 調節 | 年代 | 集成 | 備考 |
|----------|-----------|------|-----|---|----|-----|--------|----|----|---------------------------|--------------------|----|----|-----|----|
| | | | | | | | 口径 | 底径 | 基盤 | 内面 | 外面 | | | | |
| | 1320 | - | I | 窓 | 底部 | 9.4 | - | - | - | 内面(底面) 内側を青花文様・施釉部底足丸。 | 外側(口縁)青花文様・施釉部底足丸。 | 良好 | 自然 | DAF | 自然 |
| 1321 | 1737 | D-17 | II | 灰 | 底部 | - | - | - | - | 内面(底面) 内側を青花文様・施釉部底足丸。 | 外側(口縁)青花文様・施釉部底足丸。 | 良好 | 自然 | DAF | 自然 |
| 1322 | III-14-14 | B-13 | II | 灰 | 底部 | - | - | - | - | 内面(底面) 内側を青花文様・施釉部底足丸。 | 外側(口縁)青花文様・施釉部底足丸。 | 良好 | 自然 | DAF | 自然 |

第38表 その他 観察表(1)

| 標記 番号 | 通巻 番号 | 取上番号 | 出土区 | 層 | 墓種 | 部位 | 法量(cm) | | | 色調 | | 調節 | 年代 | 集成 | 備考 |
|----------|----------|------|------|----|----|----|--------|----|----|---------------------------|--------------------|----|----------|-----|--------|
| | | | | | | | 口径 | 底径 | 基盤 | 内面 | 外面 | | | | |
| | 1323 | 128 | B-12 | II | 灰 | 脚 | 17.5 | - | - | 内面(底面) 内側を青花文様・施釉部底足丸。 | 外側(口縁)青花文様・施釉部底足丸。 | 良好 | 13世紀の焼き口 | | |
| | 1324 | - | E-10 | I | 灰 | 火鉢 | - | - | - | 内面(底面) 内側を青花文様・施釉部底足丸。 | 外側(口縁)青花文様・施釉部底足丸。 | 良好 | 13世紀の焼き口 | | |
| | 1325 | - | I | 灰 | 脚 | 37 | - | - | - | 内面(底面) 内側を青花文様・施釉部底足丸。 | 外側(口縁)青花文様・施釉部底足丸。 | 良好 | 13世紀以前 | DAF | 13世紀以前 |
| | 1326 | - | E-11 | I | 灰 | 火鉢 | 1脚部 | - | - | 内面(底面) 内側を青花文様・施釉部底足丸。 | 外側(口縁)青花文様・施釉部底足丸。 | 中併 | 中併 | DAF | 中併 |

第39表 その他 観察表(2)

| 標記 番号 | 通巻 番号 | 取上番号 | 出土区 | 層 | 墓種 | 部位 | 法量(cm) | | | 色調 | | 年代 | 集成 | 備考 |
|----------|----------|------|-----|----|----|-----|--------|-----|-----|-------|----------|----|----|----|
| | | | | | | | 長さ | 幅 | 厚さ | 内面 | 外面 | | | |
| 1327 | 5727 | 89 | その他 | 鉢片 | 灰 | その他 | 14.8 | 4.2 | 0.9 | 中近世か? | 新造、刃物片か? | | | |

第40表 その他 観察表(3)

| 標記 番号 | 通巻 番号 | 取上番号 | 出土区 | 層 | 墓種 | 部位 | 法量(cm) | | | 色調 | | 調節 | 年代 | 集成 | 備考 |
|----------|----------|------|-----|-----|----|-----|--------|----|----|----|----|----|-------------|-----|------|
| | | | | | | | 口径 | 底径 | 基盤 | 内面 | 外面 | | | | |
| 1328 | 2394 | C-9 | II | その他 | 鉢底 | 政和官 | - | - | - | 内面 | 外面 | 良好 | 政和元年(1111年) | DAF | 政和元年 |

第4章 自然科学分析

堀之内遺跡の自然科学分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

堀之内遺跡では、縄文時代前期と考えられる集石遺構、黒曜石を用いた打製石器の製作所跡、古代の炉跡や溝跡などの遺構が検出されている。

本報告では、各遺構の年代と木材利用を検討するため、出土した炭化材の放射性炭素年代測定と樹種同定を実施する。また、V層の層序を確認するためのテフラ分析を実施する。

I. 炭化材の放射性炭素年代測定と樹種同定

1. 試料

試料は、炉跡を伴う大型土坑、溝状遺構4号北端の焼土、集石2号から出土した炭化材3点である。いずれも多数の破片が認められる。各試料から、樹木の外側に近いと考えられる破片を抽出した。各炭化材を二分割し、残存する最外年輪を含む3~4年分の破片を放射性炭素年代測定、残りを樹種同定試料とした。放射性炭素年代測定試料は、No.1, 3, 5、樹種同定試料はNo.2, 4, 6の試料番号が付されている。

2. 分析方法

(1) 放射性炭素年代測定

土壤や根など目的物と異なる年代を持つものが付着している場合、これらをビンセット、超音波洗浄などにより物理的に除去する。その後HClにより炭酸塩等酸可溶成分を除去、NaOHにより腐植酸等アルカリ可溶成分を除去、HClによりアルカリ処理時に生成した炭酸塩等酸可溶成分の除去を行う(酸・アルカリ・酸処理)。

試料をバイコール管に入れ、1gの酸化銅(II)と銀管(硫化物を除去するため)を加えて、管内を真空中にして封じきり、500°C(30分)850°C(2時間)で加熱する。液体窒素と液体窒素+エタノールの温度差を利用して、真空ラインにてCO₂を精製する。真空ラインにてバイコール管に精製したCO₂と鉄・水素を投入し封じ切る。鉄のあるバイコール管底部のみを650°Cで10時間以上加熱し、グラファイトを生成する。

化学処理後のグラファイト・鉄粉混合試料を内径1mmの孔にプレスして、タンデム加速器のイオン源に装着し、測定する。測定機器は、3MV小型タンデム加速器をベースとした14C-AMS専用装置(NEC Pelletron 9SDH-2)を使用する。AMS測定時に、標準試料である米国国立標準局(NIST)から提供されるシュウ酸(HOX-II)とバックグラウント試料の測定も行う。また、測定中同時に13C/12Cの測定も行うため、この値を用いてδ 13Cを算出する。

放射性炭素の半減期はLIBBYの半減期5,568年を使用する。また、測定年代は1950年を基点とした年代

(BP)であり、誤差は標準偏差(One Sigma:68%)に相当する年代である。なお、曆年較正は、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV.6.0 (Copyright 1986-2010 M Stuiver and PJ Reimer)を用いる。

曆年較正とは、大気中の¹⁴C濃度が一定で半減期が5568年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の¹⁴C濃度の変動、及び半減期の違い(¹⁴Cの半減期5730±40年)を較正することである。曆年較正に関しては、本来10年単位で表すのが通常であるが、基本的に曆年較正プログラムや曆年較正曲線の改正があった場合の再計算、再検討に対応するため、1年単位で表している。

曆年較正は、測定誤差 σ 、 2σ 双方の値を計算する。 σ は統計的に真の値が68%の確率で存在する範囲、 2σ は真の値が95%の確率で存在する範囲である。また、表中の相対比とは、 σ 、 2σ の範囲をそれぞれ1とした場合、その範囲内で真の値が存在する確率を相対的に示したものである。

(2) 樹種同定

炭化材を自然乾燥させた後、木口(横断面)・板目(放射断面)・板目(接線断面)の割断面を作製して実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡で木材組織の種類や配列を観察し、その特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本產木材識別データベースと比較して種類(分類群)を同定する

なお、木材組織の名称や特徴は、島地・伊東(1982)やWheeler他(1998)を参考にする。また、日本產木材の組織配列については、林(1991)や伊東(1995, 1996, 1997, 1998, 1999)を参考にする。

3. 結果

(1) 放射性炭素年代測定

同位体効果による補正を行った測定結果および曆年較正結果を表1、図1に示す。補正年代は、試料番号1が1,280±20BP、試料番号3が1,270±20BP、試料番号5が9,350±30BPを示す。また、測定誤差を 2σ として計算させた曆年較正結果(確率1)は、試料番号1がcalAD671-776、試料番号2がcalAD672-777、試料番号3がcalBC8, 725-8, 543である。

(2) 樹種同定

樹種同定結果は、年代測定結果と共に表1に示した。炭化材は、広葉樹2分類群(クスノキ・ケンボナシ属)に同定された。各分類群の解剖学的特徴等を記す。

・クスノキ(Cinnamomum camphora (L.) Presl)

クスノキ科ニッケイ属

散孔材で、道管径は比較的大径で、道管壁は薄く、横断面では多角形へ楕円形、単独または2~3個が放射方向に複合して散在し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は單穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は異性、1~3細胞幅、1~20細胞高。柔組織は周囲

状～翼状。柔細胞には大型の油細胞が認められる。

・ケンボナシ属 (Hovenia) クロウメモドキ科

環孔材で、孔圈部は1～3列、孔圈外でやや急激に道管径を減じたのち、厚壁の道管が単独または2個が放射方向に複合して配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は單穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は異性、1～5細胞幅、1～40細胞高。

4. 考察

炉跡を伴う大型土坑状遺構の炭化材は、補正年代が $1,280 \pm 20BP$ と $1,270 \pm 20BP$ ではほぼ同時期を示す。曆年較正結果から、7世紀後半～8世紀後半頃の遺構と考えられる。炭化材は、2基ともクスノキに同定された。クスノキは、暖温帶常緑広葉樹林内に生育する常緑高木であり、木材は軽軟～中庸で、精油成分（樟脑）を含むことから耐朽性・防虫性が極めて高い。年代測定試料から分割した炭化材以外の破片も一通り観察したが、全てクスノキであった。この結果から、炉跡ではクスノキの木材が選択的に利用されていた可能性がある。

集石2号の炭化材は、補正年代が $9,350 \pm 30BP$ で、曆年較正結果はcal BC 8,725-8,513(cal BP 10,674-10,492)であり、繩文時代早期の年代に該当する。この炭化材は、広葉樹のケンボナシ属に同定された。ケンボナシ属は、林縁部などに生育する落葉高木であり、木材は中庸～やや軽軟な部類に入る。1点のみであるが、周辺に生育していたケンボナシ属の木材を燃料材などとして使用したことが推定される。

II. V層のテフラ分析

1. 試料

試料は、D-10区のV層より採取された土壌1点である。外觀は、黒褐色を呈するシルト質の火山灰土いわゆる黒ボク土であり、肉眼で観察される碎屑物は、斜長石などの鉱物片と考えられる径0.5mm以下の白色粒が微量認められるのみである。

2. 分析方法

試料を適量採取し、水を加え、超音波洗浄装置を用いて粒子を分散し、250 メッシュの分析篩上にて水洗して粒径が $1/16mm$ より小さい粒子を除去する。乾燥させた後、箇別して、得られた粒径 $1/4mm$ ～ $8mm$ の砂分を、ボリタングステン酸ナトリウム（比重約2.96に調整）により重液分離し、得られた重鉱物を偏光顕微鏡下にて250粒に達するまで同定する。同定の際、不透明な粒については、斜め上方からの落射光下で黒色金属光沢を呈するものののみを「不透明鉱物」とする。「不透明鉱物」以外の不透明粒および変質等で同定の不可能な粒は「その他」とする。

一方、重液分離により得られた重鉱物分については、火山ガラスとそれ以外の粒子を、偏光顕微鏡下にて250

粒に達するまで計数し、火山ガラスの量比を求める。火山ガラスは、その形態によりバブル型、中間型、軽石型の3つの型に分類する。各型の形態は、バブル型は薄手平板状あるいは泡のつぎ目をなす部分であるY字状の高まりを持つもの。中間型は表面に気泡の少ない厚手平板状あるいは塊状のもの、軽石型は表面に小気泡を非常に多く持つ塊状および気泡の長く延びた纖維束状のものとする。

屈折率の測定は、処理後に得られた鉱物分から摘出した火山ガラスと重鉱物分から摘出した斜方輝石とを対象として、古澤（1995）のMAIOTを使用した温度変化法を用いる。

3. 結果

分析結果を表2、図2に示す。

重鉱物組成は、斜方輝石が最も多く、約60%を占め、次いで不透明鉱物が多く、約30%を占める。他に少量の单斜輝石と微量の角閃石が含まれる。火山ガラス比では、バブル型火山ガラスが多く含まれ、少量の軽石型火山ガラスを含む。火山ガラスのほとんどは無色透明であるが、比較的径の大きい火山ガラスの中には、褐色を呈するものも認められる。

屈折率の測定結果を図3に示す。火山ガラスは、nL 500-1.501という狭いレンジに集中する。斜方輝石はγ 1.725-1.732のレンジを示し、モードはγ 1.730-1.732にある。

4. 考察

試料から検出された多量の火山ガラスは、その形態とnL 500付近の狭いレンジに集中する屈折率とから、始良田火山灰(AT:町田・新井, 1976)に由来すると考えられる。また、斜方輝石の屈折率は、町田・新井(2003)などを参照すると、日本に分布する火山から噴出したテフラに含まれる斜方輝石の屈折率の中では、かなり高い値である。この値もATに伴う斜方輝石の屈折率とはほぼ一致する。したがって、V層とされた黒ボク土層中には、ATに由来する火山ガラスと鉱物が多量に含まれていると考えられる。

ATは、始良カルデラから噴出した入戸火碎流から発生した多量の火山灰が風に送られて広大な範囲に降下堆積したテフラとされているが(町田・新井, 1976)、堀之内遺跡の位置する薩摩川内市には、入戸火碎流堆積物本体からなる台地いわゆるシラス台地も分布している(鹿児島県地質図編集委員会, 1990)。したがって、黒ボク土のような乾陸上で形成される土壤中には、その母材として多量の入戸火碎流堆積物に由来する碎屑物が含まれていると考えられる。今回の試料から検出された多量のATに由来とした碎屑物は、V層とされた黒ボク土の形成時に風成塵として周辺から供給されたことが推定される。

表1. 放射性炭素年代測定結果および樹種同定結果

| 試料番号 遺構など | 材質 (種類) | 処理 方法 | 測定年代 BP | $\delta^{13}\text{C}$ (‰) | 補正年代 (樹年較正用) BP | 曆年較正結果 | | | | Code No. |
|----------------------------|---------------------|----------|-----------------------|------------------------------|-----------------------|---|---|---|---|----------|
| | | | | | | 誤差 | cal BC/AD | cal BP | 相対比 | |
| No.1, 2 炉跡を伴う 大型土坑 | 炭化材 (クスノキ) | AaA | 1,360 ± 20 7.0, 42 | -30.06 (1,275 ± 24) | 1,280 ± 20 7.0, 42 | σ calAD 686 - calAD 721 calAD 741 - calAD 770 2 σ calAD 671 - calAD 776 calAD 740 - calAD 770 2 σ calAD 672 - calAD 777 | calBP 1,264 - 1,229 calBP 1,209 - 1,180 calBP 1,279 - 1,174 calBP 1,210 - 1,180 calBP 1,278 - 1,173 | 0.549 0.451 1.000 0.445 1.000 | IAAA- IAAA- IAAA- IAAA- IAAA- | 20589 |
| No.3, 4 溝状遺構4号 北端の焼土 | 炭化材 (クスノキ) | AAA | 1,290 ± 20 7.0, 37 | -26.18 (1,271 ± 23) | 1,270 ± 20 7.0, 37 | σ calAD 688 - calAD 723 calAD 740 - calAD 776 2 σ calAD 672 - calAD 777 | calBP 1,262 - 1,227 calBP 1,210 - 1,180 calBP 1,278 - 1,173 | 0.555 0.445 1.000 | IAAA- IAAA- IAAA- | 20590 |
| No.5, 6 集石2号 | 炭化材 (ケンボナシ属) | AaA | 9,390 ± 30 7.0, 36 | -27.87 (9,348 ± 34) | 9,350 ± 30 7.0, 36 | σ calBC 8,696 - calBC 8,682 calBC 8,639 - calBC 8,563 2 σ calBC 8,725 - calBC 8,543 calBC 8,605 - calBC 8,491 | calBP 10,645 - 10,631 calBP 10,588 - 10,512 calBP 10,674 - 10,492 calBP 10,454 - 10,440 | 0.124 0.876 0.979 0.021 | IAAA- IAAA- IAAA- IAAA- | 20591 |

①処理方法は、酸処理-アルカリ処理-酸処理(IAAA処理)で、アルカリ濃度が1N未満の場合はAaAと表記している。

②年代値の算出には、Libbyの半減期5568年を使用した。

③BP年代値は、1950年を基点として何年前であるかを示す。

④付記した誤差は、測定誤差 σ （測定値の68%が入る範囲）を年代値に換算した値。

⑤曆年の計算には、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV6.0 (Copyright 1986-2010M Stuiver and PJ Reimer) を使用した。

⑥曆年の計算には、補正年代に0で曆年較正年代として示した。一日前を丸める前の値を使用している。

⑦年代値は、1桁日を丸めるのが慣例だが、曆年較正曲線や曆年較正プログラムが改正された場合の再計算や比較が行いやすいように、

曆年較正用年代値は1桁日を丸めていない。

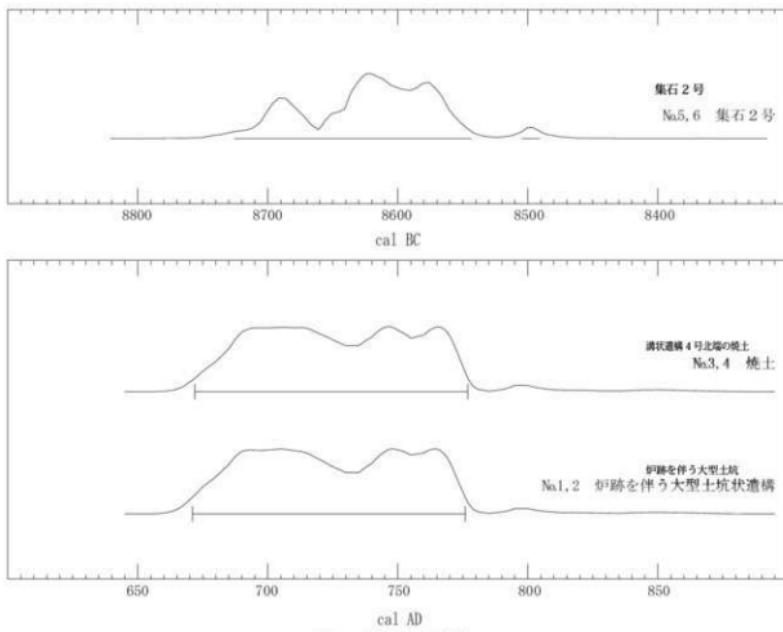
⑧統計的に真の値が入る確率は σ は68%、2 σ は95%である。⑨相対比は、 σ 、2 σ のそれぞれを1とした場合、確率的に真の値が存在する比率を相対的に示したものである。

図1. 曆年較正結果

なお、発掘調査所見では、V層からは、旧石器時代から縄文時代早期までの遺物が出土しており、12,800年前に噴出した桜島薩摩テフラ(Sz-S; 小林, 1986; 町田・新井, 2003)の包含が予測された。しかし、今回の分析では、Sz-Sに由来する碎屑物は確認できなかった。小林・温池(2002)に記載されたSz-Sの分布図等を参照すれば、薩摩川内市付近には数cmから10cm程度の厚さで降下堆積していることが予測される。降下テフラの保存条件の悪い場所であっても、おそらく土層断面中に擾乱されているような状況が肉眼でも観察されると考えられるが、本分析の試料の観察からは、前述したようにSz-Sに由来するような碎屑物(軽石など)は確認できていない。今後、堀之内跡周辺の各地におけるテフラの産状を確認することにより、堀之内跡におけるSz-Sの産状を検討する必要があると考えられる。

引用文献

- 古澤 明, 1995. 火山ガラスの屈折率測定および形態分類とその統計的解析に基づくテフラの識別. 地質学雑誌, 101, 123-133.
- 林 昭三, 1991. 日本産木材顕微鏡写真集. 京都大学木質科学研究所.
- 伊東隆夫, 1995. 日本産広葉樹材の解剖学的記載 I. 木材研究・資料, 31, 京都大学木質科学研究所, 81-181.
- 伊東隆夫, 1996. 日本産広葉樹材の解剖学的記載 II. 木材研究・資料, 32, 京都大学木質科学研究所, 66-176.

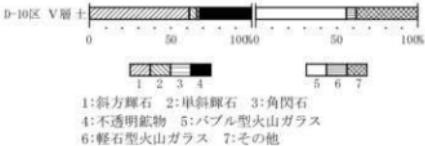


図2. 重鉱物組成および火山ガラス比

表2. テフラ組成分析結果

| 試料名 | 斜方輝石 | 單斜輝石 | 角閃石 | 不透明鉱物 | その他の | 合計 | バブル型火山ガラス | 軽石型火山ガラス | その他の | 合計 | |
|--------------|------|------|-----|-------|------|-----|-----------|----------|------|----|-----|
| D-10区 V層土 | 153 | 12 | 4 | 80 | 1 | 250 | 140 | 0 | 15 | 95 | 250 |

伊東隆夫, 1997. 日本産広葉樹材の解剖学的記載III. 木材研究・資料, 33, 京都大学木質科学研究所, 83-201.

伊東隆夫, 1998. 日本産広葉樹材の解剖学的記載IV. 木材研究・資料, 34, 京都大学木質科学研究所, 30-166.

伊東隆夫, 1999. 日本産広葉樹材の解剖学的記載V. 木材研究・資料, 35, 京都大学木質科学研究所, 47-216.

鹿児島県地質図編集委員会, 1990. 鹿児島県地質図 1/10万分の1. 鹿児島県.

小林哲夫, 1986. 桜島火山の形成史と火砕流. 文部省科学研究費自然災害特別研究「火山噴火に伴う乾燥粉体流(火砕流等)の特質と災害」(代表者荒牧重雄)報告書, 137-163.

小林哲夫・温池俊彦, 2002. 桜島火山の噴火史と火山災害の歴史. 第四回研究41, 269-278.

町田 洋・新井房夫, 1976. 広域に分布する火山灰-姶良Tn火山灰の発見とその意義一. 科学, 46, 339-347.

町田 洋・新井房夫, 2003. 新編 火山灰アトラス. 東京大学出版会, 336p.

島地 謙・伊東隆夫, 1982. 図説木材組織. 地球社, 176p.

Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E. (編), 1998. 広葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡の特徴リスト. 伊東隆夫・藤井智之・佐伯 浩(日本語版監修), 海青社, 122p. [Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E. (1989) IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification].

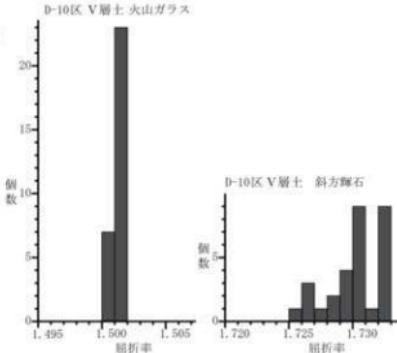
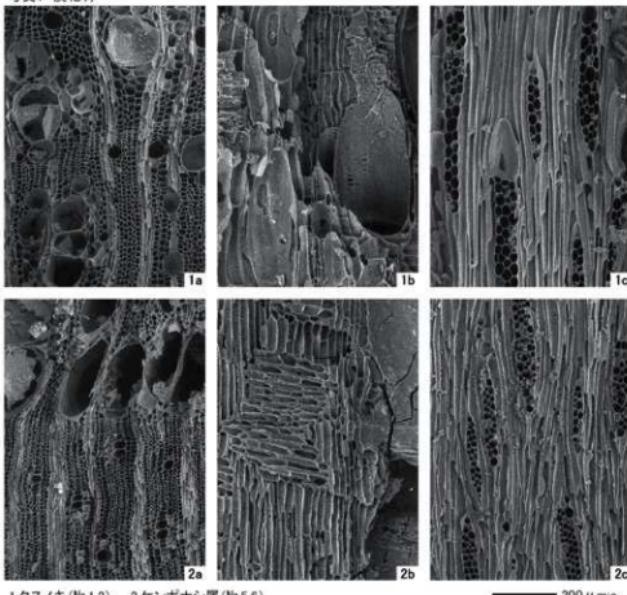


図3. 屈折率測定結果

写真1 炭化材



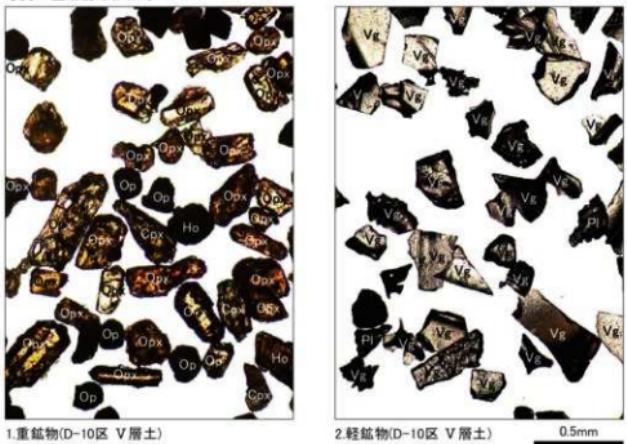
1.クスノキ (No.1,2) 2.ケンボナシ属 (No.5,6)

a:木口 b:柱目 c:板目

200 μ m.a

200 μ m.b,c

写真2 重鉱物・火山ガラス



1.重鉱物(D-10区 V層土)

Opx:斜方輝石, Cpx:単斜輝石, Ho:角閃石, Op:不透明鉱物.

Vg:火山ガラス, Pl:斜長石.

2.軽鉱物(D-10区 V層土)

0.5mm

第5章 総括

第1節 遺構の調査成果

本報告書では、土坑 17 基、集石 6 基、炉跡を作う大型土坑状遺構 1 基、溝状遺構 6 条を報告した。第 3 章で述べたように、発掘調査時の調査方法及び記録に問題が多く、今回の調査成果が塗之内遺跡の実態を的確に反映しているとは言い難い。

所属する時代・時期の判断できる遺構は少ないが、基本的に簡易な遺構が多く、長期に渡り使用されたような住居跡等は検出されていない。このような特徴は、本調査区が塗之内遺跡の立地する台地・丘陵の北東端付近に立地すること、丘陵の幅が狭くなる地点に位置すること等の理由により、連続的・日常的に使用される場ではなかったことを想定させる。このことは、調査土器をはじめとする遺物の出土傾向とも合致する。

炉跡を作う大型土坑状遺構は、出土遺物と年代測定の結果から、7 世紀後半～10 世紀前半の古代に比定されるものである。遺構は、わずかな掘り込みと小規模な構造及び幾重にも切り合つた跡が残存する。また、周囲には柱穴跡もみられる。

炉跡は 11 基検出されているが、切り合い関係が認められ、本遺構の長期に渡る断続的な利用を想定させる。また、溝跡は、推測の域を出ないが、建物の上部構造を支える機能も兼備した、壁の痕跡と想定される。すなわち、本遺構は、堅穴状の掘り込みを作り簡易な壁建ちの建物であった可能性が想起される。

第2節 遺物の調査成果

本調査区の基本層序及び層堆積の特徴は、第 3 章で述べたとおりだが、旧石器時代に該当する接合資料の層位を跨いで接合事例や、石器が VI 層から出土していることからも、遺物の出土状況が、プライマリーな状況を保っているとは言い難い。

層位的には、III 層がアカホヤ火山灰由来の堆積層であり、IV・V 層が縄文時代早期の遺物包含層、V・VI 層が旧石器時代の遺物包含層とされているが、石器、特に剥片類については、縄文時代早期のものと旧石器時代のものの混入が懸念される（第 42 表）。

1 石器

（1）石器石材（第 41 表・第 42 表）

石器は、点上げを行ったもので総数 7,913 点が出土した。また、第 42 表は、旧石器時代から縄文時代の剥片石器のうちで、器種と出土層位の判明しているものの一覧である。今回の調査により出土した石器石材の約 83% 以上が、薩摩川内市種崎町上牛鼻原産地を供給源とする黒曜石であり、他に玉鱗、頁岩、チャート、安山岩、桑ノ木津留産黒曜石及び針尾産黒曜石などがみられる。石核素材としても上牛鼻産黒曜石が 80% 以上を占めており、他の石材はあくまで補完石材としての使用に留まると言える。

石材選択で注目すべき特徴の一つとして、上牛鼻産黒曜石の原産形状を指摘できる。本遺跡に持ち込まれた上牛鼻産黒曜石の原石は導大から導卵大程度の円錐である。その形状から河川等でローリングされる等して表面が摩耗した縁と判断され、そのような縁を避けて採集していた可能性が高い。すなわち、原産地からの直接供給ではなく、原産地から滑落し、河川の河床礫となっていたものを、形状や大きさにより選択的に採取し

第 41 表 石核類の石材別個体数

| 石 材 | A | B 1 | B 2 | B* | C | D | E | F | 總數 |
|-----------|----|-----|-----|----|----|---|----|---|-----|
| 上牛鼻産黒曜石 | 10 | 19 | 37 | | 35 | 2 | 6 | 4 | 113 |
| 針尾産黒曜石 | | 1 | 1 | | | 1 | 2 | 1 | 6 |
| 桑ノ木津留産黒曜石 | | | | | 1 | | | | 1 |
| 日米産黒曜石 | | | | | 1 | | | | 1 |
| 肥前産黒曜石 | | | | | | 1 | | | 1 |
| 上牛鼻産安山岩 | | | | | | | 1 | | 1 |
| 玉鱗 | | 1 | | 8 | | | | | 9 |
| 動石英 | | | | | 1 | | | | 1 |
| 碧玉 | | | | | | | 1 | | 1 |
| 頁岩 | | | | | | | 1 | | 1 |
| 總 数 | 10 | 21 | 38 | 8 | 38 | 5 | 10 | 5 | 135 |

中括弧は B 1 項か B 2 項かの割合をできなかったもので、可能性が高い。河床礫としての上牛鼻産黒曜石の分布範囲については、今後の検討課題である。

長崎県佐世保市針尾産黒曜石や佐賀県伊万里市腰岳産黒曜石など西北九州系の石器石材が出土しているが、後述する F 類（福井型細石核）とその製作技術の関連を想起せるものである。

（2）出土状況・分布状況（第 137-140 図）

石器の分布状況をみると、数カ所の石器出土集中箇所が認められるが、発掘調査時はその集中区を石器製作跡のブロックと想定していた。しかし、層堆積の不安定さや地層転換の影響、複数層間に渡る接合状況から、出土状況を反映してはいるが、純粋にブロックとして取り扱うことは難しい。以上のことを念頭に置きながら、石器出土状況及び接合状況からの分析を行いたい。

石器が集中的に出土するのは、D-10 区、A-13 区、B-10 区、C-8 区、E-15 区である。最も出土の集中するのは D-10 区で、2 つの集中区を抽出できる。D-10 区からは、上牛鼻産黒曜石が最も多く出土しているが、それ以外に、玉鱗、桑ノ木津留産黒曜石、針尾産黒曜石、三船尾産黒曜石、黒色安山岩及び上牛鼻産安山岩が出土している。石核類の分布も集中しており、玉鱗と上牛鼻産黒曜石の接合はこの D-10 区が中心となり、上牛鼻産黒曜石と玉鱗を用いた石器製作が、この地点で行われたということは間違いないだろう。

上牛鼻産黒曜石は、D-10 区以外にも、A-13 区周辺、B-10 区、C-8 区周辺、C-10 区周辺及び E-15 区に集中区がみられる。接合状況からみると、それぞれの石器集中区での接合がみられる。また、D-10 区と C-10 区では、まとまりを超えた接合もみられる。一方、A-13 区の集中区では接合が確認されなかった。

その他の石材では、上牛鼻産安山岩が C-12 区周辺に集中する傾向がみられ、接合もその地点を中心に行われている。他の石材では、接合資料間の距離の離れているものが多いという傾向がみられた。

これらの石器集中区では、石核類や調整剝片、碎片に加えて、小型剝片（折断剝片・小石刃）や縫石刃も分布している。また、縄文時代の石器は、D-8 区をピークとして A-D-6 ~ 10 区へ向かう微傾斜地に散発的に分布しており、現状では、各石器集中区との関連は想定し難い。したがって、プライマリーなプロッ

第42表 剥片石器類の層位別石材数

クとは言えず、時期的な問題は残るが、小型剥片剥離技術や細石刃剥離技術を持った集団による石器製作の痕跡を留めているものと評価できよう。それは、後述する石器の組成等から、ベースキャンプ的な場としての要素は薄く、石器製作時に一時的に使用される場として機能していたと想定される。

(3) 旧石器時代の石器

芝原次郎氏の遺物指導を得ておらず、その所見も含めて遺跡の評価を試みることとする。

今回の調査成果では、旧石器時代に属する複数の時期の遺物が採取されている。結論から述べると、ナイフ形石器文化期、小型ナイフ形石器期及び細石刃文化期である。その後、最終的には、それぞれの縄文時代早期土器群に伴う石器群が存在したこととなる。

細石核・石核・ブランク 第3章第4節で述べたように、細石核、石核及びブランクについては、形状及び成形技法に基づきA～F類の6類に分類した。折断片（小石刃）剥離技術と細石刃剥離の共通点も多く、明確に区分することは困難である。しかし、大きな傾向として、これらは在地系のものと外來系のものに区分される。すなわち、在地系のものは上牛鼻産黒曜石を主に使用したA類、B類、C類及びE類であり、外來系のものは針尾産黒曜石製の典型的な掘井型細石核を含むF類である。D類も少數ながら外來系の色彩が濃い。そのD類は、F類と同一の針尾産黒曜石や佐賀県伊万里市腰岳産黒曜石も使用されており、F類ブランク素材に満たなかった剥片が使用されたと見られる。

ア ナイフ形石器文化期

先行するナイフ形石器文化期の石器として、三棱尖頭器2点(808・810)、ナイフ形石器2点(797・800)及び剥片尖頭器1点(809)等の石器群が存在する。この時期の遺物は、点数が少なく、石核類や剥片等にそれらの製作痕跡が認められない。加えて、各個体により使用石材が異なる。したがって、ナイフ形石器文化期に属する遺物は、単独出土資料と判断せざるを得ない。

イ 小型ナイフ形石器文化期

細石刃文化に先行する小型ナイフ形石器文化は、当該期の明確な石器製品（トゥール）はほとんど確認できないが、接合資料や折断片の存在から、その存在を指摘できるものである。換言すると、細石刃よりも幅広の折断片を含む剥片、それらを採取するための石核類及び調整剥片が多数存在することから、小型剥片（小石刃）生産に伴う剥片剥離技術の存在が想定されるものである。

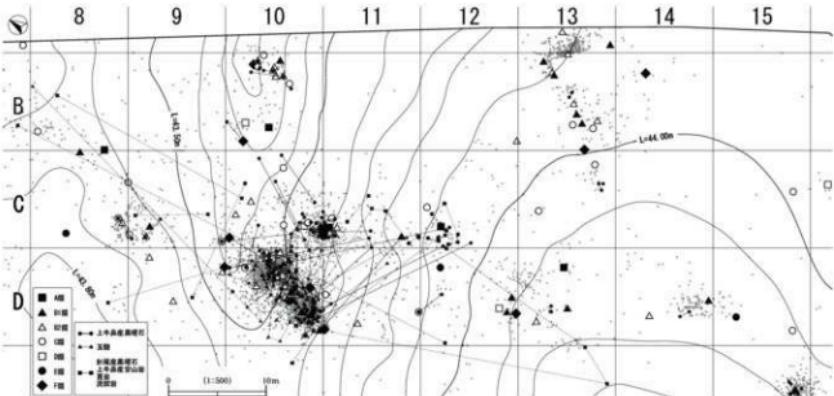
折断片 折断片の部位は明確に区分され、今回出土したものは部位別では頭部101点、中間部34点及び下端部31点である（第81図～第85図）。なお、折断は、三分割しないは二分割と見られるが、折断後の部位で多数を占める（調査区に残される）のは頭部である。また、幅2cmを基準として細石刃と区別したが、区別の難しい資料も多数存在した（第85図）。

折断片については、特に、二次加工等の有無に留意し観察した。592は左側縁部に微細剥離痕が観察され、554は両側縁部に微細剥離痕が見られる。805は折断面の二次加工から台形石器と認定可能なものである。799は折断片を素材とした可能性のあるナイフ形石器と判断される。

折断片関連資料で二次加工等を確認できたものは上記の4点であり、明確な石器製品の確認には至っていない。しかし、本遺跡で出土した折断片は、小型ナイフ形石器群の台形石器の素材となる可能性の高いものであることには違いない。また、折断片の中間部が少ないと、石器素材として持ち出された結果とも考えられる。

鹿児島市仁田尾中A・B遺跡や曾於市桐木耳取遺跡では、折断剥片が大量に生産され、折断片の特徴を活かし、小型台形石器の素材としたことが明らかにされている。なお、本遺跡の折断片は、上記遺跡と比較すると若干小型化の傾向にある。

小型剥片の剥離技術 本遺跡での小型ナイフ形石器文化期と後続する細石刃文化期では共通点もみられる。それは、原種の選択・採取方法及び石核成形技法に顕著にみられる。両時期共に素材とする礫は河床から採取した上牛鼻産黒曜石を主体とし、石核



第137図 旧石器時代の石器出土状況

成形は拳大や鶴卵状の円錐を二分割ないしは四分割することを基本としている。

62・63・64 等は玉飾の接合資料だが、小型剥片剥離技術の存在、すなわち小型ナイフ形石器文化が存在した可能性をよく示している資料である。

61 は小型ナイフ形石器文化類の剥片剥離に伴うものである。拳大の円錐素材の分割により 2 個体の石核に区分されている。石核 A は、半時計回りに剥片剥離が進められ、取り出された剥片はいずれも長さ 2cm 程の短いもので、2 周目に入った時点では、長さ 3cm を超える剥片の剥出に成功している。なお、半時計回りで剥片剥離が進行することは、右利きの人物によって剥片剥離が行われたと解釈される。

15 は上牛鼻産黒曜石の接合資料である。15 から判断すると、大きさ 5cm 程度の鶴卵状の円錐が石核素材として選択されている。石核素材の頂部をスライスするように横方向に加筆し、狭い分割面（第一分割面）を作り出している。この動作は、石材の品質の確認を目的としたものだと推測している。その後、第一分割面を打点として、縦方向に A1 と I1 + I2 との分割が実施されている（第二分割面）。

ウ 細石刃文化期

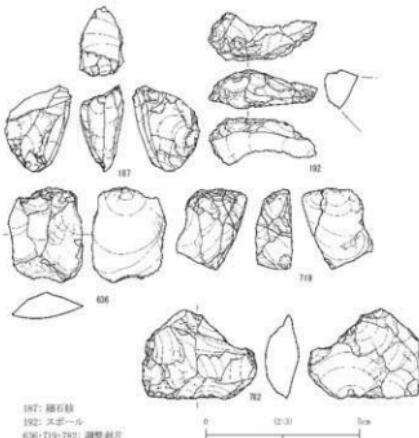
今回の調査では、複数式の細石核が得られた。明確に細石刃剥出の痕跡の確認できたものを細石核としたが、上述の小石刃剥出のための石核と区別の難しい資料が多い。

また、細石刃の使用に関しては、いわゆる分割手法が採用され、分割後の頭部と下端部が多く採取されている。このことから、中間部は持ち出されているものと判断される。

在地系の細石核 E 類は船底型を呈し、打面から石核調整が行われるもので、いわゆる「船底型細石核」に該当する。船底型細石核は、南九州では一般的に見られるものである。多くの遺跡で確認されており、「野岳、休場型細石核」同様在地性が高く、且つ、その存続期間は長い。なお、取り出された細石刃は 212 や 213 などのように、丈が短く、横幅は不揃いのものであったと想定される。このことは、細石核の作業面からも確認できる。それに対し、外来系のものである F 類（福井型細石核）の 187 の作業面には、定型化した細石刃の生産された痕跡が残される。外來系の細石核 D 類 178 は尾足産黒曜石の作業面を長く使用したもので、入念な両刃加工は省かれるが、在地系の剥片剥離では認められない事例である。175 は針尾産黒曜石で D 類のプランクとしたが、F 類との関連を想起させるものである。また、176・177 は上牛鼻産黒曜石で、左右の側縫部の石核調整剥離が打面と作業面の二面から実施されるという共通性が見られる。

F 類（福井型細石核） F 類はいわゆる「福井型細石核」である。187 は、針尾産黒曜石製の典型的な福井型細石核である。また、同じ針尾産黒曜石製で、福井型細石核の剥離工程で取り出されるファーストスポールである 192 や、剥出された工程を確定することはできないが、福井型細石核の調整剥片と判断される

719 が出土している（第138図）。このことから、眾之内遺跡へは、針尾産黒曜石という良質な石材と共に、福井型細石核の石器製品及び製作技術そのものがセットとして搬入されたと判断して



第138図 F類（福井型細石核）とその関連資料

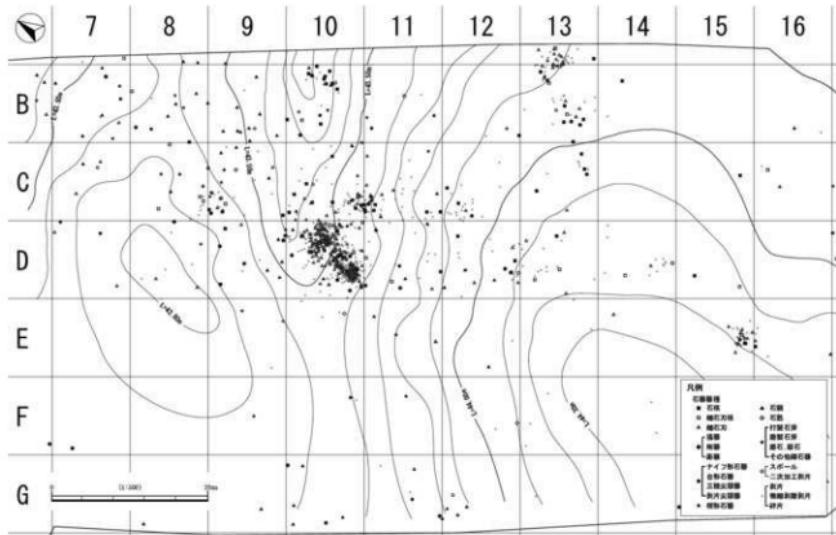


第139図 「福井方式」の分布 (E201(東トレース、一部加筆))

良いだろう。製品だけでなく、技術を伴った西北九州系細石刃文化の流入の証左と言える。

また、188 は上牛鼻産黒曜石製だが、その特徴から福井型細石核に学んだもの「類福井型」として解釈できるものであり、注目しておきたい。

本県における福井型細石核 福井型細石核については、昭和 41 年（1966 年）の出水市上場遺跡発掘調査時点から、西北九州系細石刃文化の波及としてその存在の有無が課題とされてきた。



第140図 旧石器時代～縄文時代の剥片石器類出土状況図

すなわち、上場遺跡で爪形文土器が出土したことにより、長崎県の福井洞穴や泉福寺洞穴の西北九州系細石核との関連性が追求され、本県における細石核研究の指標とされてきた。

昭和51年(1976年)の鹿児島市加蔵山遺跡での発掘調査では、大量の細石刃石器群が出土した。圧倒的多数を占める野岳・休場型細石核や船野型細石核等の在地系細石核に伴い、石礫や石皿が発見された。土器は発見されなかつたが、縄文時代的色彩の濃い石礫や石皿の発見から、それらの出現の背景に西北九州系細石刃文化の存在を強く想起させる内容であった(鹿教委編1981)。そこで、主として下縁部から成形加工が施される細石核を、福井型細石核を模倣したものとして抽出し、「類福井型」と呼称し、在地系細石核との分離作業を試みた。すなわち、在地系細石刃文化に、土器技術を備えた西北九州系細石刃文化の影響が波及している可能性を指摘したこととなる。

本県では、日置市今里遺跡や曾於市桐木耳取遺跡など、福井型細石核は出土していないが、その存在や西北九州系細石刃文化の影響のみられる遺跡が存在するが、福井型細石核とその製作痕跡の検出例は少ない。

平成8年(1996年)に調査された鹿児島市桝堀遺跡の西区において、本県ではじめて福井型細石核による細石刃の製作が明らかとなった(鹿教セ編2006)。桝堀遺跡西区で検出された20ブロック中、4ブロック(A～D)が福井型細石核で構成されていた。石材は、難進された針尾産黒曜石及び対馬産黒曜石が使用されていた。ブロックからは細石核の他に、両面調整加工ブランク、ファーストスボール及びセカンドスボール等の剥離工程に関わる全資料が発見された。さらに、細石核と打面調整剝

片の接合資料が確認された。これらの資料の存在は、製品だけでなく、技術を伴う移入であったことを確実なものとし、西北九州からの技術集団の移動が行われていたことを反映していると判断される。

また、平成17～18年度(2005～2006年度)に調査された曾於市建山遺跡の第III文化層では、腰岳産黒曜石で構成される4ブロックと淀姫系黑曜石で構成される3ブロックから福井型細石核を含む西北九州系細石器群が発見され、ここでも技術集団の移動が行われた結果と報告されている(鹿教セ編2009、宮田2011)。

堀之内遺跡での事例は、福井型細石核を確実に伴う技術集団の痕跡が把握される本県で3例目となる。

芝氏は「福井方式」による細石刃剥離技術を、『細石刃核ブランクとして両面加工石器を作製し、横打調整もしくは縦長スパール剥離によって打面を形成し細石刃剥離をおこなう福井1型』と、『素材剥片の主要剥離面を側面に設定され、加工はほとんど施されないか下縁調整のみが施され、横打打面形成によって細石刃剥離をおこなう福井2型』に分類している。また、両者分布の違いについて、福井1型は西北九州の良質な石材产地周辺に分布し、福井2型はその周辺地域に分布すると指摘している(芝2011、『』内引用)。

今回、堀之内遺跡では、圧倒的多数を占める在地性の細石刃技術集団(石核B・C・E類を残した集団)の中に、福井型細石刃技術(F類、芝分類の福井1型)を持つ集団の痕跡を確認することができた。時期的な区分の問題も含めて、それらがどの様に関わってきたのかを明らかにできなかったが、薩摩半島北

部の東シナ海沿いに位置する島之内遺跡での発見により、西北九州系細石刃文化の流入ルートの手がかりが増えたと言えよう（第139図）。

また、本県では、福井型細石核に伴う土器の出土は確認されていない。したがって、現状では、南九州土器文化の起源と福井型細石核の流入が軌を一にしない可能性も残される。今後、資料数の増加により、南九州における土器文化の開始と西北九州系細石刃文化との関係が解明されることを期待したい。

（4）縄文時代の石器

縄文時代の石器は、石鏃や石斧などの剥片石器と打製石斧・磨製石斧、磨石・敲石類などの鍛石器類が出土している。しかし、出土状況からその所属する時期を特定できるものが少ない。

石鏃 石鏃について、形状及び石材等に基づき分析を試みる。石鏃では、南九州の縄文時代早期前半土器文化に特有の、いわゆる小型三角形鏃の存在が指摘できる。形状が小型三角形（948・949等）を呈し、もっぱら石材として黒曜石が嗜好される傾向を知られているが、本遺跡の当該の石鏃も黒曜石が使用されている。したがって、これらは1類及び2類の土器に伴うものと想定される。なお、先行する小型ナイフ形石器文化期や細石刃文化期では使用されていなかった、三船産黒曜石の利用が新たに始まった可能性を指摘できる。

972・974・1005等は相似形の三角形鏃で、ハリ賀安山岩が使用されている。ハリ賀安山岩の使用は、平椿式土器及び磨ノ神A式土器段階から顕著になる傾向が知られるもので、これらもその時期の5c類土器群に共通するものと思われる。また、1013や1014の銀鱗鏃、1015・1016の円脚銀鱗鏃は、押型文土器文化がもたらしたものとして周知され、5a類・5b類土器に伴う可能性が高い。

1028は針尾産黒曜石製、1027は黒色安山岩製の鉈齒縫鏃で、石材及び形状から鍛入品と想定され、縄文時代後期初頭の8類土器に伴うものであることが想定される。また、この鉈齒縫鏃は万ノ瀬川右岸に立地する、南さつま市芝原遺跡と連動すると興味深い。

966・967・973・1038・1039の五角形鏃、側縫部が丸みを持つ954・955、小型長身縫等の999・1000・100等は、出水市大坪遺跡の入甕式土器に安定的に付随する石鏃の形態であることが判明している。石鏃形態の時期判断の重要な指標であり、本遺跡の10類土器の判断材料となる。

第3節 土器・陶磁器

1 縄文土器

1類は角筒で二重施文の特徴から、前平式土器の永野タイプに含まれる。志風頭式土器とも呼ばれ、早期前半に位置付けられる。819は底面に編組の圧痕をもち、縄文時代の早い時期では希少なものである。1b類は薄手で貝殻腹縫刺突が主となることから、前平式土器の加賀山タイプに含まれる。早期前半に位置付けられる。1c類は二重施文部分が確認できないので類を分けたが、前平式土器に近い。

2類は貝殻腹縫による刺突が横方向に展開することから吉田式土器の範疇に含まれ、小牧3Aタイプに該当する。早期前半

に位置付けられる。

3類は、外反する口縁部への貝殻腹縫での刺突文、口唇部の浅い刻目の他、胴部の貝殻条痕が繊維状に施されている。また、内面の調整は丁寧なナダである。この様な特徴は薩摩半島南部に多く、早期前半の石板式土器に含まれる。前追亮一氏の細分による石板I式土器に該当する（前追2003）。

4a類は、文様帯が口縁部と胴部に分かれるものであり、胴部条痕の後に口縁部の文様を入れてある。類例が少なく今後検討をする土器であり、時期の確定な位置づけはできないが、早期前半の石板式土器に近い頃と考えられる。4b類は早期前半の中原式土器の一部にみられるものである。中原式土器は木崎康弘氏によって型式設定されたもので、標式遺跡は熊本県菊水町の中原遺跡である（木崎1996）。木崎氏が中原式土器をI～V式に細分している中、II式は大分県萩町の政府遺跡を標式とする政所式土器と同類であり、I式もそれに近いものである。III式～V式が中原式土器として、定着してきているものである。鹿児島での中原式土器のあり方は、石板式土器との時期的な関連性が認められ、器壁の厚さと内面の調整が類似している（黒川2000）。4c類は器形や文様施文の特徴は、湧水町花ノ木遺跡で出土した土器に似ている。該当する型式名はないものの、早期前半に位置付けられる。

5a類は縦位の山形押型文であり、押型文土器の中でも新しい時期に位置付けられる。5b類は胴部が「く」の字状に屈曲することや、押型文と他の施文方法の組み合わせから、早期中半の手向山式土器に該当する。注目したいのは869の網目状燃絞文である。網目状燃絞文は塞ノ神A式土器に特徴的なものであり、手向山式土器とは時期的に開きがあるからである。5c類は、早期中半の手向山式土器から天道ヶ尾・妙見式土器に近いと考えられる。

6類は胎土に滑石は認められないものの、前期後半に位置付けられる曾畠式土器である。

7類は、前期末から中期初頭にかけての深溜式土器である。相美伊久雄氏によって細分された、最も早い時期である日本山段階に該当する（相美2006）。

8類は阿高式土器および、それに連なる阿高式系の土器をまとめた。中期後半の阿高式土器、後期初頭の南福寺式土器、後期前半の出水式土器が含まれる。

9a類は後期前半にみられる回線文による文様をもつ。それに貼付文が加わるもので、大隅半島から薩摩半島南部にみられる。本遺跡が所在する薩摩半島北部は阿高式系土器が主体となる地域であり、892が出土したことは交流の一端を示すことになる。9b類は口縁端部を断面三角形に肥厚する松山式土器で、後期前半の中でも後出すると考えられる土器である。895は文様が中九州系であり、寺師見國氏が「南福寺式土器」と呼んだものと同類である（寺師1943）。9c類は後期中半の市来式土器に該当する。9d類は口縁端部を内側に折り返すもので、屈曲部外面を文様帯としている。平行沈線の間を2条の肋を単位とする貝殻腹縫で、押し引き状に施文してある。器形からみると西平式土器であるが、施文が貝殻によるものであり、検討を要する。西平式土器が在地化する過程を示す興味深い資料である。

10類は黒色磨研を主とする土器である。1099の胴部は丸みを

帯びる黒川式土器の特徴をもつもので、晩期中半に位置付けられる。他の土器は入佐式土器の要素をもつものもあり、後期終末から晚期前半までの時期幅で捉えておきたい。

堀之内遺跡で出土した縄文土器は、点数は少ないものの型式は多岐にわたり、各時期とも隙間がないほどである。また、胎土も遺跡周辺にみられるものばかりではなく、花崗岩や滑石など地域外で産出する鉱物が含まれている。これらと縄文時代の遺構が少ないと併せて、本遺跡で定住生活が営まれていたというよりも滯在型の場所であったと考えられる。海までの直線距離が7.5kmであり、現在の沿線近くにもなっていることから、海と内陸部の中継地点であった可能性もある。

3 弥生時代・古墳時代の土器

堀之内遺跡から出土した当該期の土器は、古墳時代の中津野式土器から東原式土器が中心である。甕について1～5類に分類した。

2類と3類は、内面屈曲部の稜の有無で区別したが、口縁部が「く」の字状に外反する等の共通の特徴を持つ。また、基本的に口縁部は短めである。中津野式土器の範疇に含まれるものと判断した。

4類は、口縁部外面の列状のヘラの打ち込み痕及びカキアゲの痕跡を最大の特徴とする。また、2・3類と比較して口縁部が長く、外反が弱いことも特徴である。東原式土器に該当するものと判断した。

2類の典型的なものは、1069や1071のように内面屈曲部の稜が明瞭で、口縁部の外反が大きい。一方、同じ2類としたものの中でも、1075や1076のように内面屈曲部の稲が弱くない、口縁部がやや長くなり、外反がゆるやかになるものや、1074のように内面屈曲部の稜は明確だが、口縁部の外反がゆるやかになるものもみられる。後者の特徴は、後続する4類。すなわち東原式土器の特徴へ引き継がれていくものである。

近年、南さつま市下堀遺跡、南九州市堂園遺跡、南さつま市芝原遺跡などの調査成果から、中津野式土器から東原式土器への過渡的な様相の濃い土器群の存在が指摘されている。今回、近隣の資料との比較・検討を行うことができず、一概に時期的なものと確定することはできないが、堀之内遺跡の2・3類及び4類からも過渡的様相を読み取ることができよう。

高杯からも時期差を読み取れる。すなわち、坪部では、大型で口縁部の外反する1類が中津野式土器へ東原式土器に伴うものであり、坪部が碗型となる2類は古墳時代後期のものと判断される（中村氏の御教授による）。

今回の調査では、当該期の遺構、特に住居跡等の生活に関するものは検出されていないが、土器の質・量及び出土状況は、生活が営まれていた可能性を示唆するものであった。

4 古代の土器

古代の土器は、出土数は少ないながらも、墨書き土器や内黒土器を含め、多様な種類が出土している。坪は、底部が大きめで、体部が外傾するものが多く、いわゆる充実高台は確認されなかった。碗は、高台が高く、ほとんど開かず、先端の角張るものが多い。これらの特徴は、9世紀代の土器群にみられるもの

のである。また、墨書き土器の多くみられる時期とも一致する。

内黒土器は、内面だけでなく外面にもミガキが施されていることを特徴とする。器形は異なるが、付近の西ノ平遺跡や成岡遺跡でもみられる特徴である。

第4節 遺跡の残存状況

堀之内遺跡は、今回の調査結果及び周辺の地形状況から、本報告書で報告した区以外の地点では、遺跡の残存が想定される。地層の堆積状況が悪く、かつ、表土が薄いため、掘削を伴う作業には注意を要する。また、包含層が残存していない場合でも、シラス等の上面で遺構が検出される場合もあるため注意しなければならない。

《主要引用・参考文献》

- 木崎康弘 1996『縄文時代早期土器群の編年学的研究－中原式土器の設定－』『溝生・上の原遺跡』鹿児島文化財調査報告第158集 鹿児島教育委員会寺崎見國
田石謙也 研究会編 2007『石器考古学辞典（三訂版）』学生社
黒川忠 2000『南九州教文式土器研究の現状と課題』『大河』第7号 大河同人
相美伊保 2006『条痕文土器と縄文陶文土器－南九州における縄文時代前期中～中期前葉土器群の再整理－』『大河』第8号 大河同人
芝田栄二 2011『九州における細石刀石器群の研究』六一書房
芝建次郎・小畠弘己編 2007『阿蘇における旧石器文化の研究』鹿児島大学文学部考古学研究室准教授研究会著
寺崎見國 1984『鹿児島県墓下の繩文式土器分類及び出土遺跡表』鹿児島県埋蔵文化財調査会
南島理義 調査会
中村直子 1987『成川式土器再考』『鹿大考古』第6号 鹿児島大学法文系考古学研究室
前泊亮一 2000『石坂式土器再考』『研究紀要 縄文の森から』創刊号
鹿児島県立埋蔵文化財センター
宮田尾一 2011『建山遺跡の縄石刀文化とその意義－南九州における福井型と唐津型及びその石材と集團関係－』『九州旧石器』第14号 九州古文化研究会
鹿児島県教育委員会編 1981『加那山遺跡』鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書 (16)
鹿児島県教育委員会編 1981『加治屋園遺跡』鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書 (14)
鹿児島県教育委員会編 1983『成岡遺跡ほか』鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書 (28)
鹿児島県埋蔵文化財センター編 2004『高篠遺跡ほか』鹿児島県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (71)
鹿児島県埋蔵文化財センター編 2005『大坪遺跡』鹿児島県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (79)
鹿児島県立埋蔵文化財センター編 2005『桐木耳取遺跡』鹿児島県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (91)
鹿児島県埋蔵文化財センター編 2006『伊祖遺跡ほか』鹿児島県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (101)
鹿児島県立埋蔵文化財センター編 2008『北間崎跡B地点・宮瀬遺跡A地点（追加調査）』鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (110)
鹿児島県立埋蔵文化財センター編 2009『建山遺跡ほか』鹿児島県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (123)
鹿児島県埋蔵文化財センター編 2010『椿城跡』鹿児島県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (139)
鹿児島県埋蔵文化財センター編 2010『宮ノ上遺跡』旧石器時代編『鹿児島県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (146)
鹿児島県埋蔵文化財センター編 2010『椿城跡』鹿児島県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (155)
鹿児島県埋蔵文化財センター編 2011『芝原遺跡2号』鹿児島県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (158)
鹿児島県埋蔵文化財センター編 2011『川骨遺跡ほか』鹿児島県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (165)
鹿児島県埋蔵文化財センター編 2012『外島遺跡』鹿児島県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (175)
鹿児島県立埋蔵文化財センター編 2013『芝原遺跡4号』弥生時代・古墳時代編『鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (178)

図 版